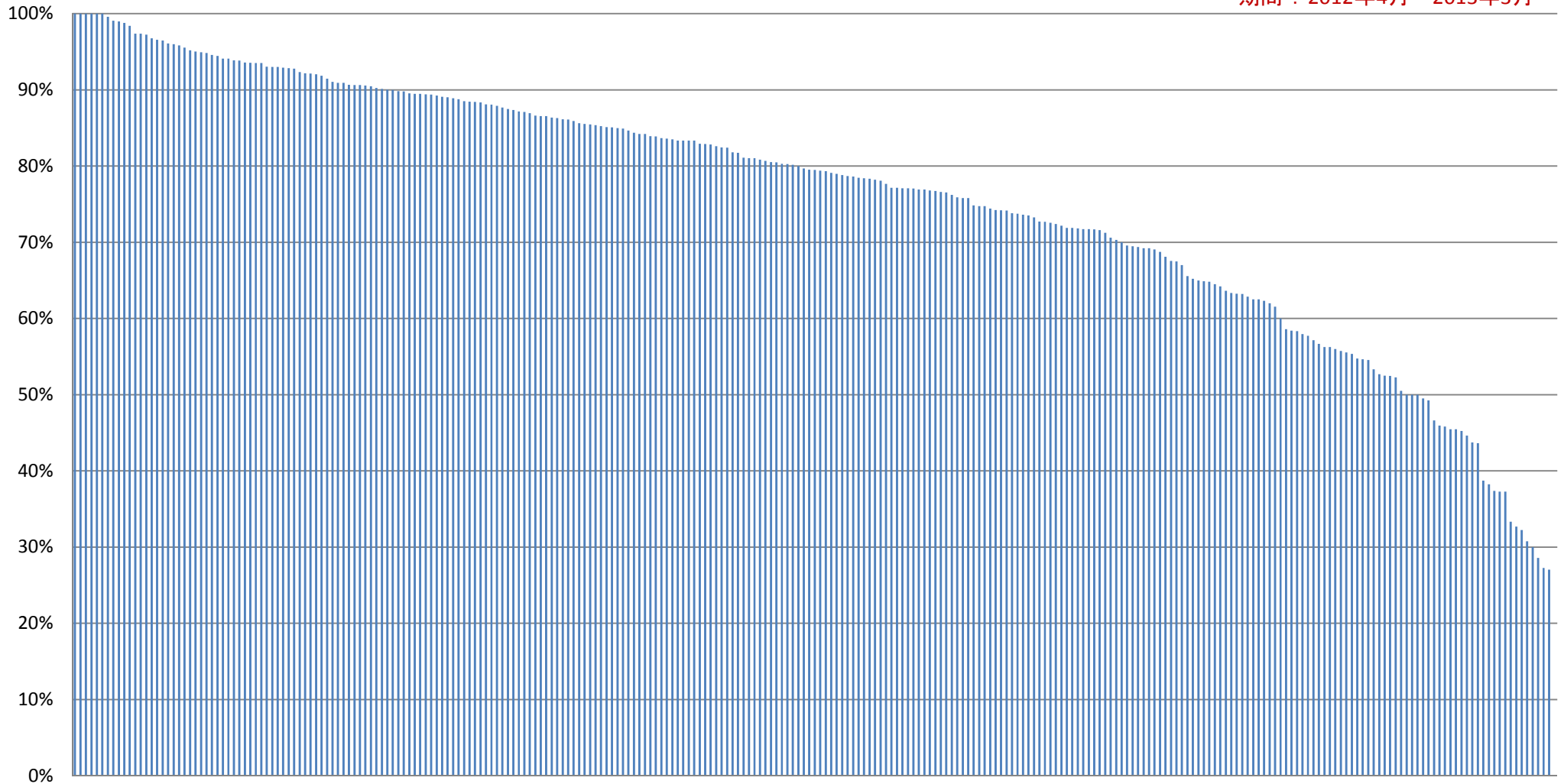


脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

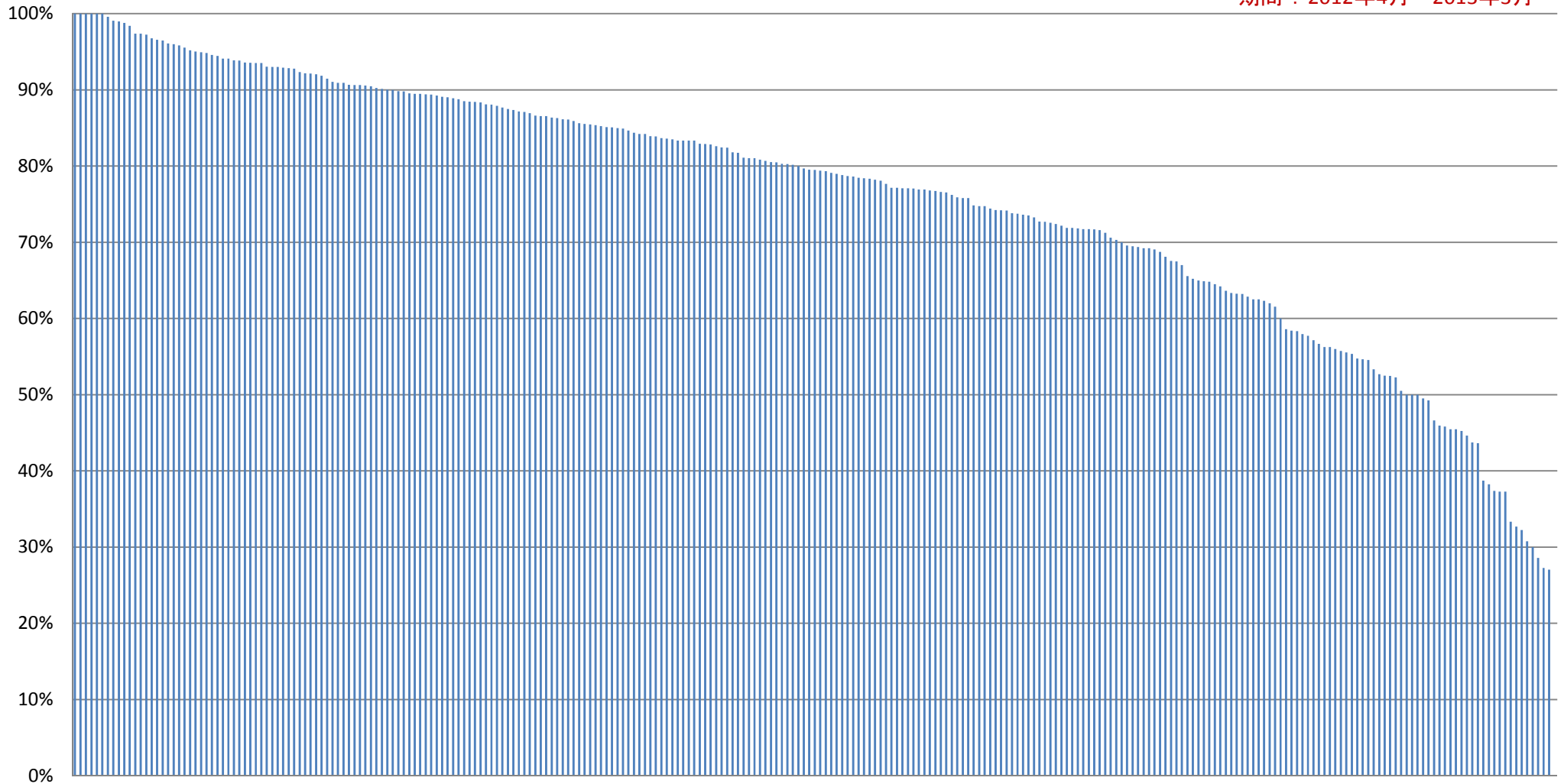


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

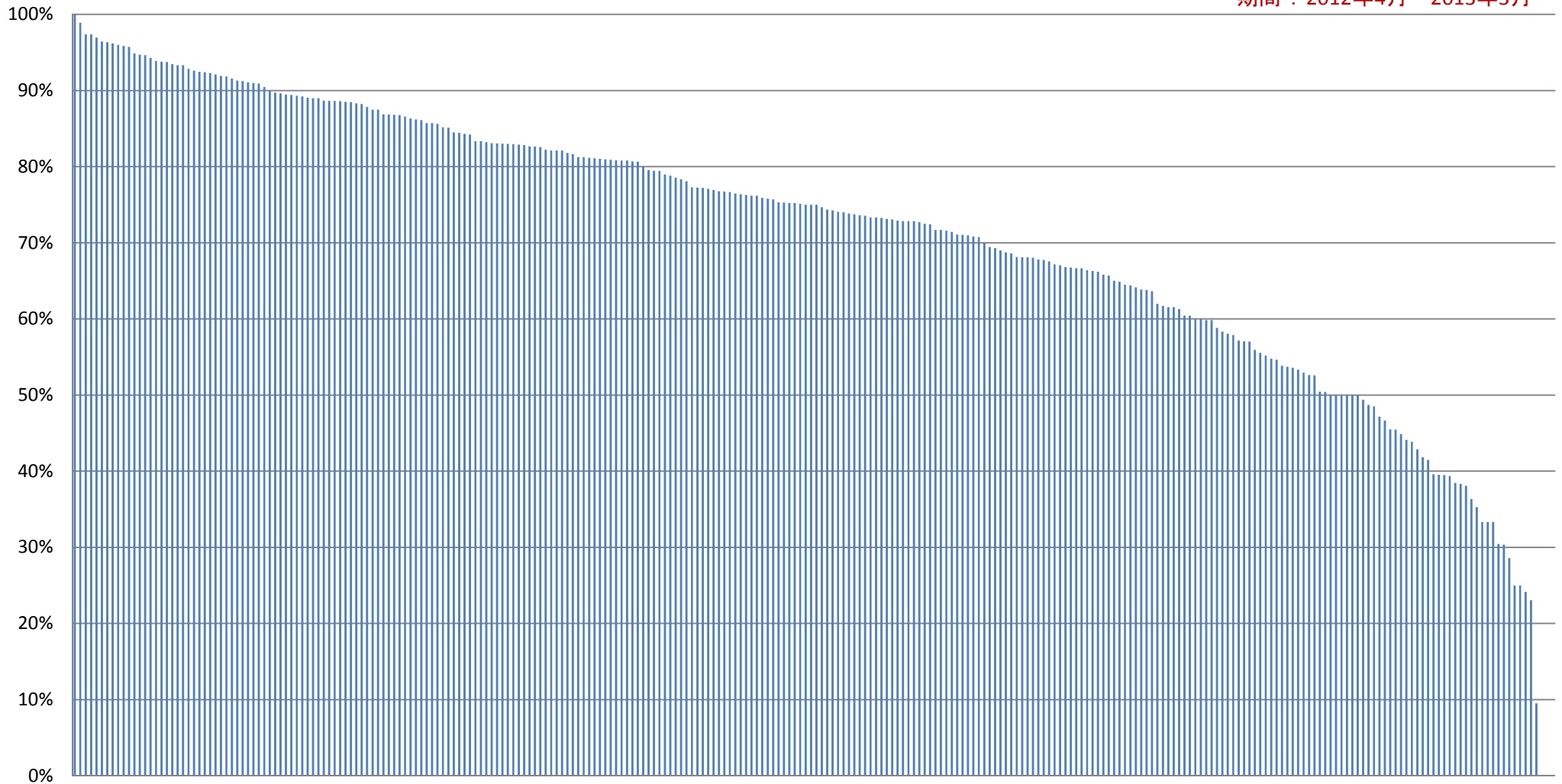


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

脳卒中の診断で入院し、リハビリ治療のための評価を受けた症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

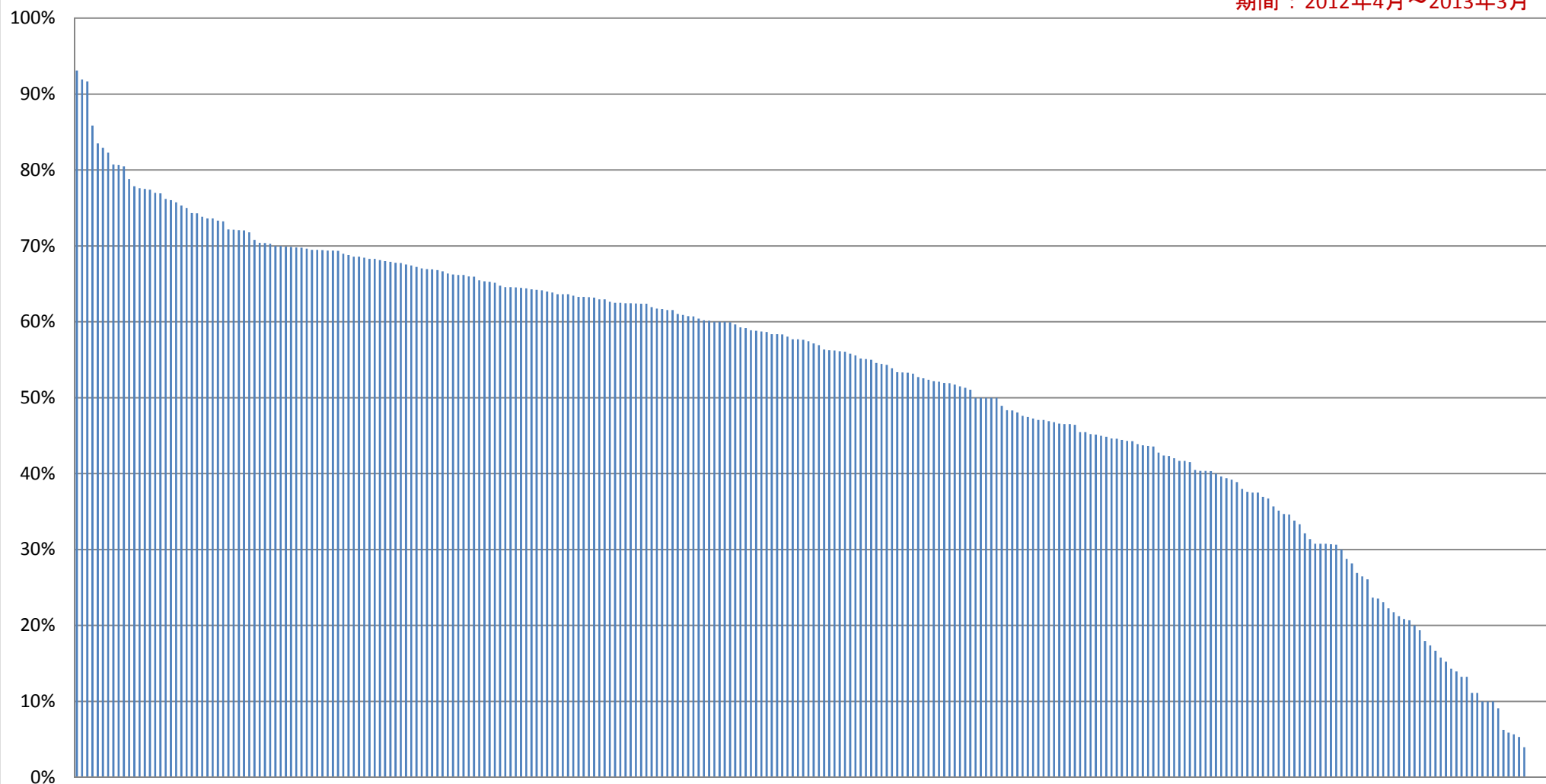


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

脳梗塞(TIA含む)の診断で入院し、第2病日までに抗血栓療法を受けた症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

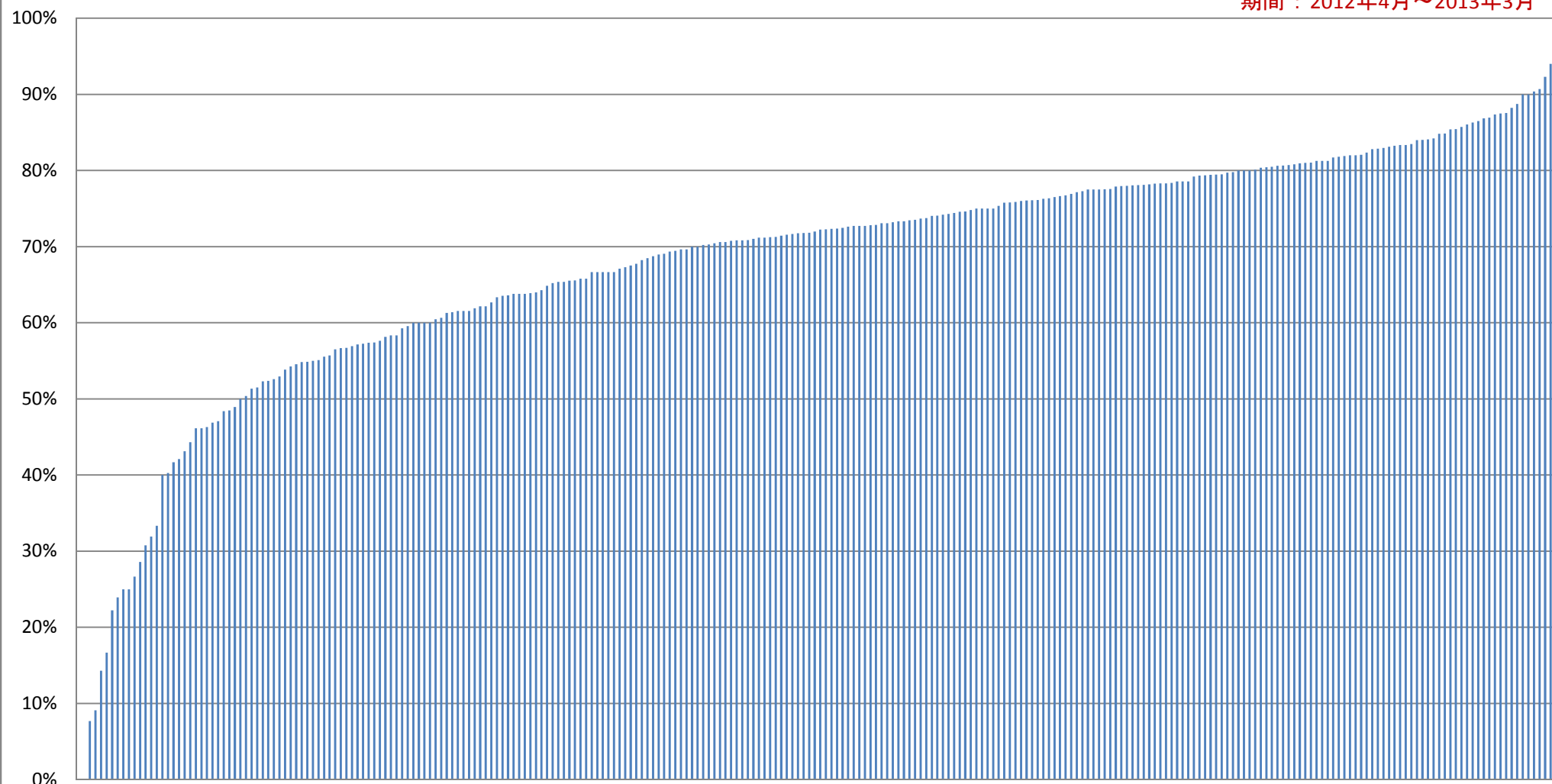


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

脳梗塞(TIA含む)の診断で入院し、退院時に抗血小板薬を処方された症例

期間：2012年4月～2013年3月

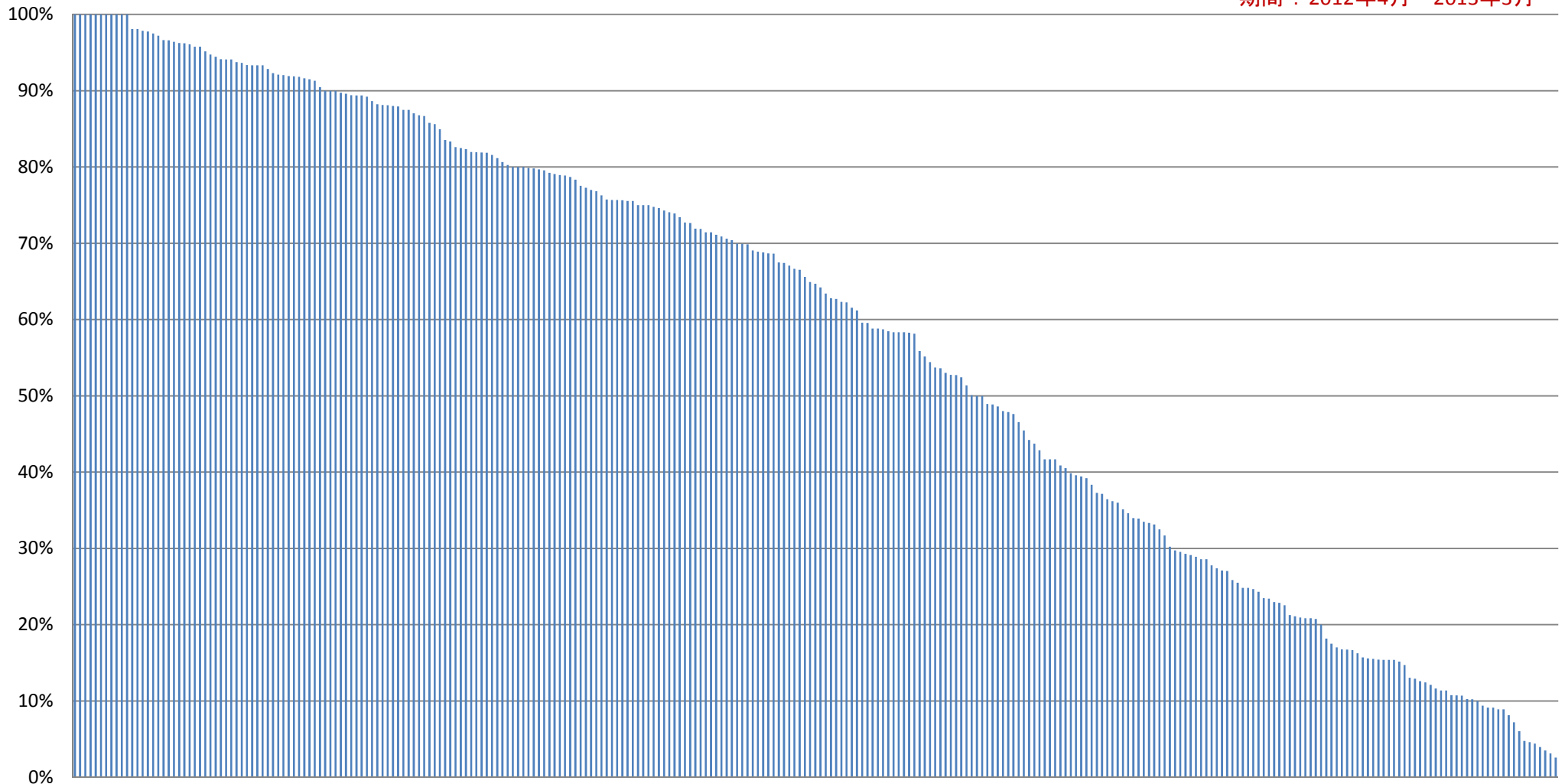


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

脳梗塞(TIA含む)の診断で入院し、入院中に未分画ヘパリンを投与されなかった症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

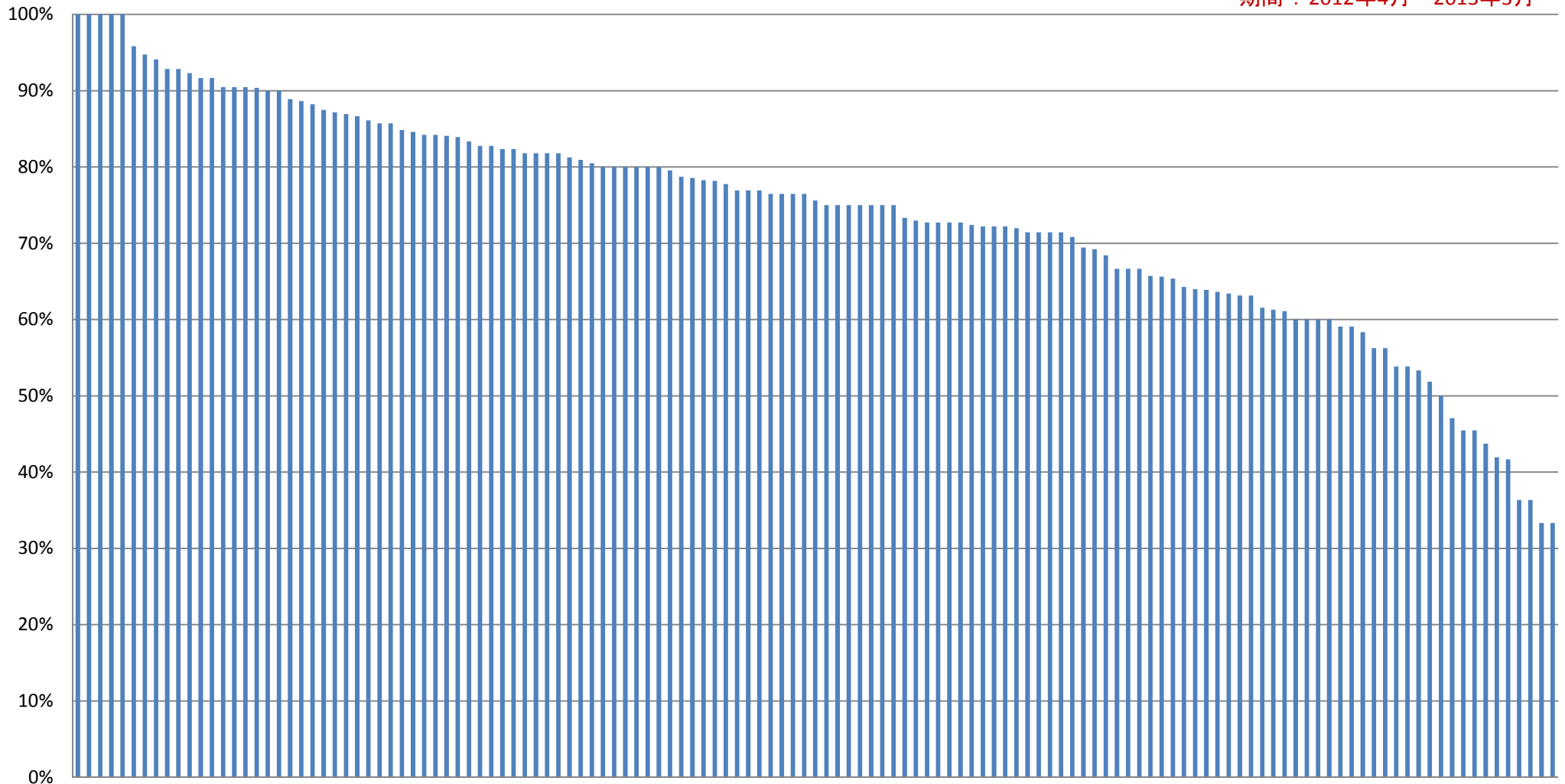


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

心房細動を合併する脳梗塞(TIA含む)の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例

期間：2012年4月～2013年3月

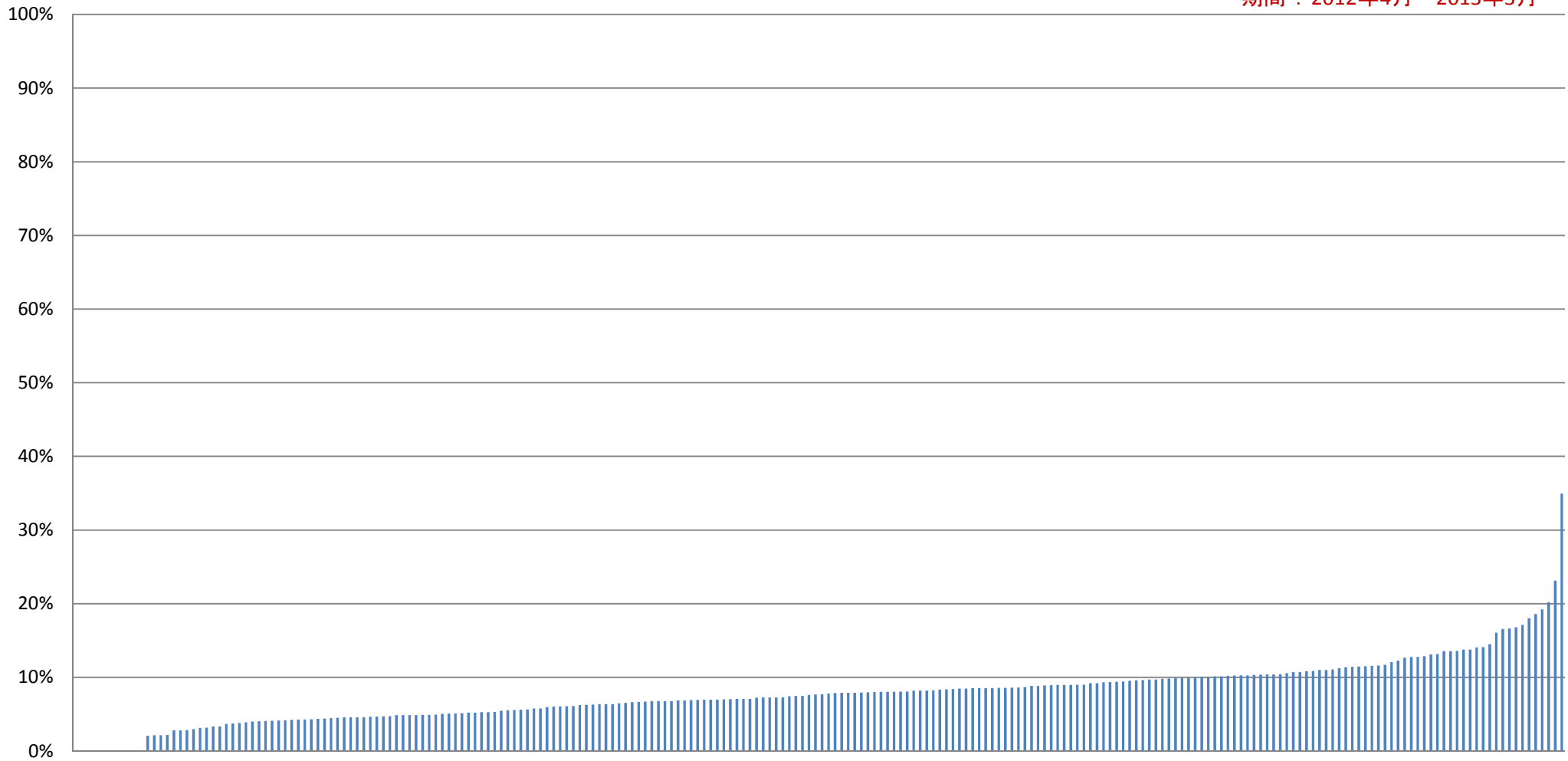


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性期脳梗塞のリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



2010年4月から2013年3月 在院日数では90日以内、期間症例数20例未満は解析対象とするが集計から除外

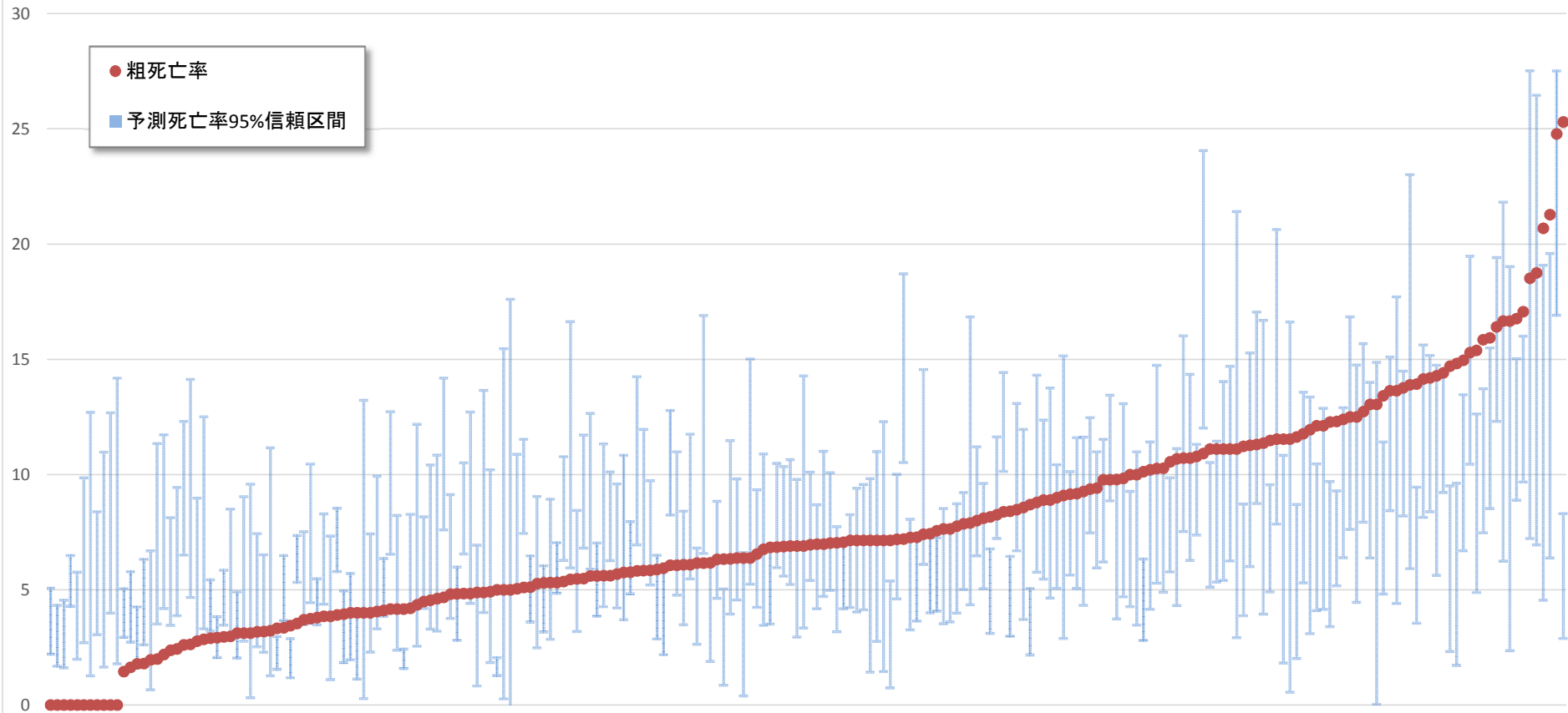
2012年度粗死亡率 7.7%、c-statistics: 0.896

モデル投入変数: 年齢, 性別JCS(Japan Coma Scale)(入院時), ADLスコア(入院時), Modified Rankin Scale(入院時), 入院時併存症の有無(高血圧、心房細動、動脈血栓症、糖尿病、脂質異常症), 48時間以内挿管有無、脳卒中の発症時期 →2010年、2011年度を同時に解析、2012年度を別に解析

※病院記号は表にてご確認ください。

急性期脳梗塞のリスク調整院内死亡率 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月



2010年4月から2013年3月 在院日数では90日以内、期間症例数20例未満は解析対象とするが集計から除外

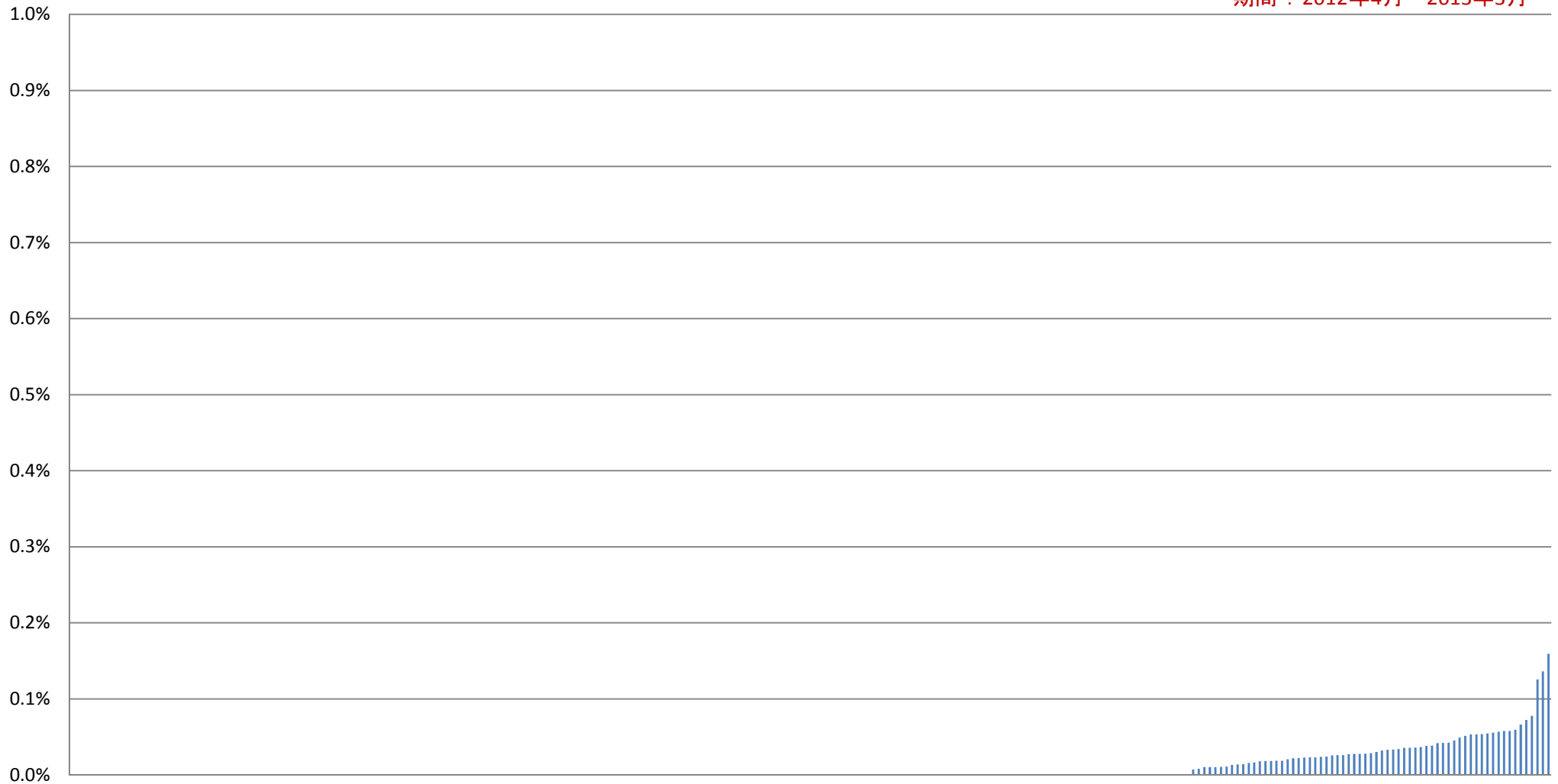
2012年度粗死亡率 7.7%、c-statistics: 0.896

モデル投入変数：年齢, 性別JCS(Japan Coma Scale)(入院時), ADLスコア(入院時), Modified Rankin Scale(入院時), 入院時併存症の有無(高血圧、心房細動、動脈血栓症、糖尿病、脂質異常症), 48時間以内挿管有無、脳卒中の発症時期 →2010年、2011年度を同時に解析、2012年度を別に解析

※病院記号は表にてご確認ください。

医原性気胸の発生割合(18歳以上)

期間：2012年4月～2013年3月

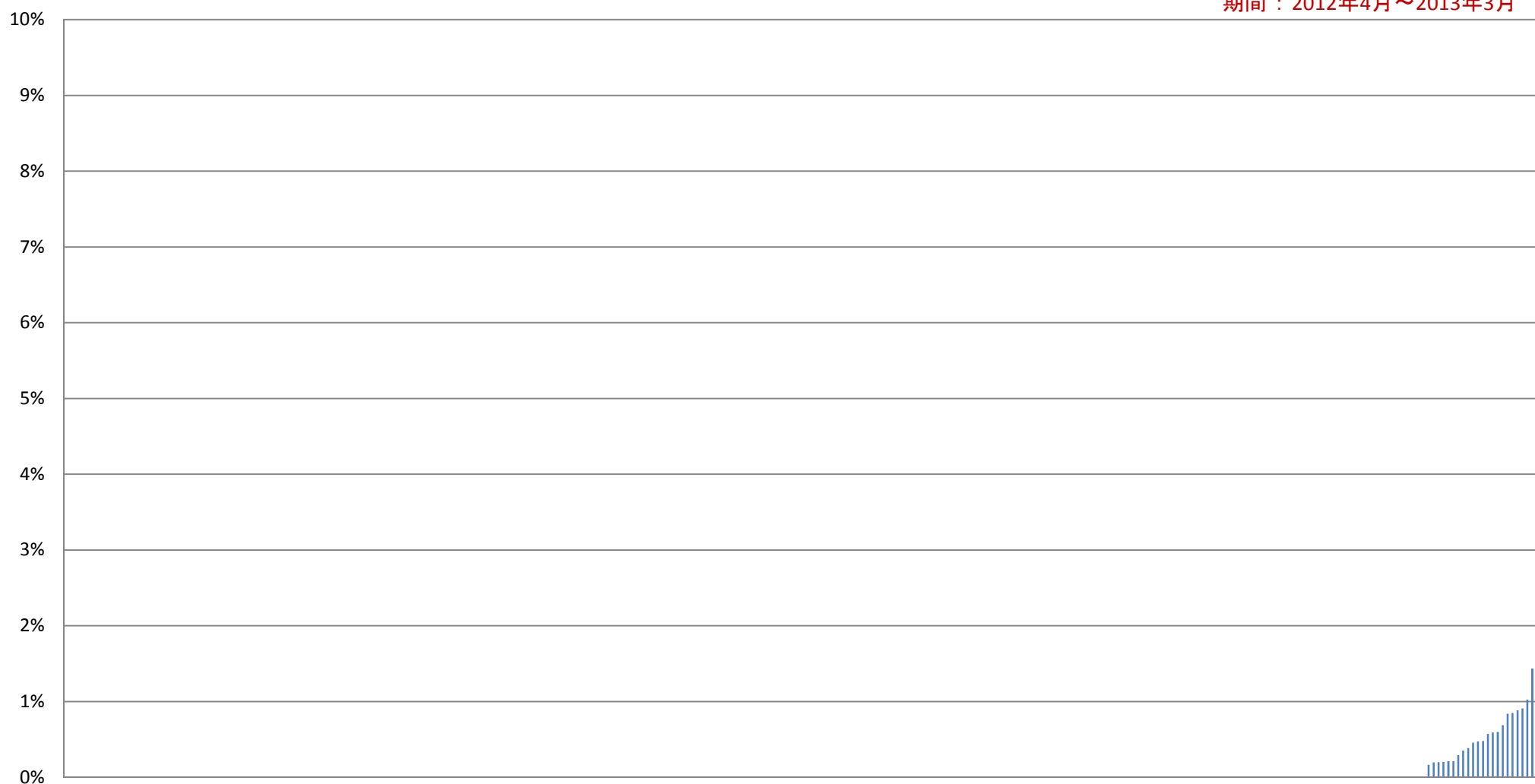


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸の合併率

期間：2012年4月～2013年3月

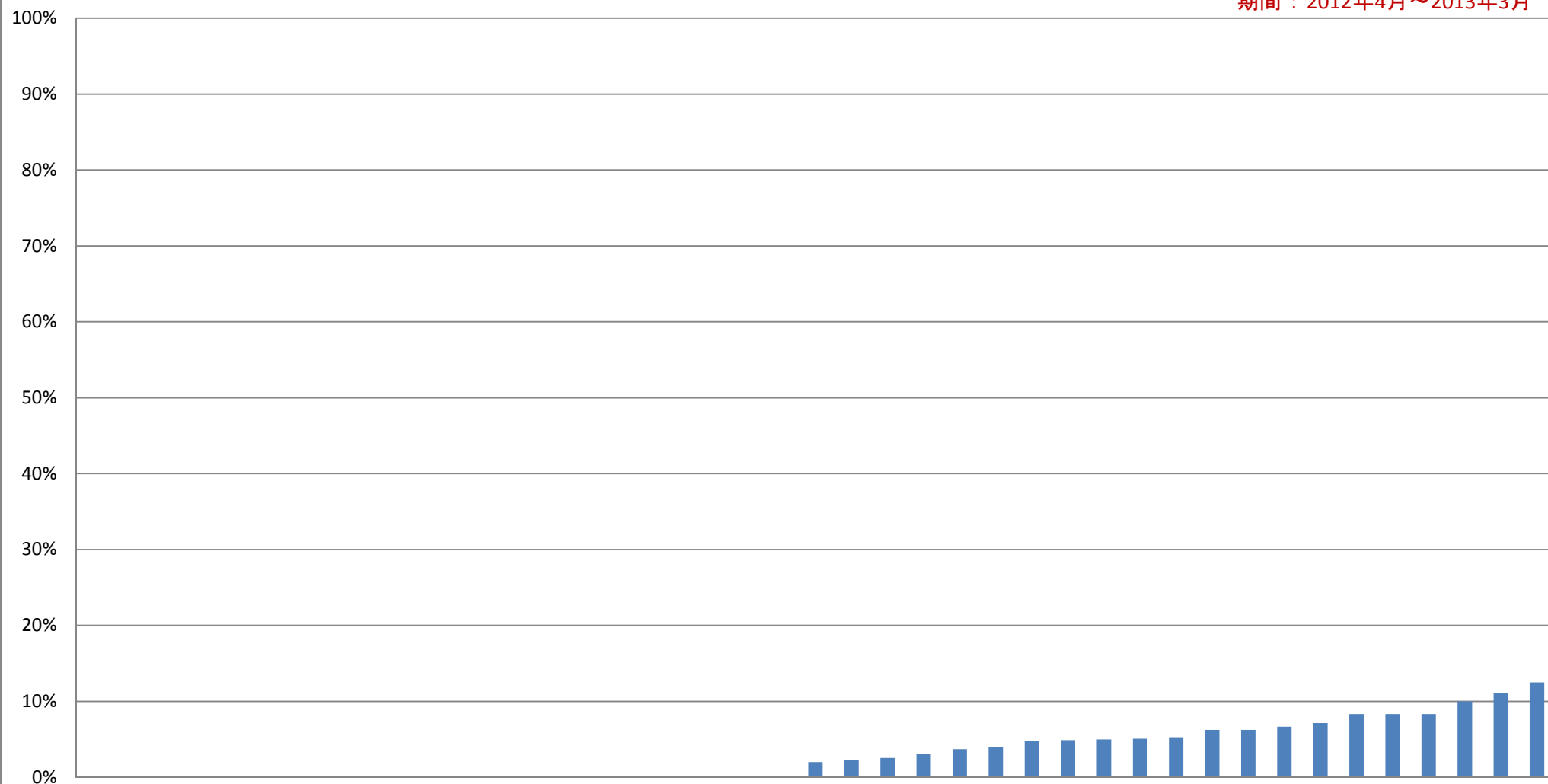


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

経胸壁的肺/縦隔生検を実施した症例において、手技後に治療を要する気胸や血胸が生じた症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

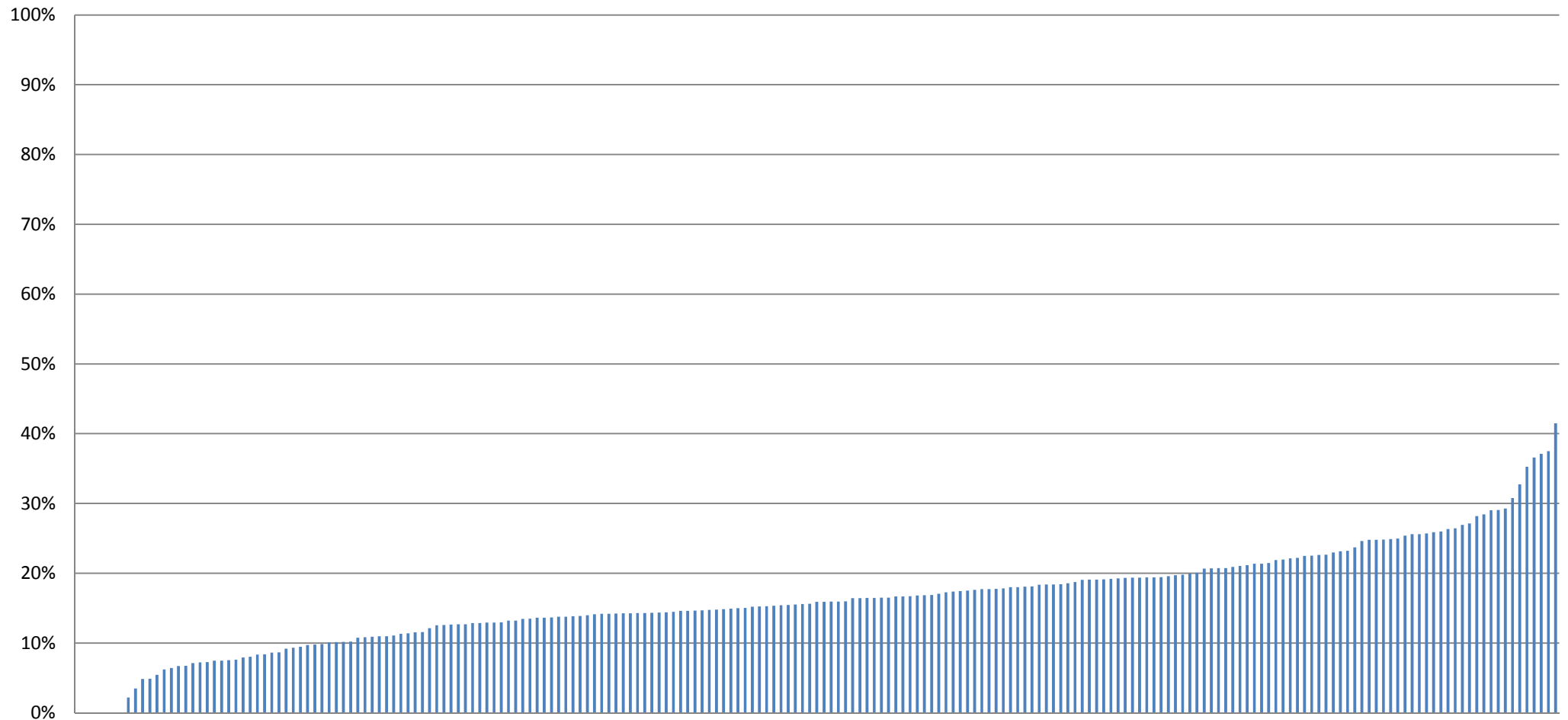


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

肺炎死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数20例未満は解析対象とするが集計から除外

2012年度粗死亡率 15.5%

モデル投入変数：肺炎重症度（2010、2011年度は4桁、2012年度は7桁のうちはじめ4桁で計算、2012年度は7桁目が「5：市中肺炎」である症例のみ、2010、2011年度と2012年度は別別に解析、年度ごとに集計）

※病院記号は表にてご確認ください。

術後肺塞栓症発症数および発症率(緊急手術を除く)

期間：2012年4月～2013年3月

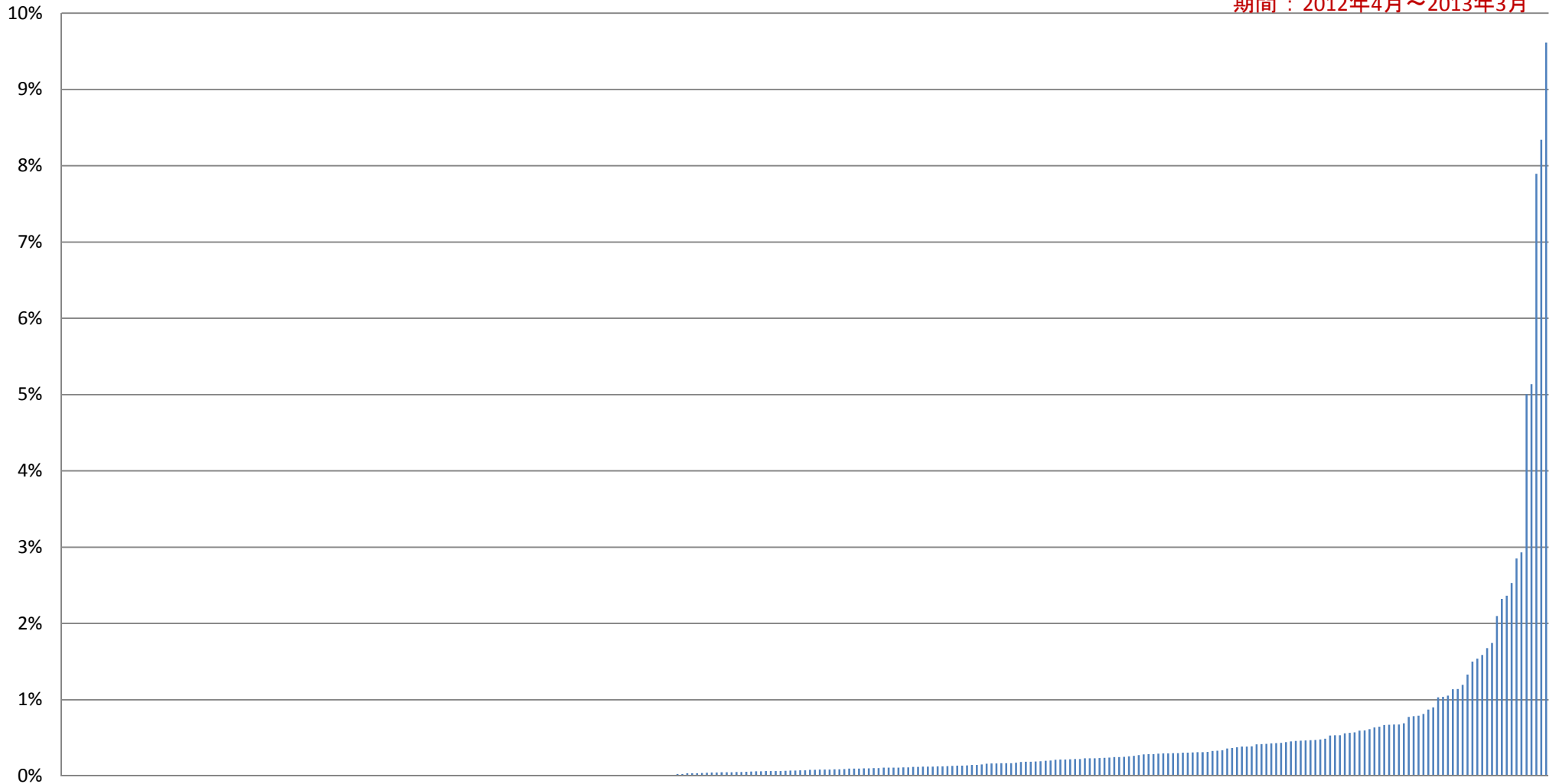


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

術後呼吸不全発症率(緊急手術を除く)

期間：2012年4月～2013年3月

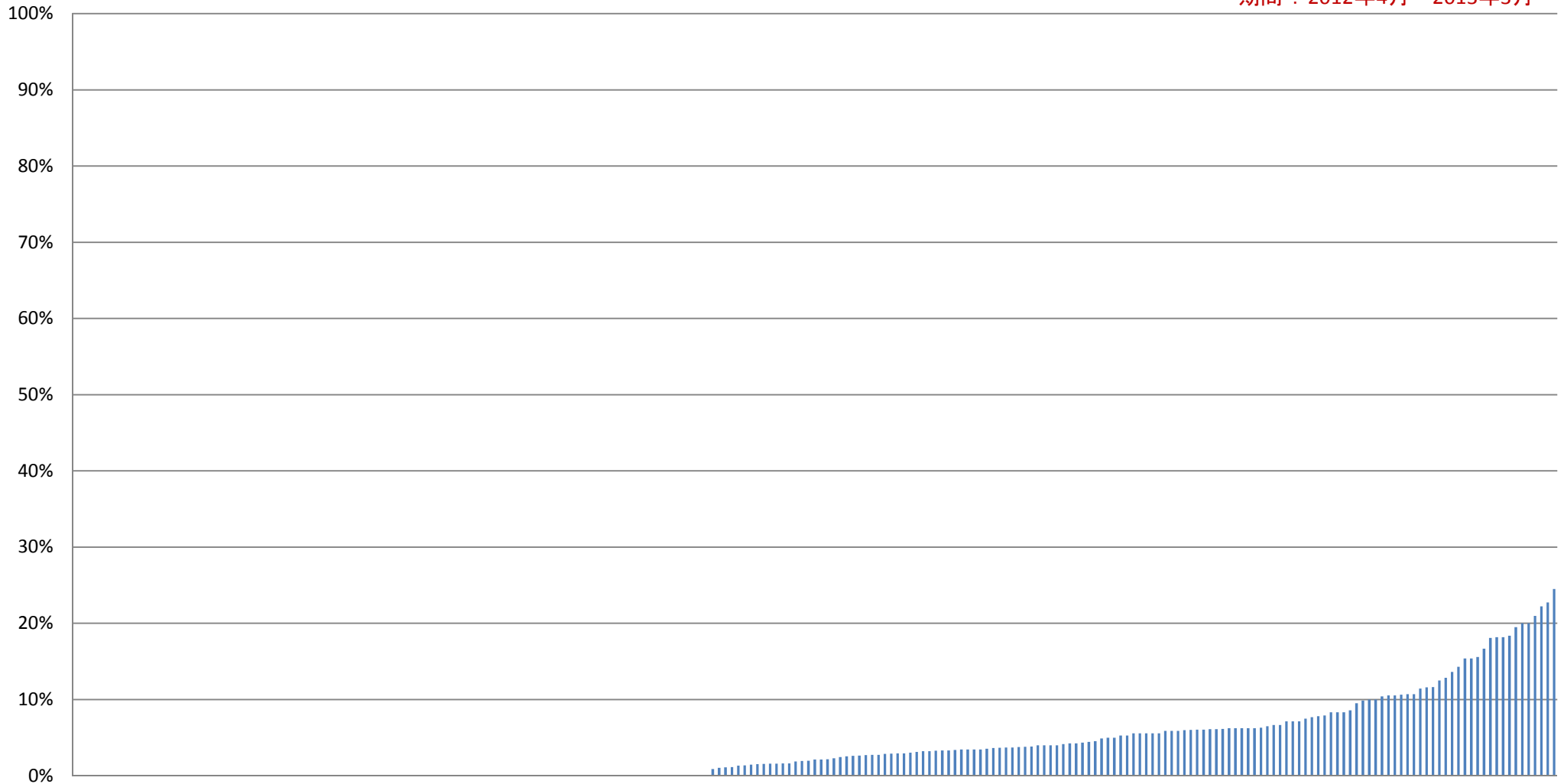


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

喘息入院患者における退院後30日間以内の同一施設再入院割合

期間：2012年4月～2013年3月

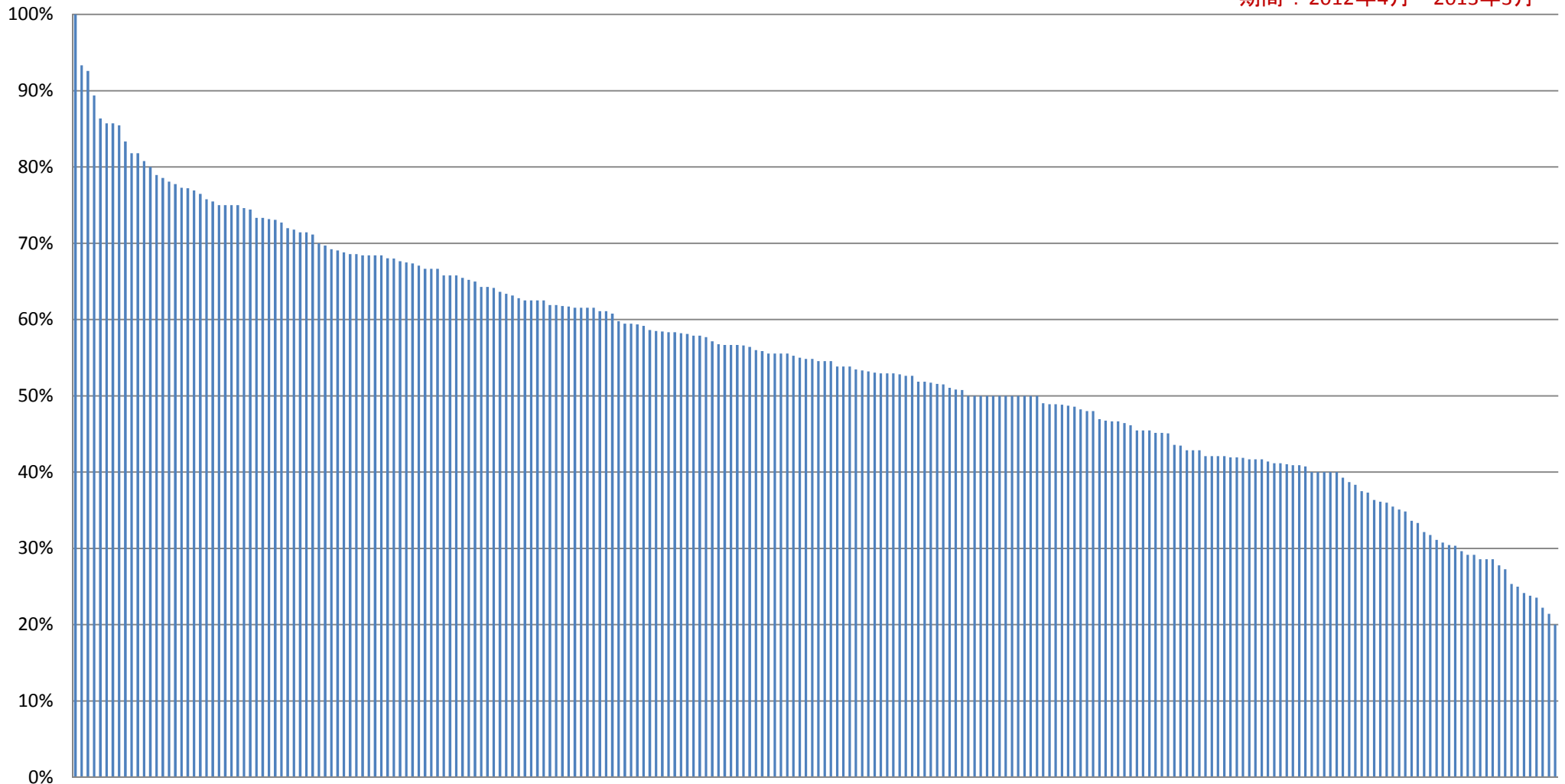


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合

期間：2012年4月～2013年3月

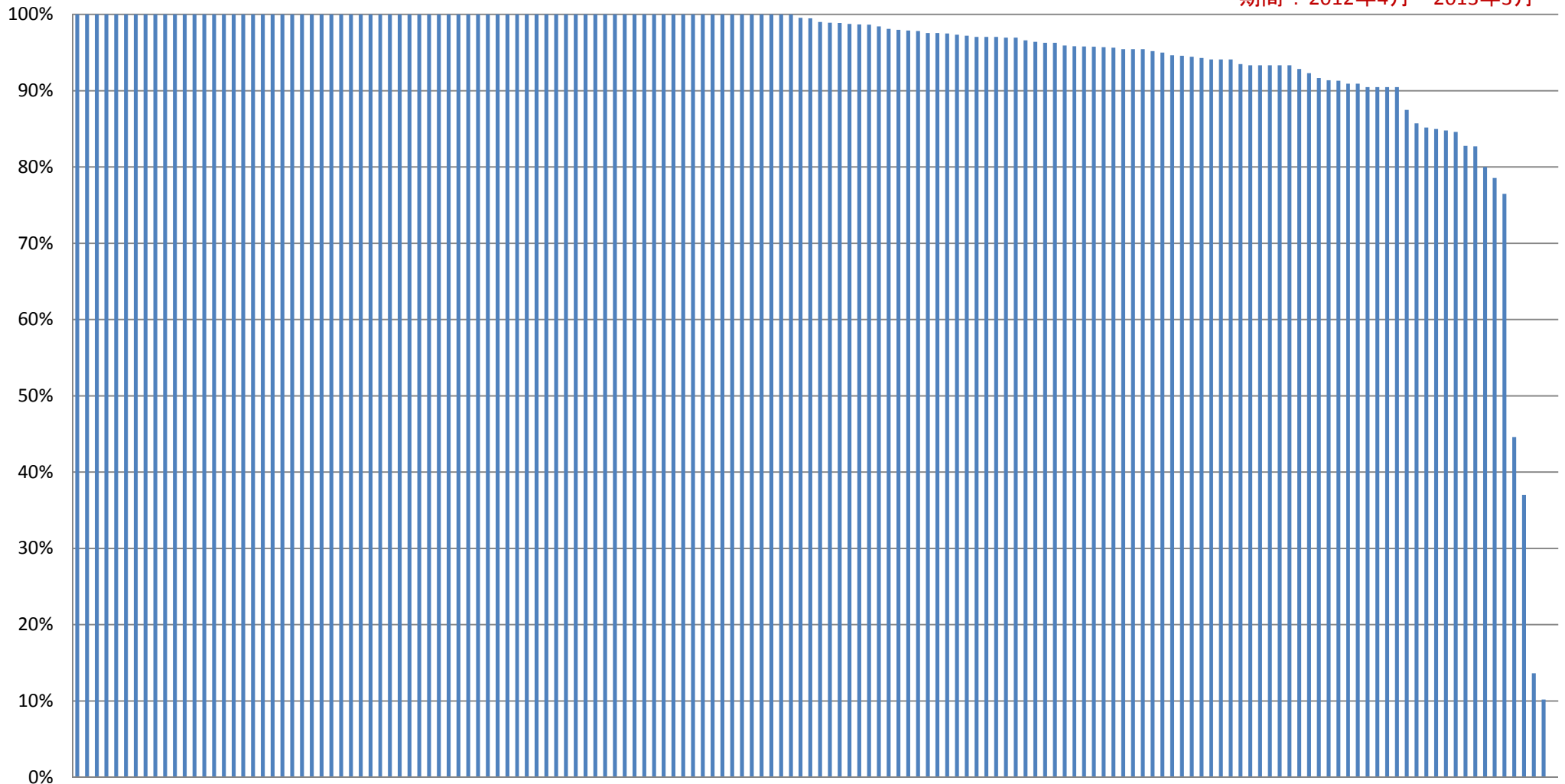


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

小児喘息に対して入院中に発作治療薬を処方された症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

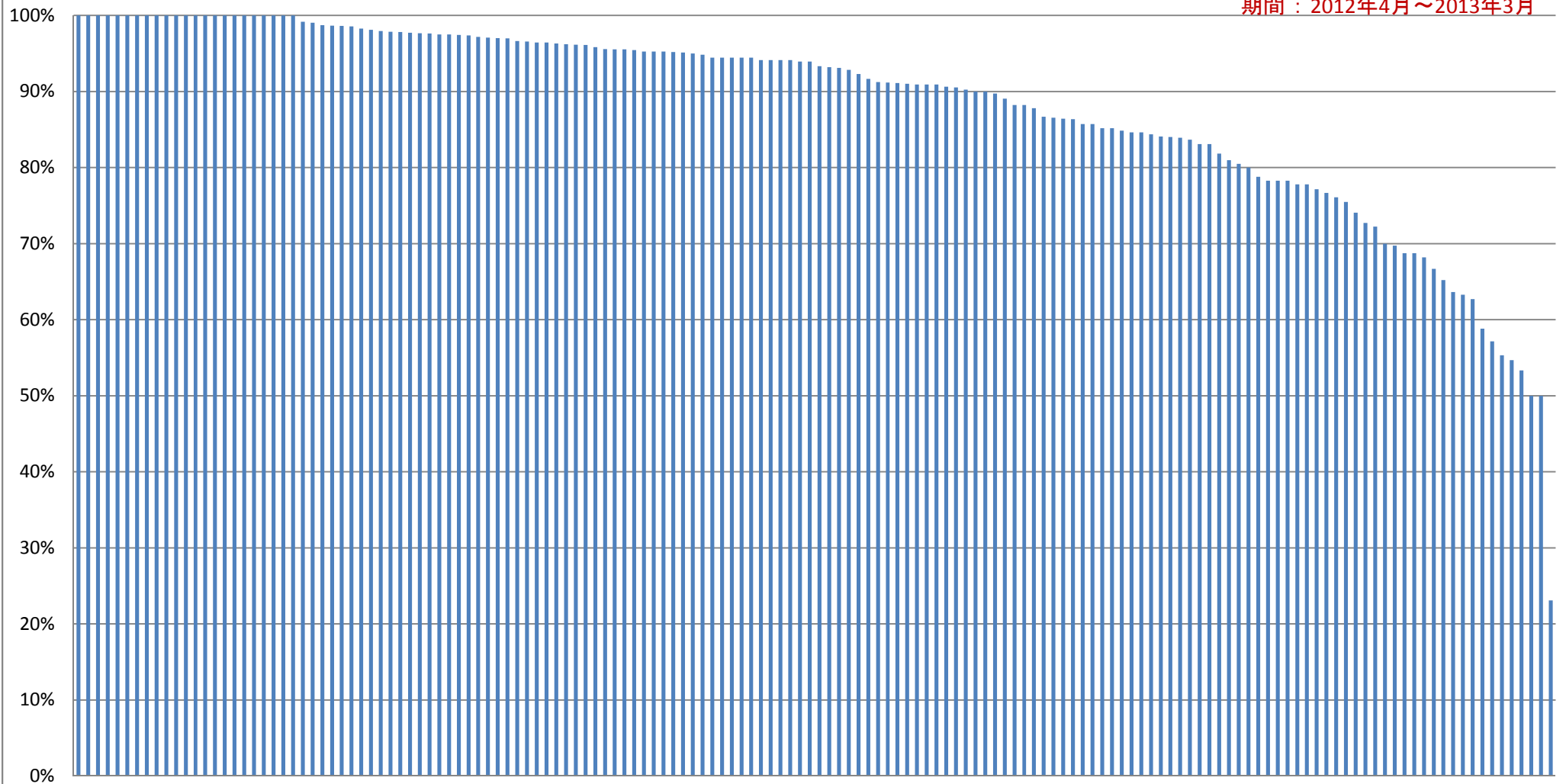


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

小児喘息に対して入院中にステロイドの全身投与(静注・経口)を受けた症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

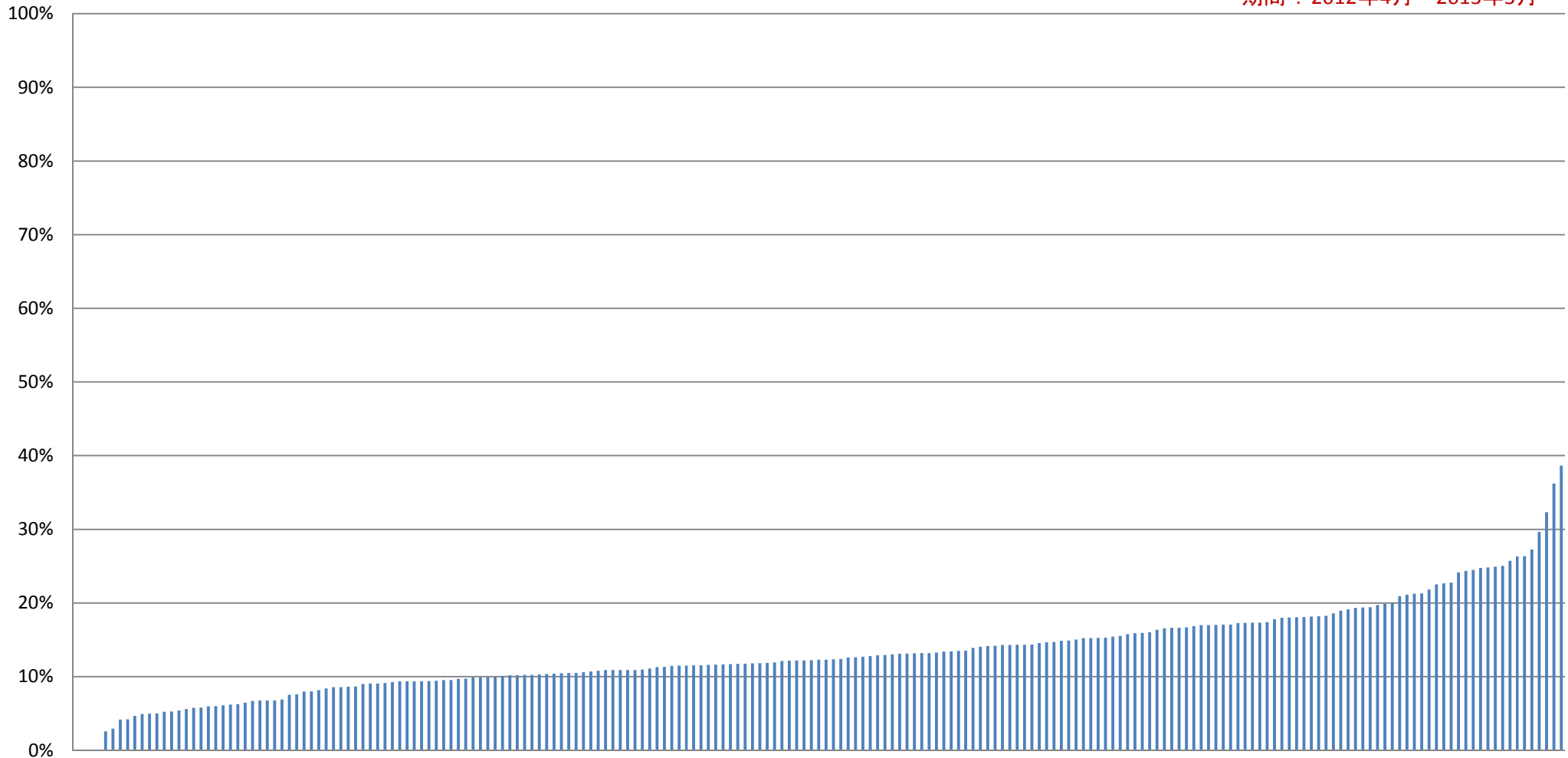


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心筋梗塞(AMI)患者におけるリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数10例未満は解析対象とするが集計から除外

2012年度解析対象：282病院、11819症例

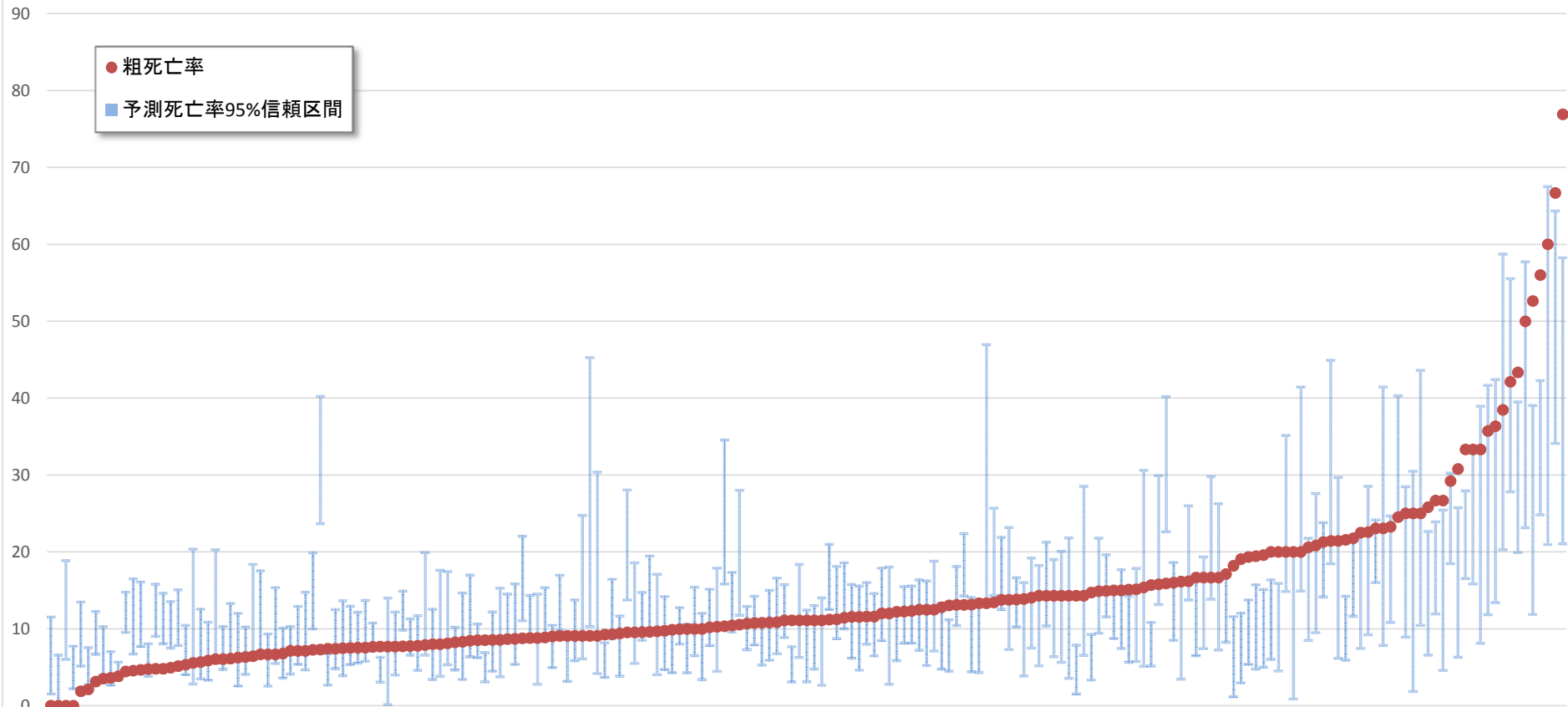
粗死亡率 12.751%、c-statistics: 0.894 (95%CI 0.886-0.902)

モデル投入変数：年齢、性別、予定・緊急入院+救急搬送有無、併存症、AMI程度・部位・続発性合併症、48時間以内補助循環・電氣的除細動(Killip分類は8-9割が有効でないため投入せず)

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心筋梗塞(AMI)患者におけるリスク調整院内死亡率 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数10例未満は解析対象とするが集計から除外

2012年度解析対象：282病院、11819症例

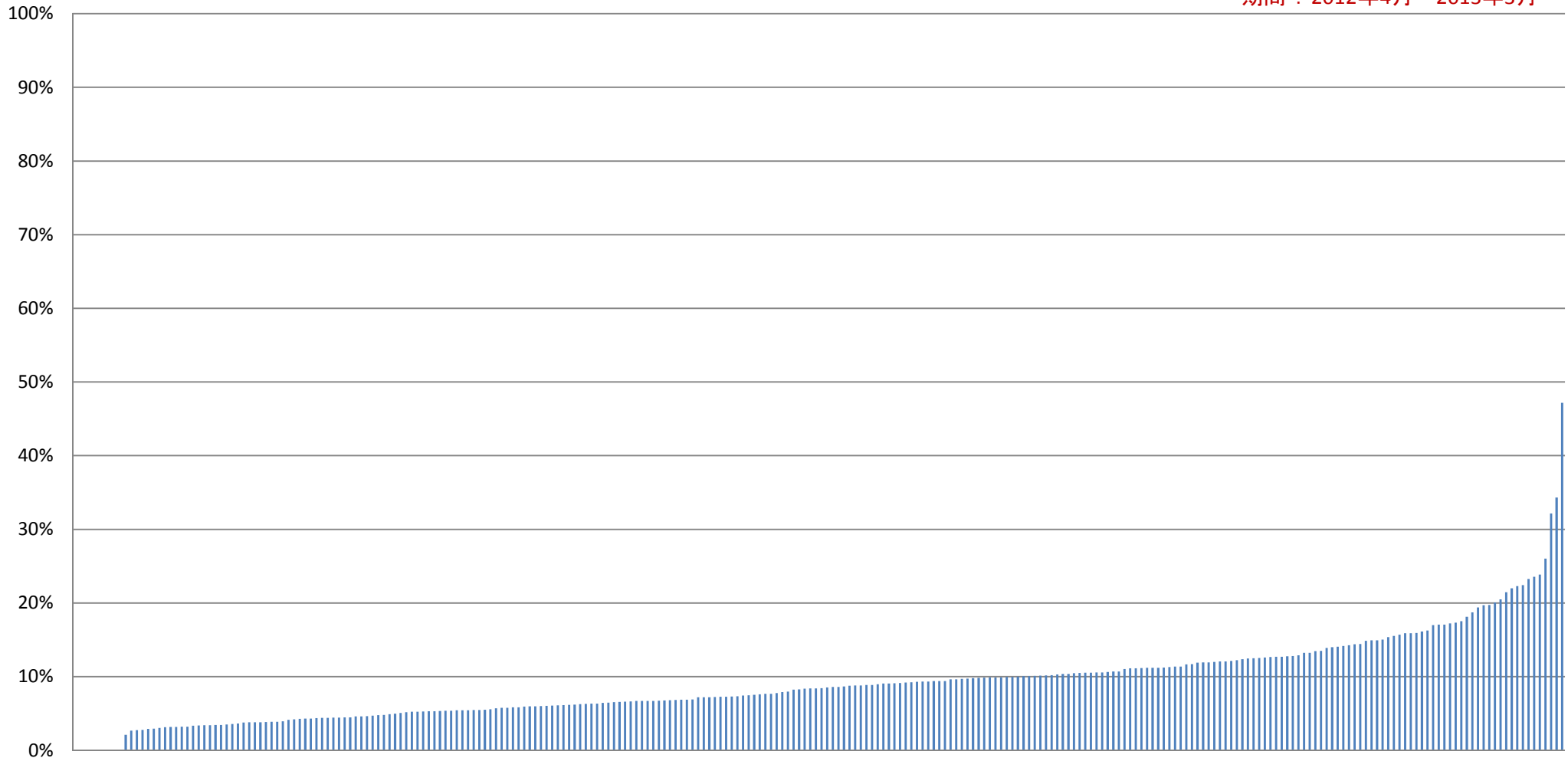
粗死亡率 12.751%、c-statistics: 0.894 (95%CI 0.886-0.902)

モデル投入変数：年齢、性別、予定・緊急入院+救急搬送有無、併存症、AMI程度・部位・続発性合併症、48時間以内補助循環・電氣的除細動(Killip分類は8-9割が有効でないため投入せず)

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心不全(AHF)患者におけるリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除外

最新2012年度解析対象：295病院、23692症例

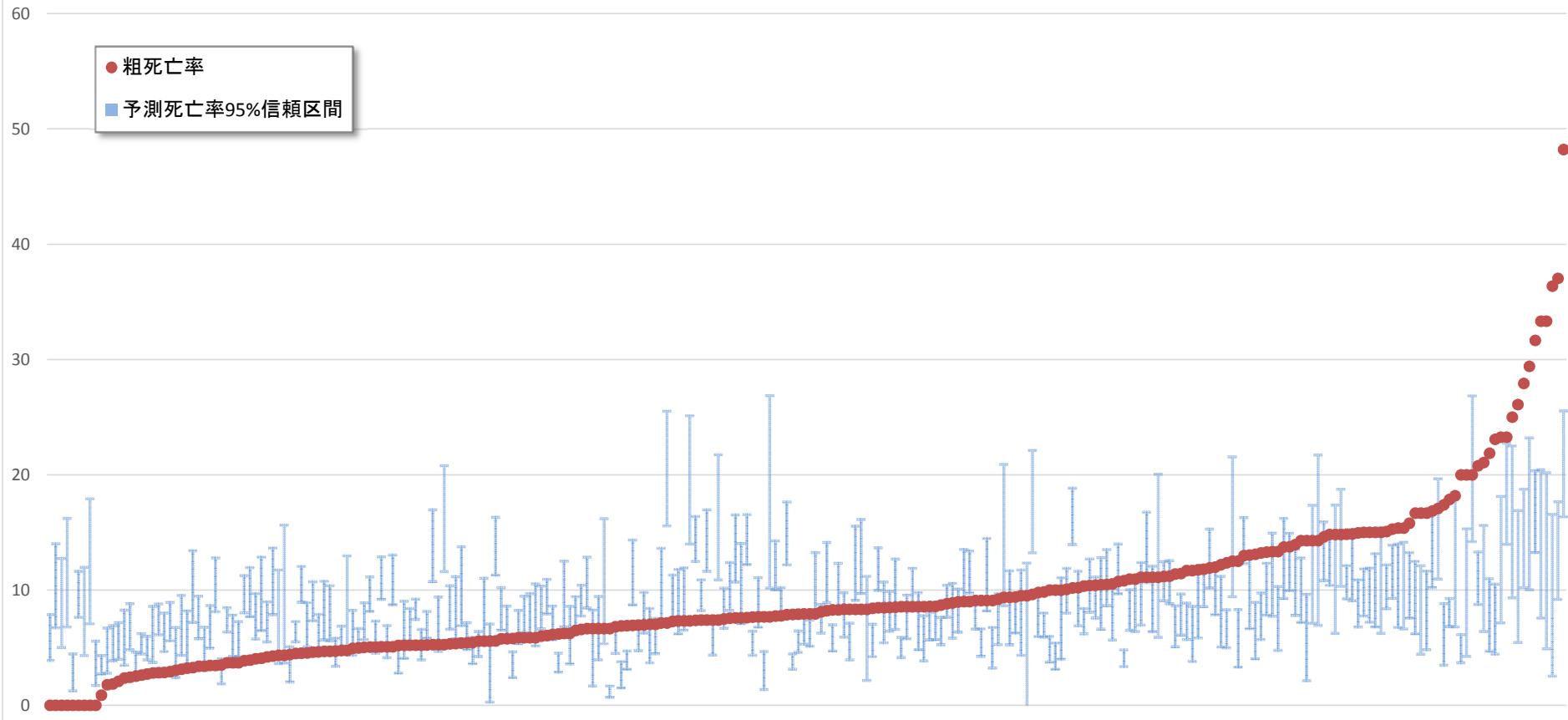
粗死亡率 8.433%、c-statistics: 0.808(95%CI 0.798-0.817)

モデル投入変数：年齢、性別、予定・緊急入院+救急搬送有無、NYHA分類(入院時)、48時間以内気管内挿管有無、入院時併存症(虚血性心疾患、高血圧症、糖尿病ほか定義書通り)

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心不全(AHF)患者におけるリスク調整院内死亡率 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除外

最新2012年度解析対象：295病院、23692症例

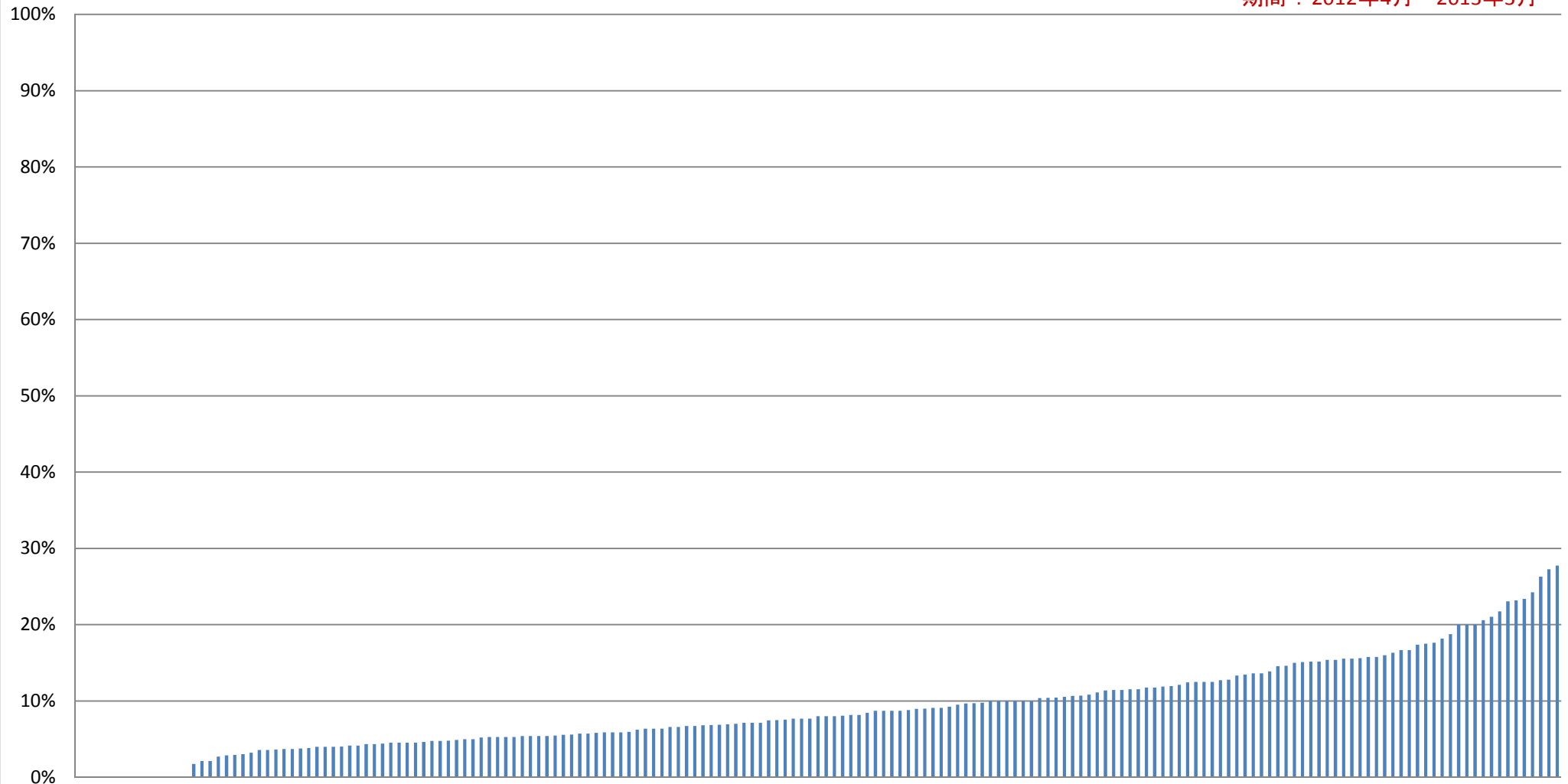
粗死亡率 8.433%、c-statistics: 0.808 (95%CI 0.798-0.817)

モデル投入変数：年齢、性別、予定・緊急入院+救急搬送有無、NYHA分類(入院時)、48時間以内気管内挿管有無、入院時併存症(虚血性心疾患、高血圧症、糖尿病ほか定義書通り)

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心筋梗塞退院後、30日以内の同病院再入院率(再入院の理由を問わない)

期間：2012年4月～2013年3月

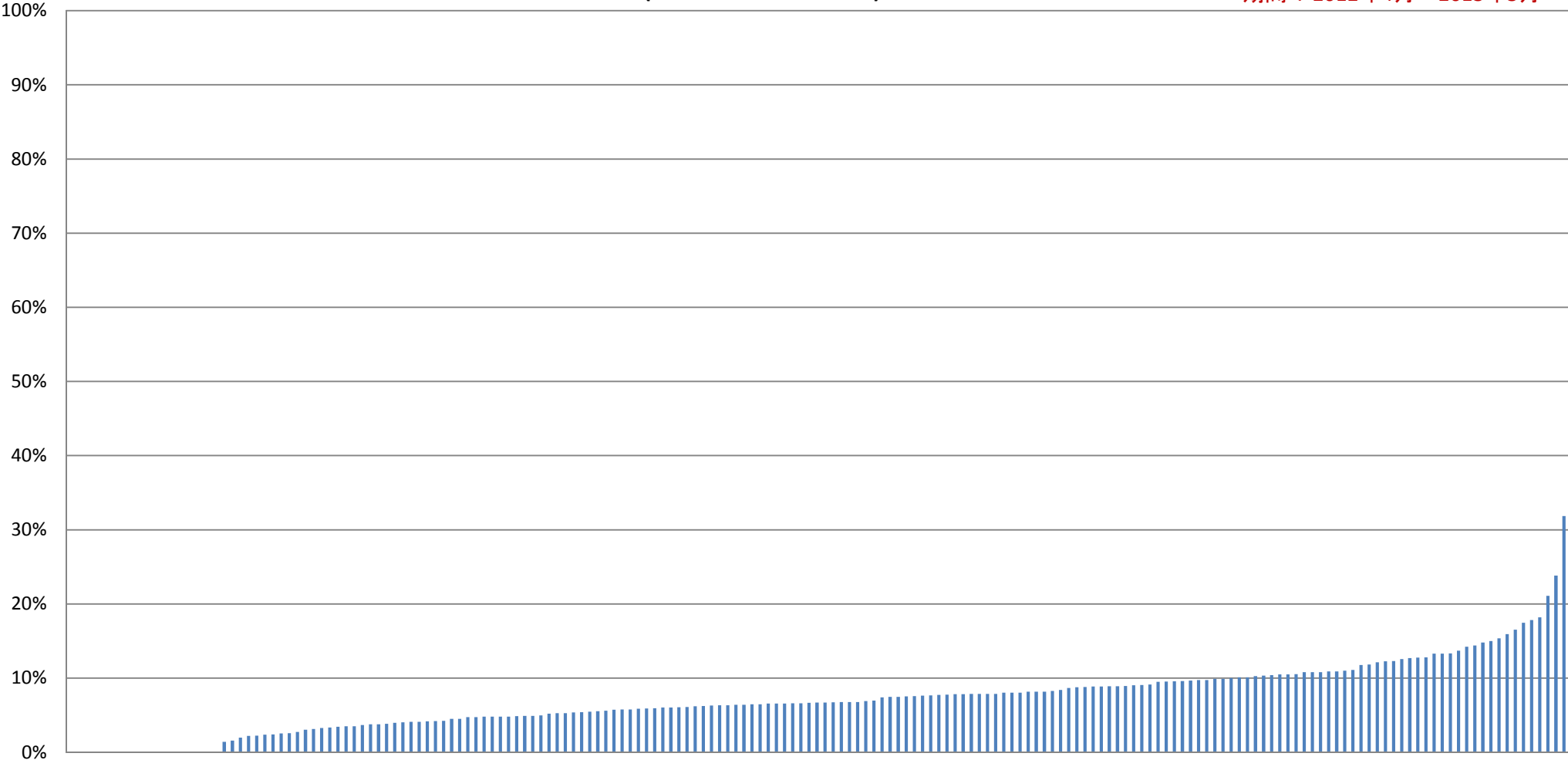


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

経皮的冠動脈形成術(PCI)患者における疾患別リスク調整院内死亡率
(A) 急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)のリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除外

2012年度解析対象：227病院、9875症例

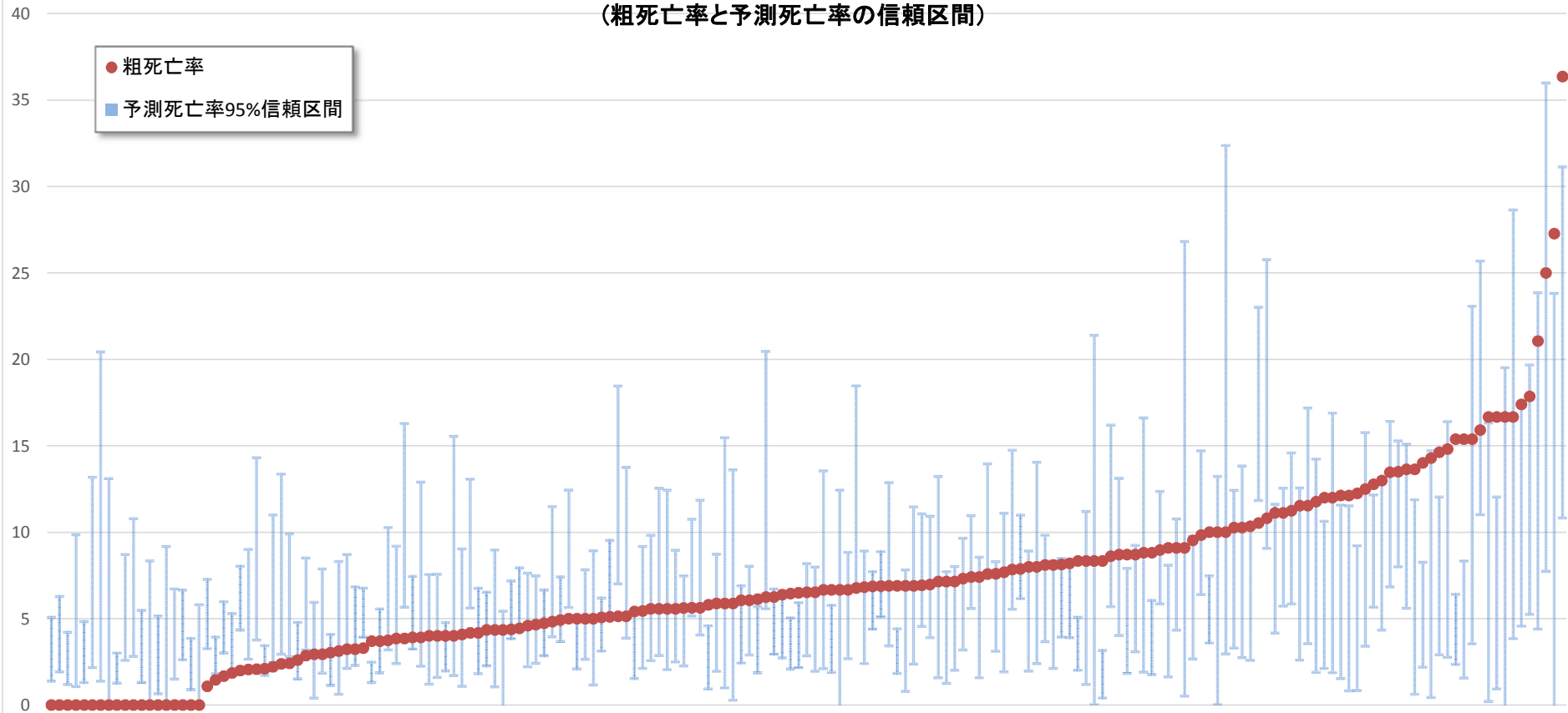
粗死亡率 6.785%、c-statistics: 0.903(95%CI 0.891-0.915)

モデル投入変数：年齢、性別、予定・緊急入院+救急搬送有無ほか定義書通り(ただし、Killip分類は8-9割が有効でないため投入せず)

※病院記号は表にてご確認ください。

経皮的冠動脈形成術(PCI)患者における疾患別リスク調整院内死亡率
 (A) 急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)のリスク調整院内死亡率
 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除外

2012年度解析対象：227病院、9875症例

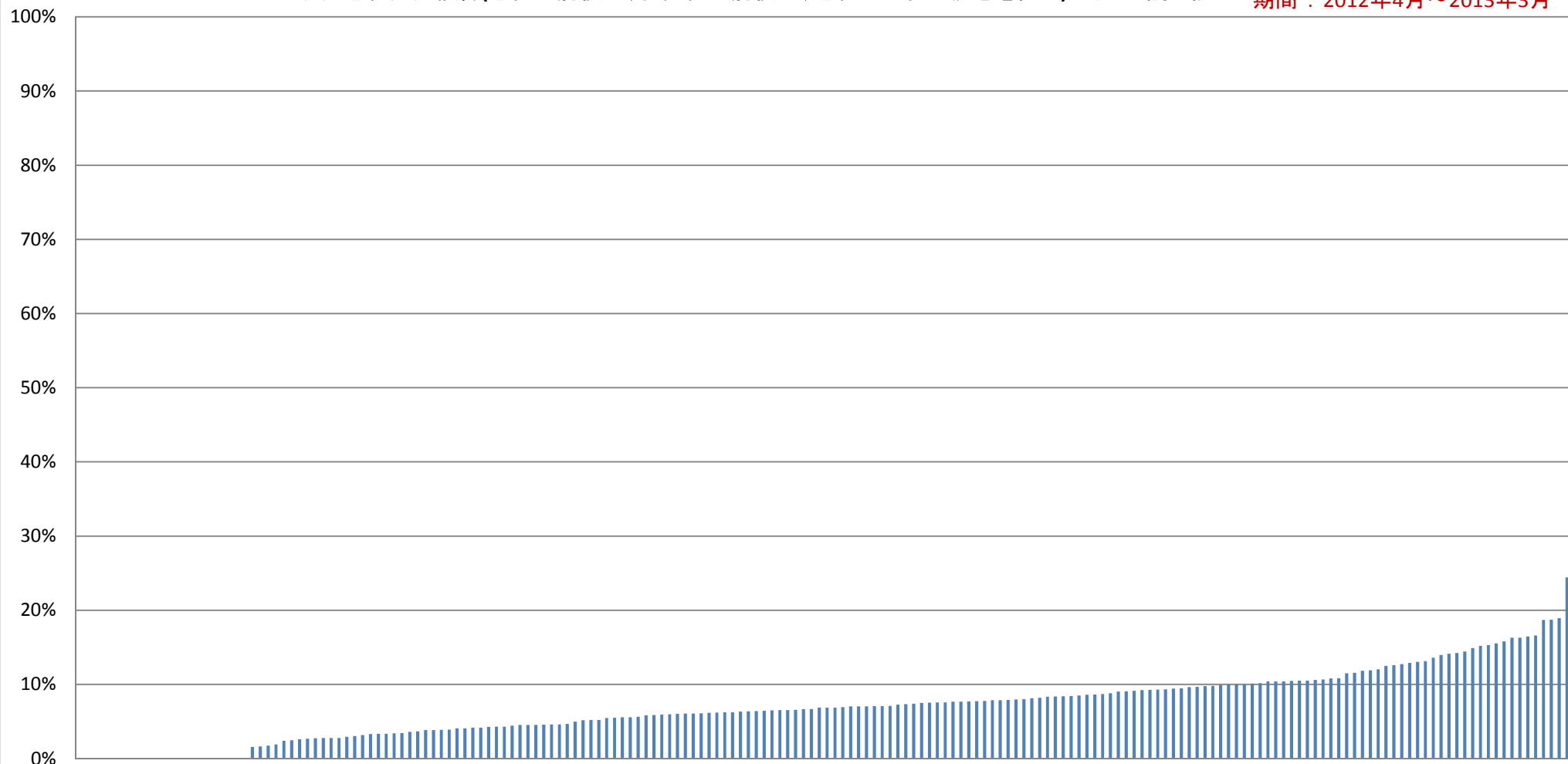
粗死亡率 6.785%、c-statistics: 0.903 (95%CI 0.891-0.915)

モデル投入変数：年齢、性別、予定・緊急入院+救急搬送有無ほか定義書通り(ただし、Killip分類は8-9割が有効でないため投入せず)

※病院記号は表にてご確認ください。

経皮的冠動脈形成術(PCI)患者における疾患別リスク調整院内死亡率
(B) 急性冠症候群(急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞、急性虚血性心疾患を含む)のリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除外

2012年度解析対象：229病院、10436症例

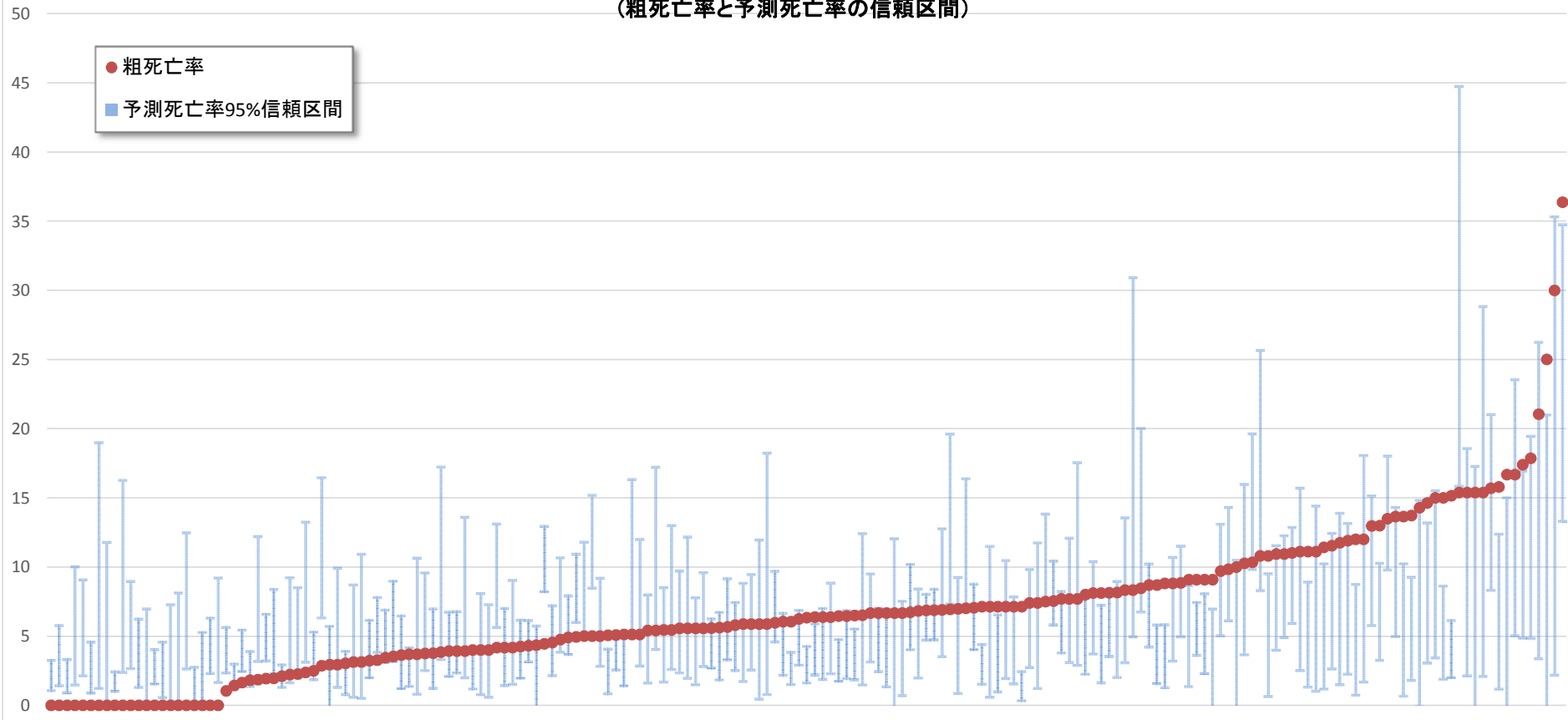
粗死亡率 6.564%、c-statistics: 0.916(95%CI 0.905-0.927)

モデル投入変数：年齢、性別、予定・緊急入院+救急搬送有無ほか定義書通り

※病院記号は表にてご確認ください。

経皮的冠動脈形成術(PCI)患者における疾患別リスク調整院内死亡率
 (B) 急性冠症候群(急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞、急性虚血性心疾患を含む)のリスク調整院内死亡率
 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間: 2012年4月~2013年3月



データ参照期間: 2012年4月~2013年3月退院分。結果表示: 10症例未満の病院は除外
 2012年度解析対象: 229病院、10436症例
 粗死亡率 6.564%、c-statistics: 0.916(95%CI 0.905-0.927)
 モデル投入変数: 年齢、性別、予定・緊急入院+救急搬送有無ほか定義書通り

※病院記号は表にてご確認ください。

経皮的冠動脈形成術(PCI)患者における疾患別リスク調整院内死亡率
(c) 狭心症、慢性虚血性心疾患のリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除外

2012年度解析対象：232病院、26989症例

粗死亡率 0.289%、c-statistics: 0.920(95%CI 0.890-0.950)

モデル投入変数：年齢、性別、予定・緊急入院+救急搬送有無ほか定義書通り

※病院記号は表にてご確認ください。

経皮的冠動脈形成術(PCI)患者における疾患別リスク調整院内死亡率
(C) 狭心症、慢性虚血性心疾患のリスク調整院内死亡率
(粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月

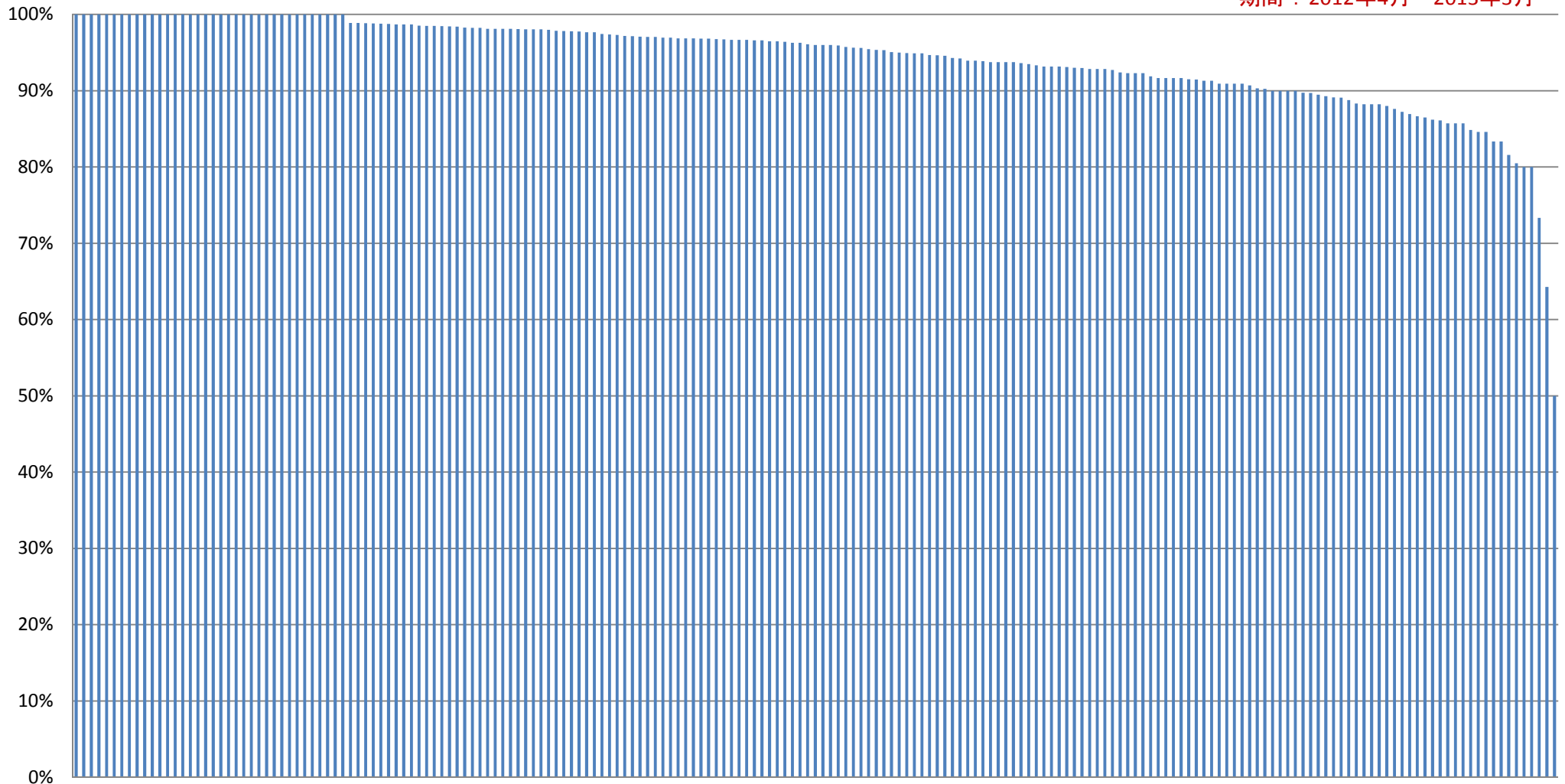


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除外
2012年度解析対象：232病院、26989症例
粗死亡率 0.289%、c-statistics: 0.920(95%CI 0.890-0.950)
モデル投入変数：年齢、性別、予定・緊急入院+救急搬送有無ほか定義書通り

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心筋梗塞患者におけるアスピリン投与割合

期間：2012年4月～2013年3月

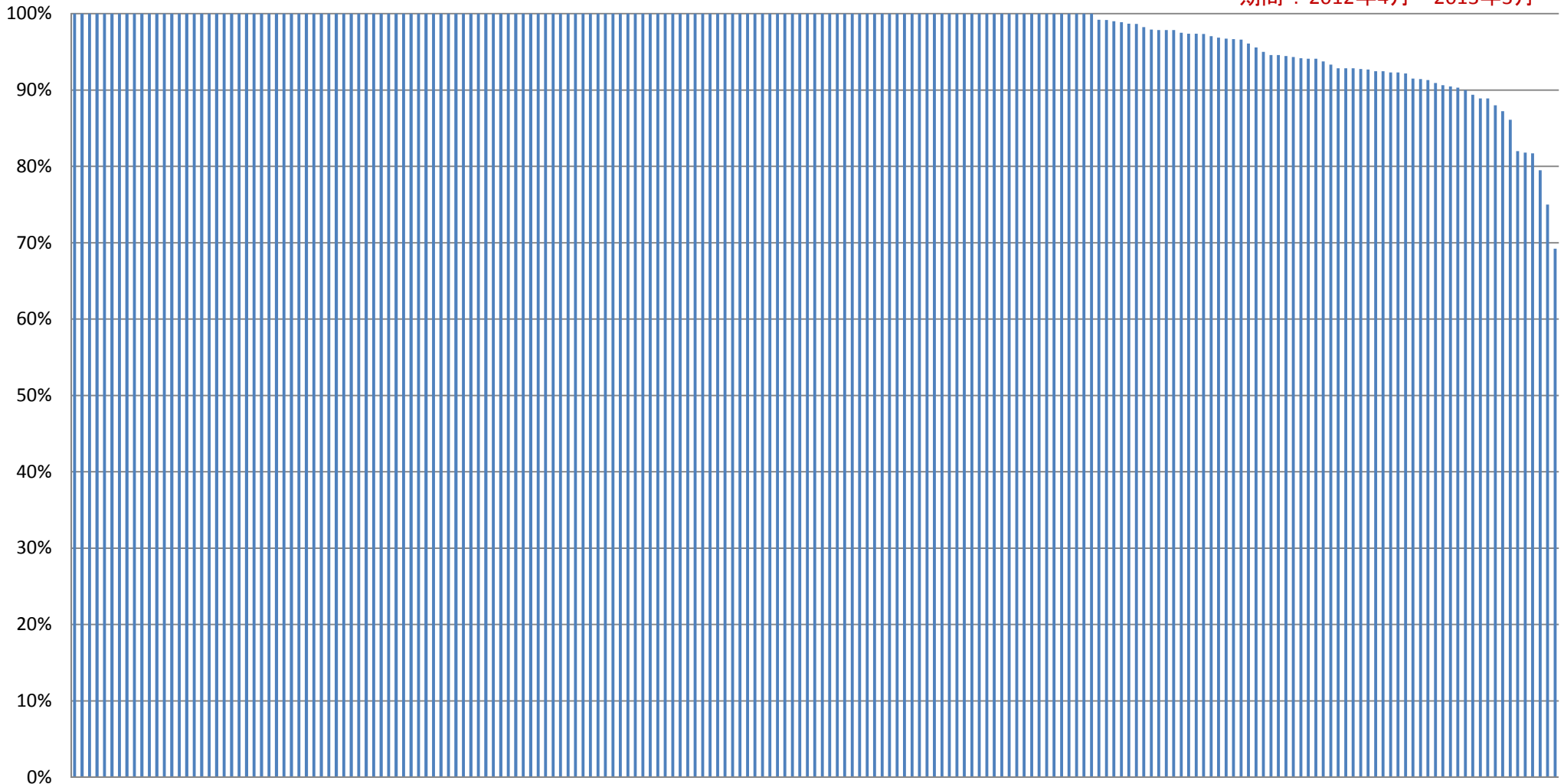


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合

期間 : 2012年4月～2013年3月

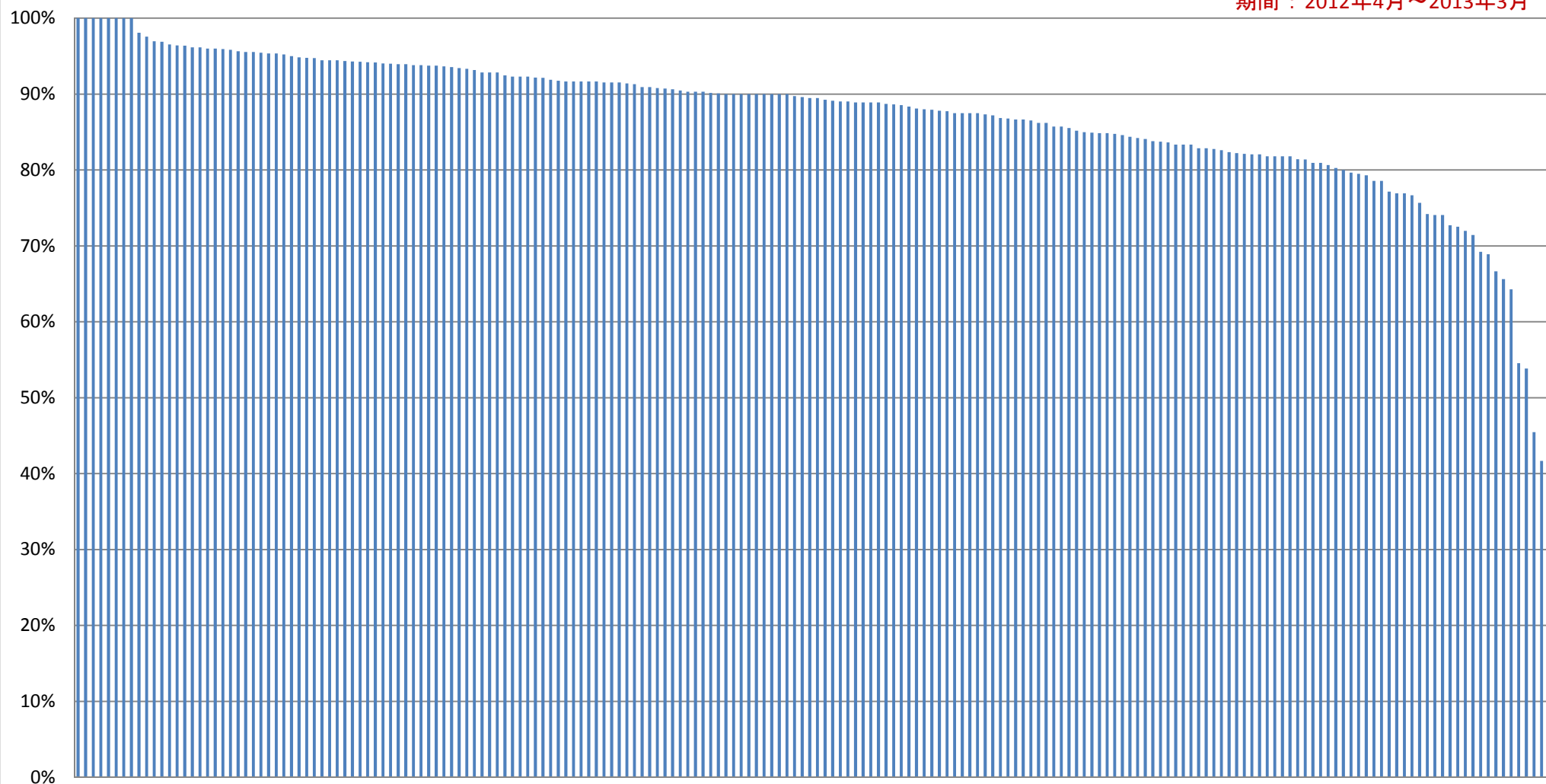


データ参照期間: 2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合

期間：2012年4月～2013年3月

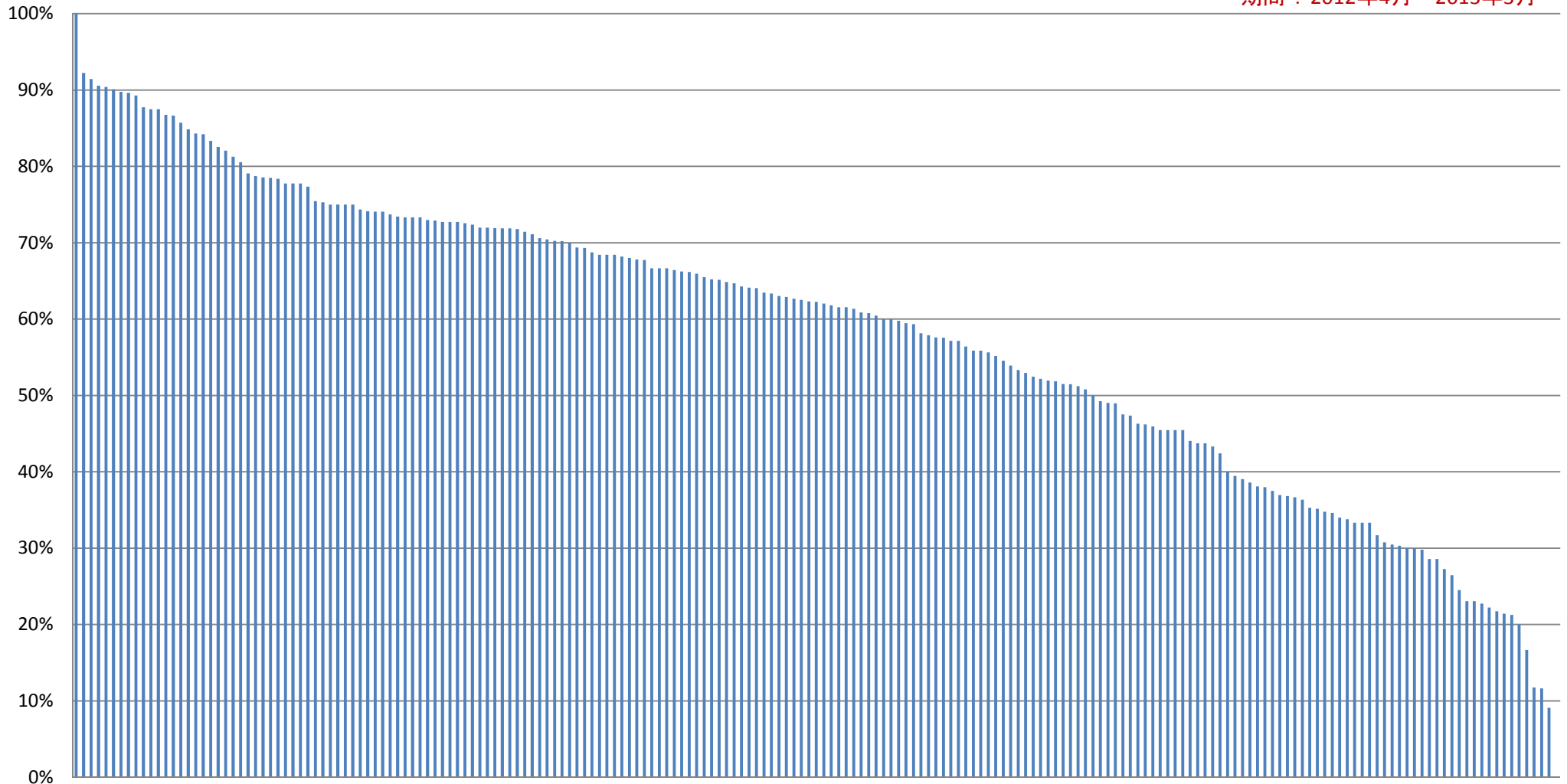


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心筋梗塞患者におけるβブロッカー投与割合

期間：2012年4月～2013年3月

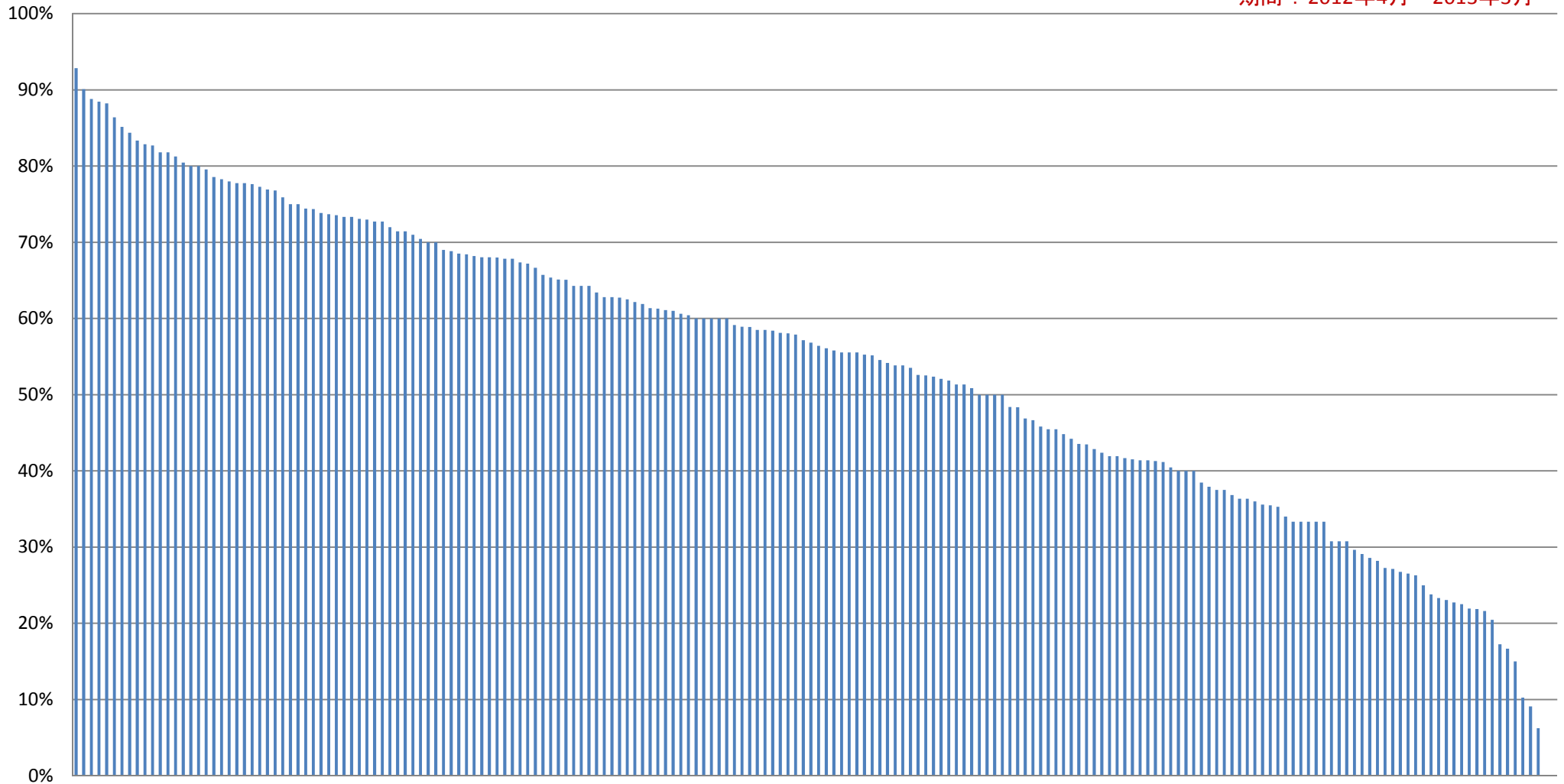


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心筋梗塞患者における退院時βブロッカー投与割合

期間：2012年4月～2013年3月

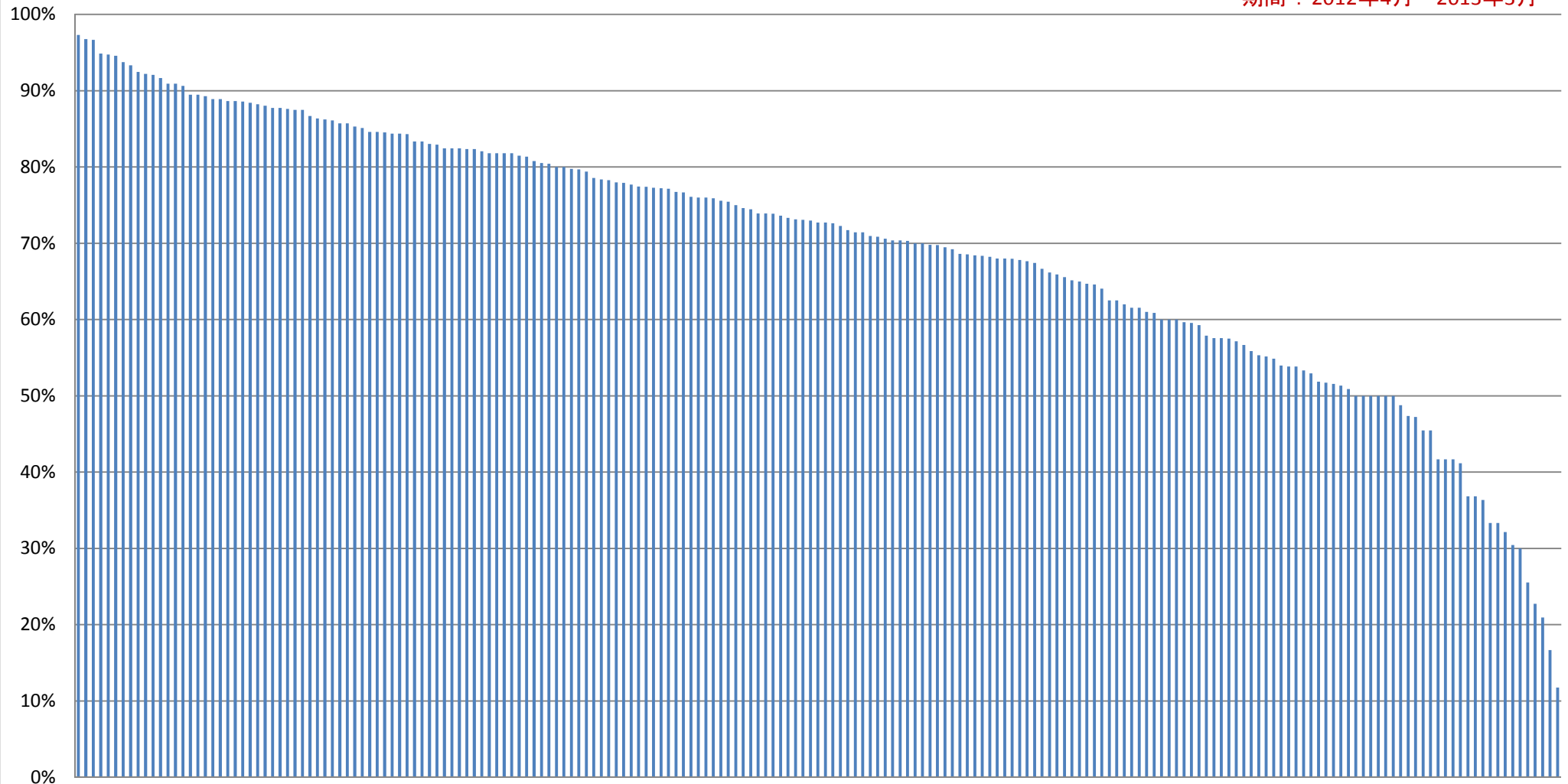


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心筋梗塞患者におけるACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合

期間：2012年4月～2013年3月

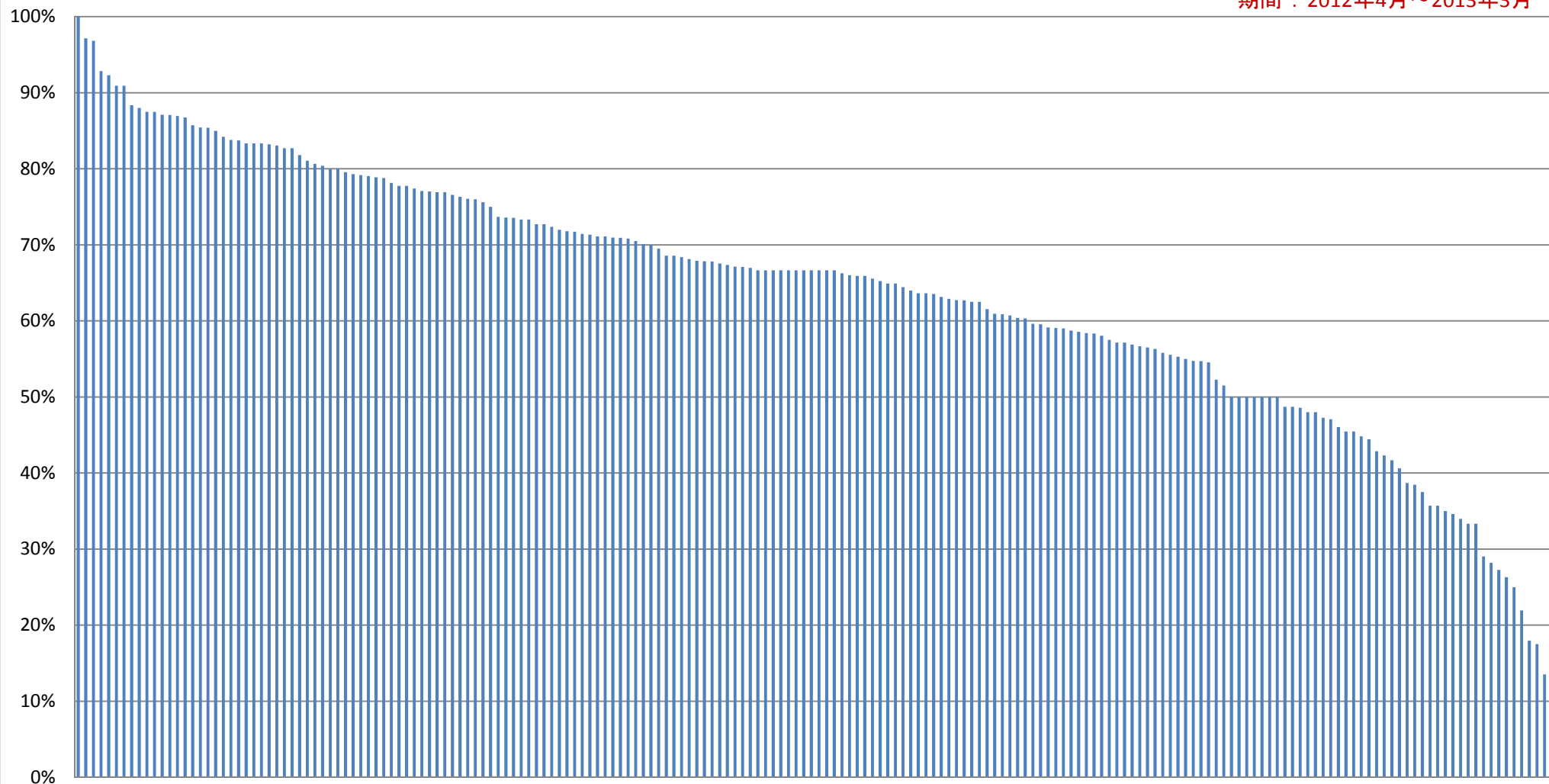


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心筋梗塞患者における退院時のACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合

期間：2012年4月～2013年3月

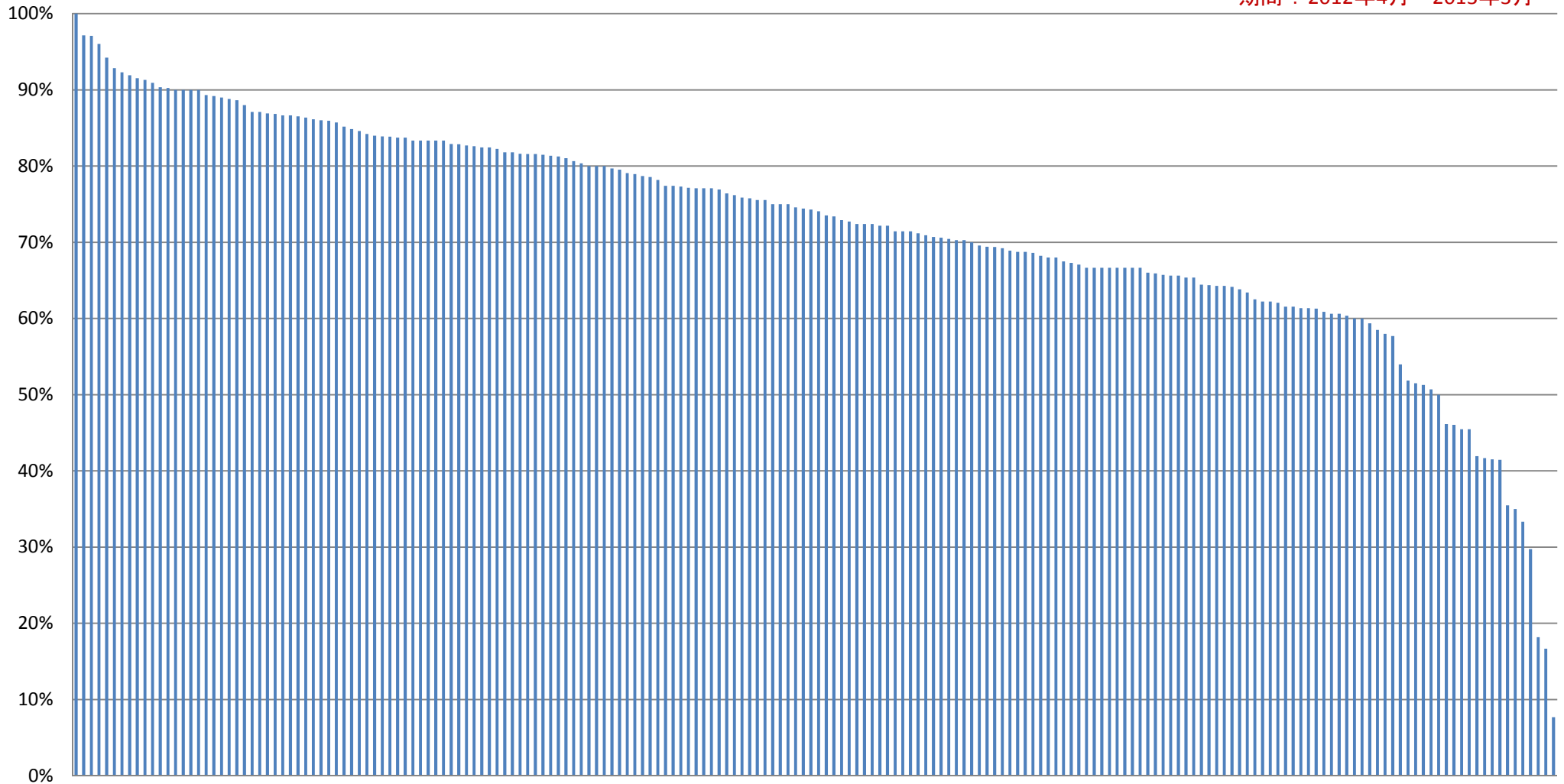


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合

期間：2012年4月～2013年3月

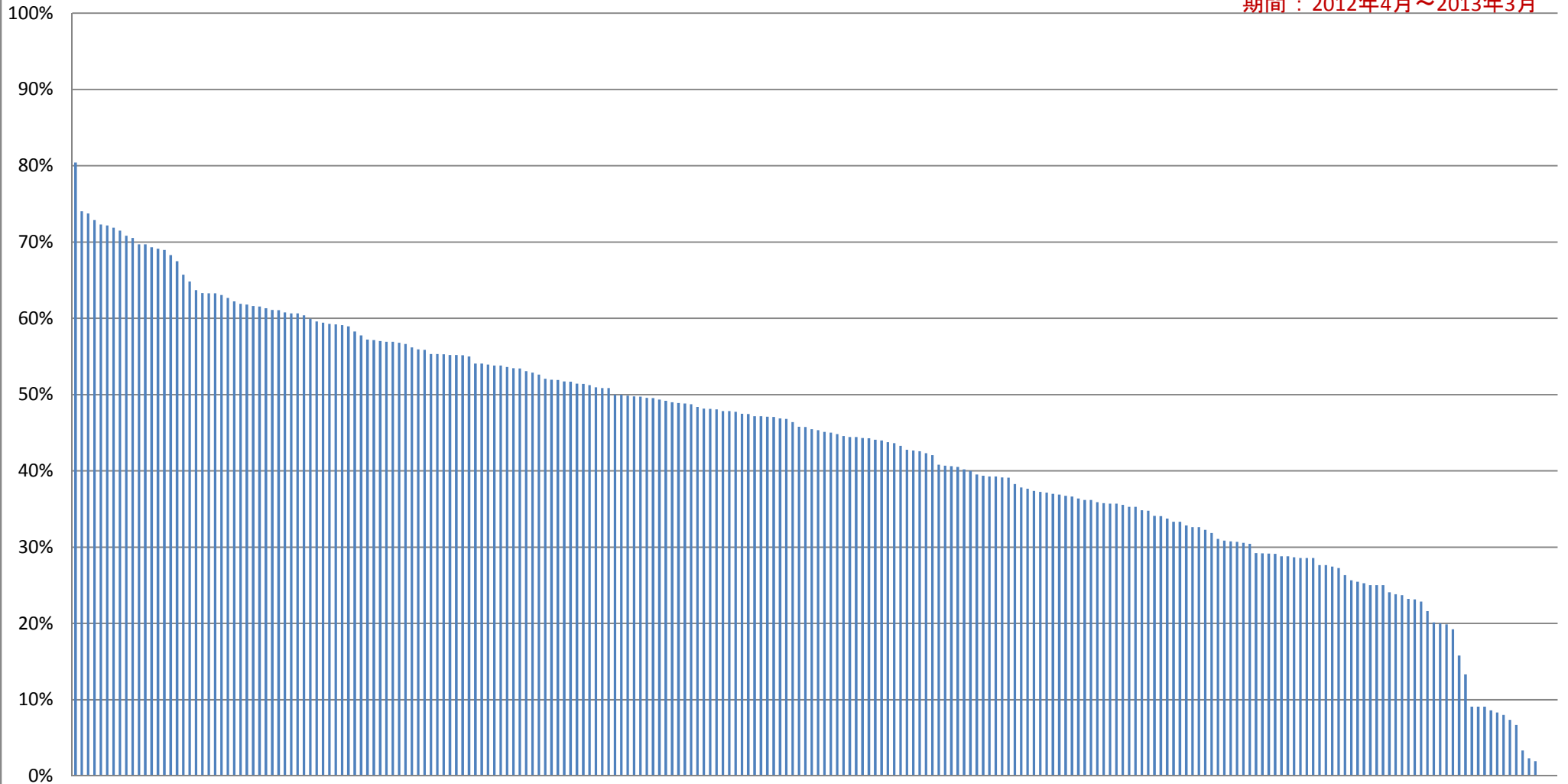


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

心不全患者へのβブロッカー投与の割合

期間：2012年4月～2013年3月

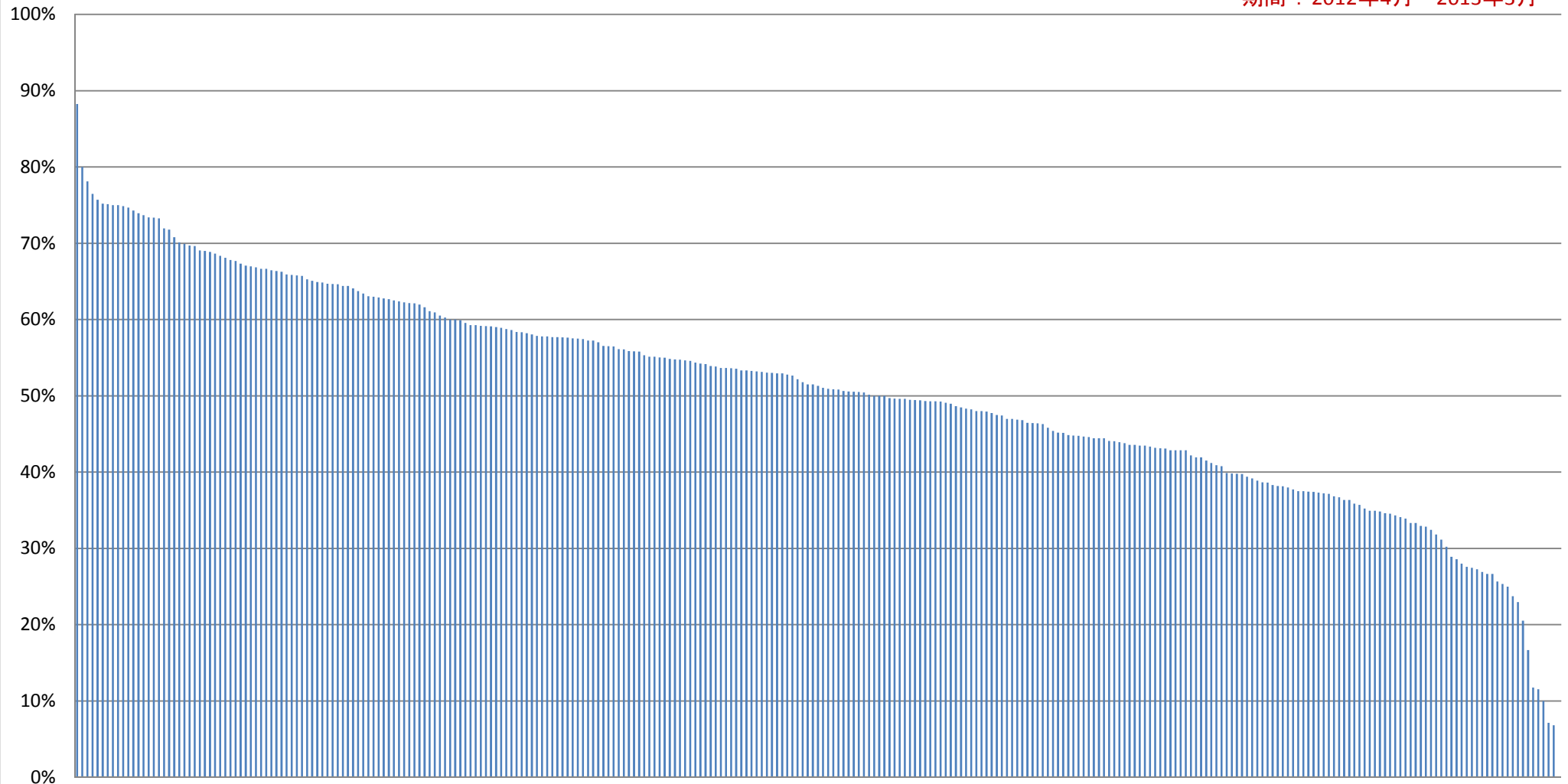


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

心不全患者へのACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤投与の割合

期間：2012年4月～2013年3月

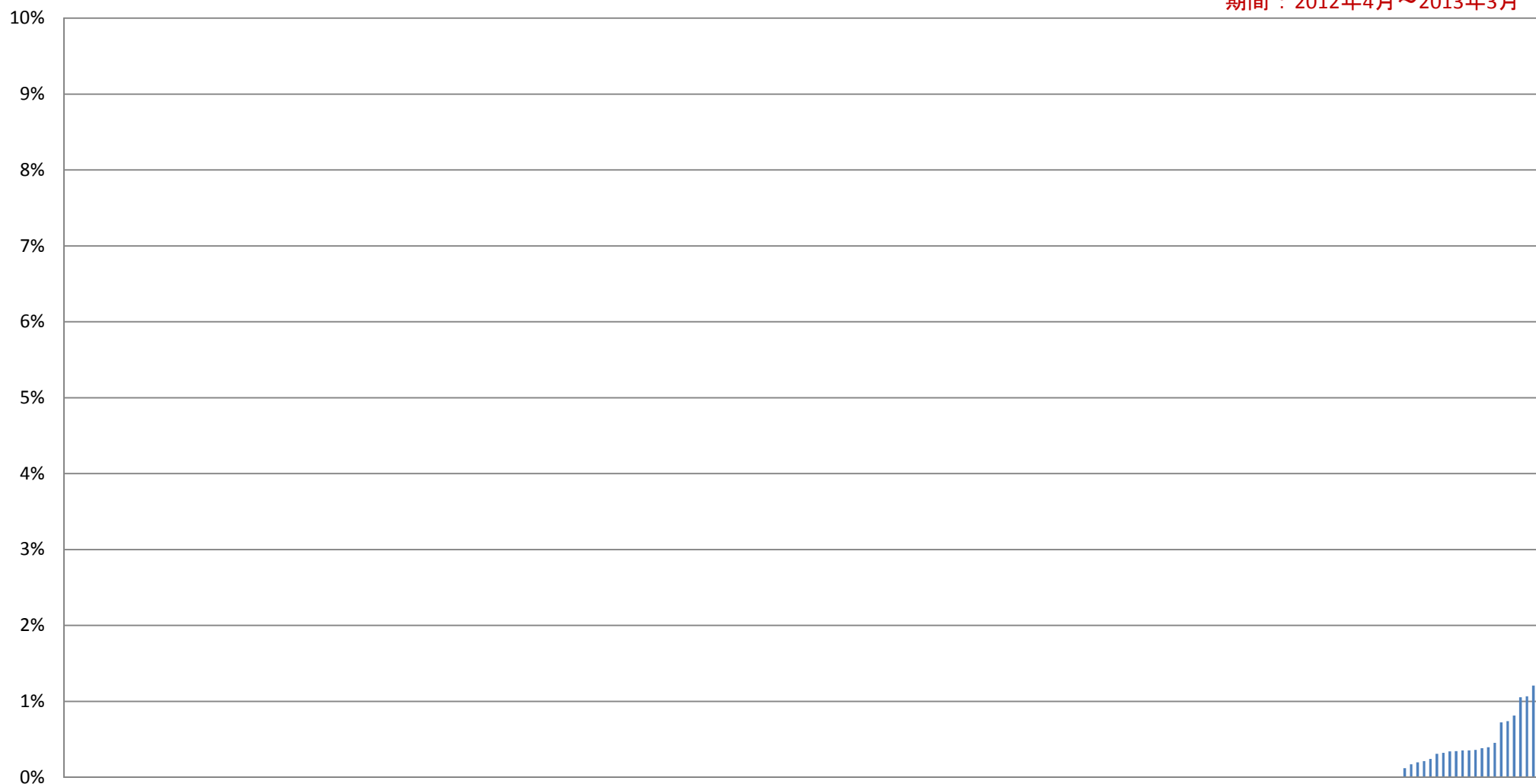


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

経皮的冠動脈形成術(PTCA)を受けた後、同日あるいは翌日までに冠動脈バイパス術(CABG)を受けた割合

期間：2012年4月～2013年3月

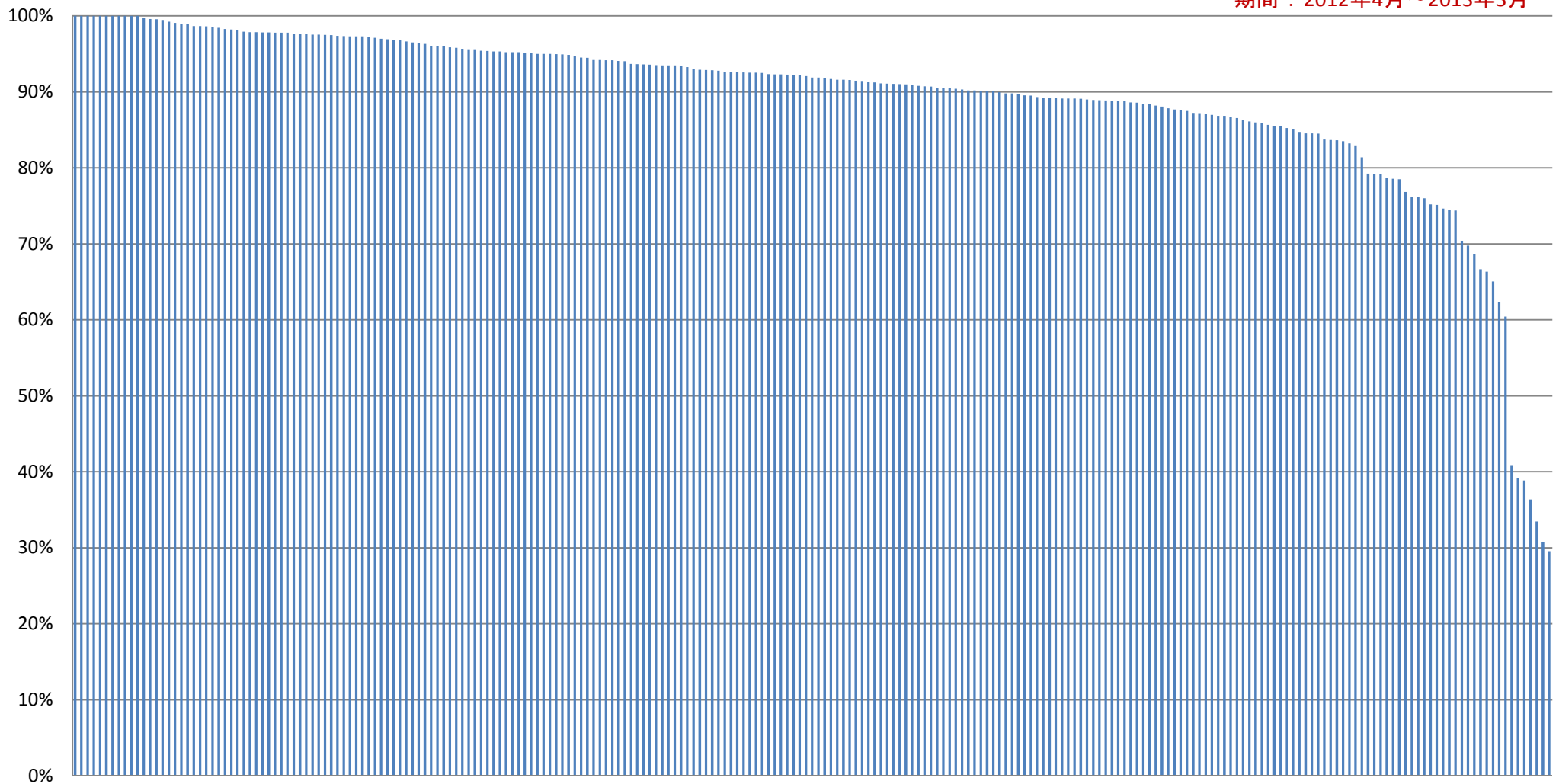


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

左心カテーテル手技に際し、右心カテーテル手技を同時には行っていない割合

期間：2012年4月～2013年3月

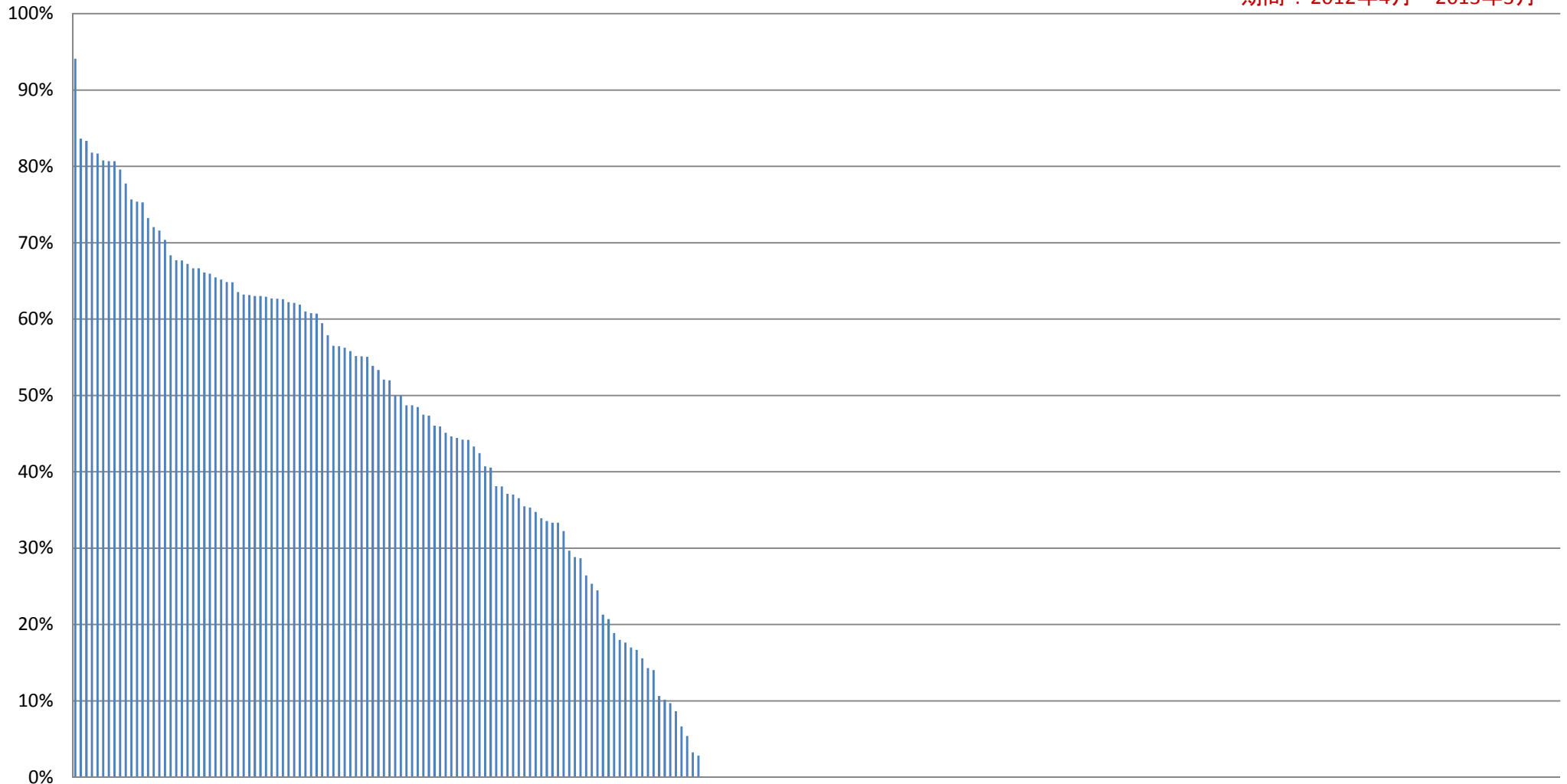


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)患者・慢性心不全患者における心臓リハビリ実施割合

期間：2012年4月～2013年3月

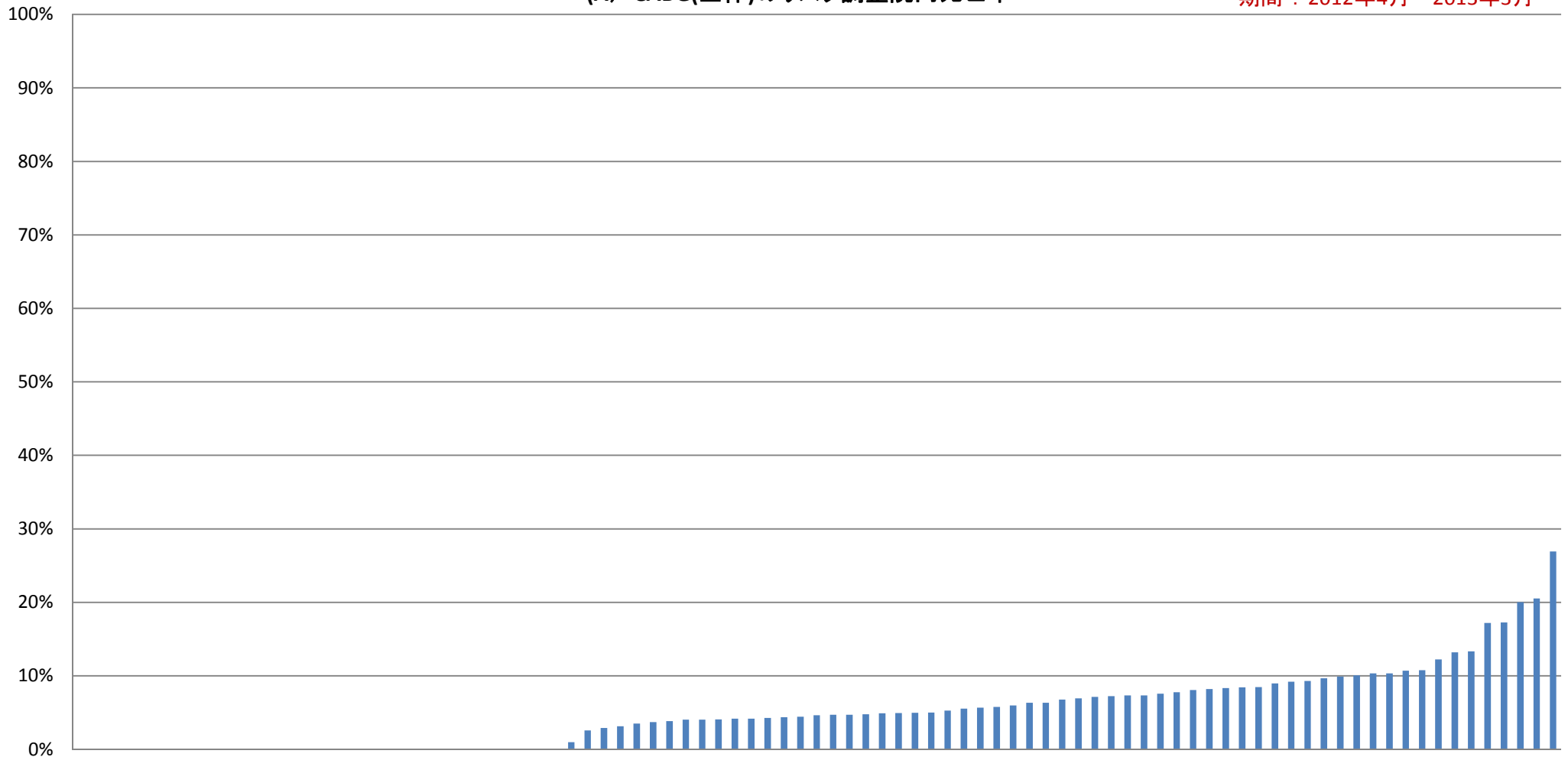


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

冠動脈バイパス手術(CABG)患者におけるリスク調整院内死亡率
 (A) CABG(全体)のリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除く。

全3年間が解析対象：123病院、7894症例

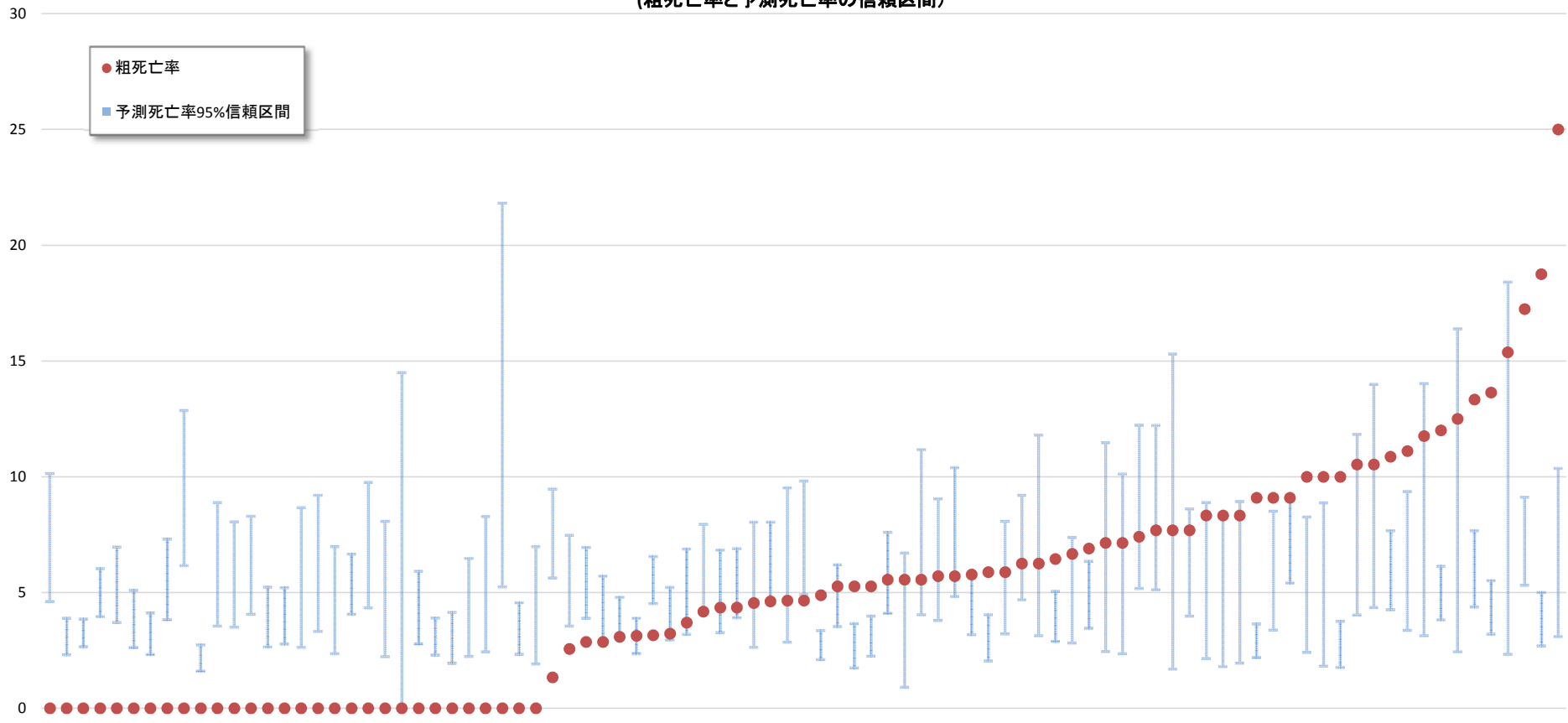
粗死亡率 5.523%、c-statistics: 0.776(95%CI 0.754-0.798)

モデル投入変数：年齢、性別、予定・緊急入院+救急搬送有無、各種併存症、入院後48時間以内補助循環使用、入院後48時間以内気管内挿管使用

※病院記号は表にてご確認ください。

冠動脈バイパス手術(CABG)患者におけるリスク調整院内死亡率
 (A) CABG(全体)のリスク調整院内死亡率
 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除く。

全3年間で解析対象：123病院、7894症例

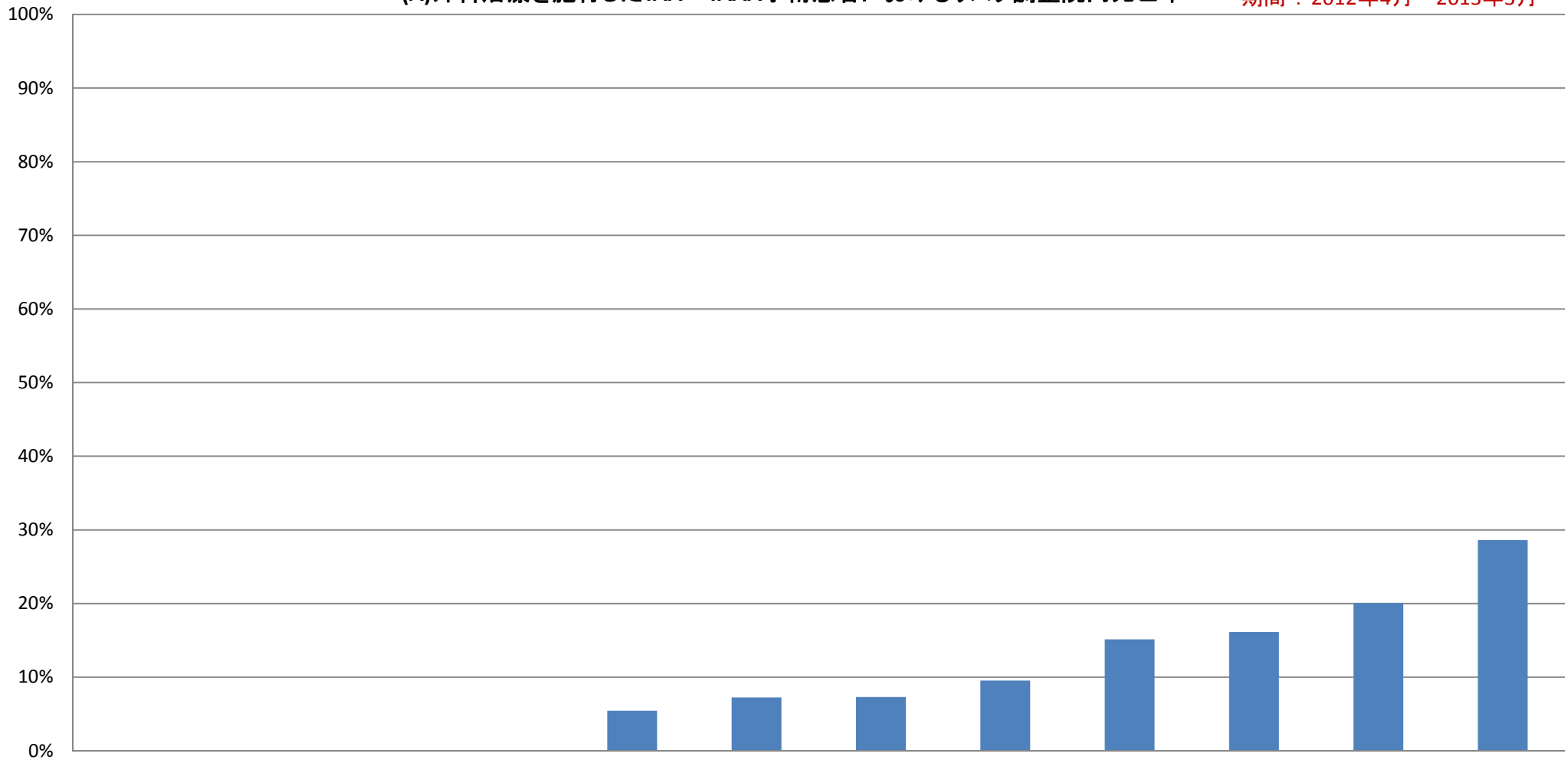
粗死亡率 5.523%、c-statistics: 0.776 (95%CI 0.754-0.798)

モデル投入変数：年齢、性別、予定・緊急入院+救急搬送有無、各種併存症、入院後48時間以内補助循環使用、入院後48時間以内気管内挿管使用

※病院記号は表にてご確認ください。

胸部大動脈瘤(TAA)・胸腹部大動脈瘤(TAAA)手術患者におけるリスク調整院内死亡率
(A)外科治療を施行したTAA・TAAA手術患者におけるリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除外

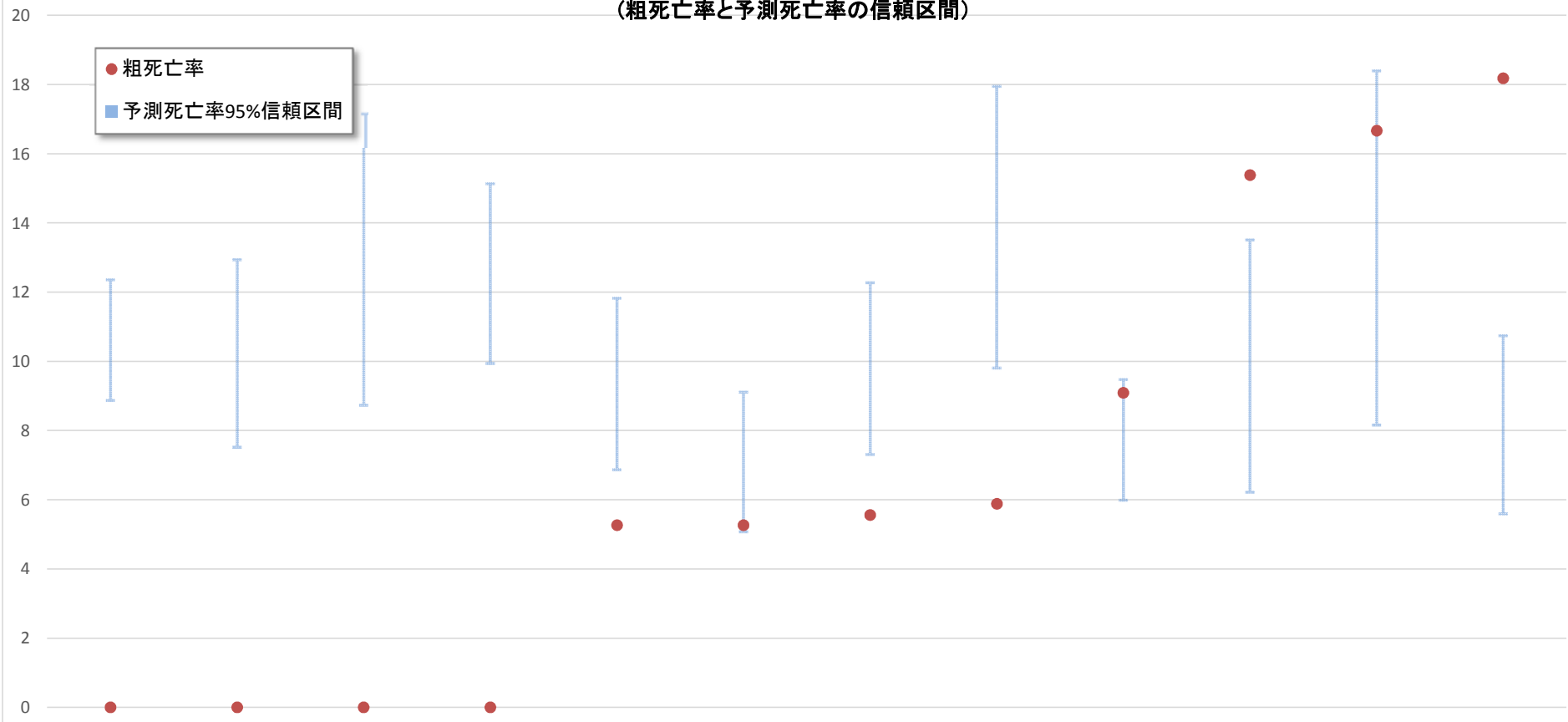
粗死亡率 12.9%、c-statistics: 0.727

モデル投入変数： \emptyset 年齢、緊急手術、合併症

※病院記号は表にてご確認ください。

胸部大動脈瘤(TAA)・胸腹部大動脈瘤(TAAA)手術患者におけるリスク調整院内死亡率
 (A)外科治療を施行したTAA・TAAA手術患者におけるリスク調整院内死亡率
 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

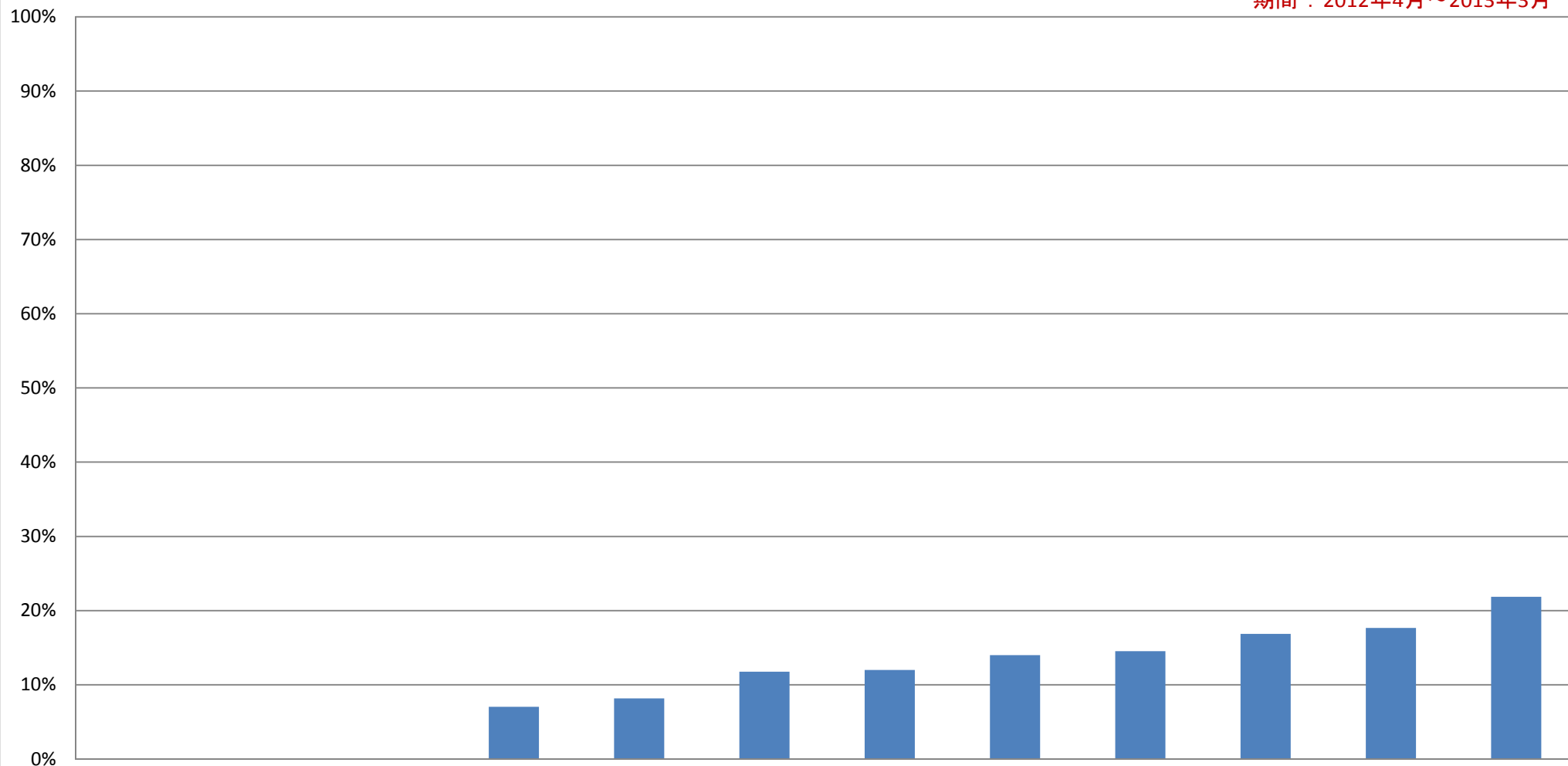
期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除外
 粗死亡率 12.9%、c-statistics: 0.727
 モデル投入変数：∅年齢、緊急手術、合併症

※病院記号は表にてご確認ください。

胸部大動脈瘤(TAA)・胸腹部大動脈瘤(TAAA)手術患者におけるリスク調整院内死亡率
(B)血管内治療(ステントグラフト治療)を施行したTAA・TAAA手術患者におけるリスク調整院内死亡率 期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除外

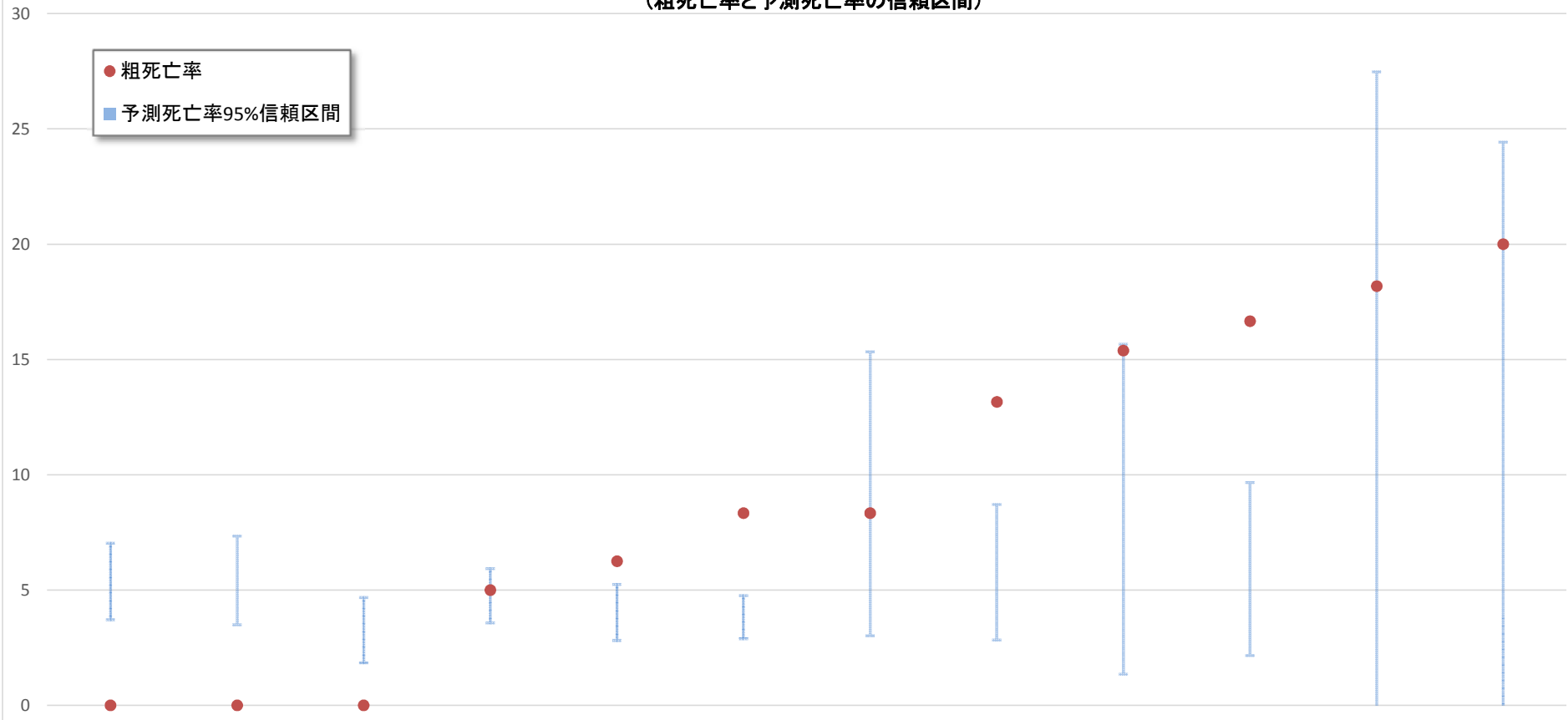
粗死亡率 7.7%、c-statistics: 0.804

モデル投入変数： \emptyset 年齢、緊急手術、合併症

※病院記号は表にてご確認ください。

胸部大動脈瘤(TAA)・胸腹部大動脈瘤(TAAA)手術患者におけるリスク調整院内死亡率
 (B)血管内治療(ステントグラフト治療)を施行したTAA・TAAA手術患者におけるリスク調整院内死亡率
 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月

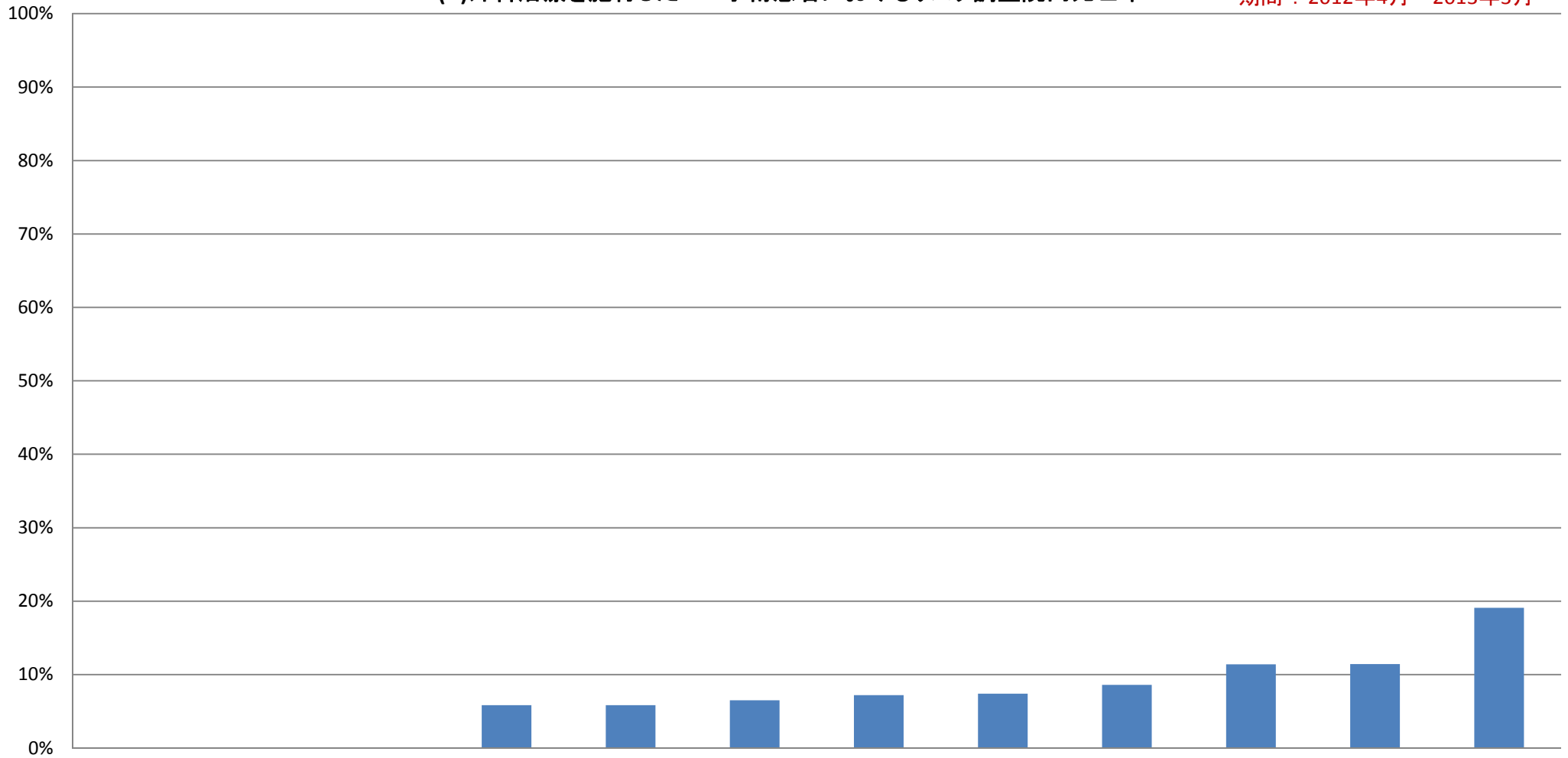


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。結果表示：10症例未満の病院は除外
 粗死亡率 7.7%、c-statistics: 0.804
 モデル投入変数：∅ 年齢、緊急手術、合併症

※病院記号は表にてご確認ください。

腹部大動脈瘤(AAA)手術患者におけるリスク調整院内死亡率
(A)外科治療を施行したAAA手術患者におけるリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月

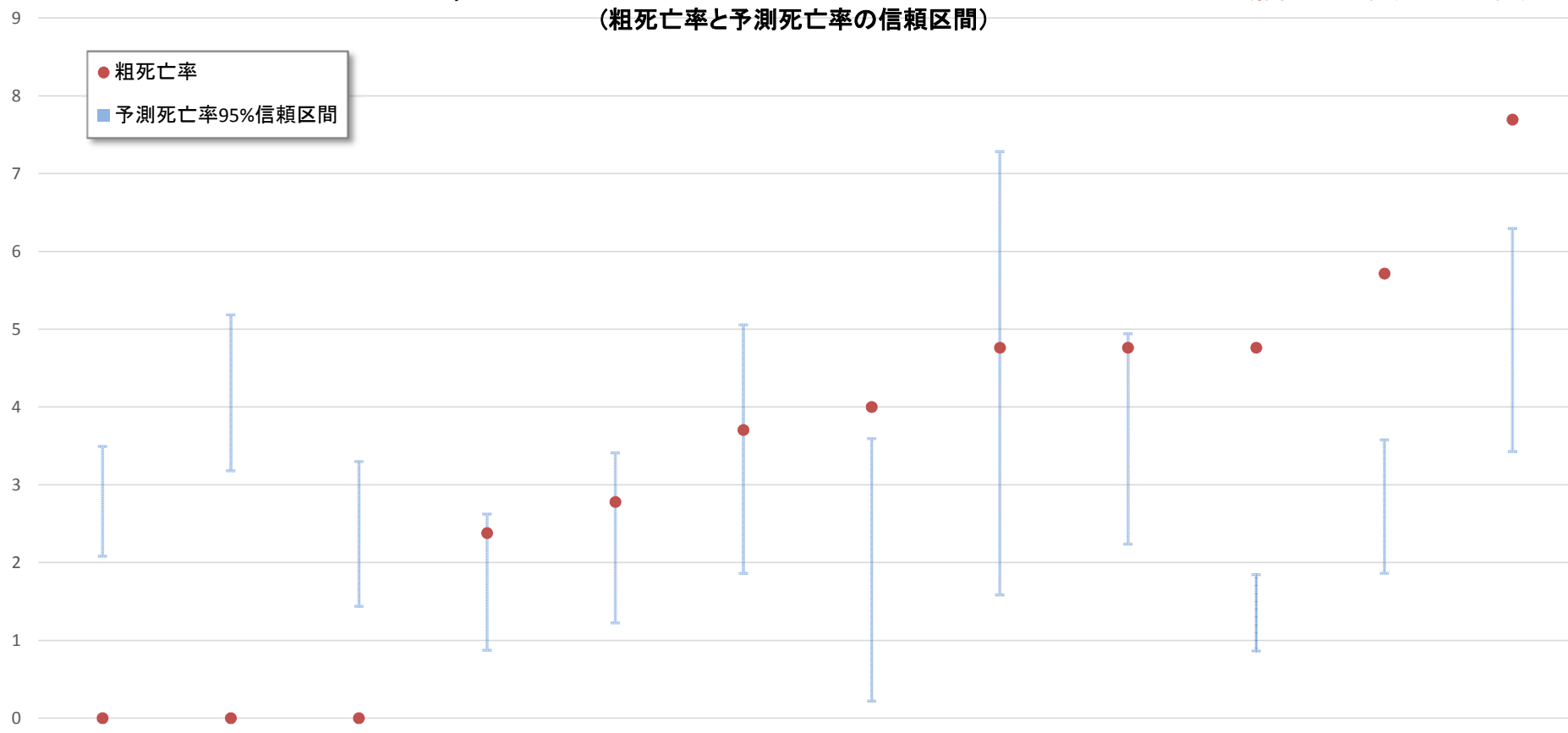


2010年4月から2013年3月 在院日数では90日以内、期間症例数20例未満は解析対象とするが集計から除外
全期間粗死亡率 5.4%、C-statistics: 0.861
モデル投入変数: \emptyset 年齢、緊急手術、合併症

※病院記号は表にてご確認ください。

腹部大動脈瘤(AAA)手術患者におけるリスク調整院内死亡率
 (A)外科治療を施行したAAA手術患者におけるリスク調整院内死亡率
 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月



2010年4月から2013年3月 在院日数では90日以内、期間症例数20例未満は解析対象とするが集計から除外
 全期間粗死亡率 5.4%、C-statistics:0.861
 モデル投入変数: 年齢、緊急手術、合併症

※病院記号は表にてご確認ください。

腹部大動脈瘤(AAA)手術患者におけるリスク調整院内死亡率
(B)血管内治療(ステントグラフト治療)を施行したAAA手術患者におけるリスク調整院内死亡率(リスク調整死亡率)

期間：2012年4月～2013年3月

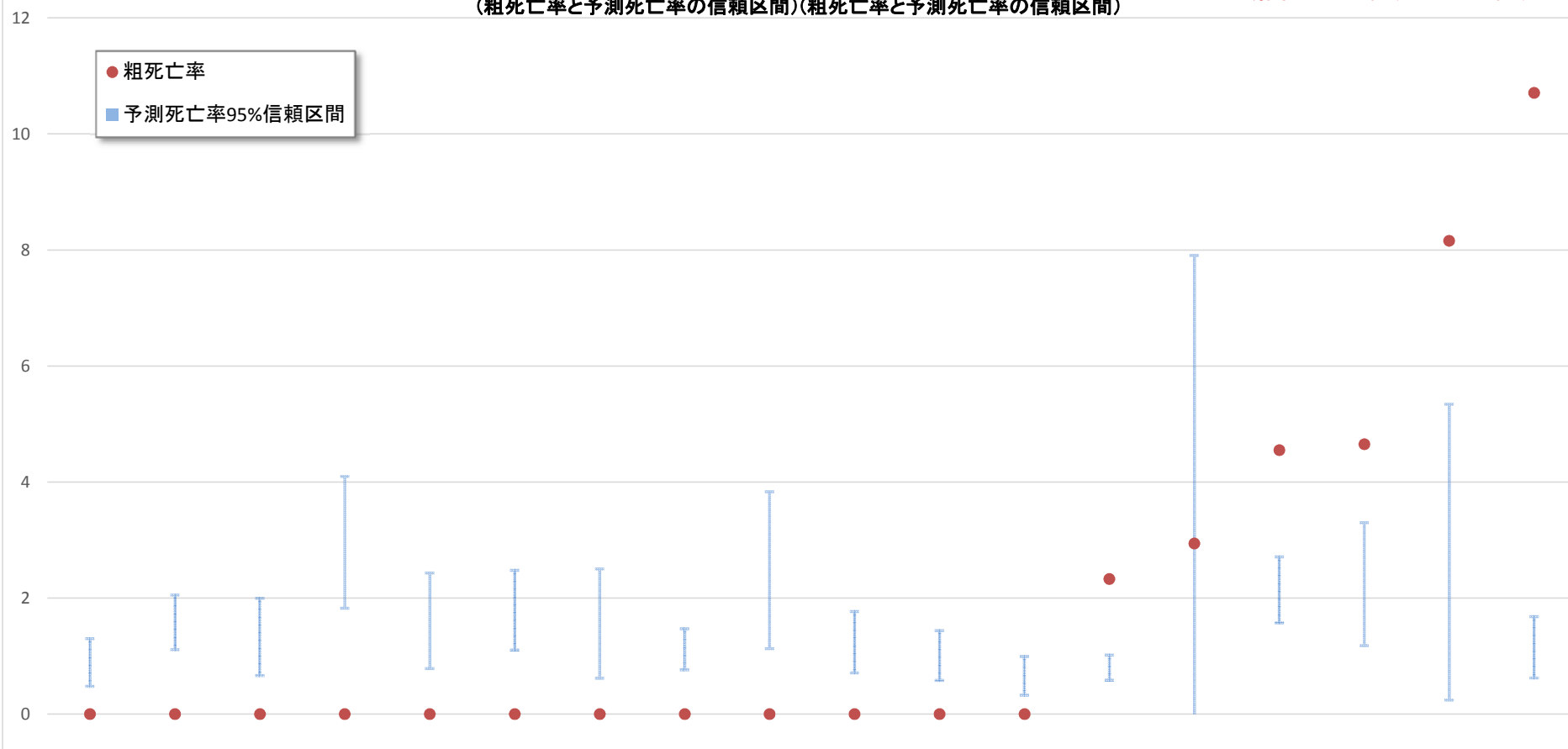


2010年4月から2013年3月 在院日数では90日以内、期間症例数20例未満は解析対象とするが集計から除外
全期間粗死亡率 1.6%、C-Statistics : 0.838
モデル投入変数: \emptyset 年齢、緊急手術、合併症

※病院記号は表にてご確認ください。

腹部大動脈瘤 (AAA)手術患者におけるリスク調整院内死亡率
 (B)血管内治療(ステントグラフト治療)を施行したAAA手術患者におけるリスク調整院内死亡率(リスク調整死亡率)
 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)(粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月

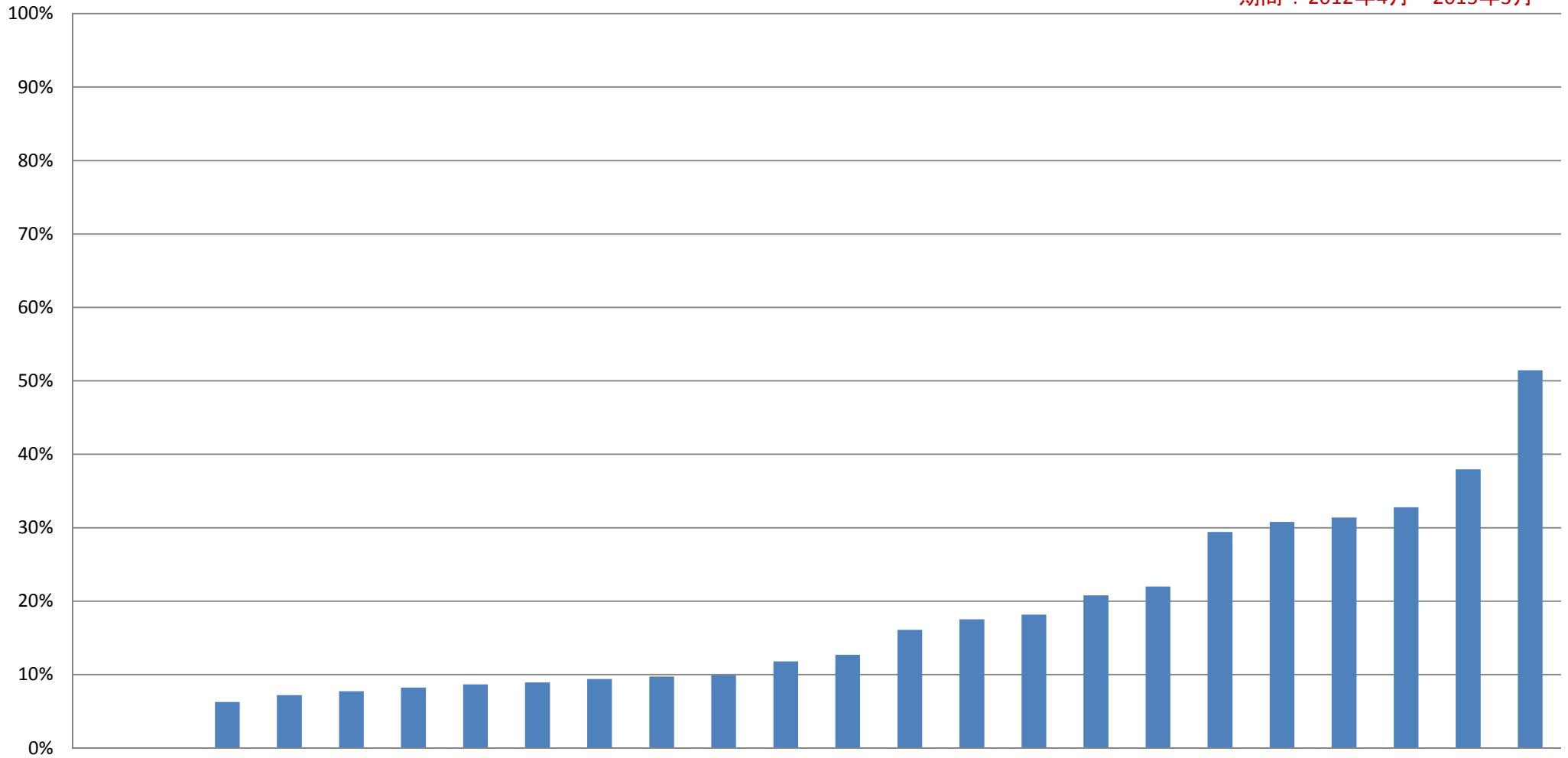


2010年4月から2013年3月 在院日数では90日以内、期間症例数20例未満は解析対象とするが集計から除外
 全期間粗死亡率 1.6%、C-Statistics:0.838
 モデル投入変数: 年齢、緊急手術、合併症

※病院記号は表にてご確認ください。

解離性大動脈瘤・大動脈解離(DA)手術患者におけるリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数10例未満は解析対象とするが集計から除外

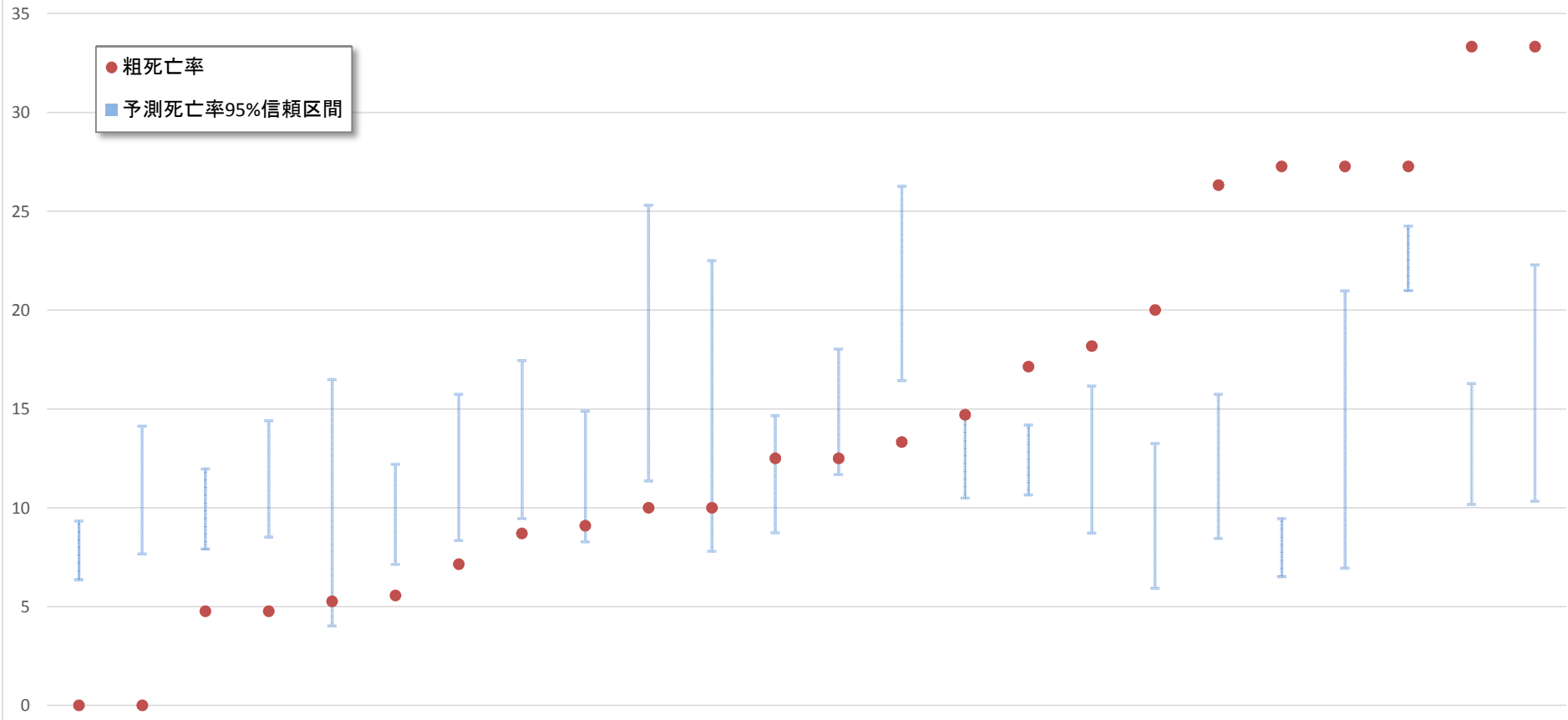
粗死亡率 15.0%、c-statistics: 0.706

モデル投入変数：φ年齢、緊急手術、合併症

※病院記号は表にてご確認ください。

解離性大動脈瘤・大動脈解離(DA)手術患者におけるリスク調整院内死亡率
(粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月

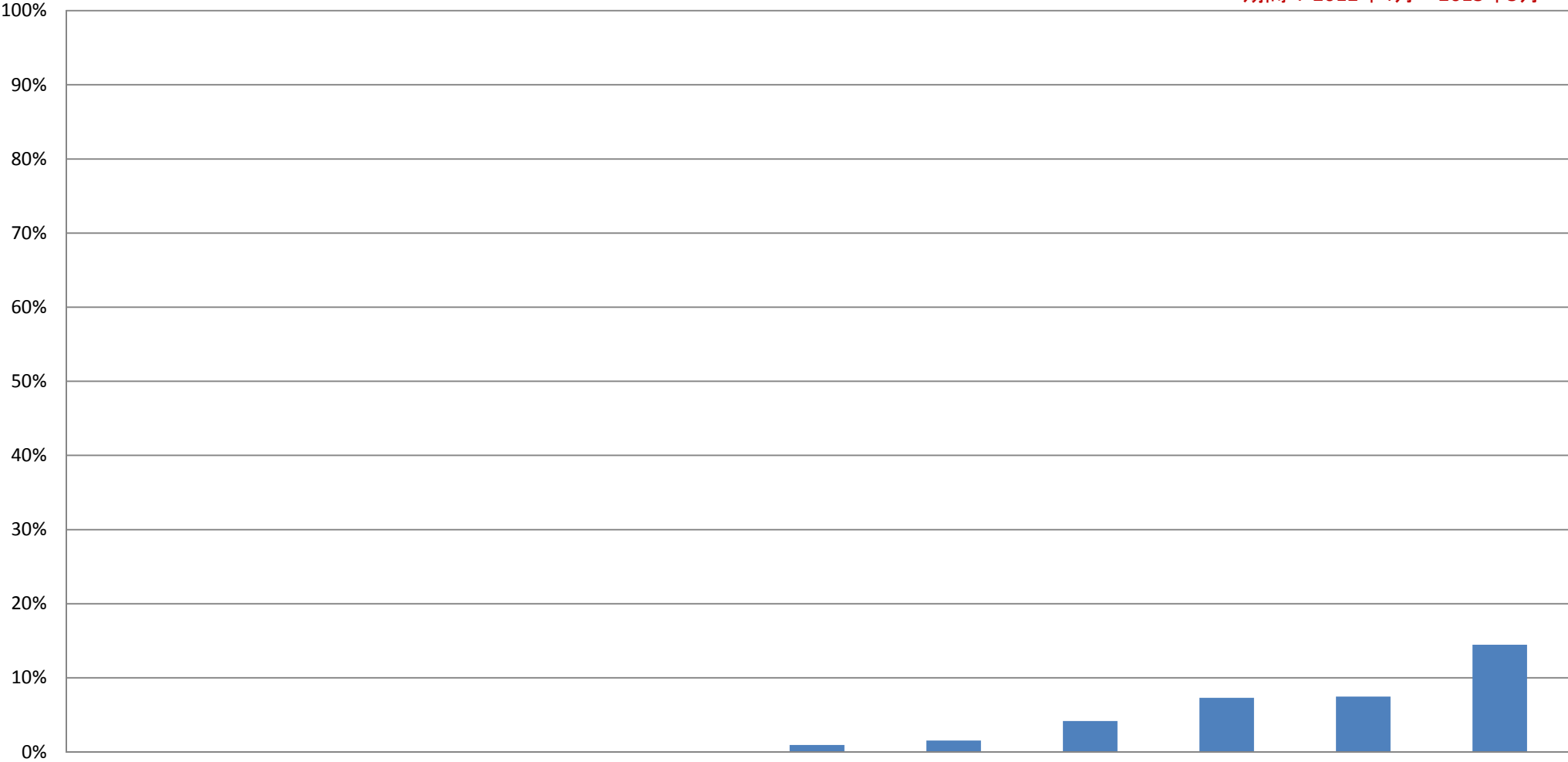


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数10例未満は解析対象とするが集計から除外
粗死亡率 15.0%、c-statistics: 0.706
モデル投入変数：φ年齢、緊急手術、合併症

※病院記号は表にてご確認ください。

先天性心疾患小児心臓手術におけるリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月

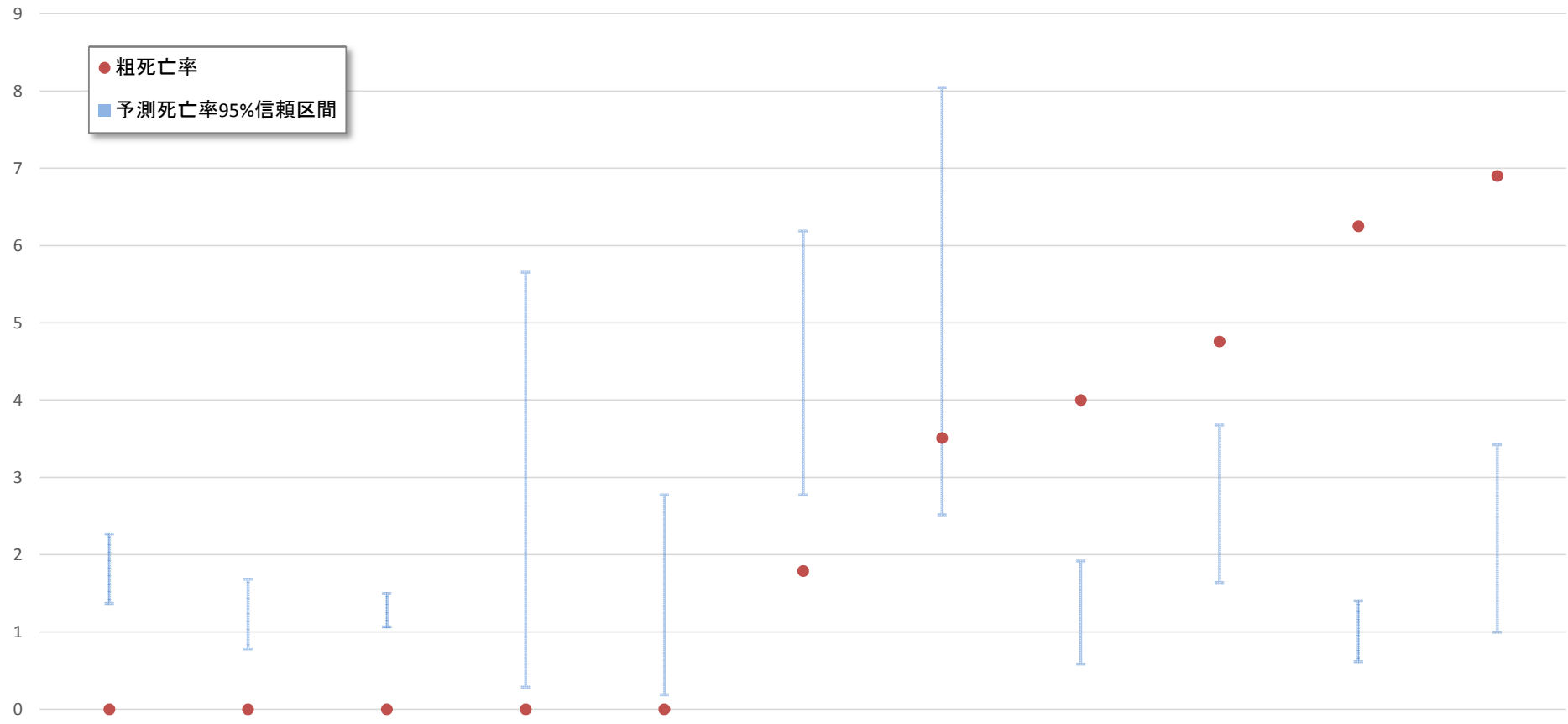


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数10例未満は解析対象とするが集計から除外
粗死亡率 15.0%、c-statistics: 0.706
モデル投入変数：φ年齢、緊急手術、合併症

※病院記号は表にてご確認ください。

先天性心疾患小児心臓手術におけるリスク調整院内死亡率 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月

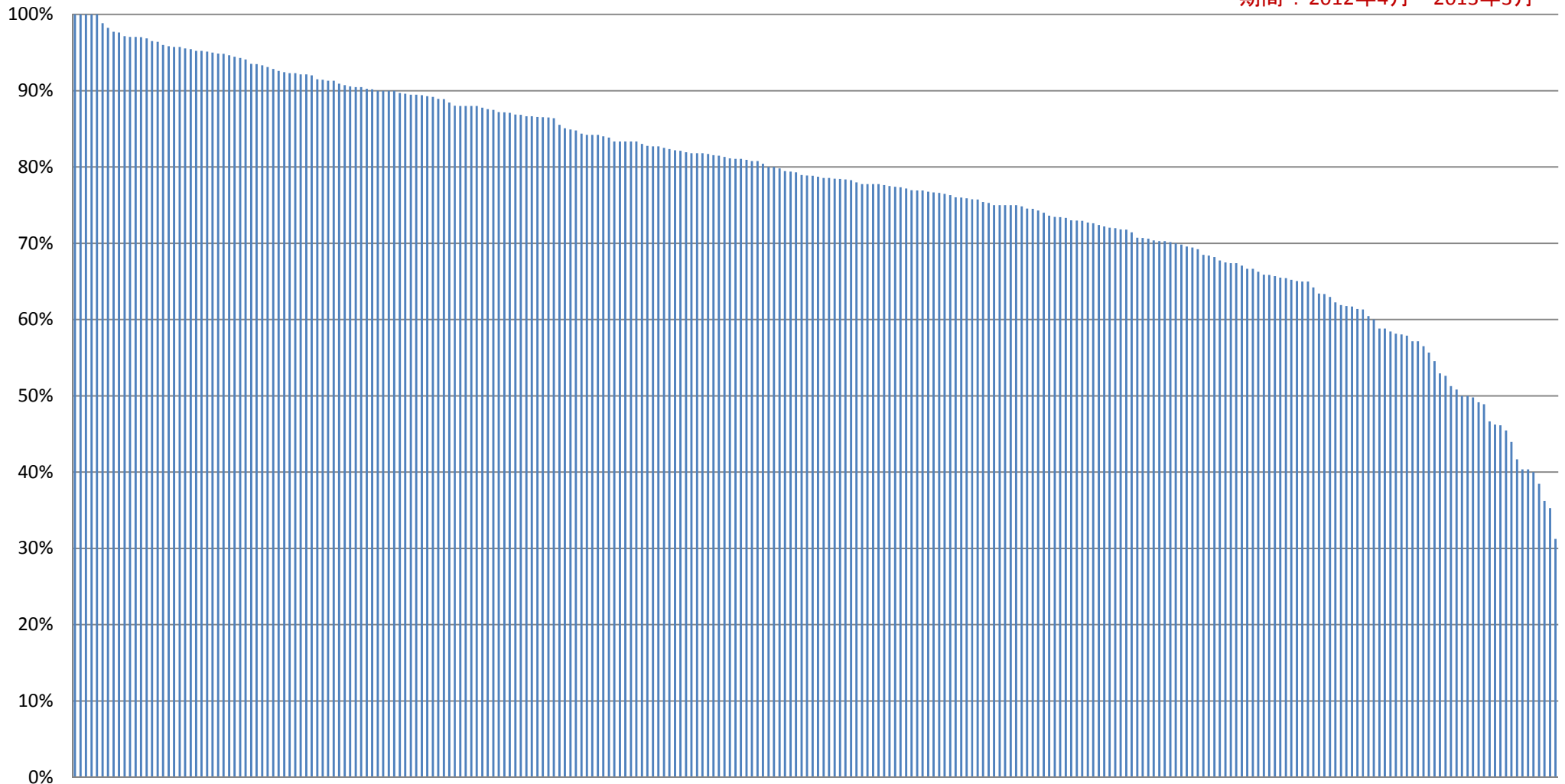


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数10例未満は解析対象とするが集計から除外
粗死亡率 15.0%、c-statistics: 0.706
モデル投入変数：φ年齢、緊急手術、合併症

※病院記号は表にてご確認ください。

胆嚢炎・胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術率

期間：2012年4月～2013年3月

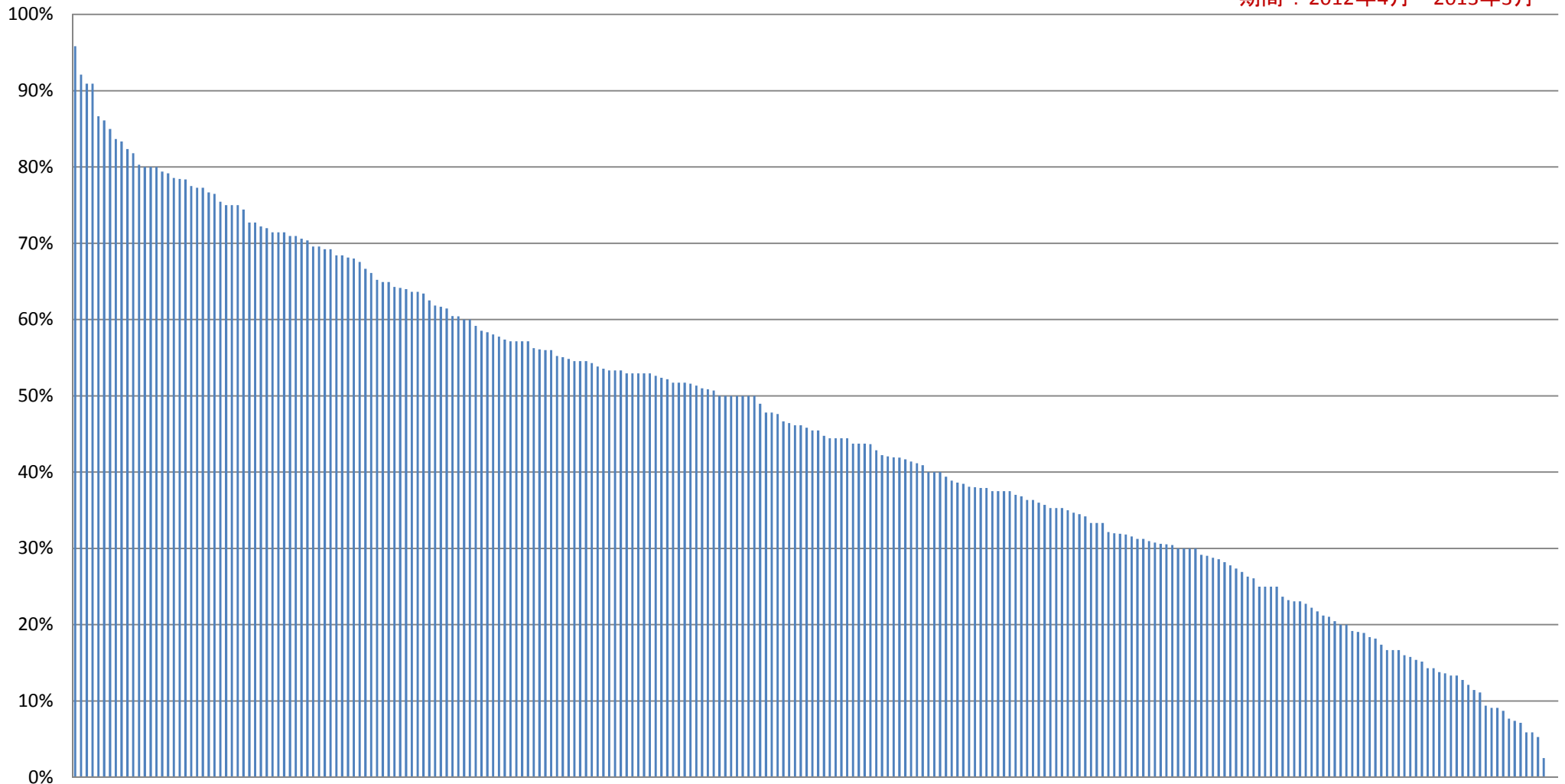


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合

期間：2012年4月～2013年3月

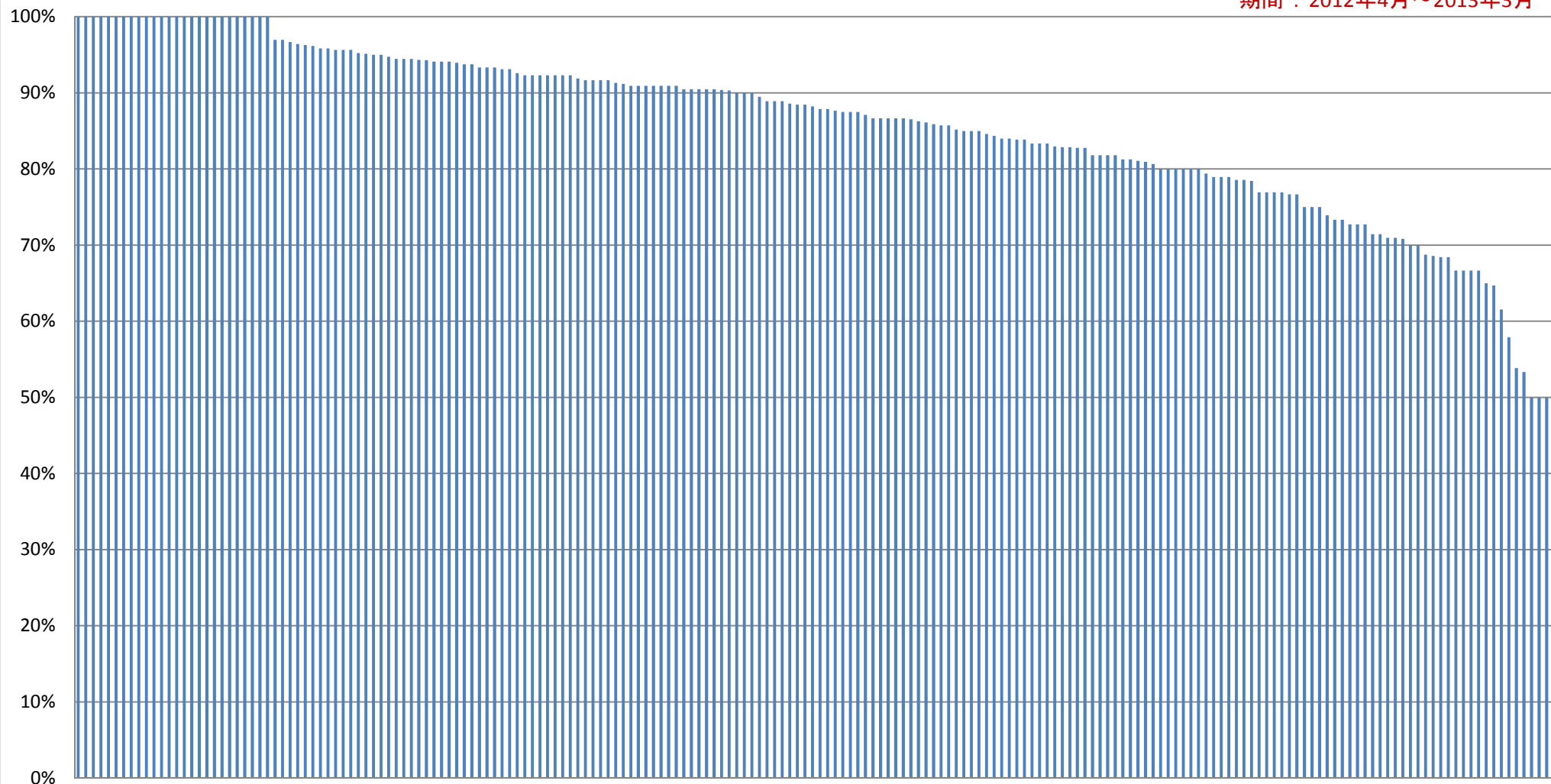


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性膵炎に対する入院2日以内のCT実施割合

期間：2012年4月～2013年3月

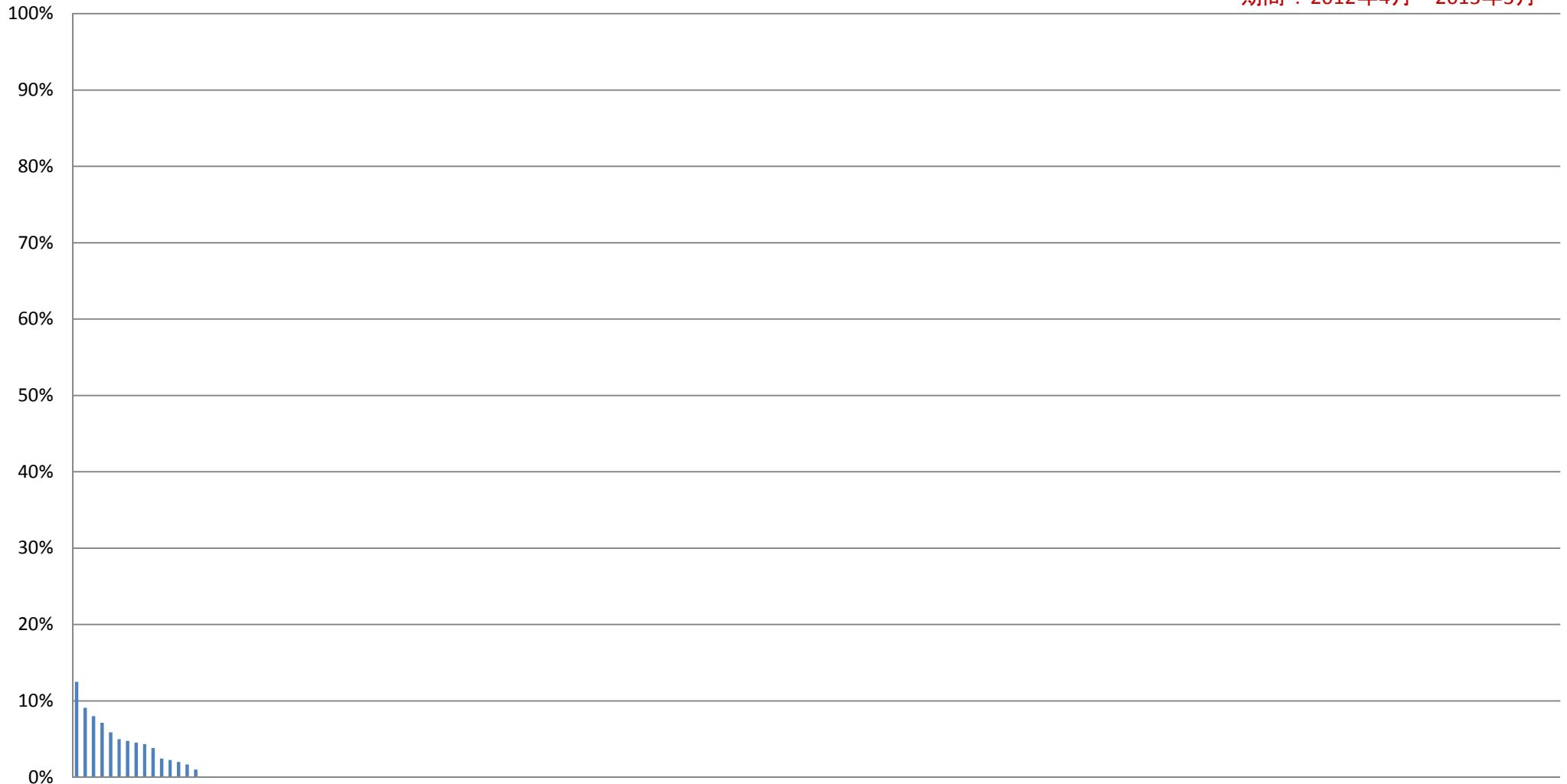


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

急性膵炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施状況

期間：2012年4月～2013年3月

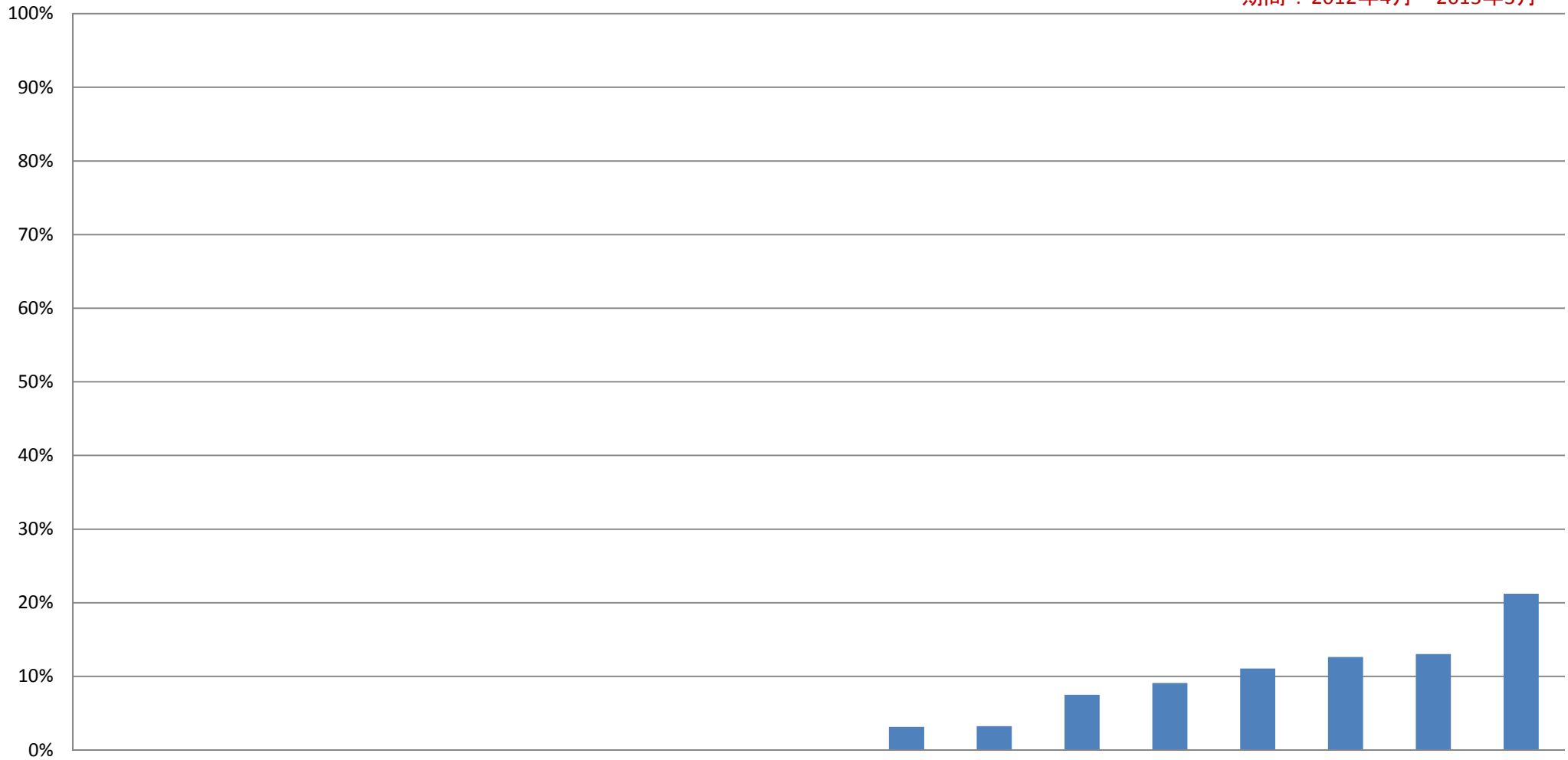


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

食道がん切除実績およびリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



2010年4月から2013年3月 期間症例数10例未満は解析対象とするが集計から除外

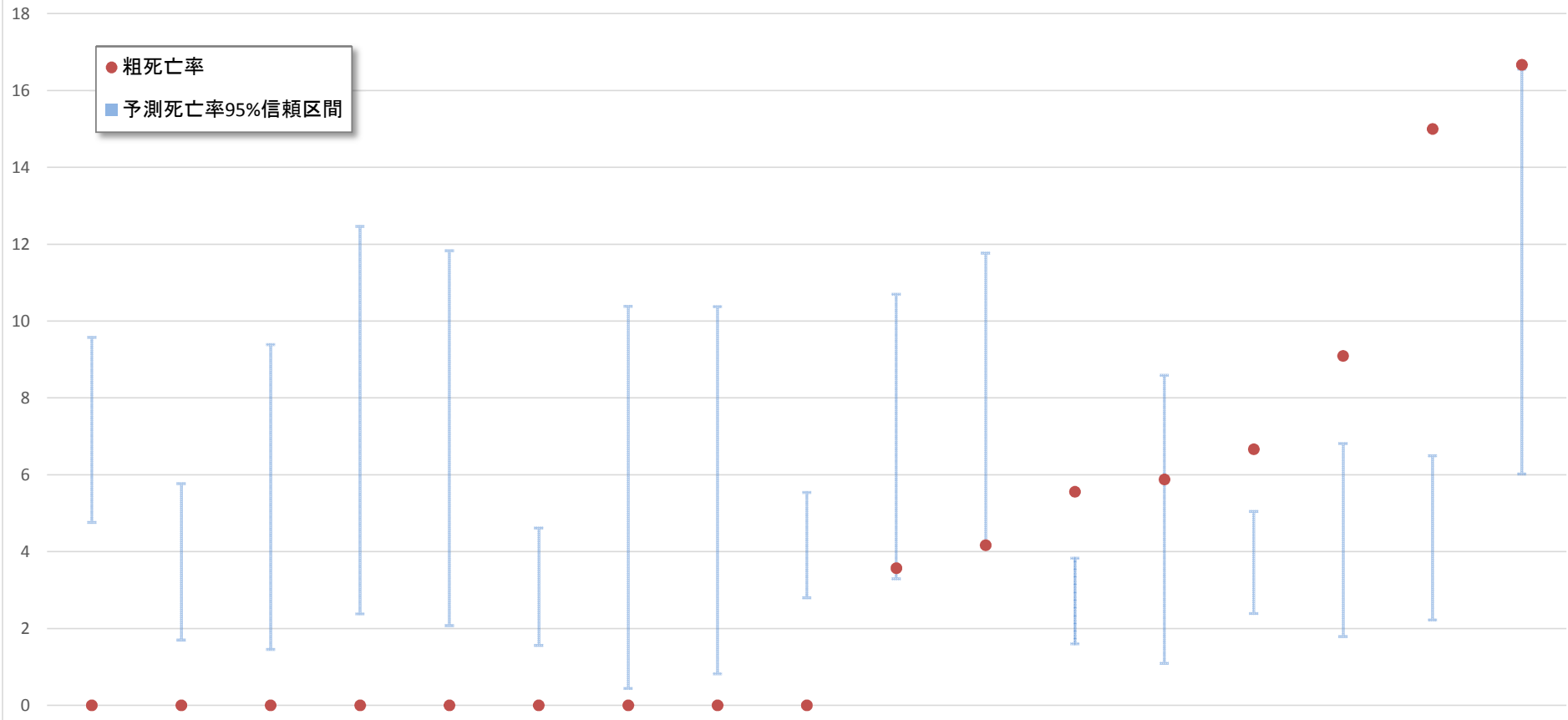
2012年度粗死亡率 6.169%、c-statistics: 0.819

モデル投入変数: 年齢、性別、病期、心不全の有無、慢性腎不全の有無、肝機能障害の有無 →2010年度、2011年度、2012年度を別に解析

※病院記号は表にてご確認ください。

食道がん切除実績およびリスク調整院内死亡率
(粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月



2010年4月から2013年3月 期間症例数10例未満は解析対象とするが集計から除外

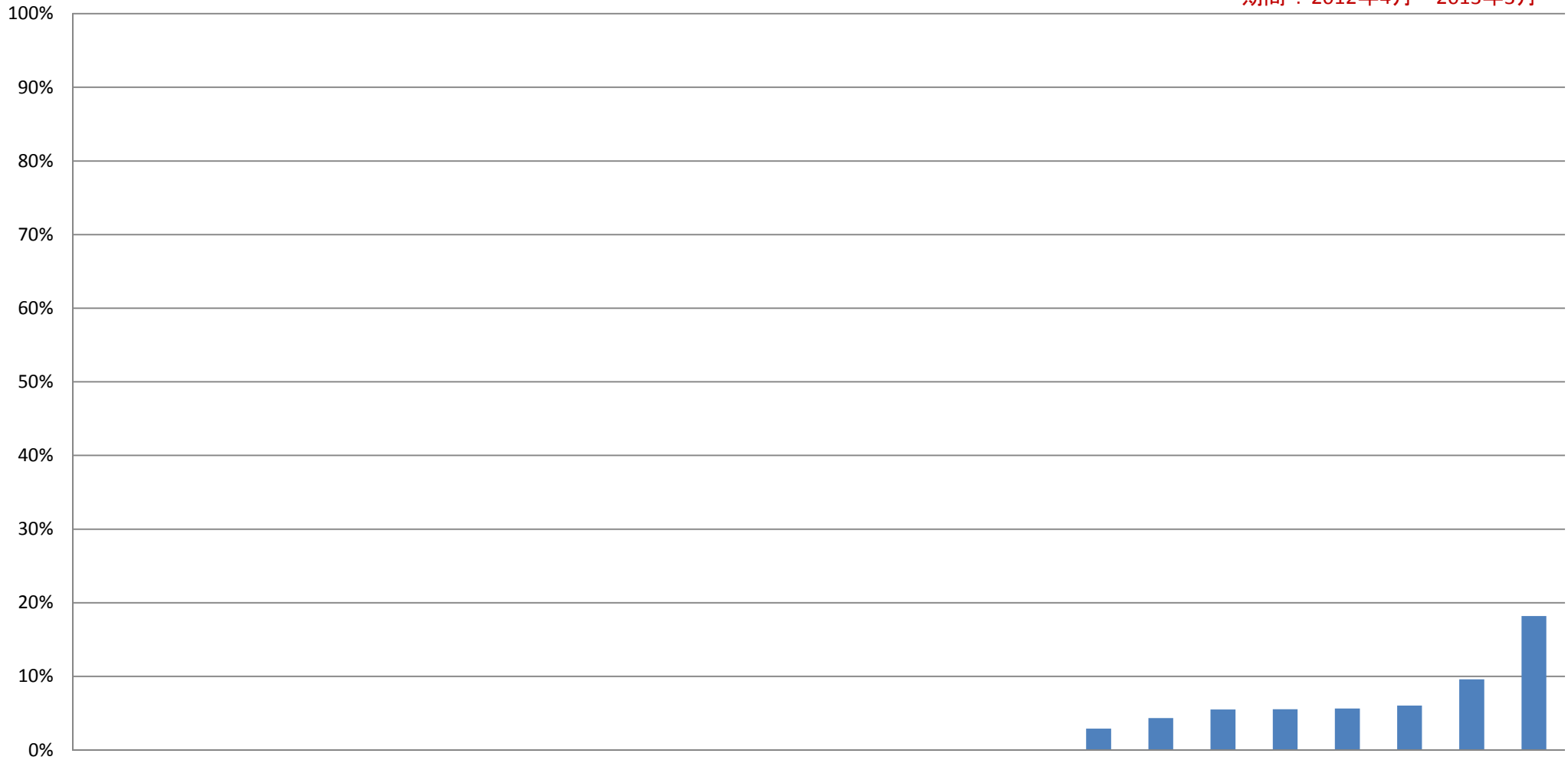
2012年度粗死亡率 6.169%、c-statistics: 0.819

モデル投入変数: 年齢、性別、病期、心不全の有無、慢性腎不全の有無、肝機能障害の有無 →2010年度、2011年度、2012年度を別に解析

※病院記号は表にてご確認ください。

膵臓がん切除実績およびリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数10例未満は解析対象とするが集計から除外

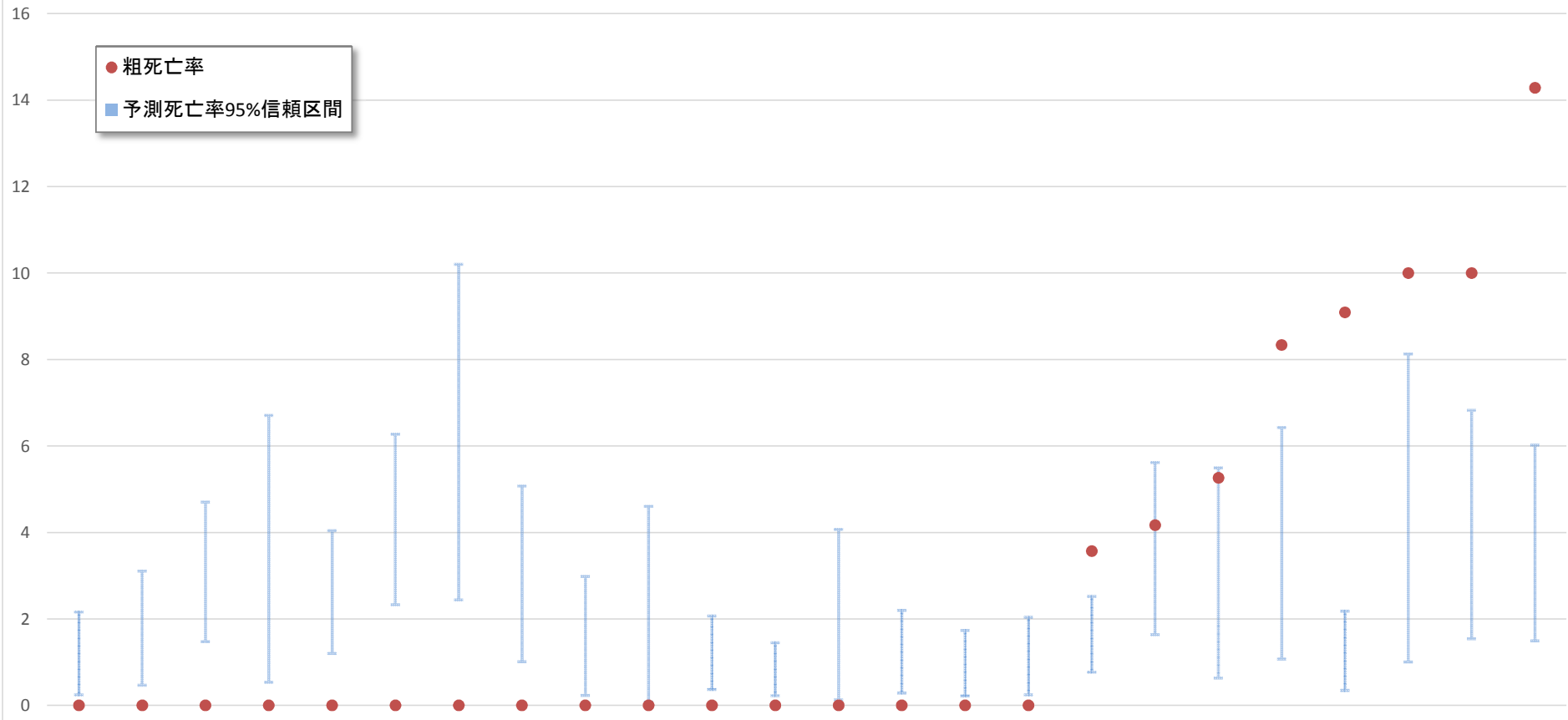
2012年度粗死亡率 2.527%、c-statistics: 0.863

モデル投入変数： \emptyset 年齢、性別、病期、心不全の有無、慢性腎不全の有無、肝機能障害の有無 →2010年度、2011年度、2012年度を別に解析

※病院記号は表にてご確認ください。

膵臓がん切除実績およびリスク調整院内死亡率
(粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数10例未満は解析対象とするが集計から除外

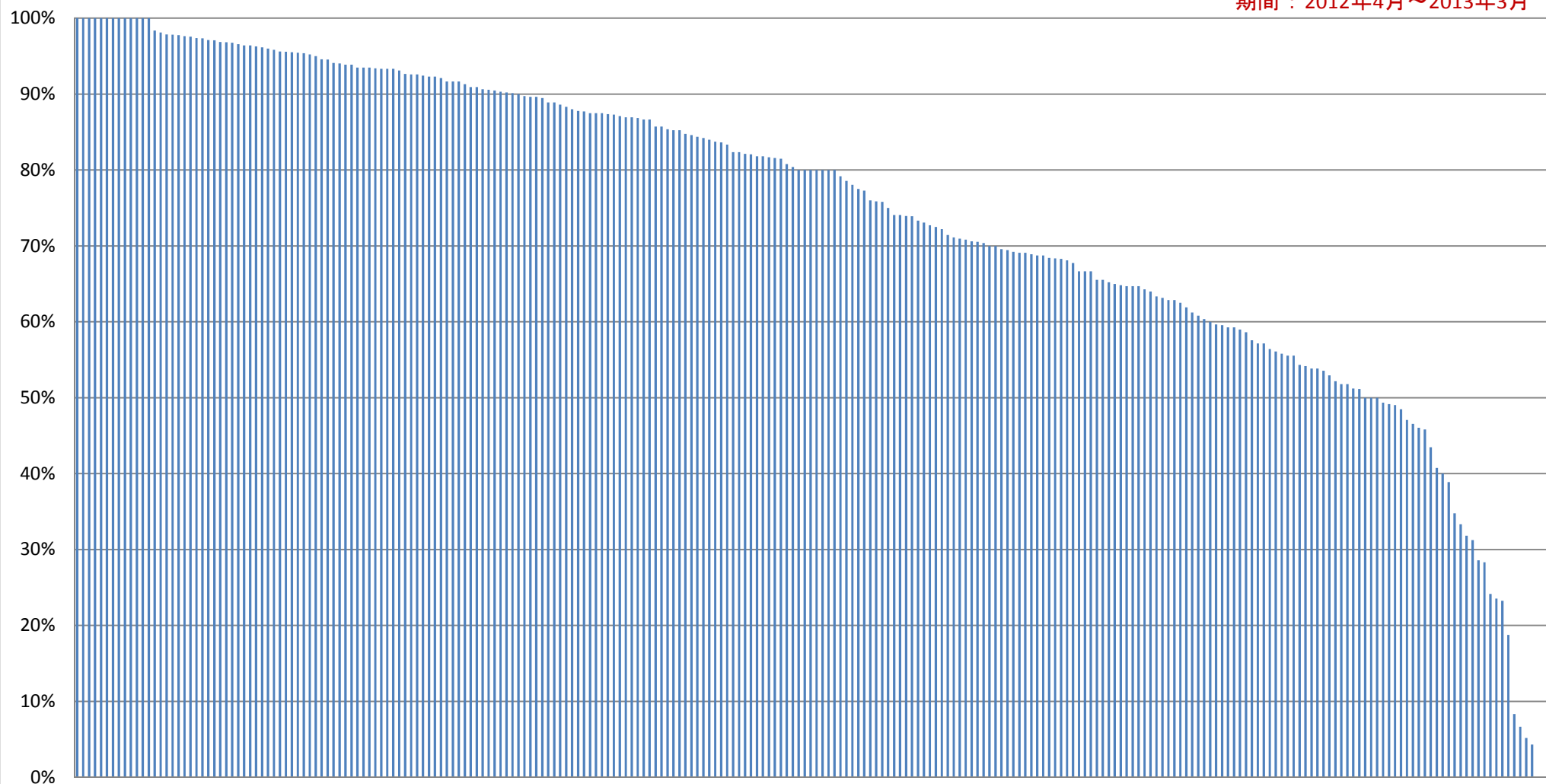
2012年度粗死亡率 2.527%、c-statistics: 0.863

モデル投入変数：〇年齢、性別、病期、心不全の有無、慢性腎不全の有無、肝機能障害の有無 →2010年度、2011年度、2012年度を別に解析

※病院記号は表にてご確認ください。

大腿骨頸部骨折における早期リハビリ開始率

期間：2012年4月～2013年3月

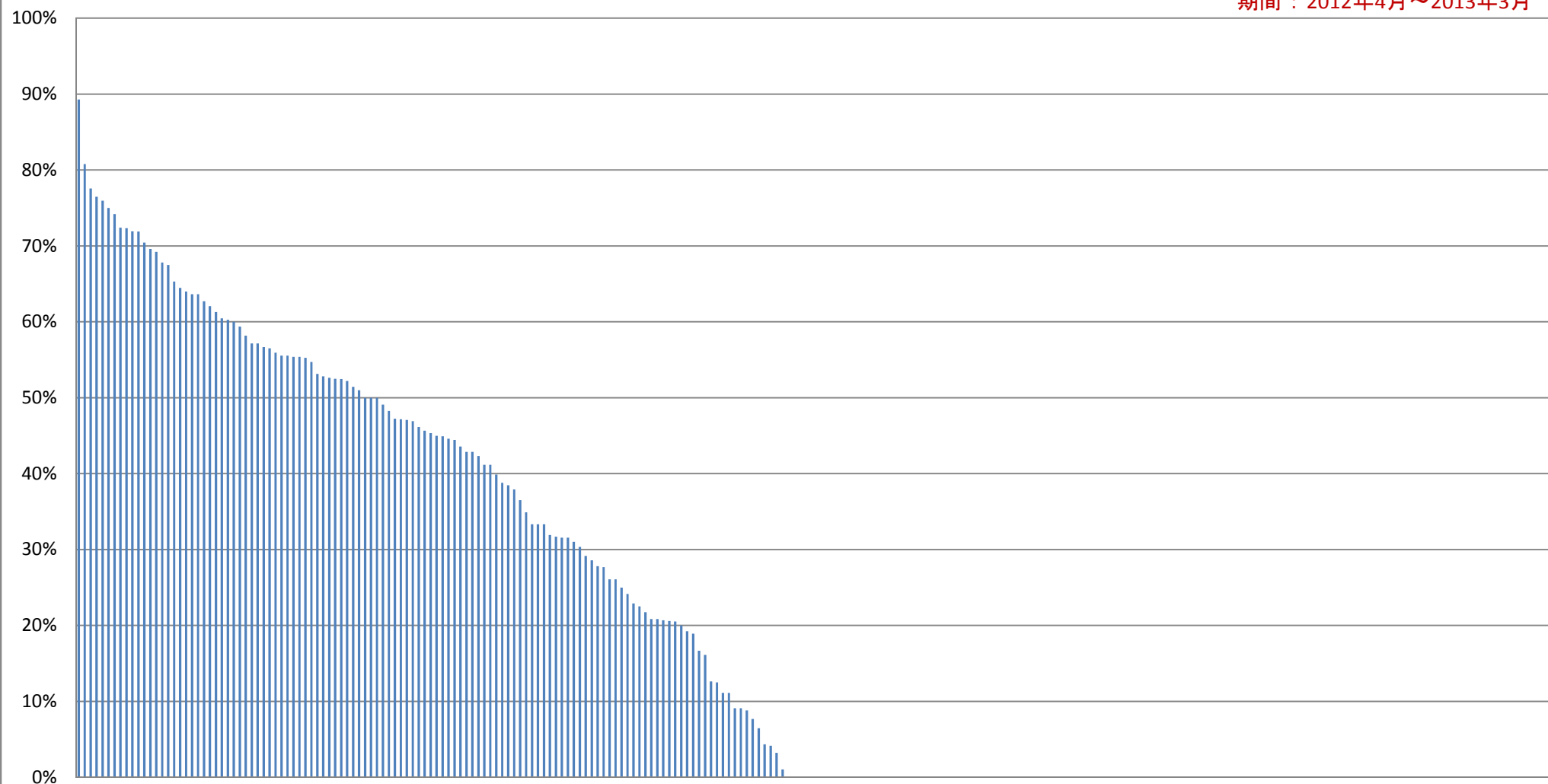


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率

期間：2012年4月～2013年3月

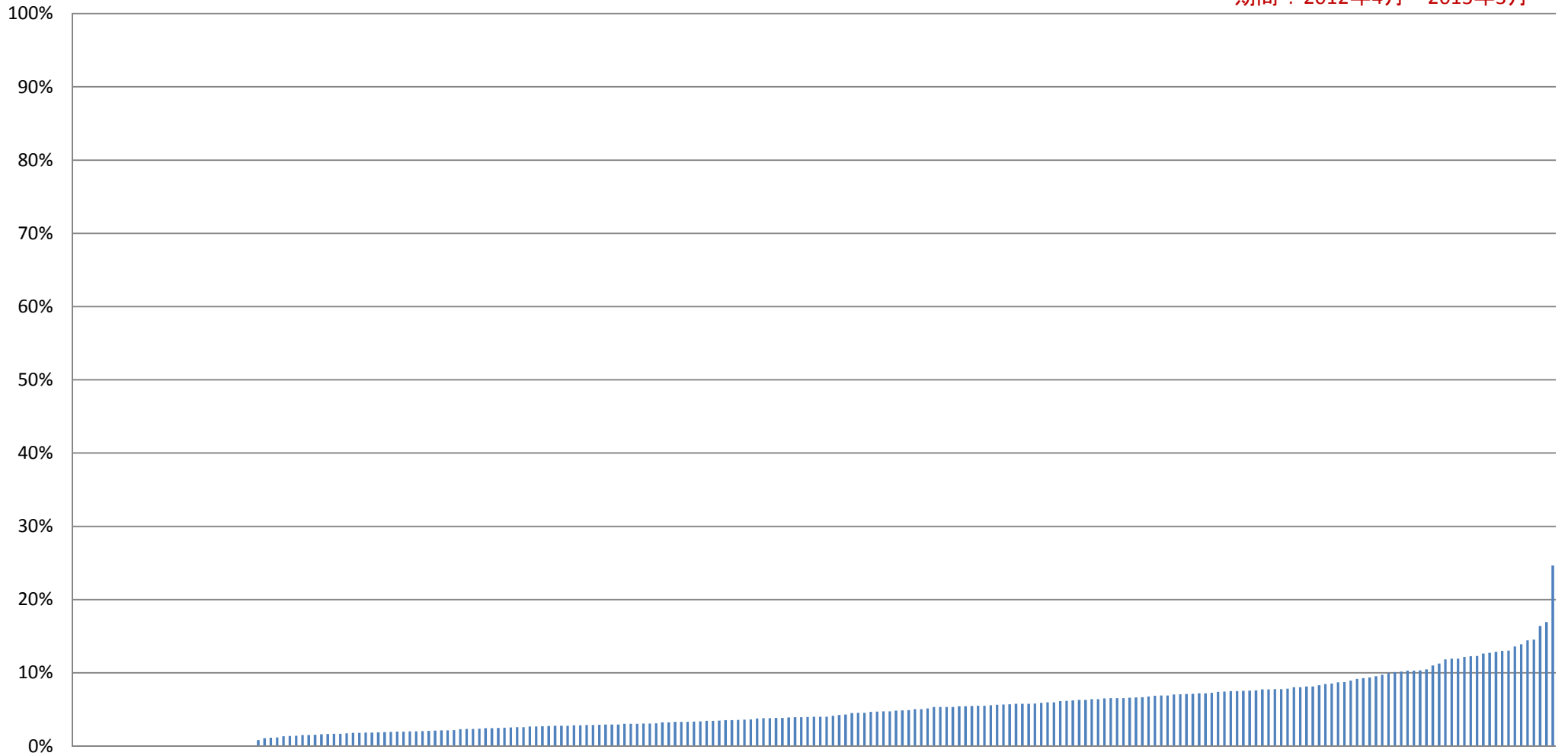


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

股関節骨折患者におけるリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数20例未満は解析対象とするが集計から除外

2012年度粗死亡率 4.682%、c-statistics: 0.711

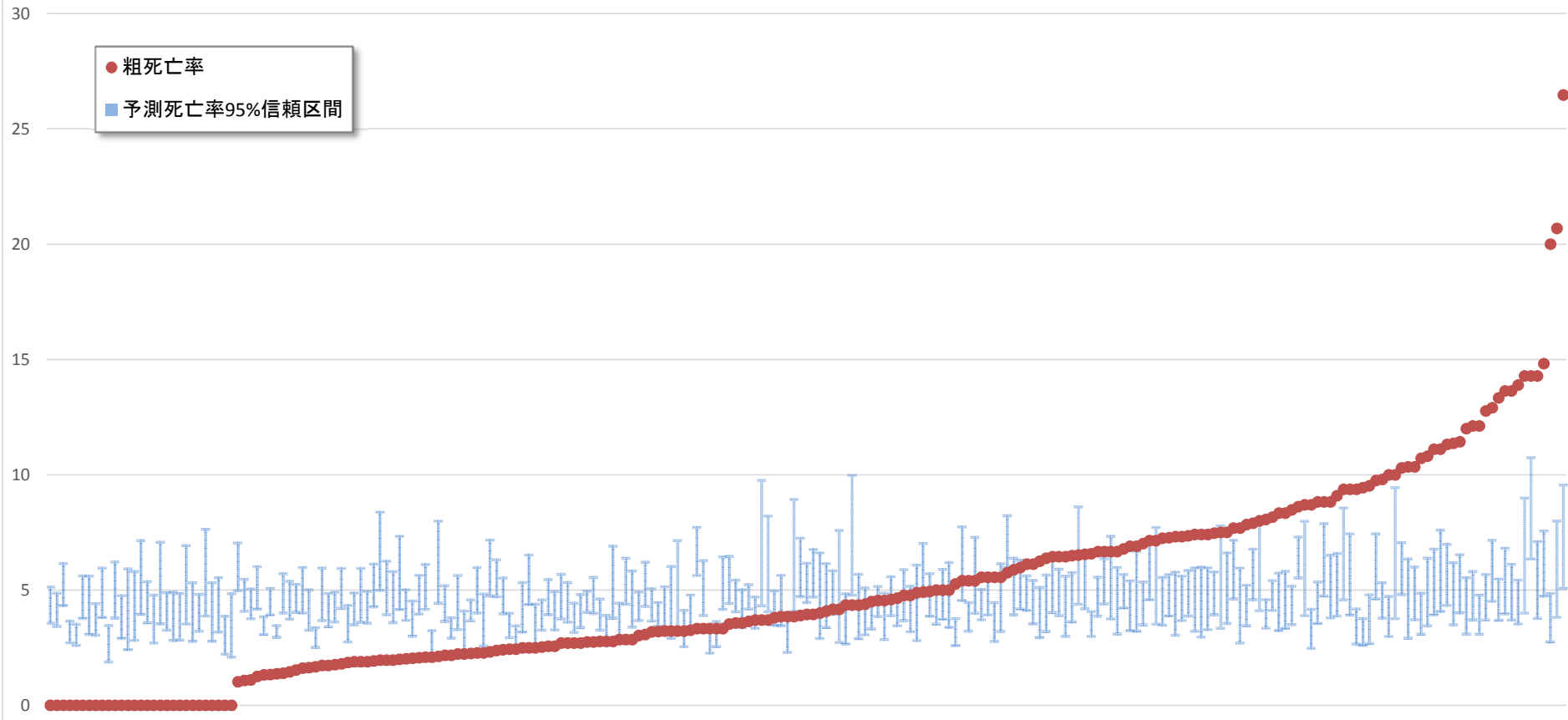
モデル投入変数：年齢、性別、入院時併存症(Charlson Index)、骨折状況(開放性／閉鎖性／不明)、入院時Barthel Index、喫煙指数、病的骨折の基礎疾患

→2010年度、2011年度、2012年度を別に解析

※病院記号は表にてご確認ください。

股関節骨折患者におけるリスク調整院内死亡率 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数20例未満は解析対象とするが集計から除外

2012年度粗死亡率 4.682%、c-statistics: 0.711

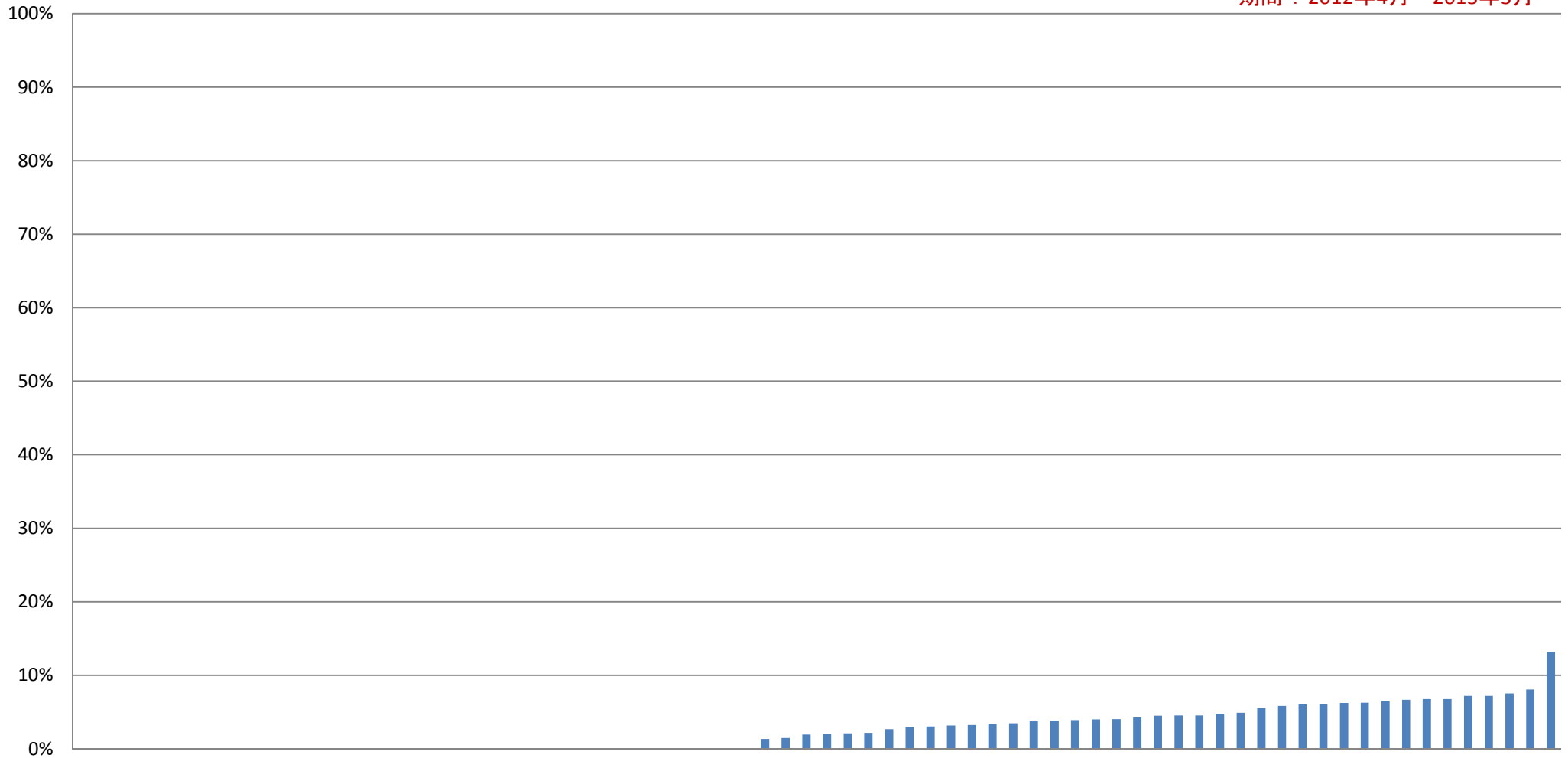
モデル投入変数：年齢、性別、入院時併存症(Charlson Index)、骨折状況(開放性/閉鎖性/不明)、入院時Barthel Index、喫煙指数、病的骨折の基礎疾患

→2010年度、2011年度、2012年度を別に解析

※病院記号は表にてご確認ください。

股関節置換術におけるリスク調整院内死亡率

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数20例未満は解析対象とするが集計から除外

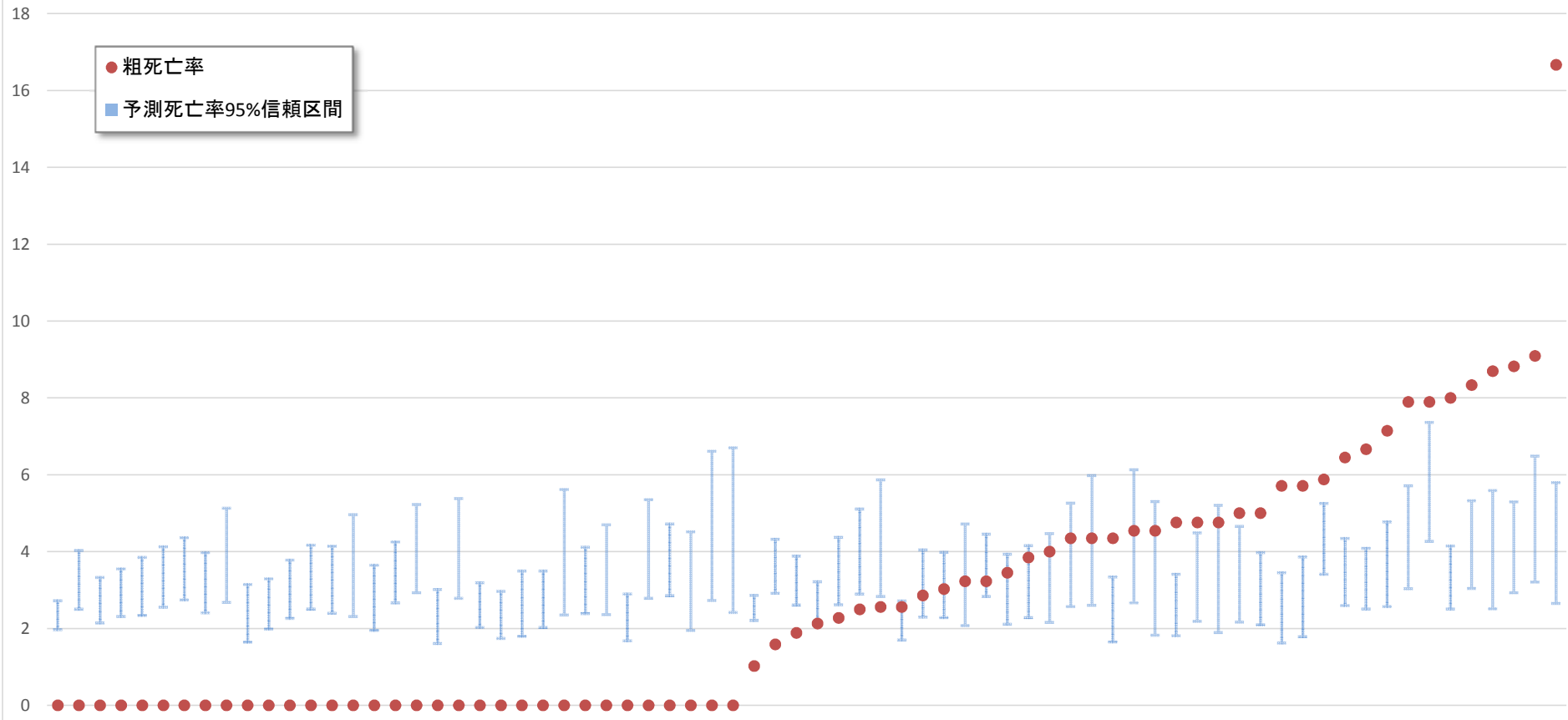
粗死亡率 3.349%、c-statistics: 0.712

モデル投入変数：年齢、性別、入院時併存症(Charlson Index)、骨折状況(開放性／閉鎖性／不明)、入院時Barthel Index →2010年度、2011年度、2012年度を別に解析

※病院記号は表にてご確認ください。

股関節置換術におけるリスク調整院内死亡率 (粗死亡率と予測死亡率の信頼区間)

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。期間症例数20例未満は解析対象とするが集計から除外

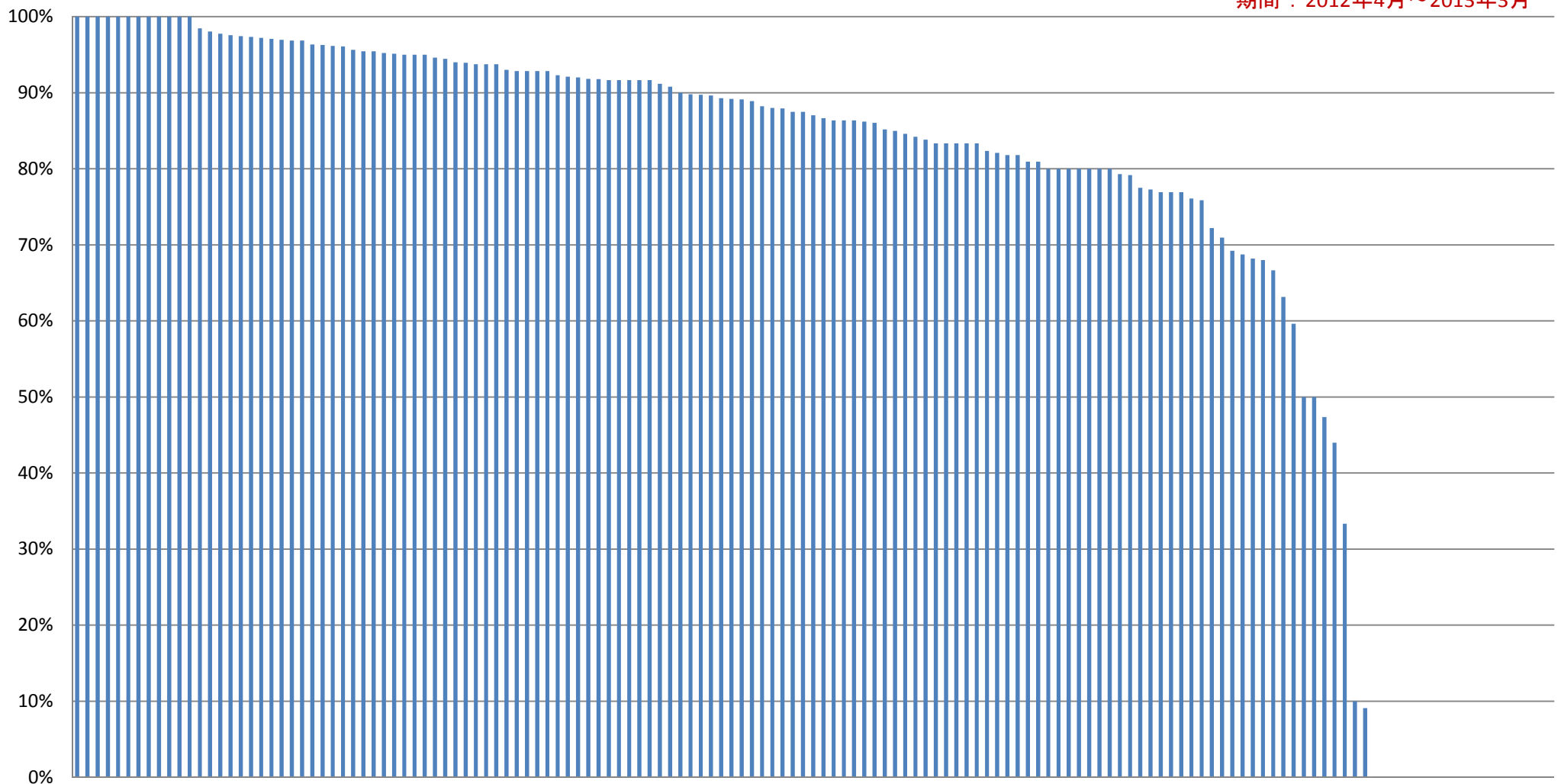
粗死亡率 3.349%、c-statistics: 0.712

モデル投入変数：年齢、性別、入院時併存症(Charlson Index)、骨折状況(開放性/閉鎖性/不明)、入院時Barthel Index →2010年度、2011年度、2012年度を別に解析

※病院記号は表にてご確認ください。

T1-2,NOMO乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検率

期間：2012年4月～2013年3月

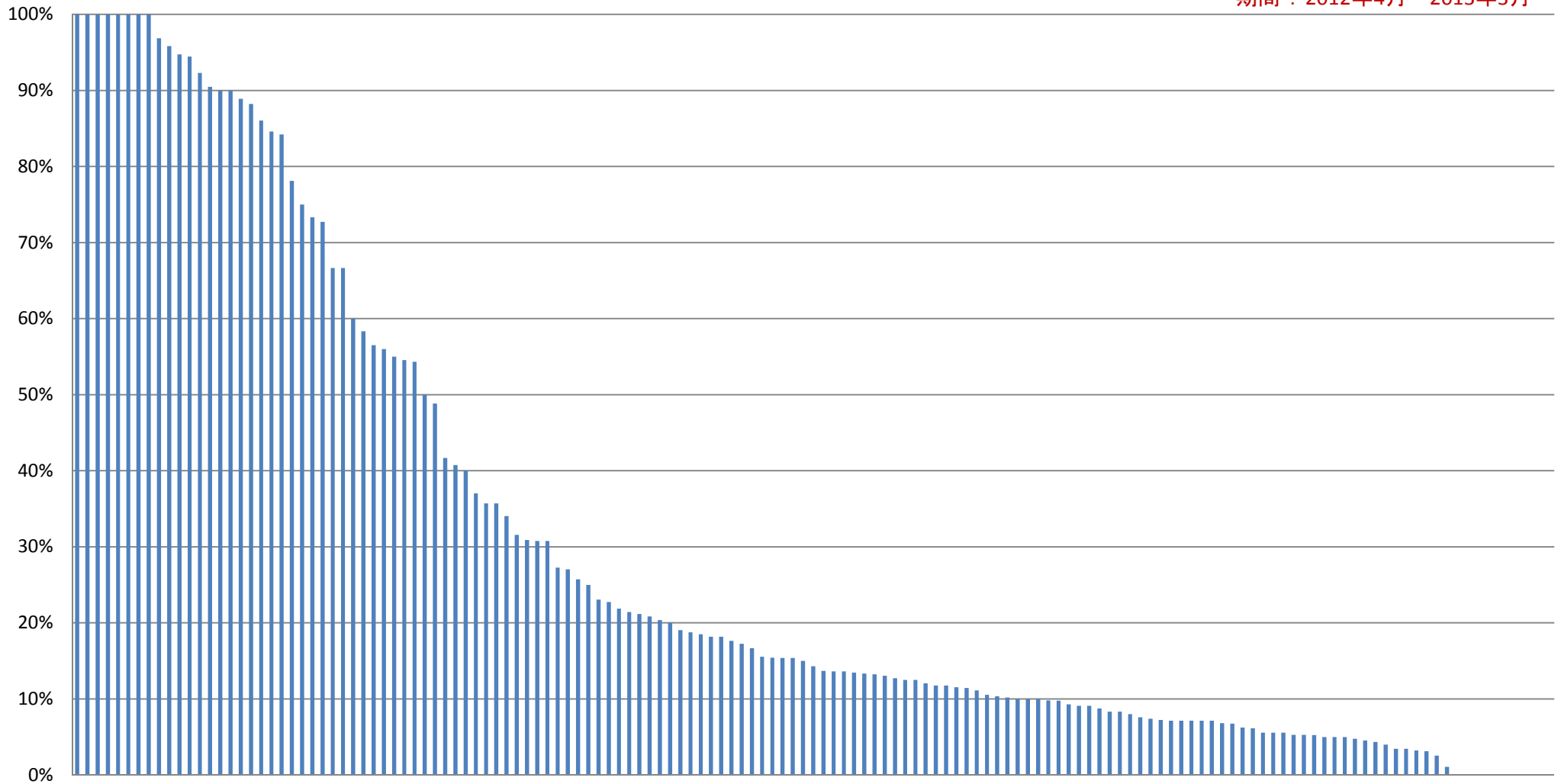


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

T1-2,NOMO乳がん手術患者に対する腋下リンパ節郭清実施率

期間：2012年4月～2013年3月

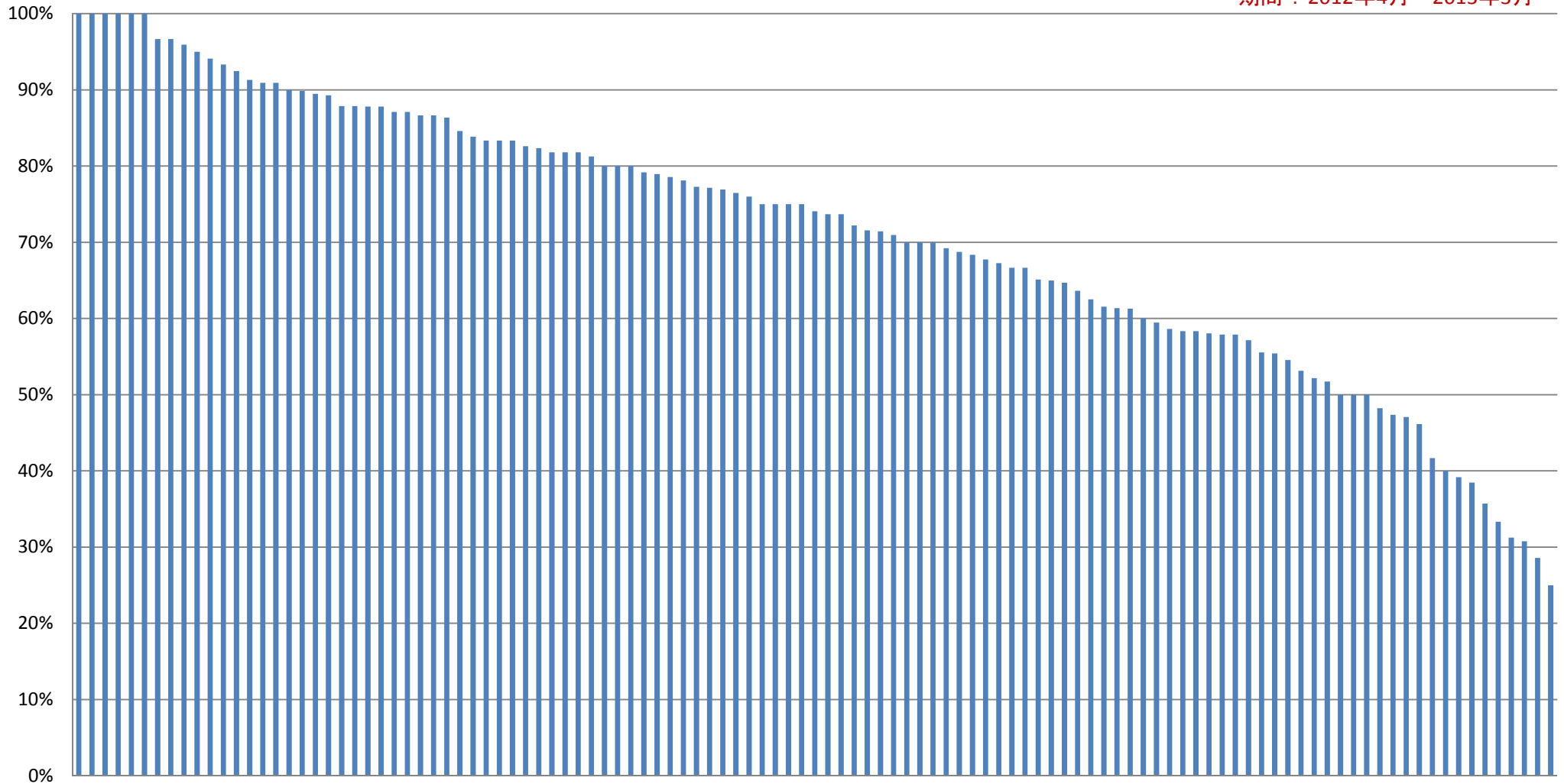


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

腫瘍径2cm以下のStageI浸潤性乳がんに対する乳房温存手術割合

期間：2012年4月～2013年3月

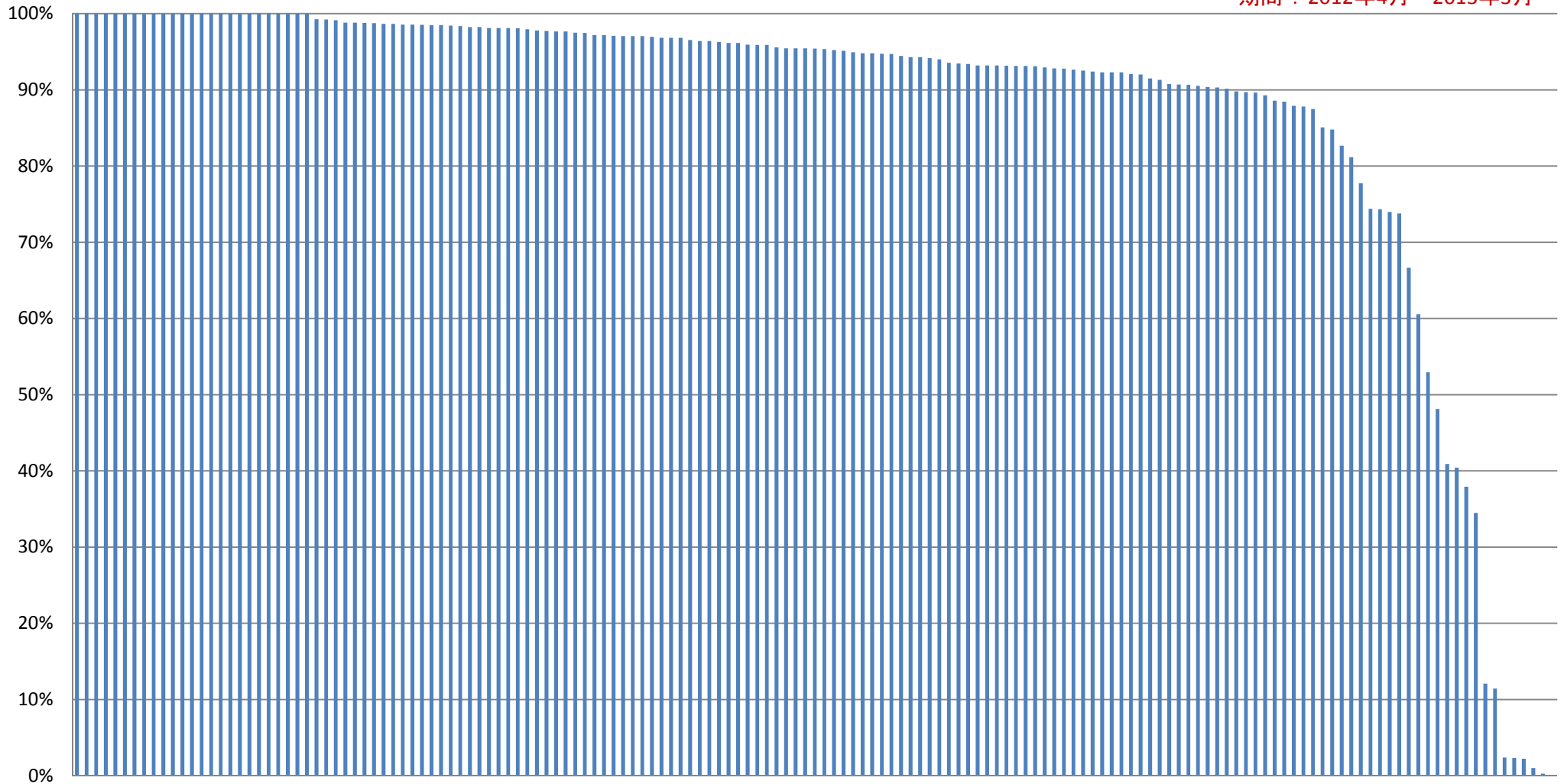


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

帝王切開術における全身麻酔以外の割合

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

帝王切開術のための入院期間中に輸血を受けた症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

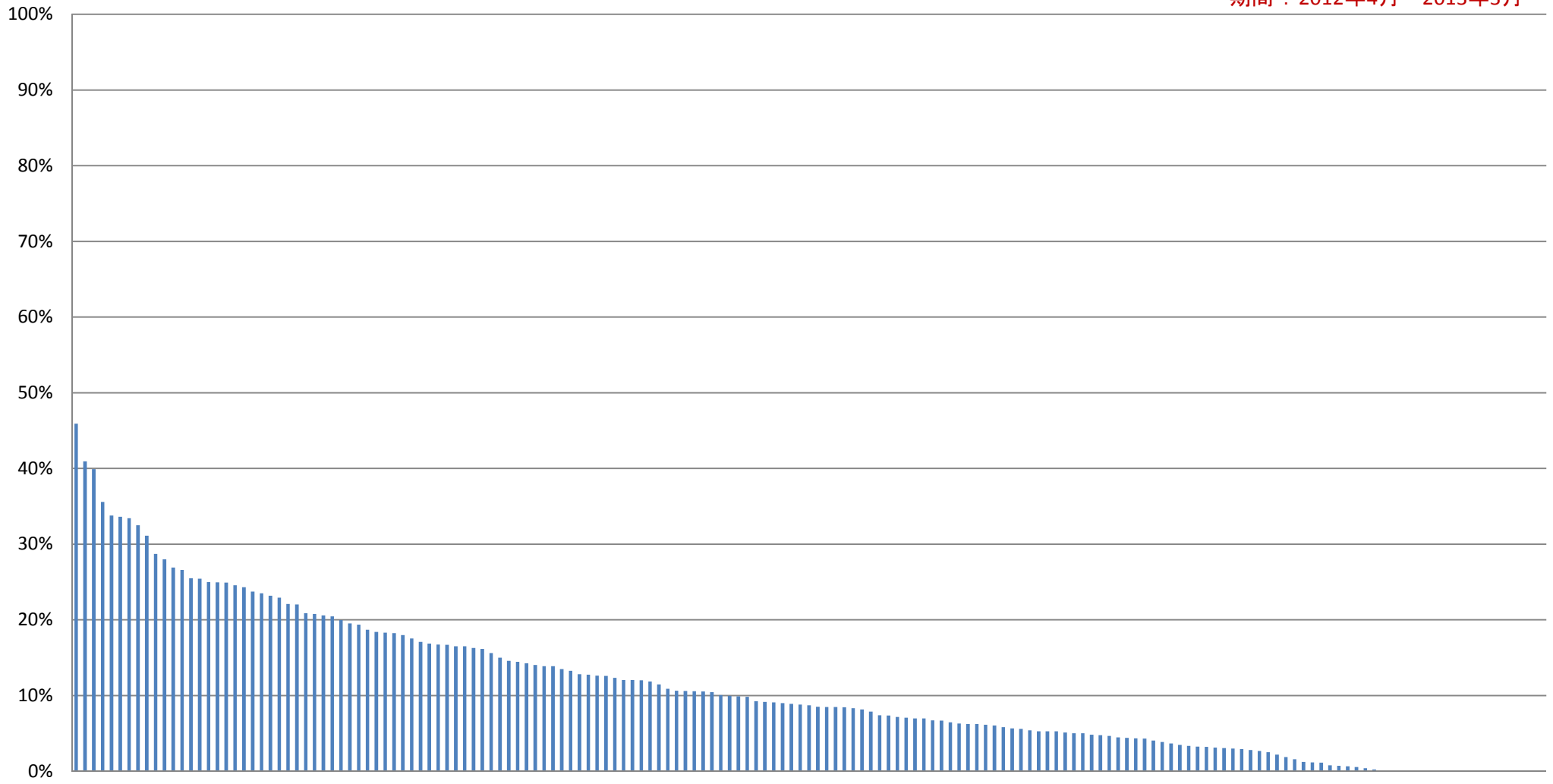


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

ハイリスク妊娠・分娩症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

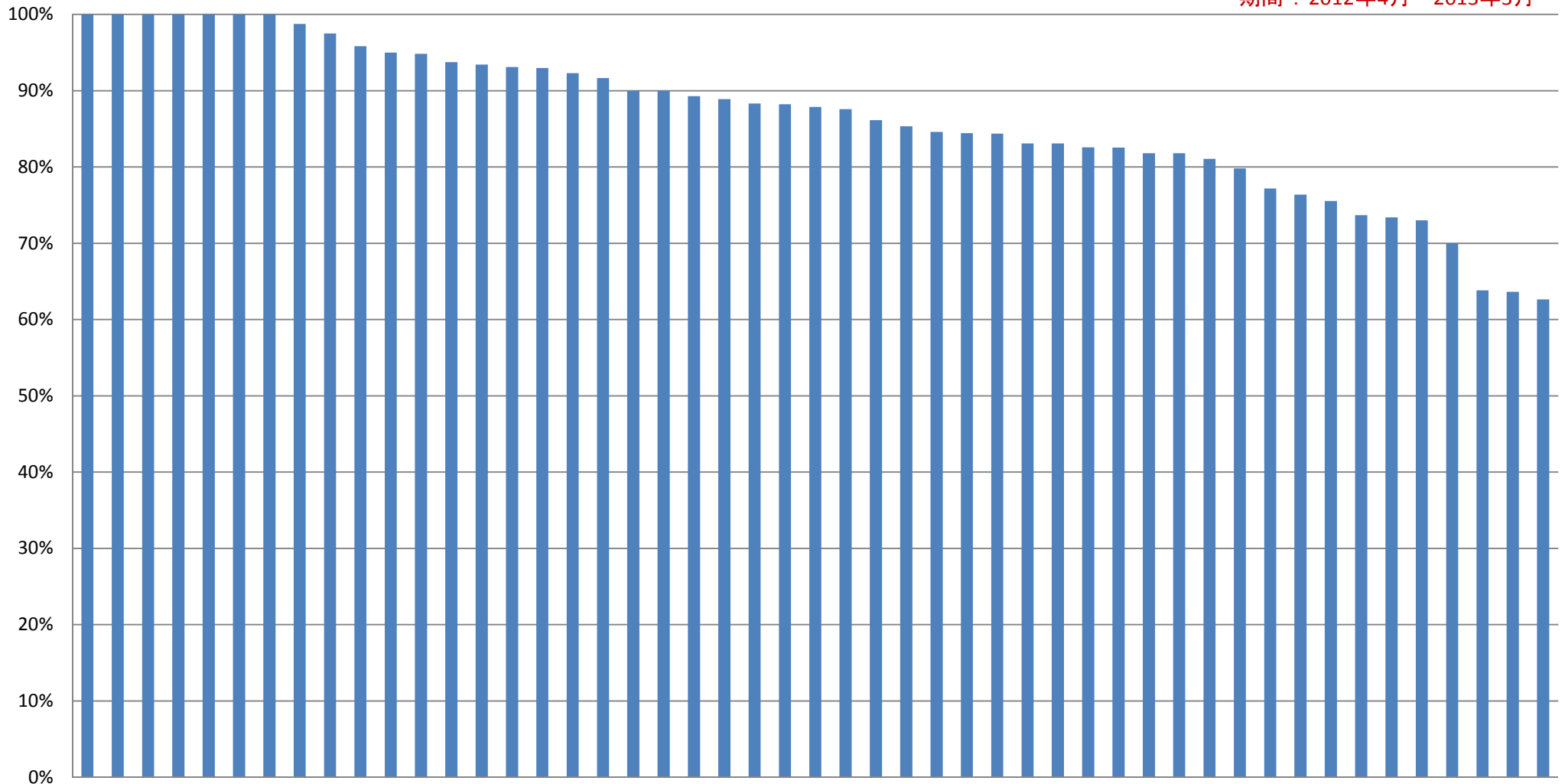


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

精神科入院症例のうち、向精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合

期間：2012年4月～2013年3月

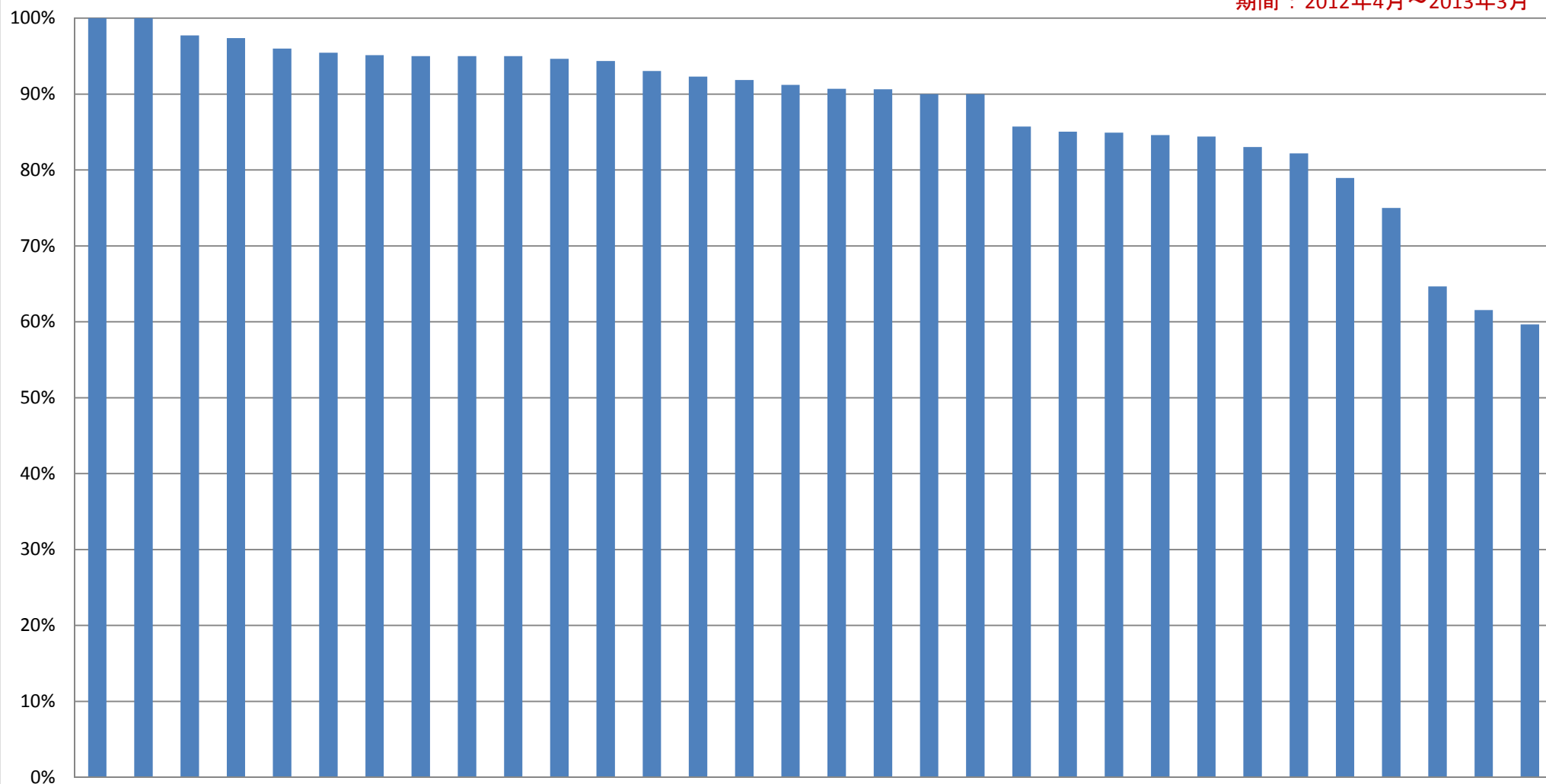


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

精神科入院症例のうち、抗精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合

期間：2012年4月～2013年3月

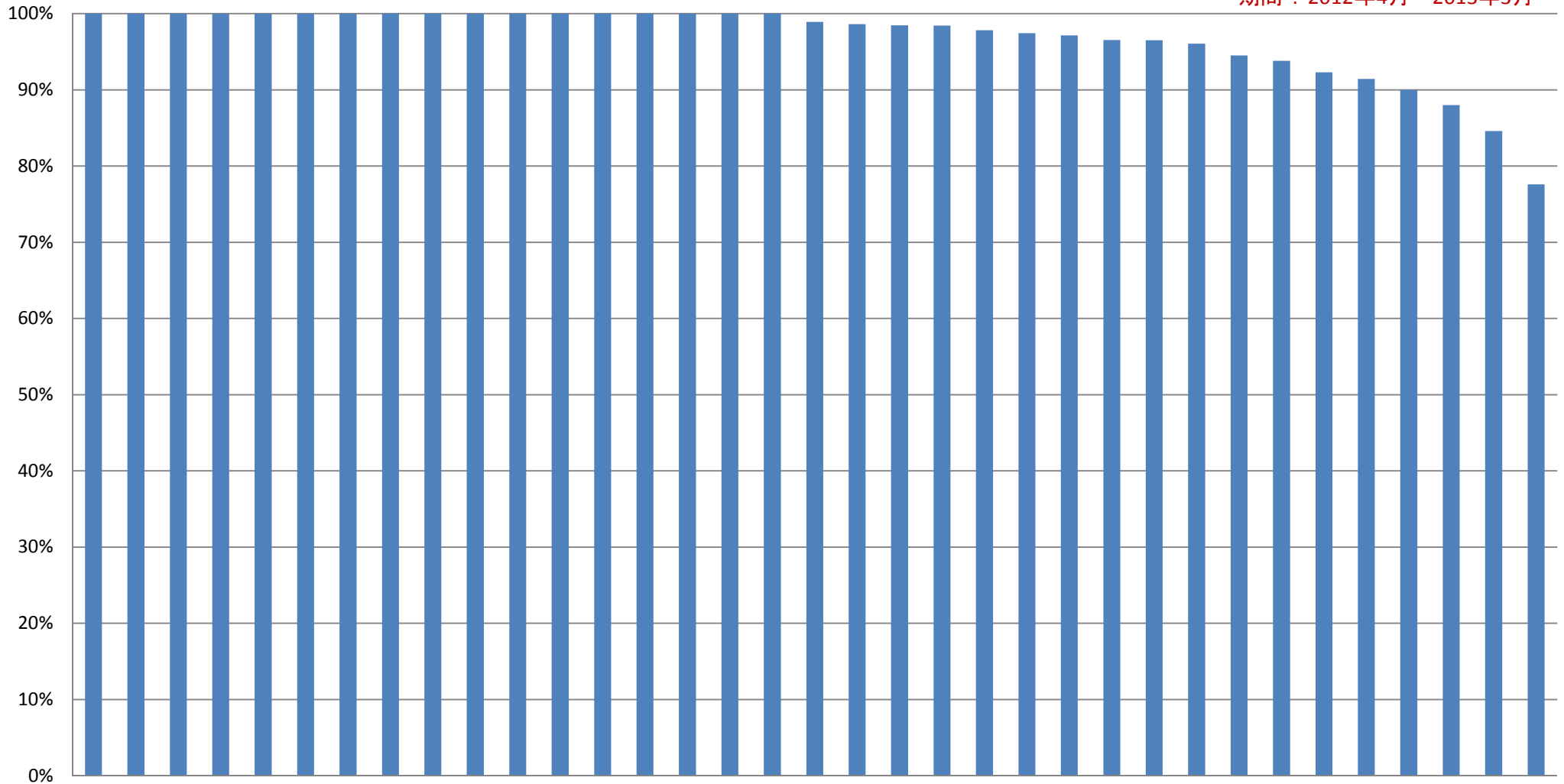


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

精神科入院症例のうち、抗不安薬の退院処方が単剤または2剤である割合

期間：2012年4月～2013年3月

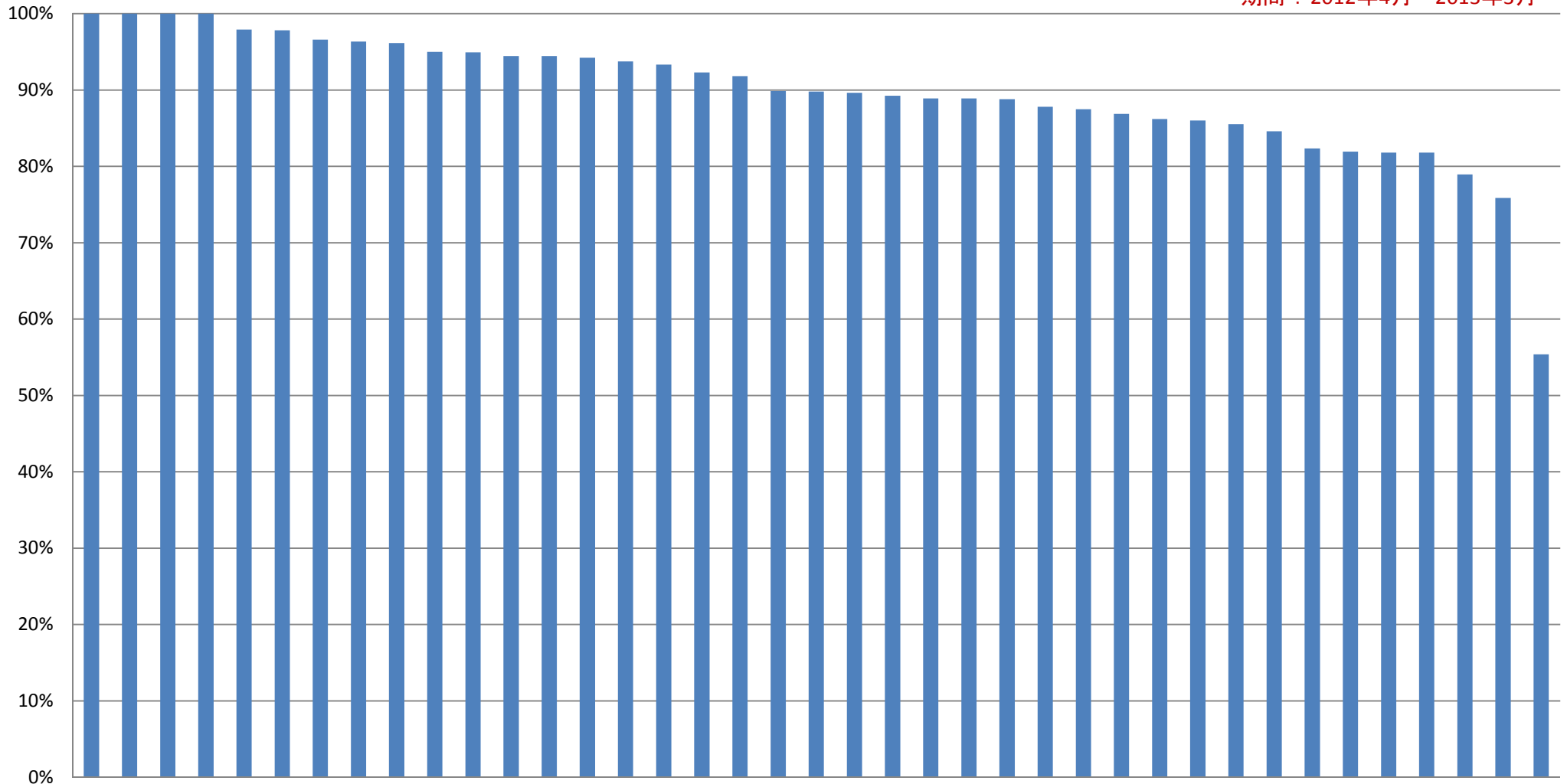


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

精神科入院症例のうち、睡眠薬の退院処方が単剤または2剤である割合

期間：2012年4月～2013年3月

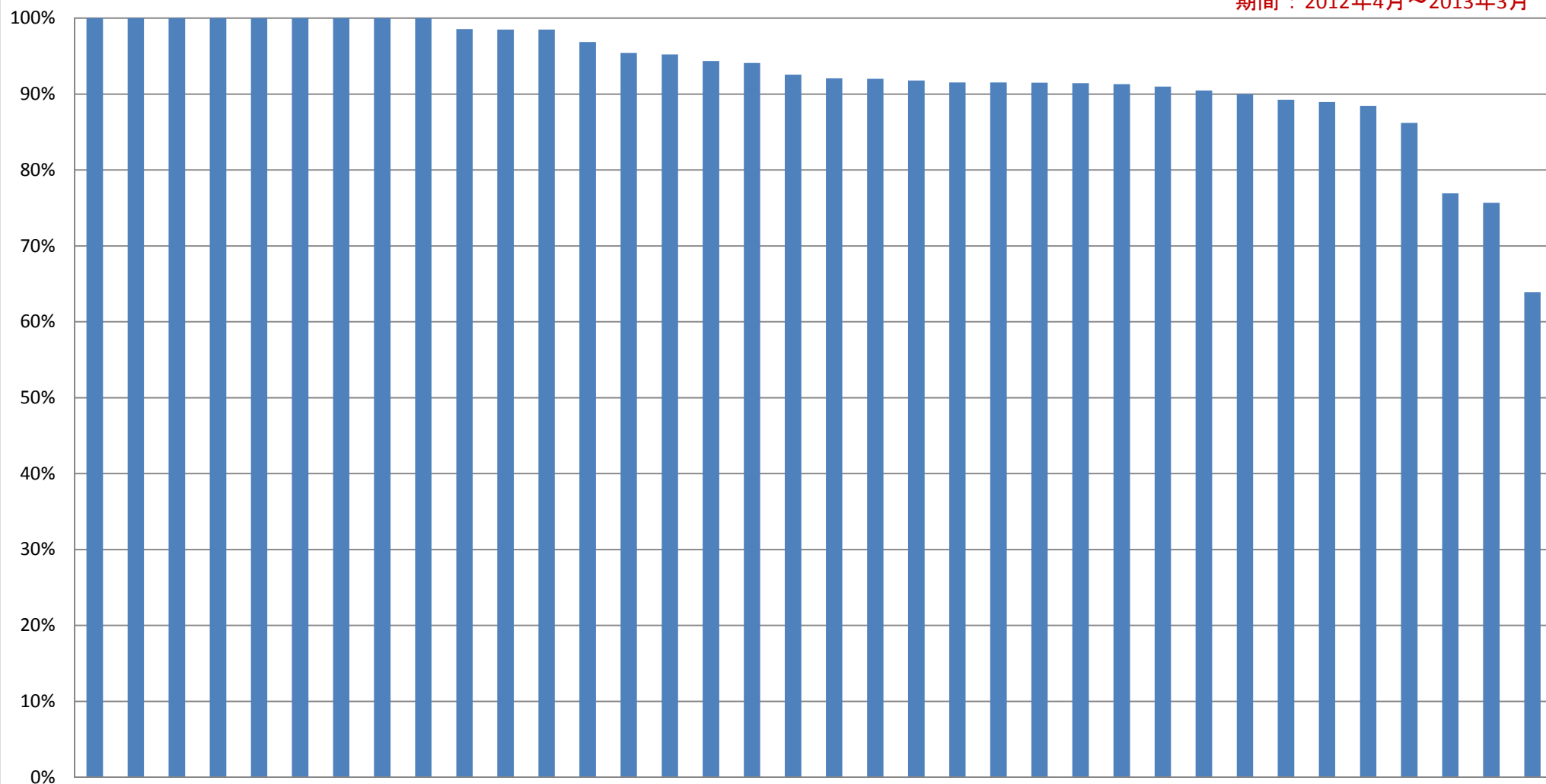


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

精神科入院症例のうち、抗うつ薬の退院処方が単剤または2剤である割合

期間：2012年4月～2013年3月

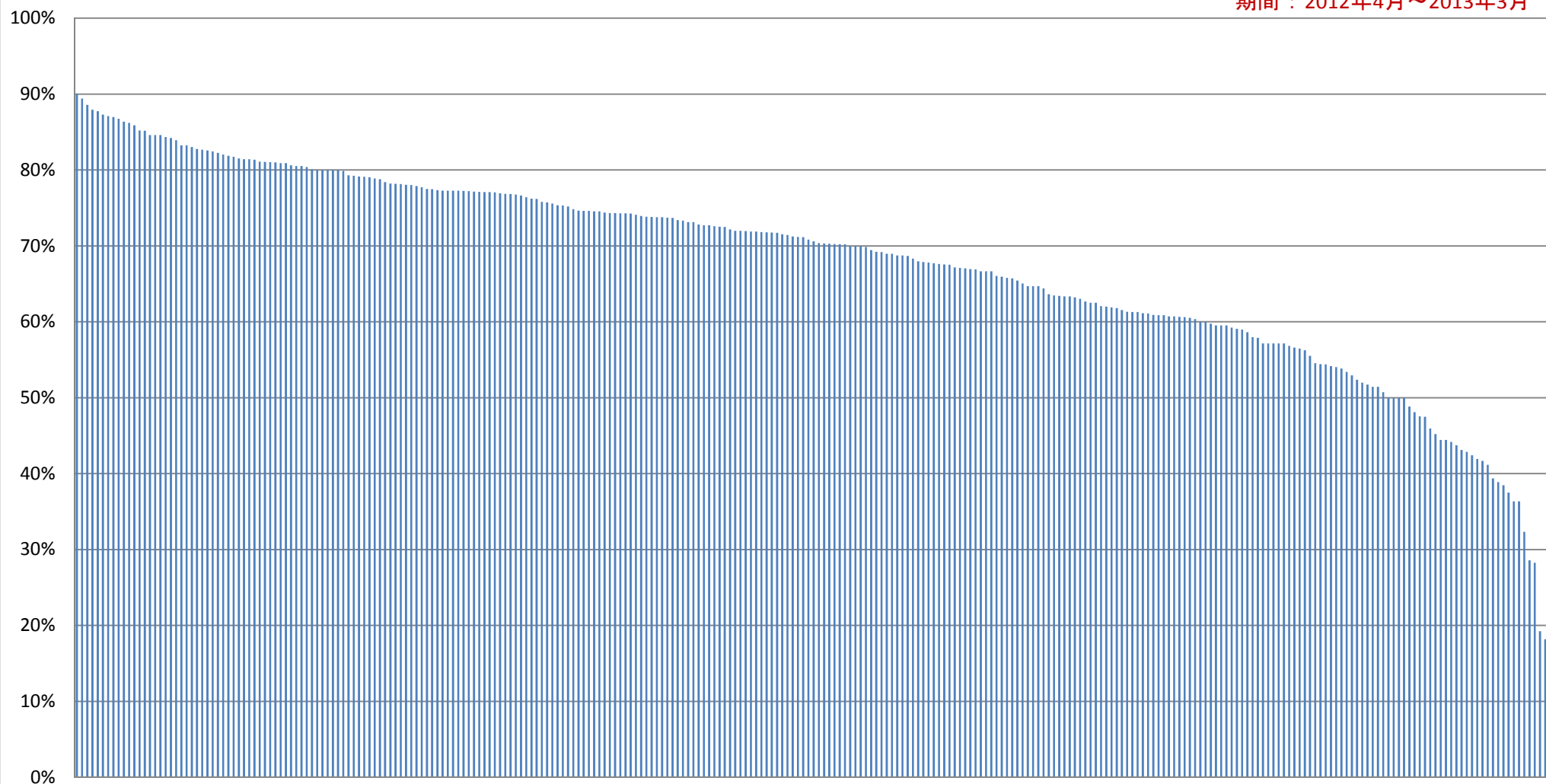


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

がんの疼痛管理のため、長時間作用型麻薬に加えて短時間作用型麻薬を頓用として処方された症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

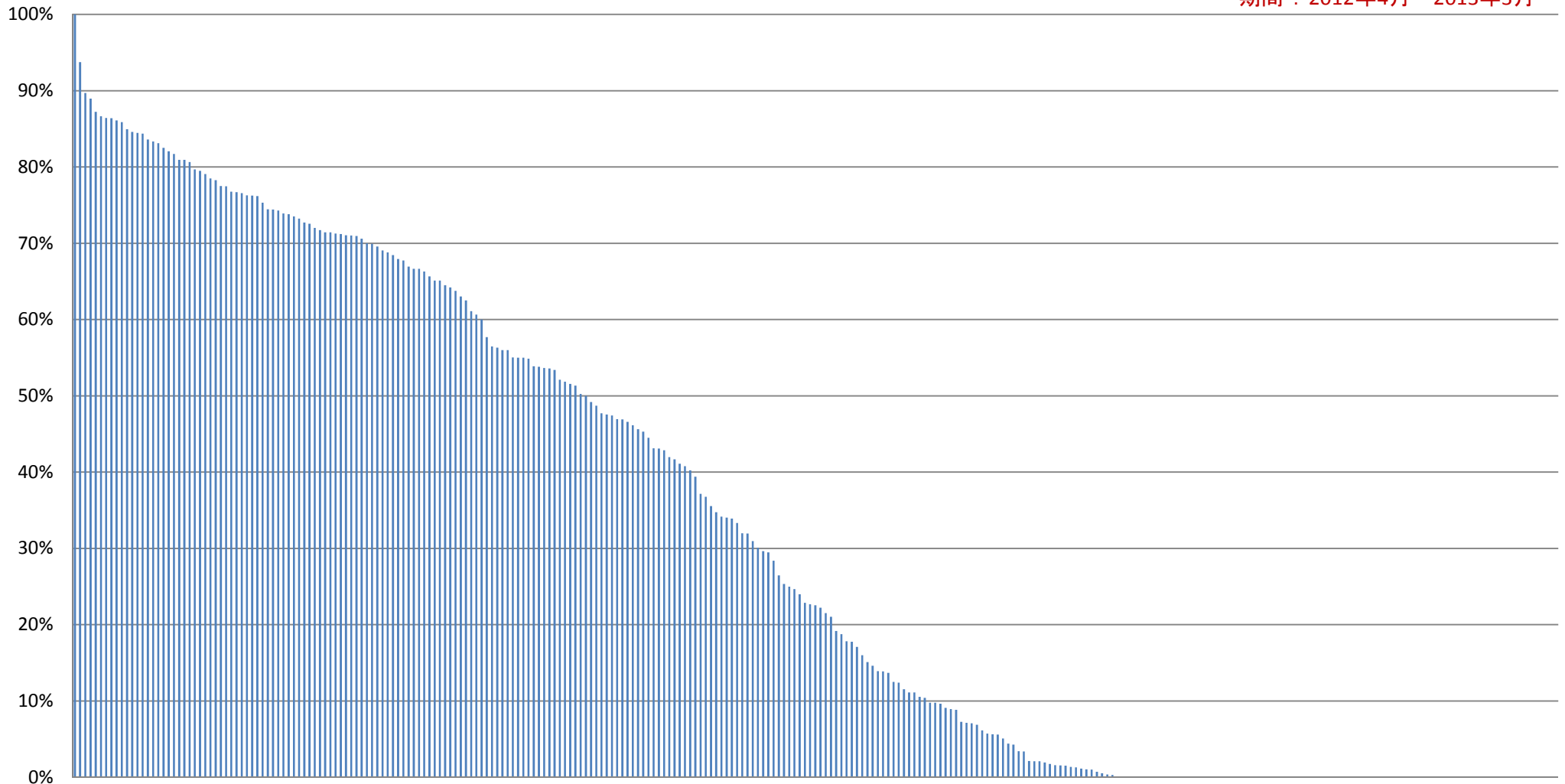


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

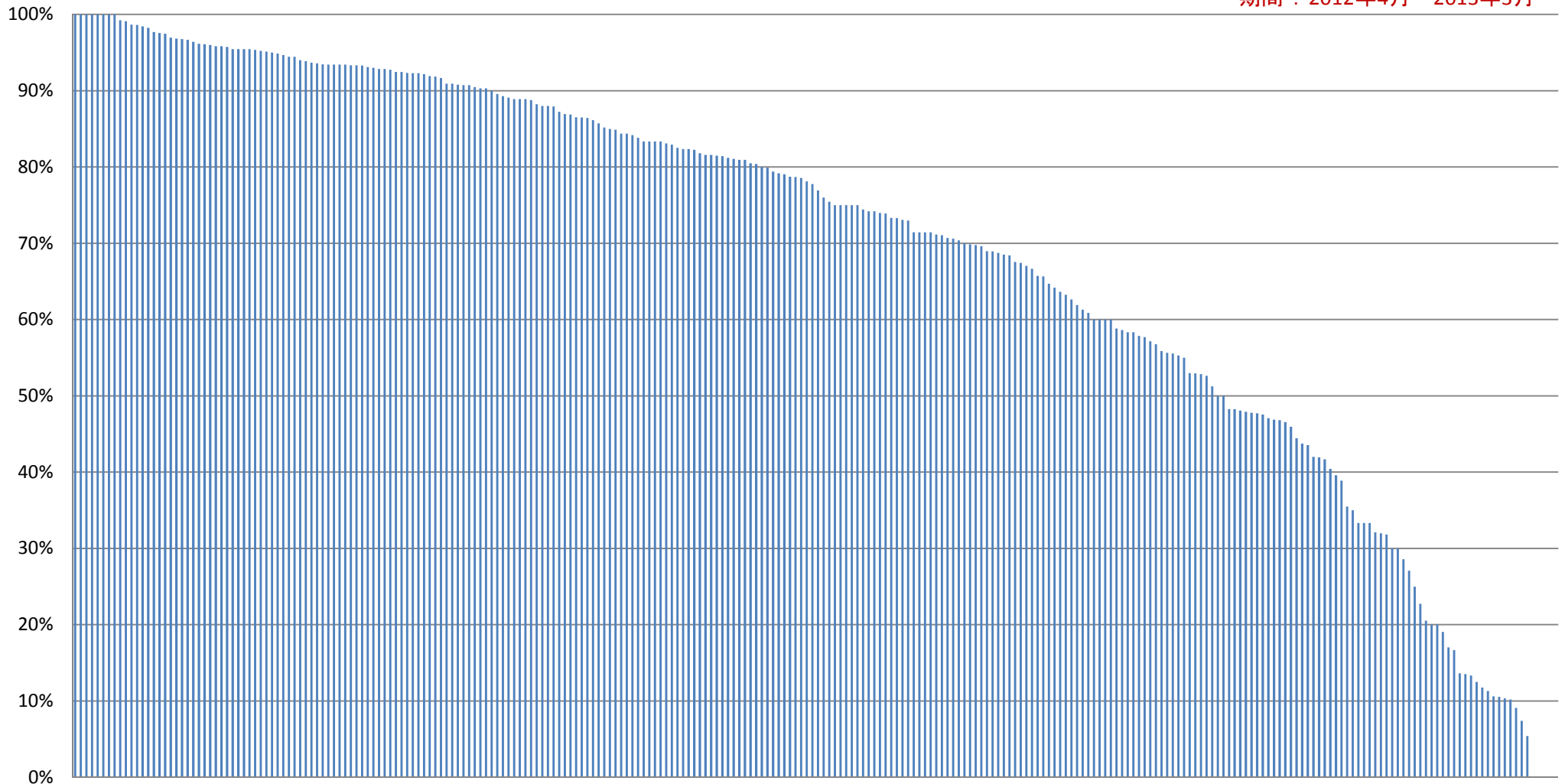


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

抗MRSA薬投与に対して、薬物血中濃度を測定された症例の割合

期間：2012年4月～2013年3月

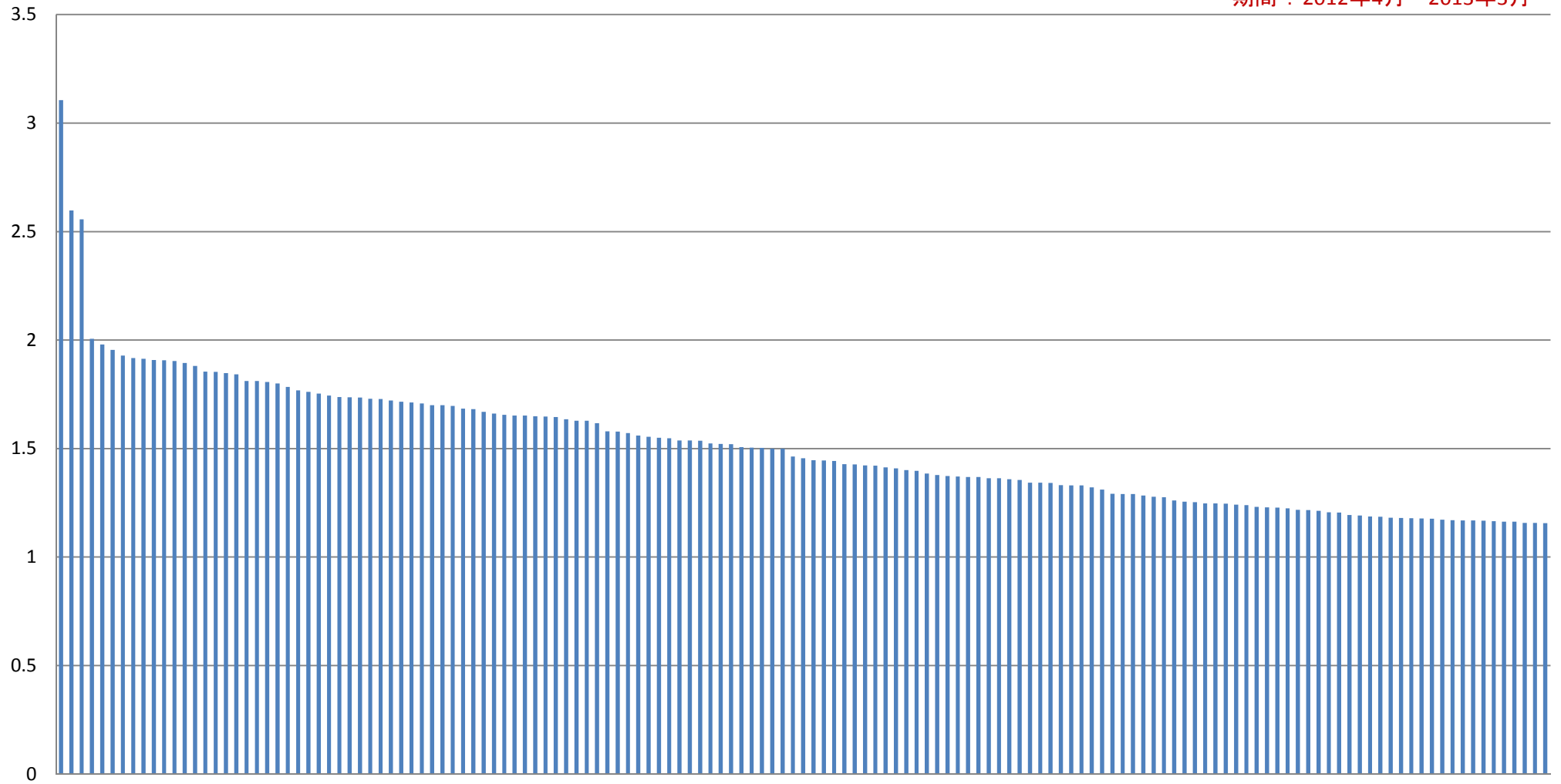


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

血液培養1患者1日当たりの平均実施セット数

期間：2012年4月～2013年3月

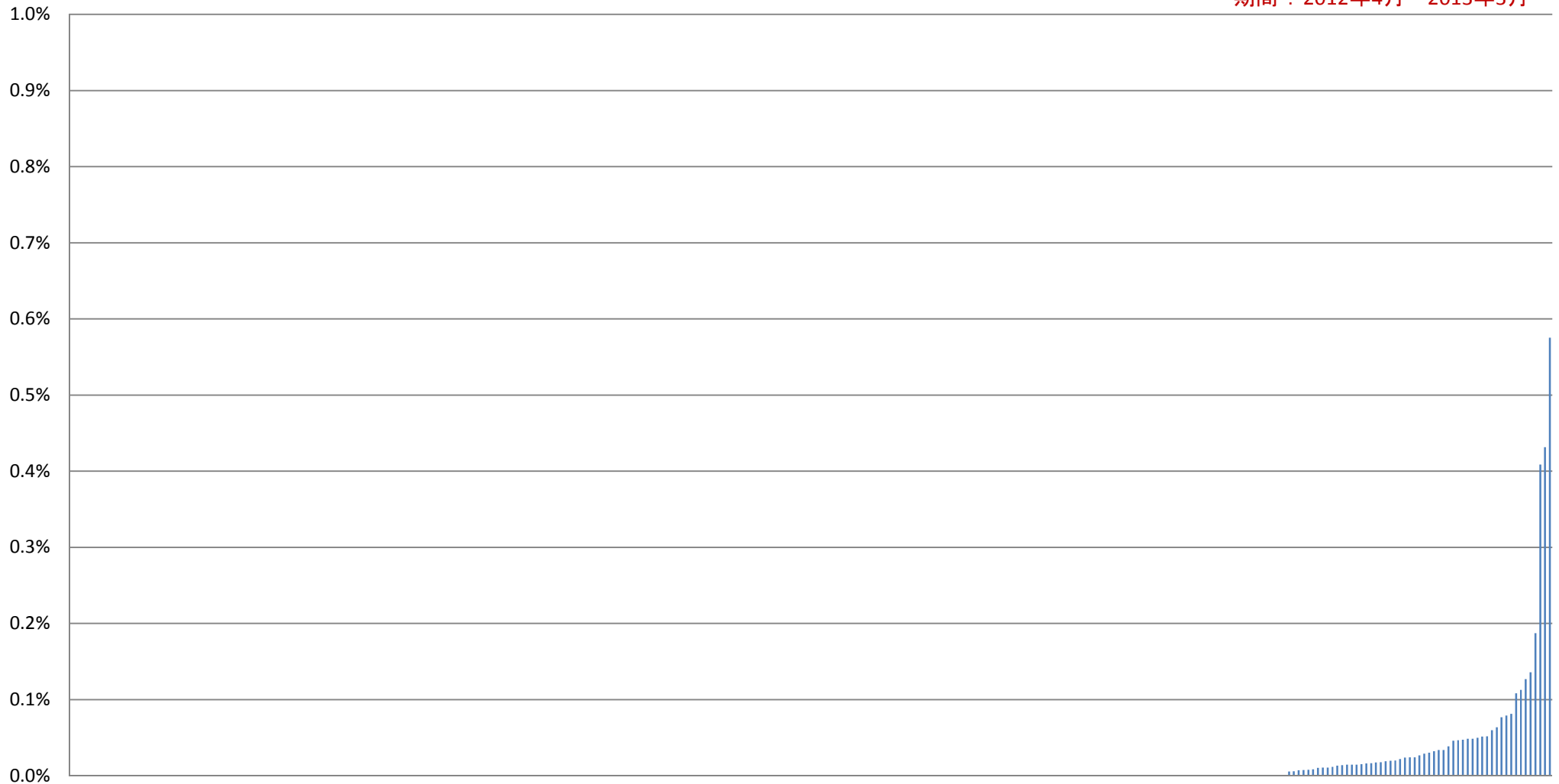


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

全退院症例中、カテーテル留置による尿路感染症の発症率

期間：2012年4月～2013年3月



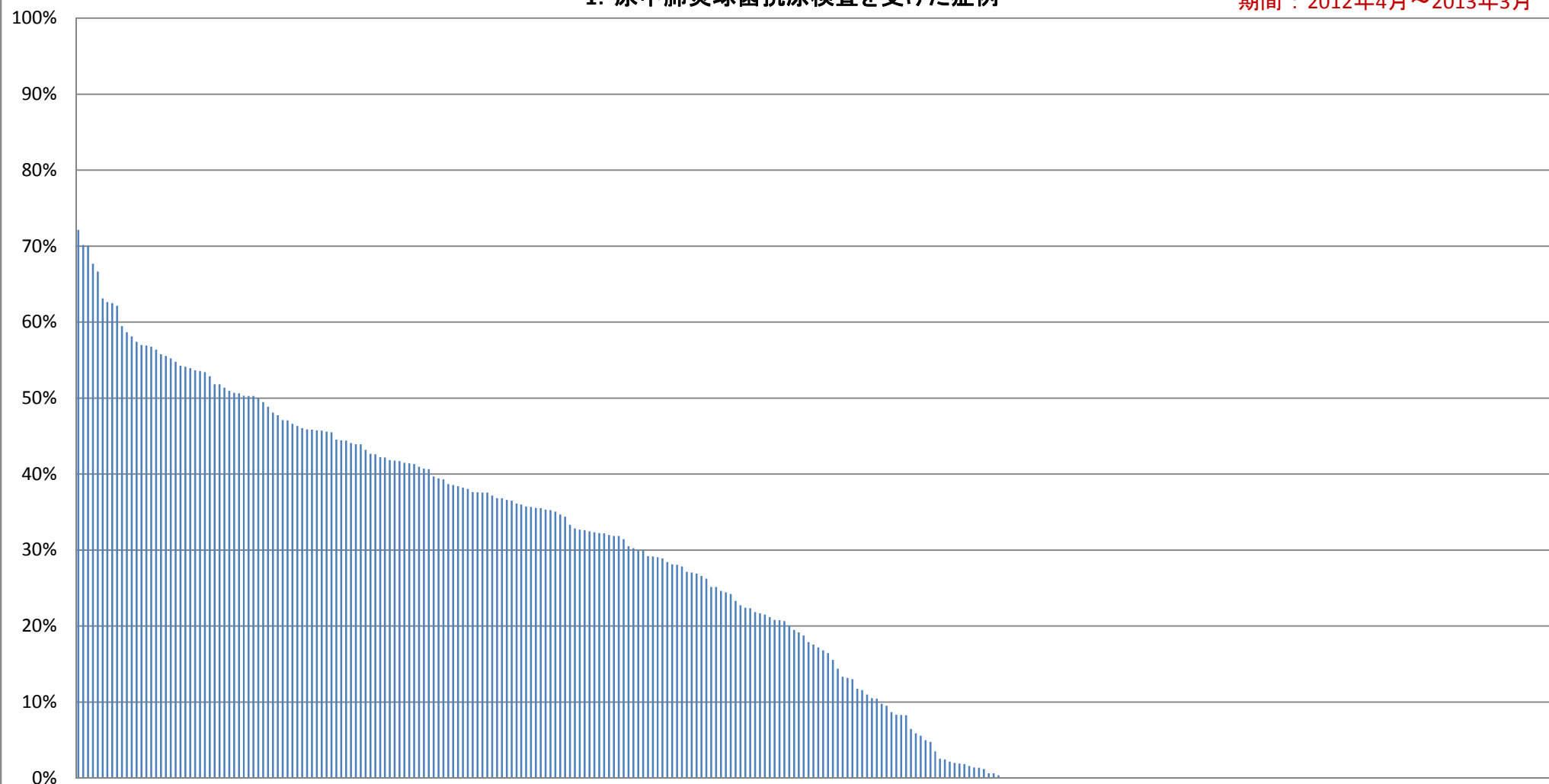
データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

肺炎に対し、尿中肺炎球菌抗原検査、血液培養検査、入院当日から抗生物質投与が実施された割合

1. 尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例

期間：2012年4月～2013年3月

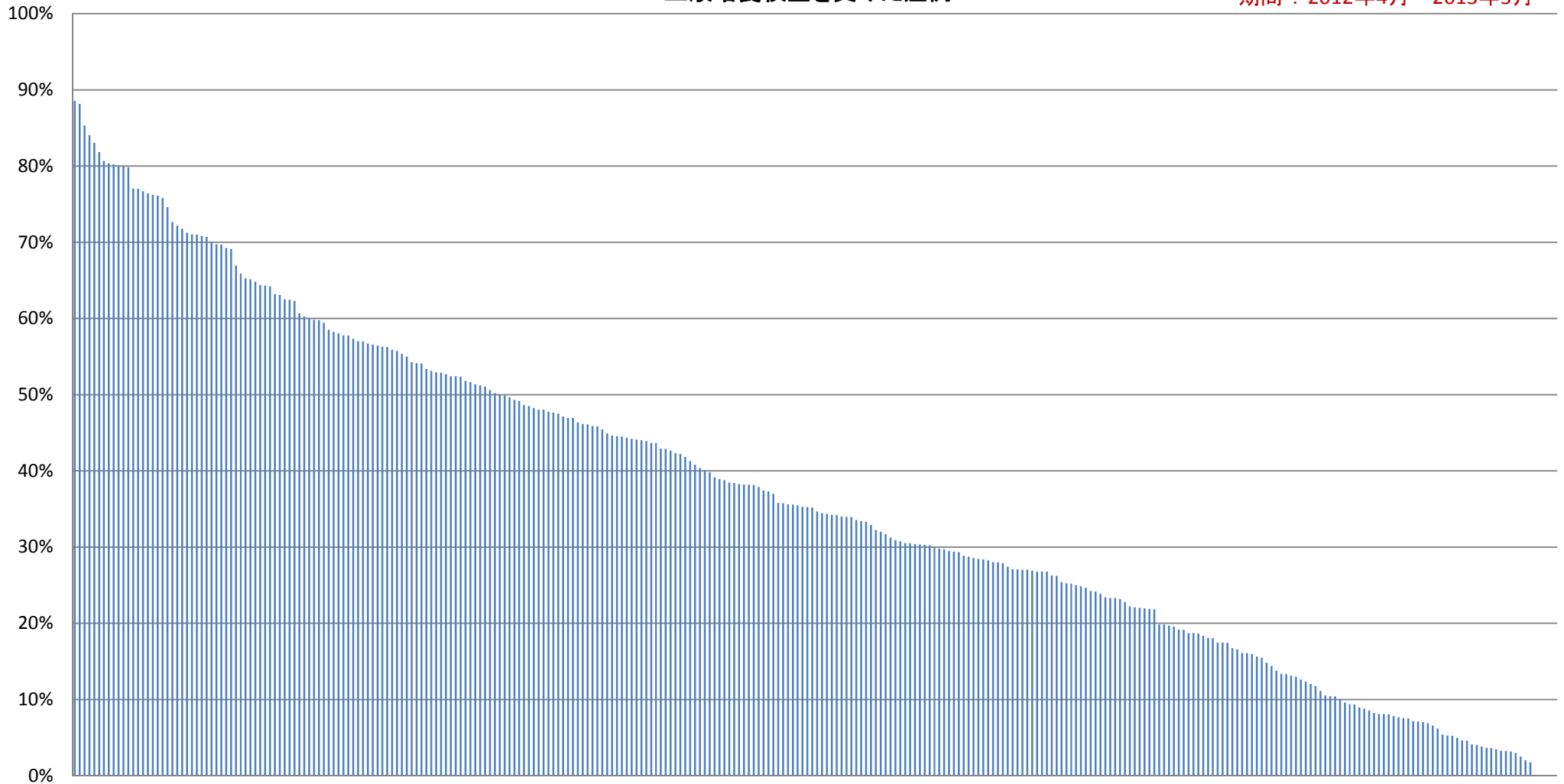


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

肺炎に対し、尿中肺炎球菌抗原検査、血液培養検査、入院当日から抗生物質投与が実施された割合
2. 血液培養検査を受けた症例

期間：2012年4月～2013年3月



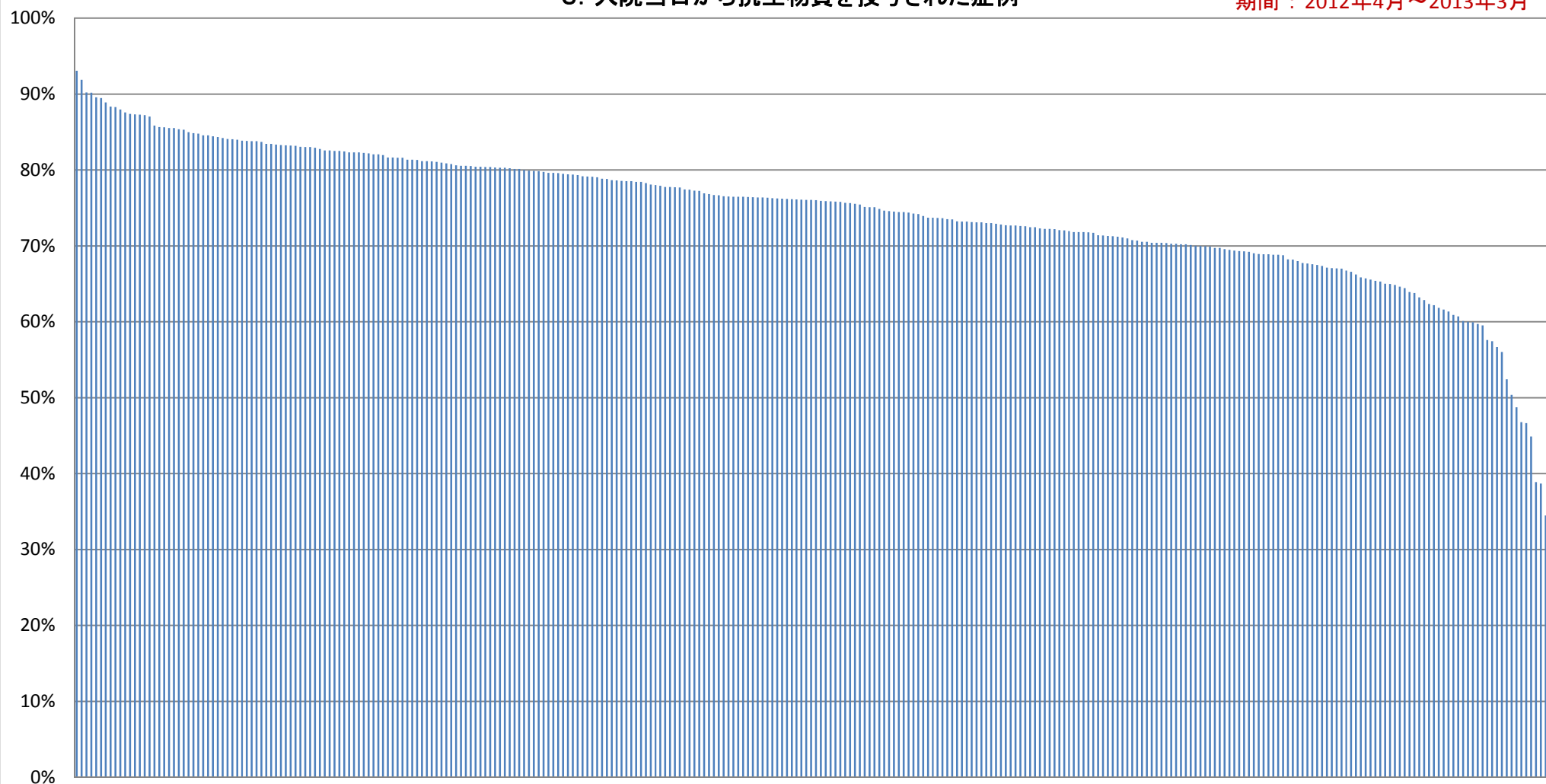
データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

肺炎に対し、尿中肺炎球菌抗原検査、血液培養検査、入院当日から抗生物質投与が実施された割合

3. 入院当日から抗生物質を投与された症例

期間：2012年4月～2013年3月

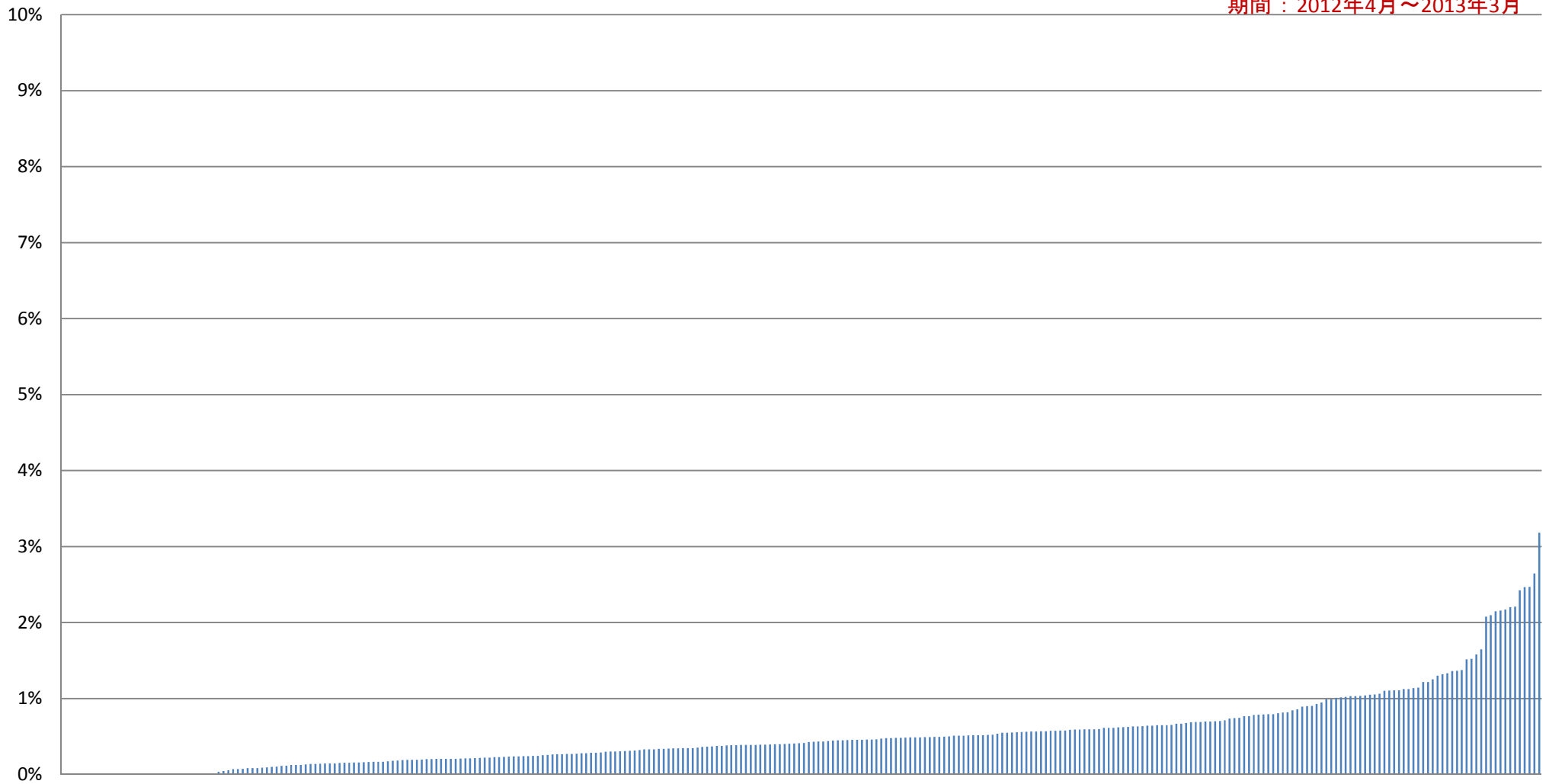


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

術後敗血症発症率(緊急手術を除く)

期間：2012年4月～2013年3月

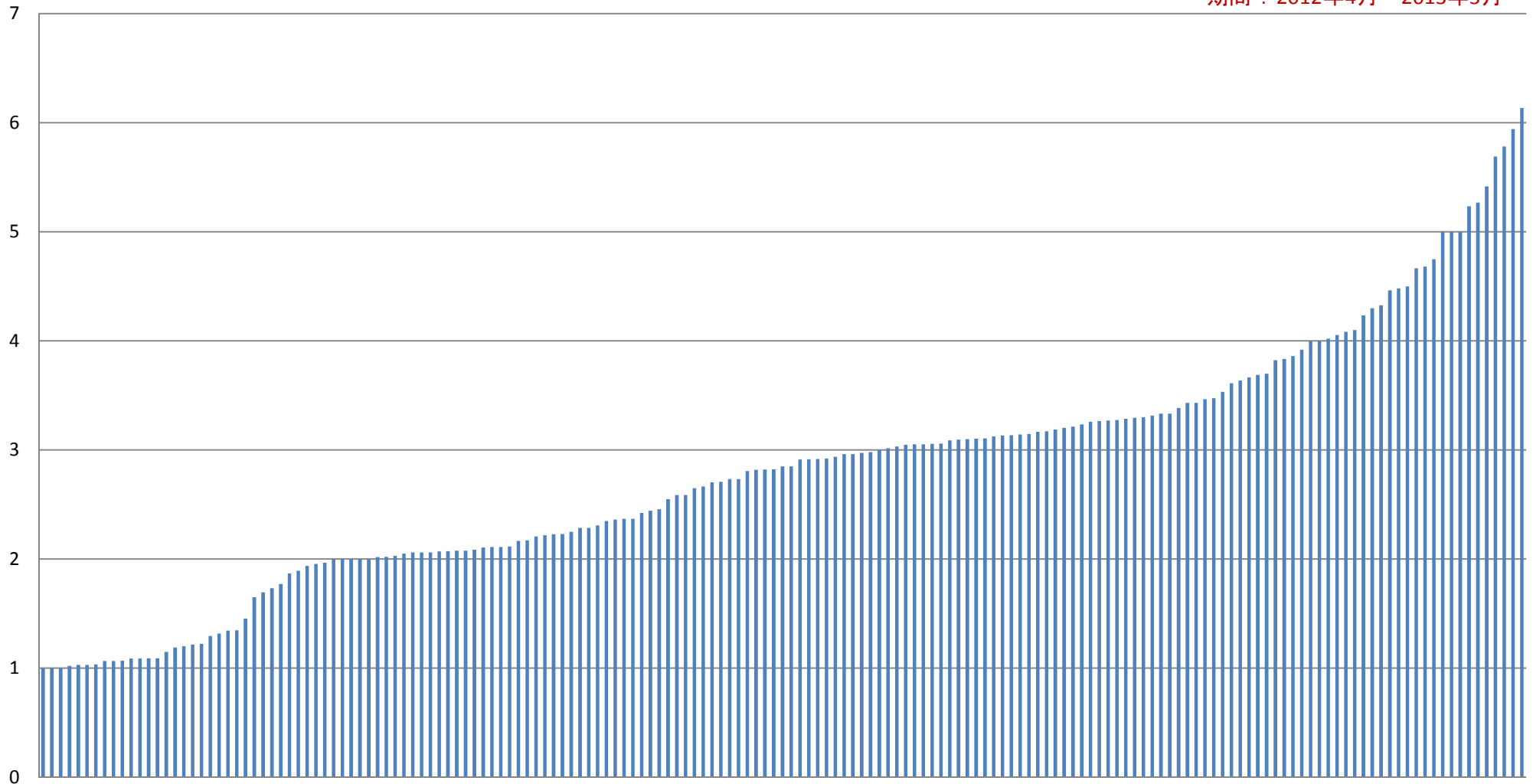


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－頭蓋内血腫除去術

期間：2012年4月～2013年3月

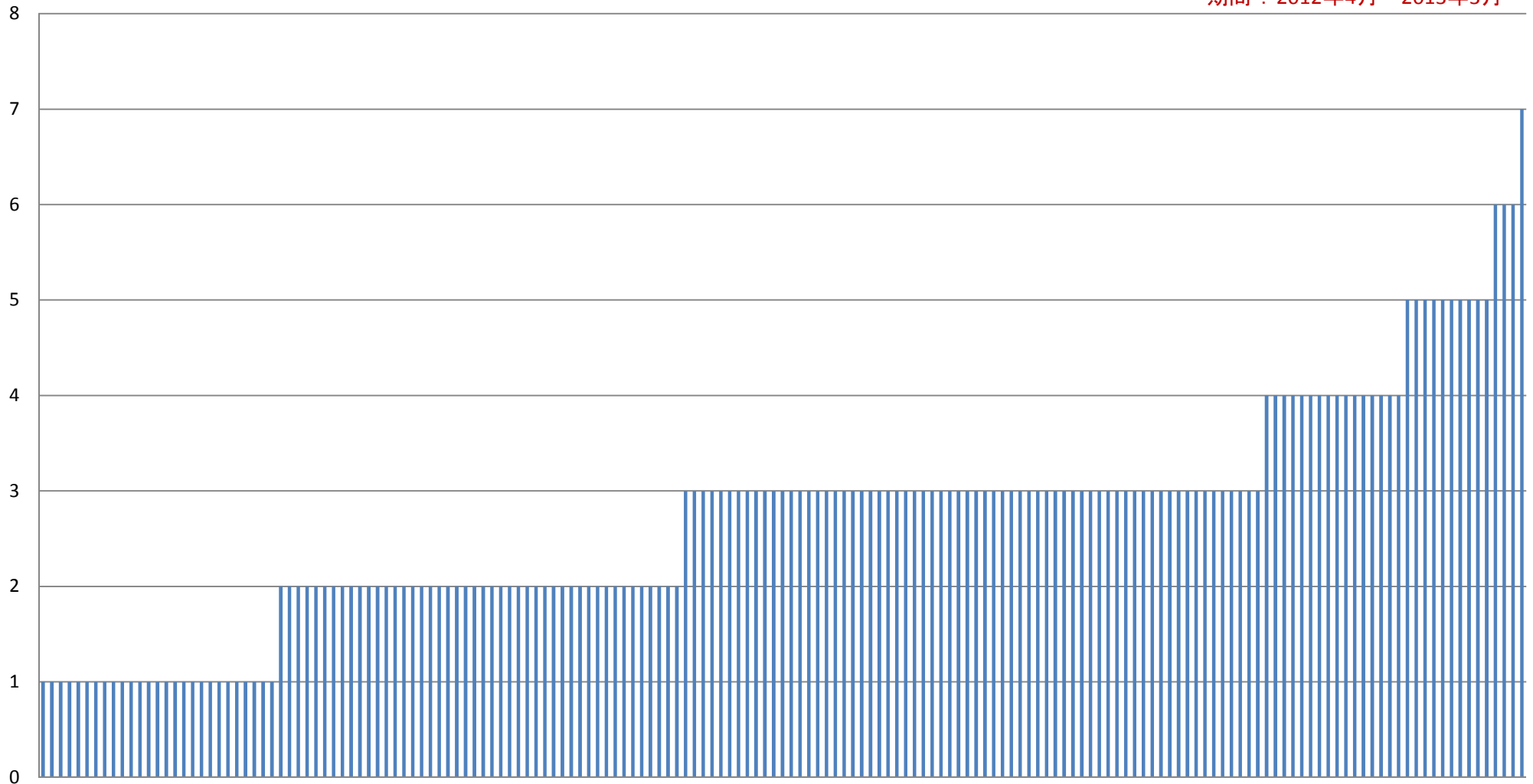


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－頭蓋内血腫除去術

期間：2012年4月～2013年3月

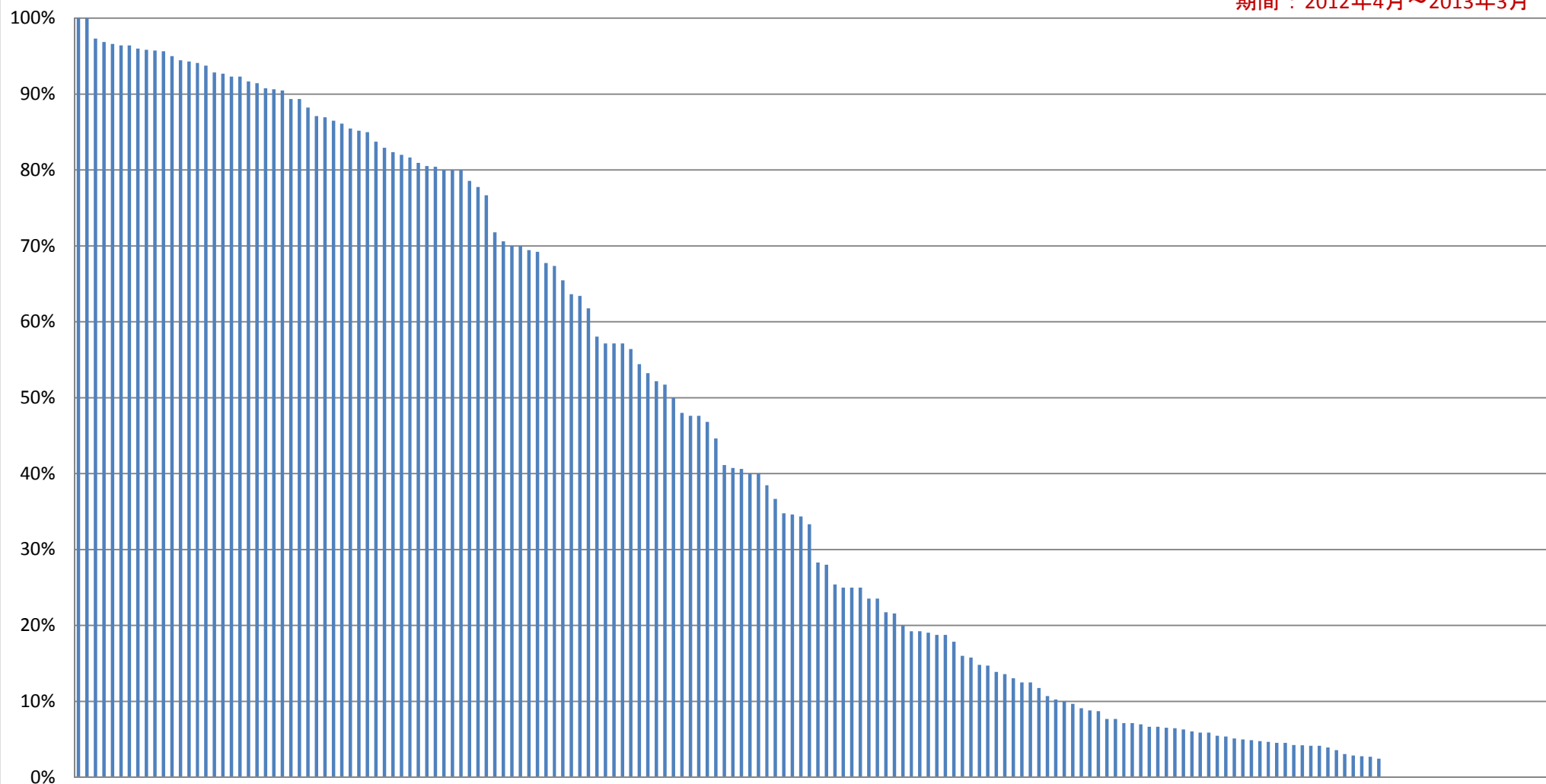


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－頭蓋内血腫除去術

期間：2012年4月～2013年3月

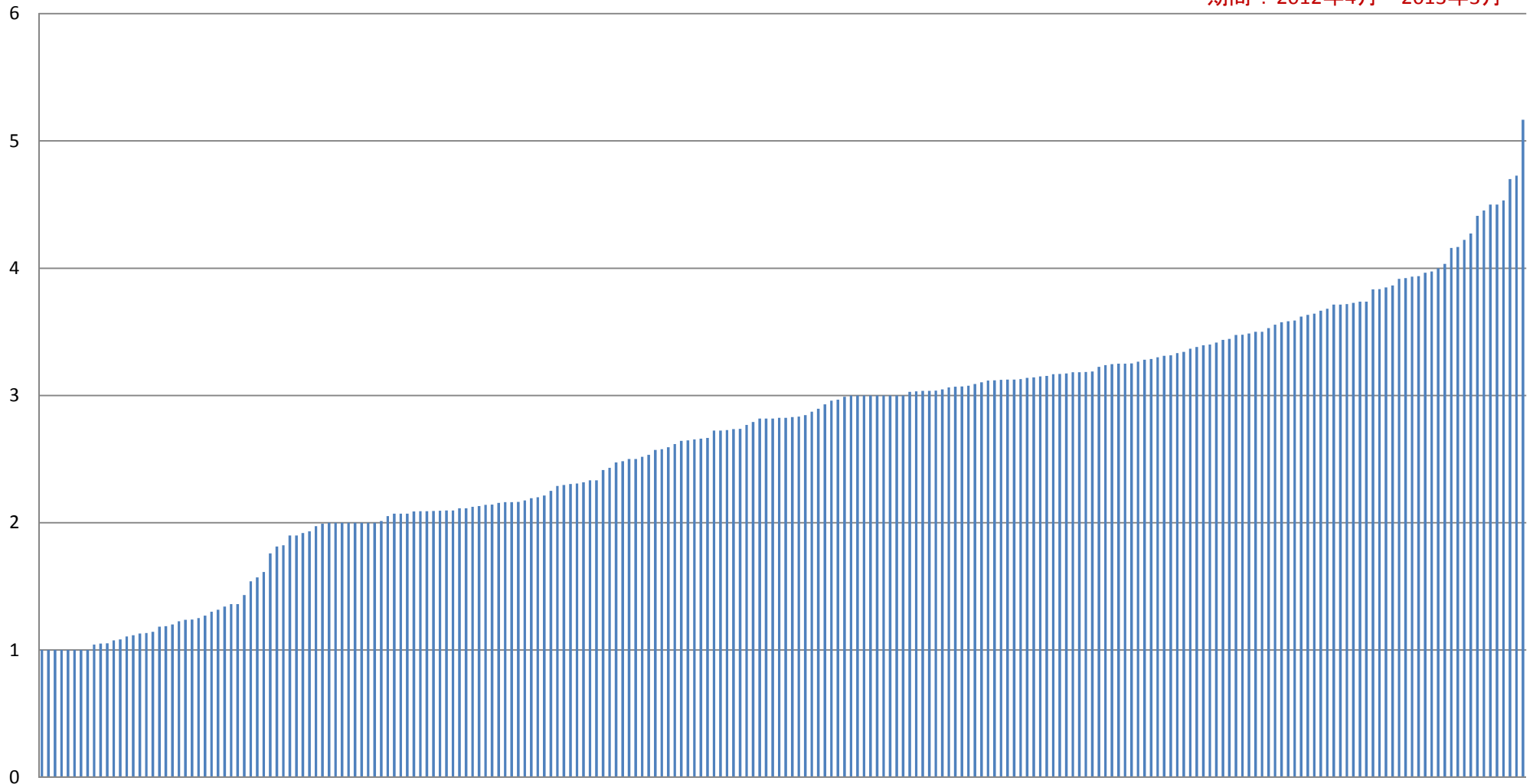


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－胃切除

期間：2012年4月～2013年3月

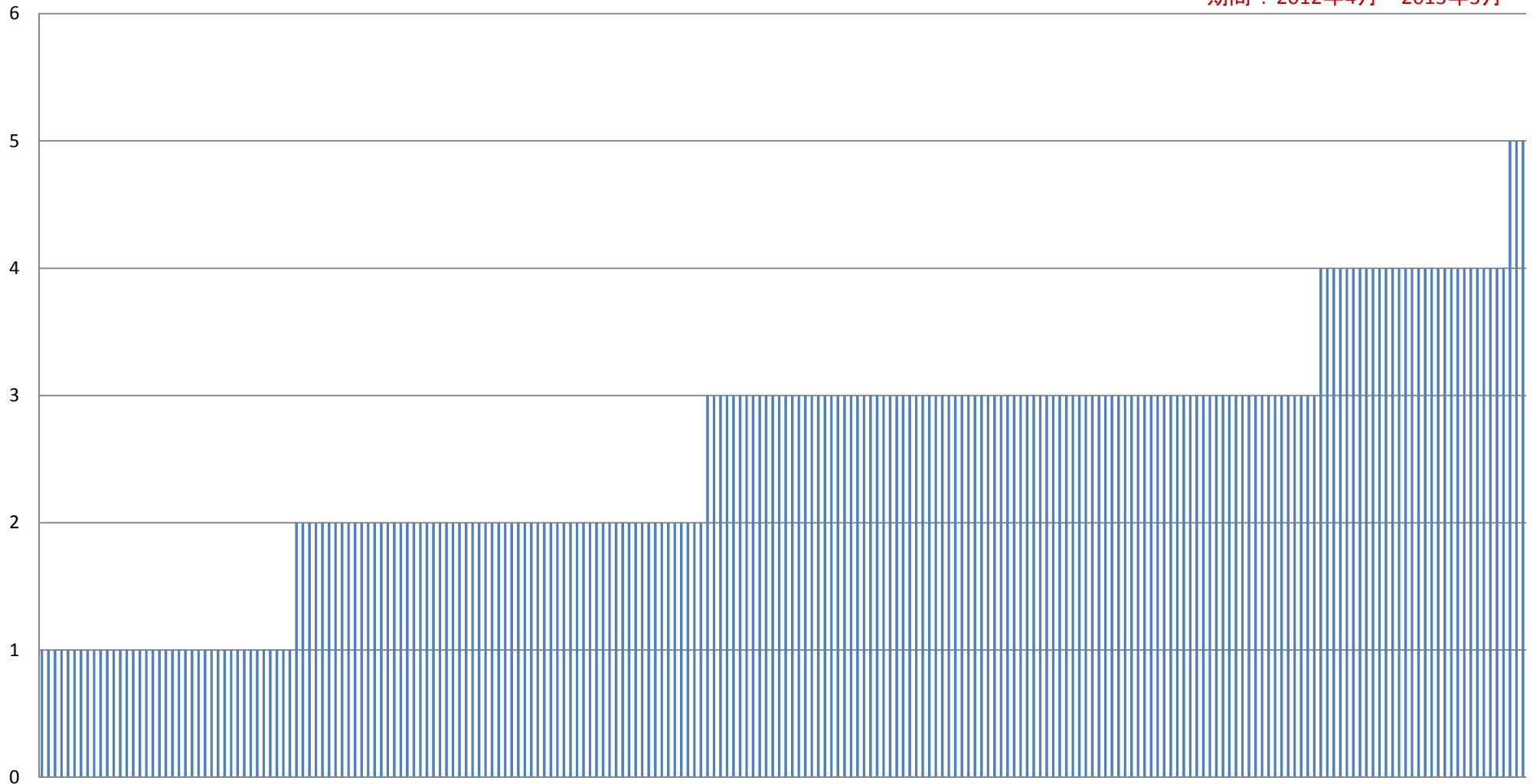


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－胃切除

期間：2012年4月～2013年3月

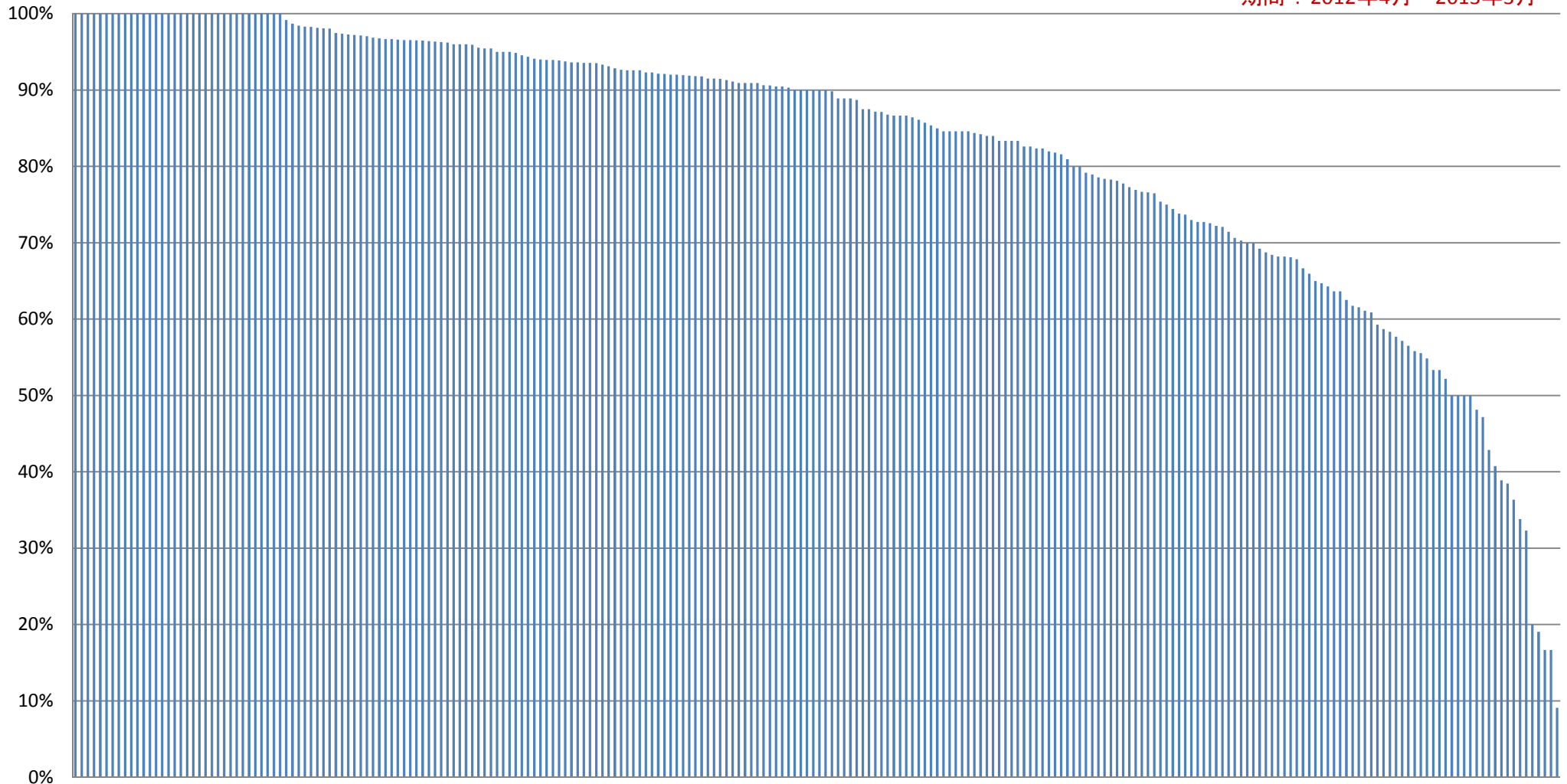


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－胃切除

期間：2012年4月～2013年3月

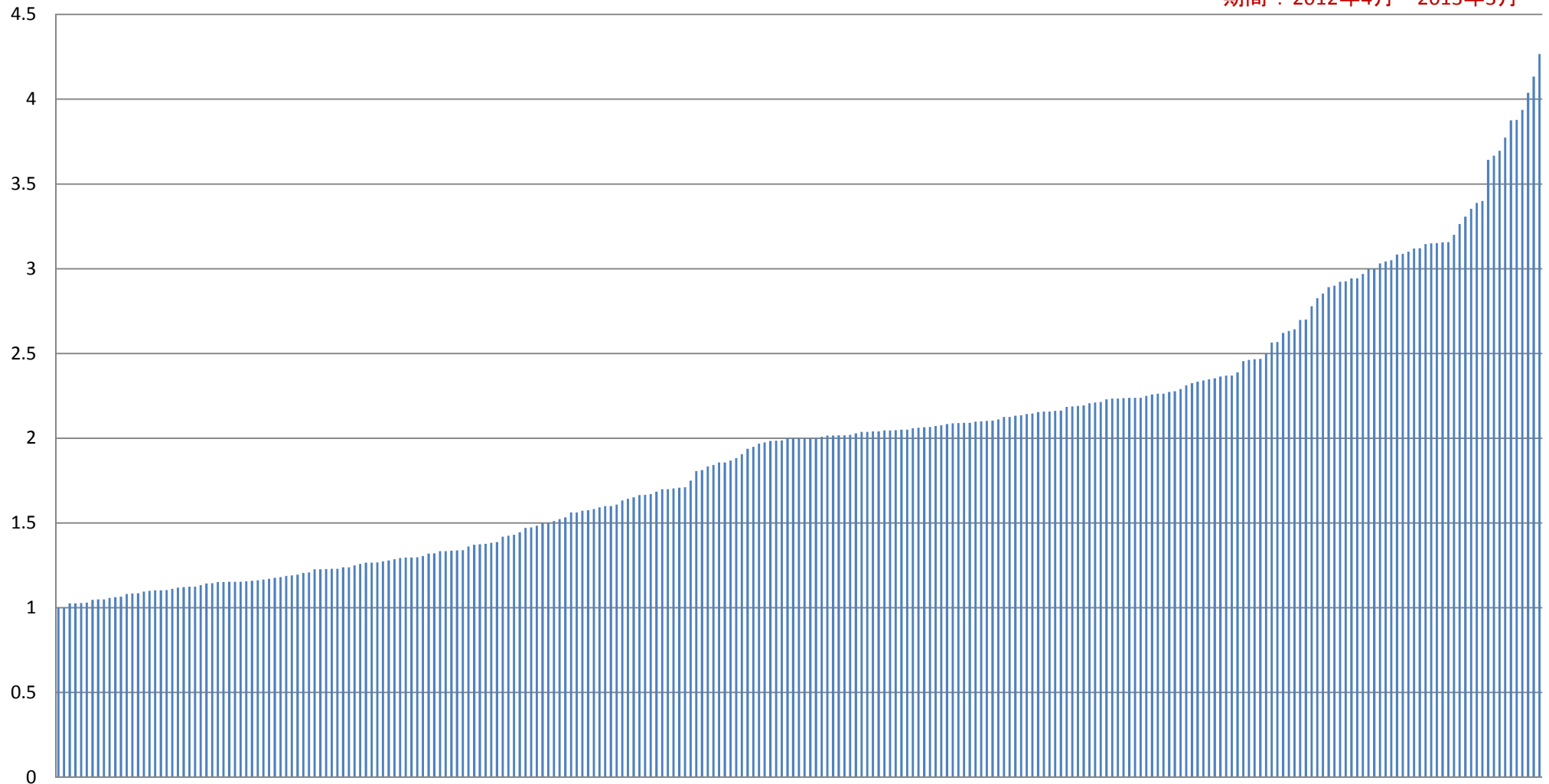


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－胆嚢摘出

期間：2012年4月～2013年3月

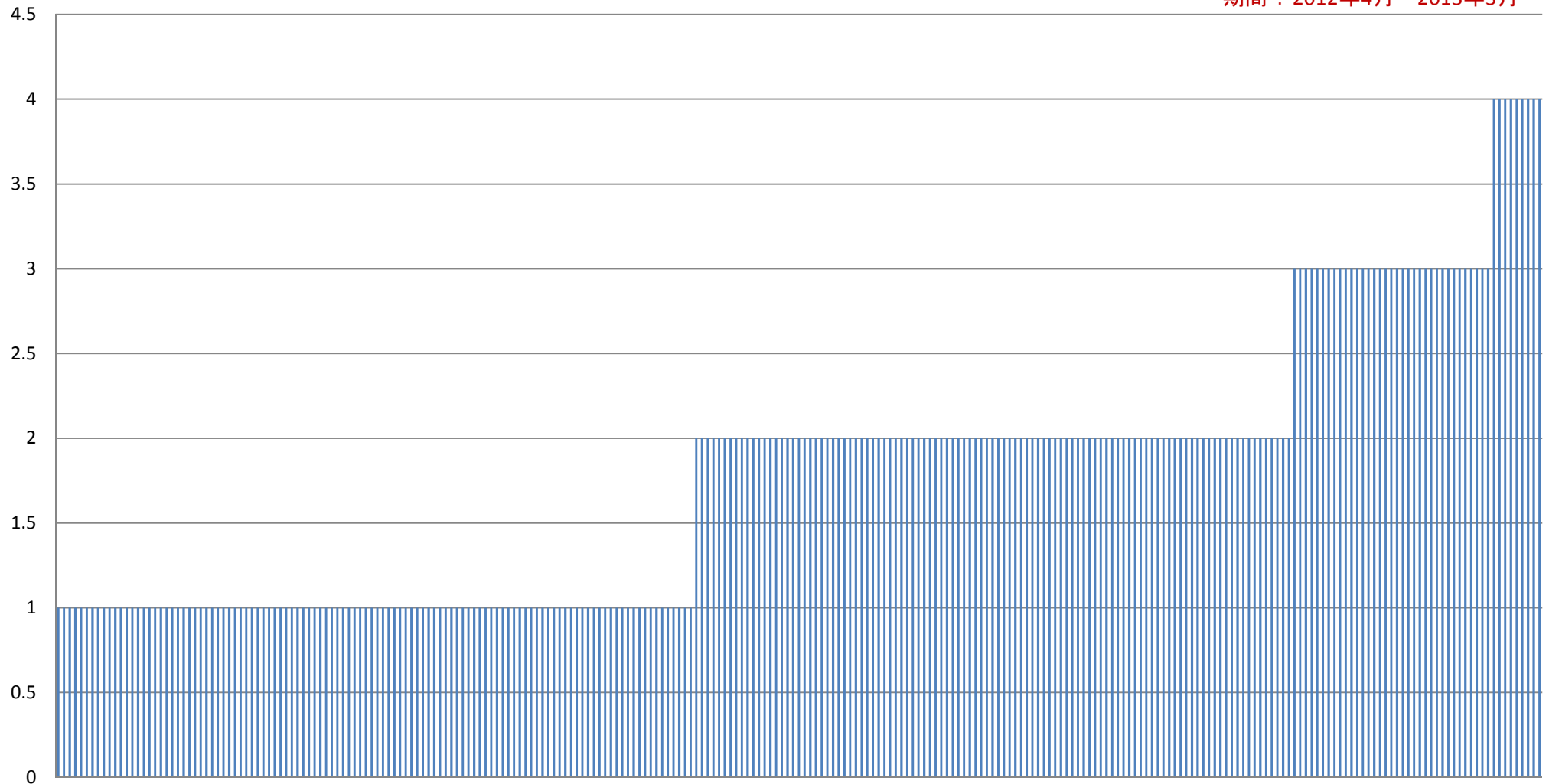


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－胆嚢摘出

期間：2012年4月～2013年3月

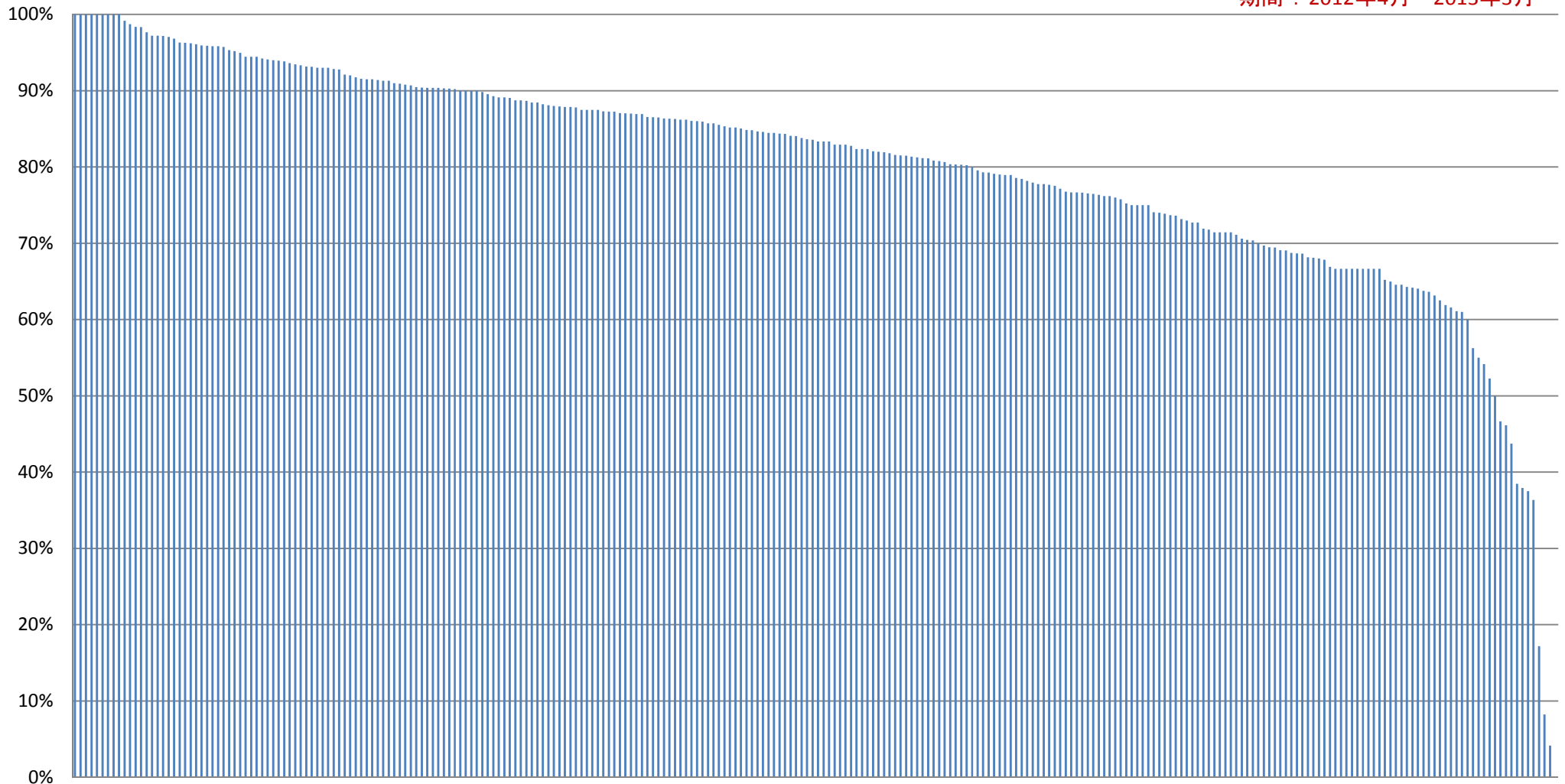


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－胆嚢摘出

期間：2012年4月～2013年3月

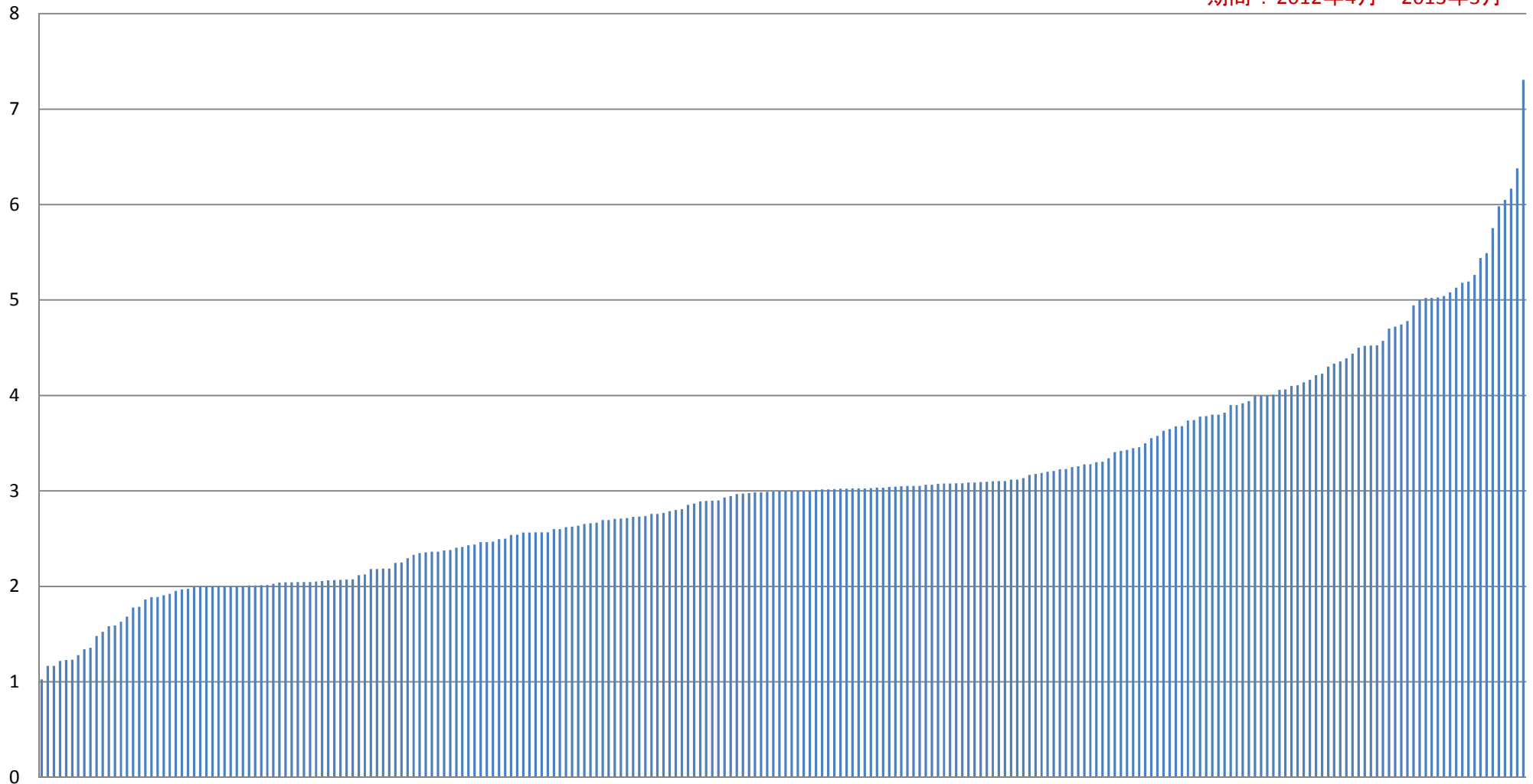


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－人工股関節置換術

期間：2012年4月～2013年3月

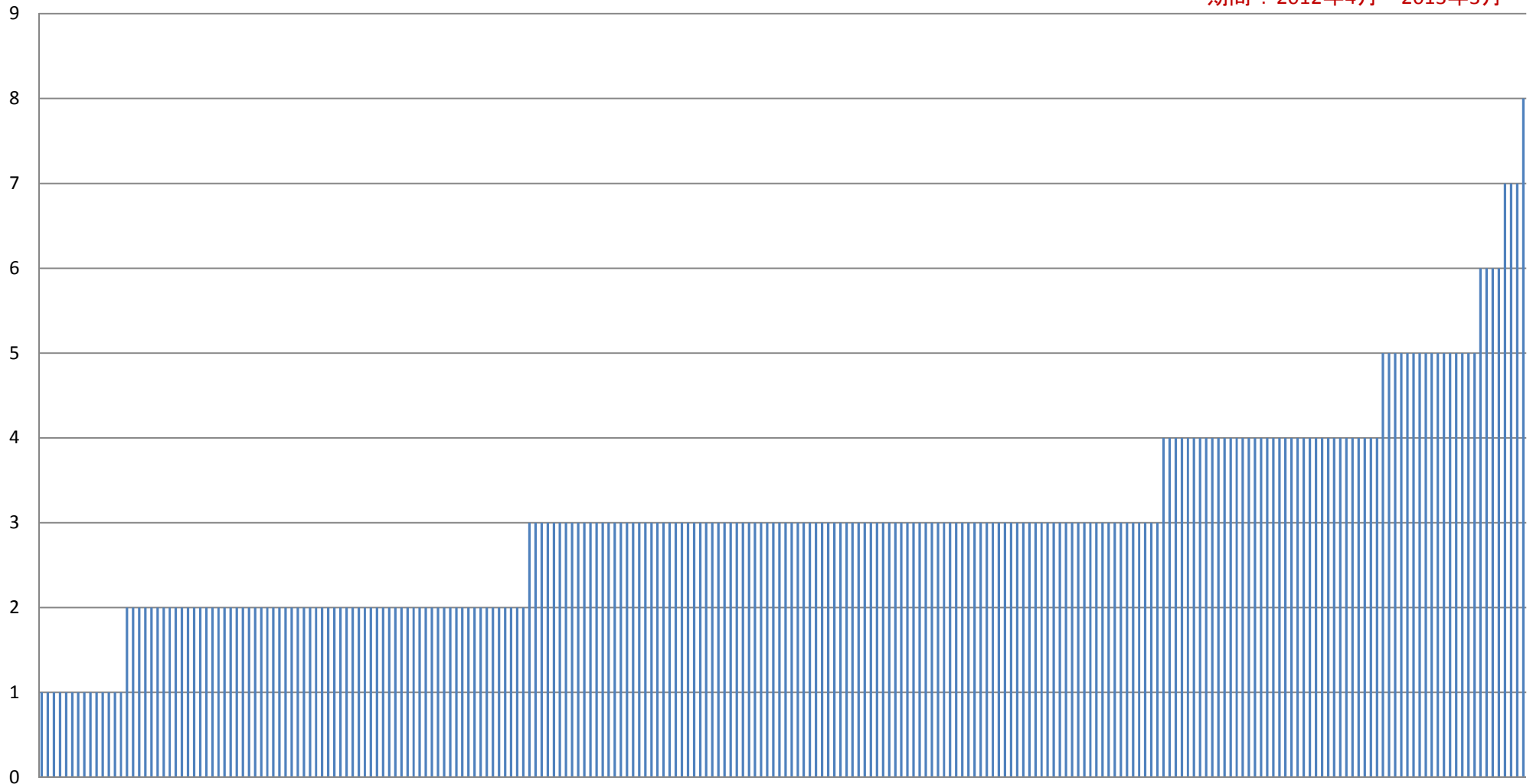


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－人工股関節置換術

期間：2012年4月～2013年3月

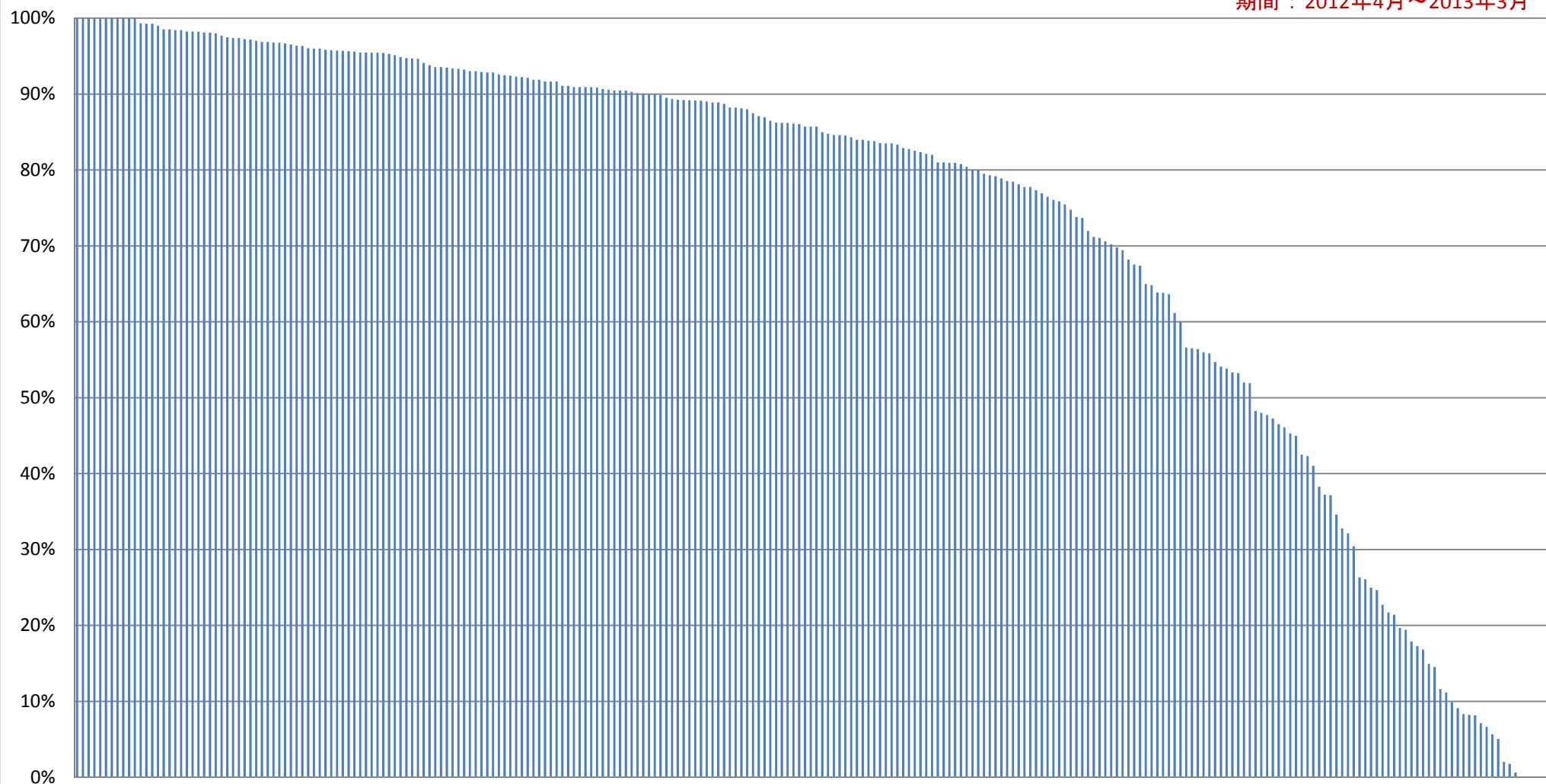


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－人工股関節置換術

期間：2012年4月～2013年3月

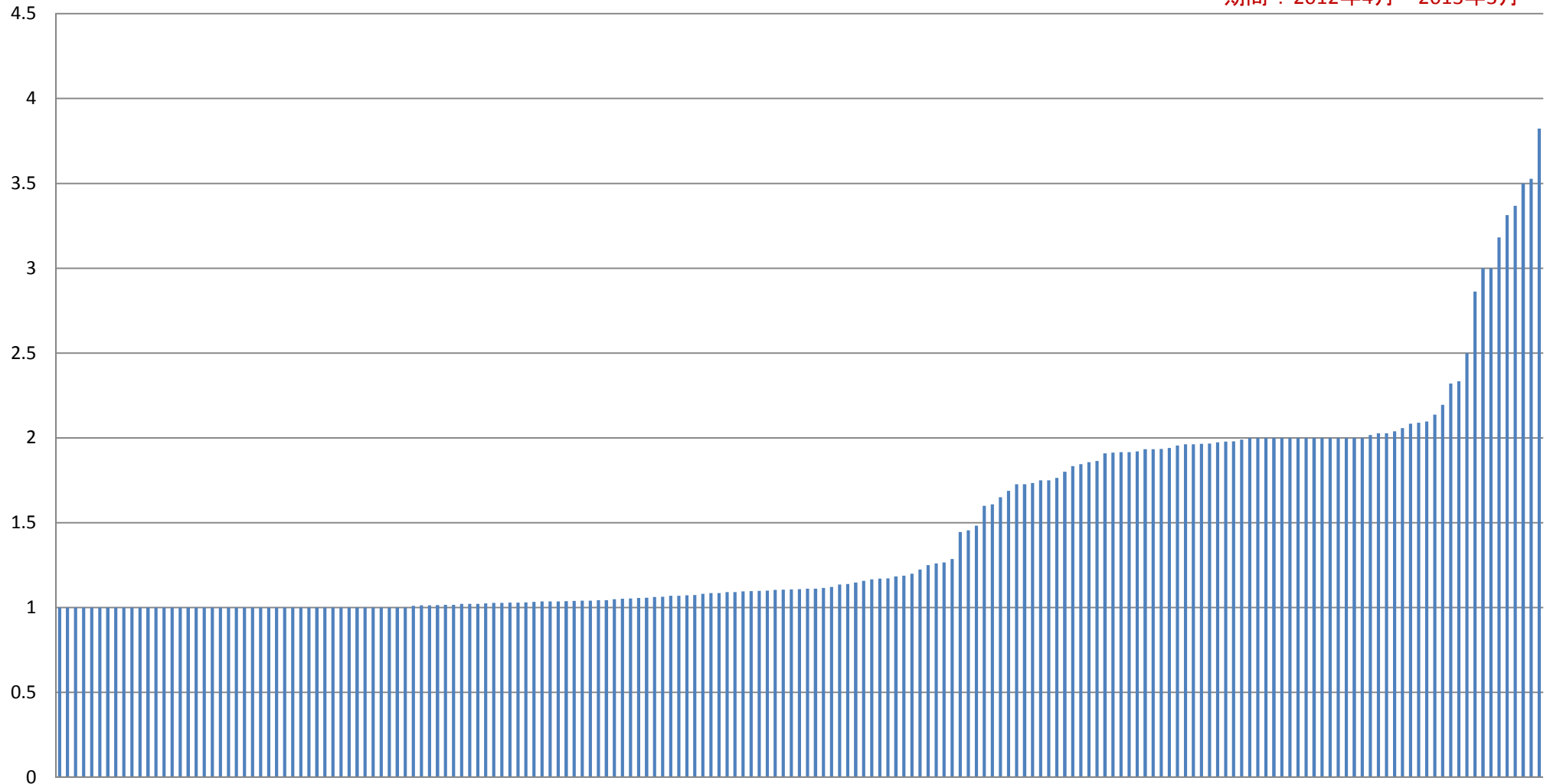


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－乳房切除

期間：2012年4月～2013年3月

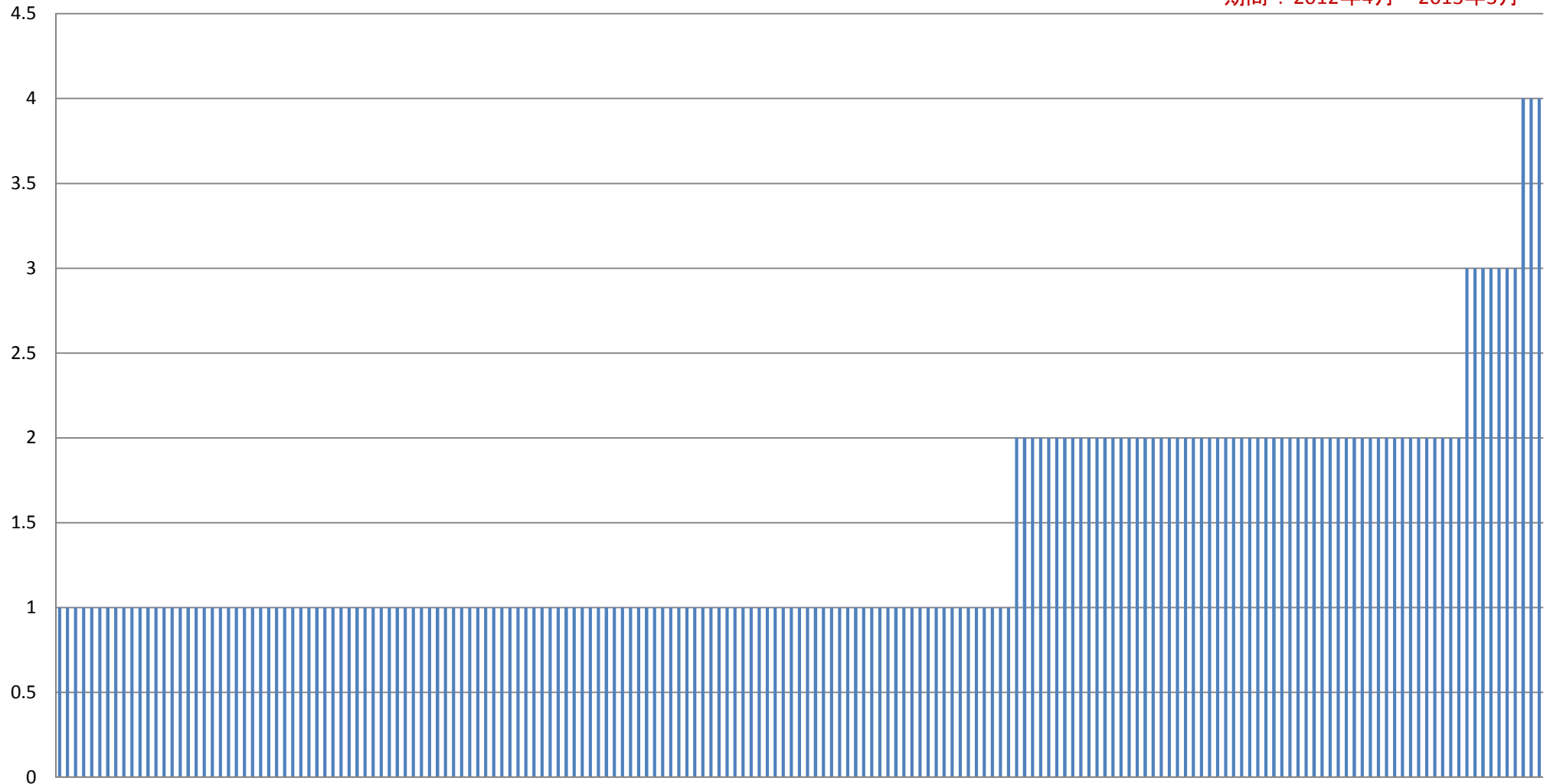


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－乳房切除

期間：2012年4月～2013年3月

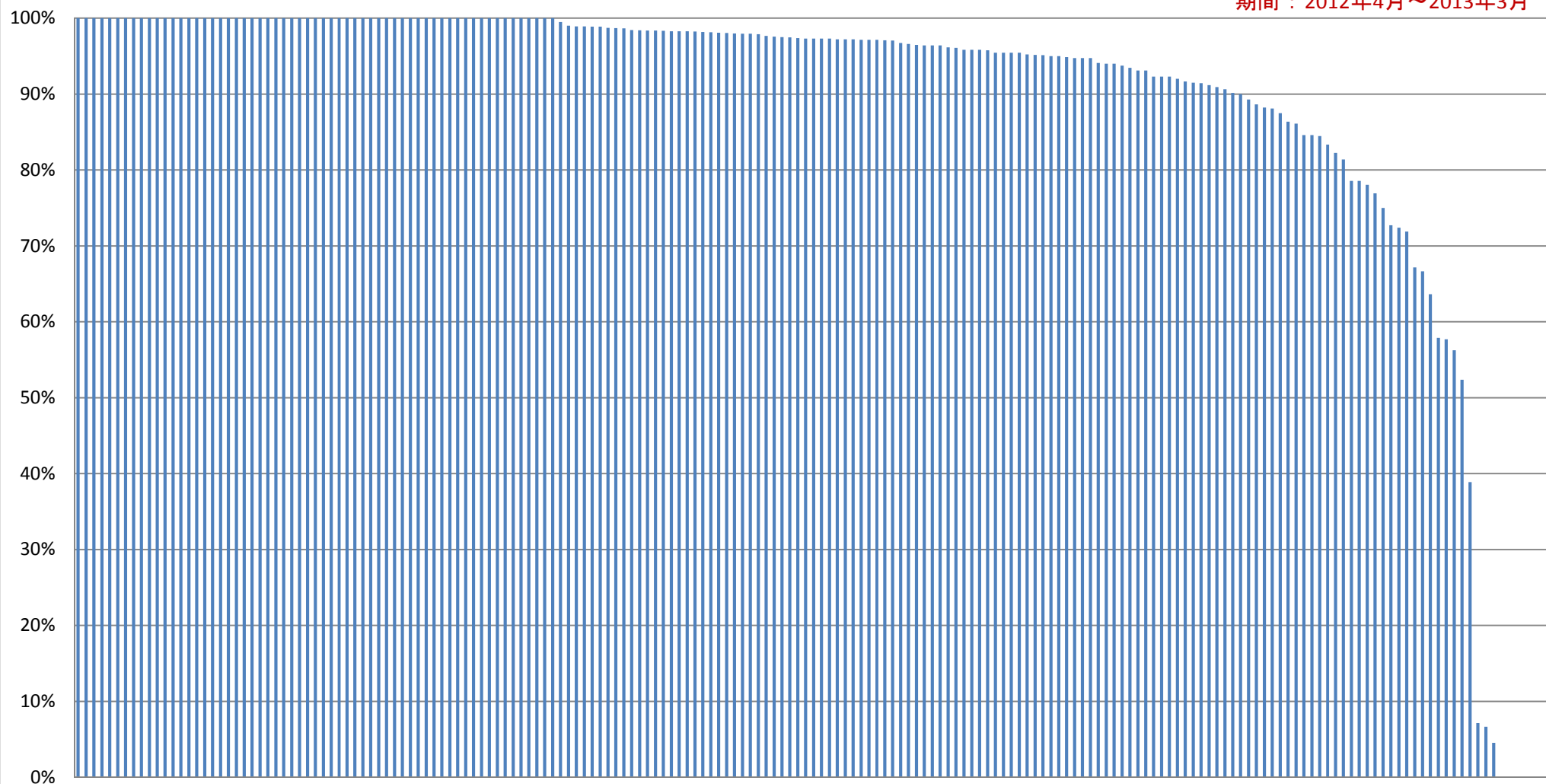


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－乳房切除

期間：2012年4月～2013年3月

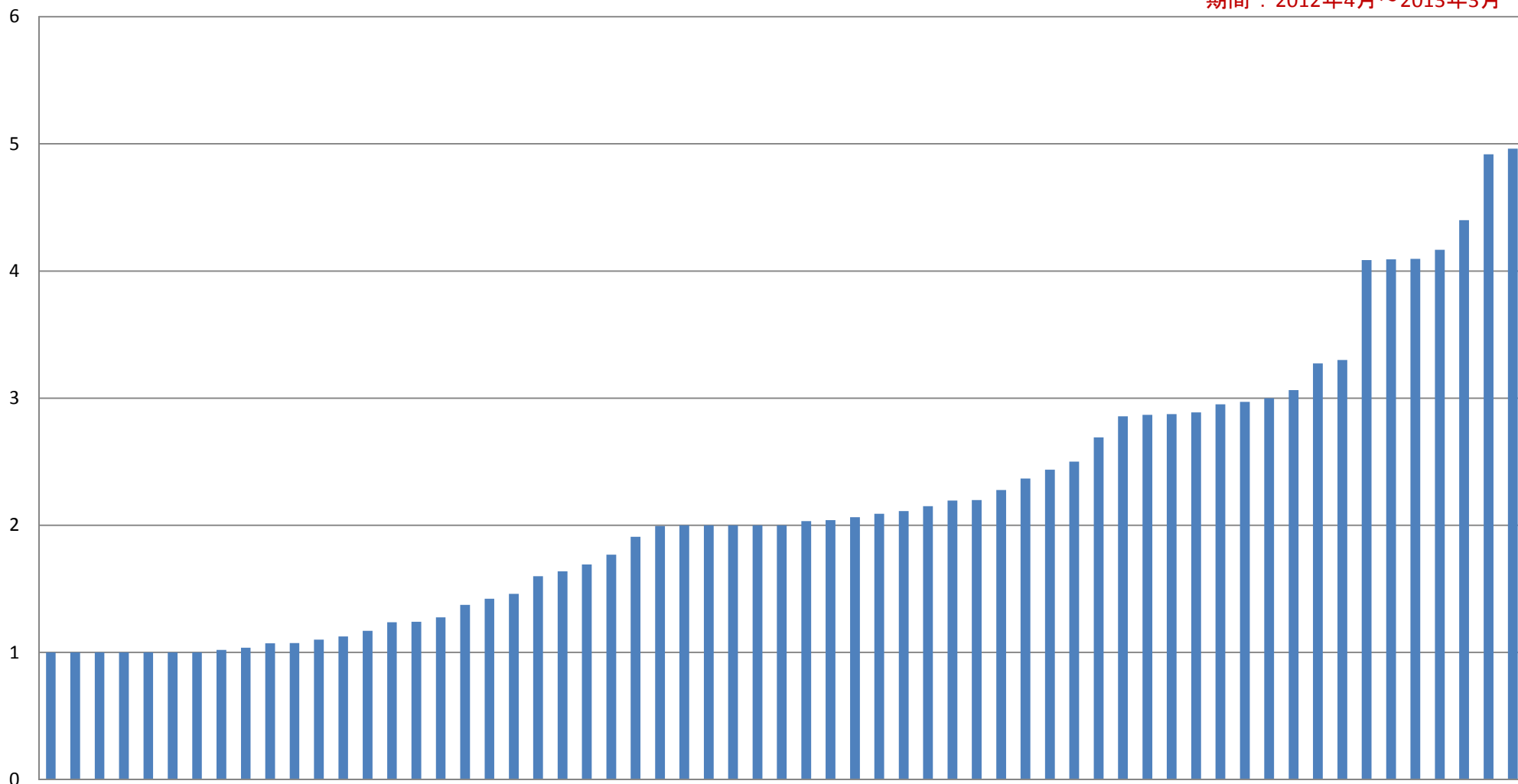


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－甲状腺手術

期間：2012年4月～2013年3月

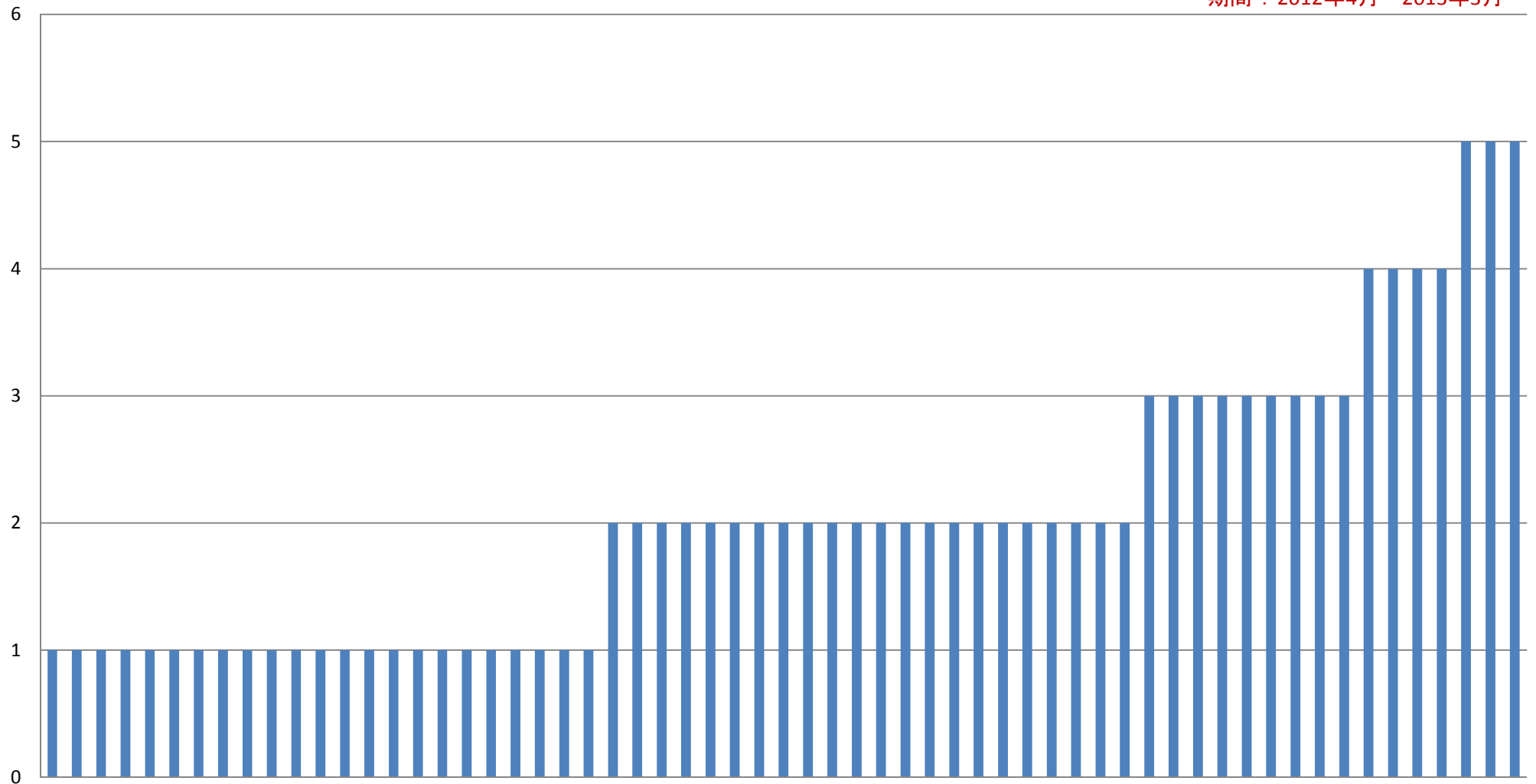


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－甲状腺手術

期間：2012年4月～2013年3月

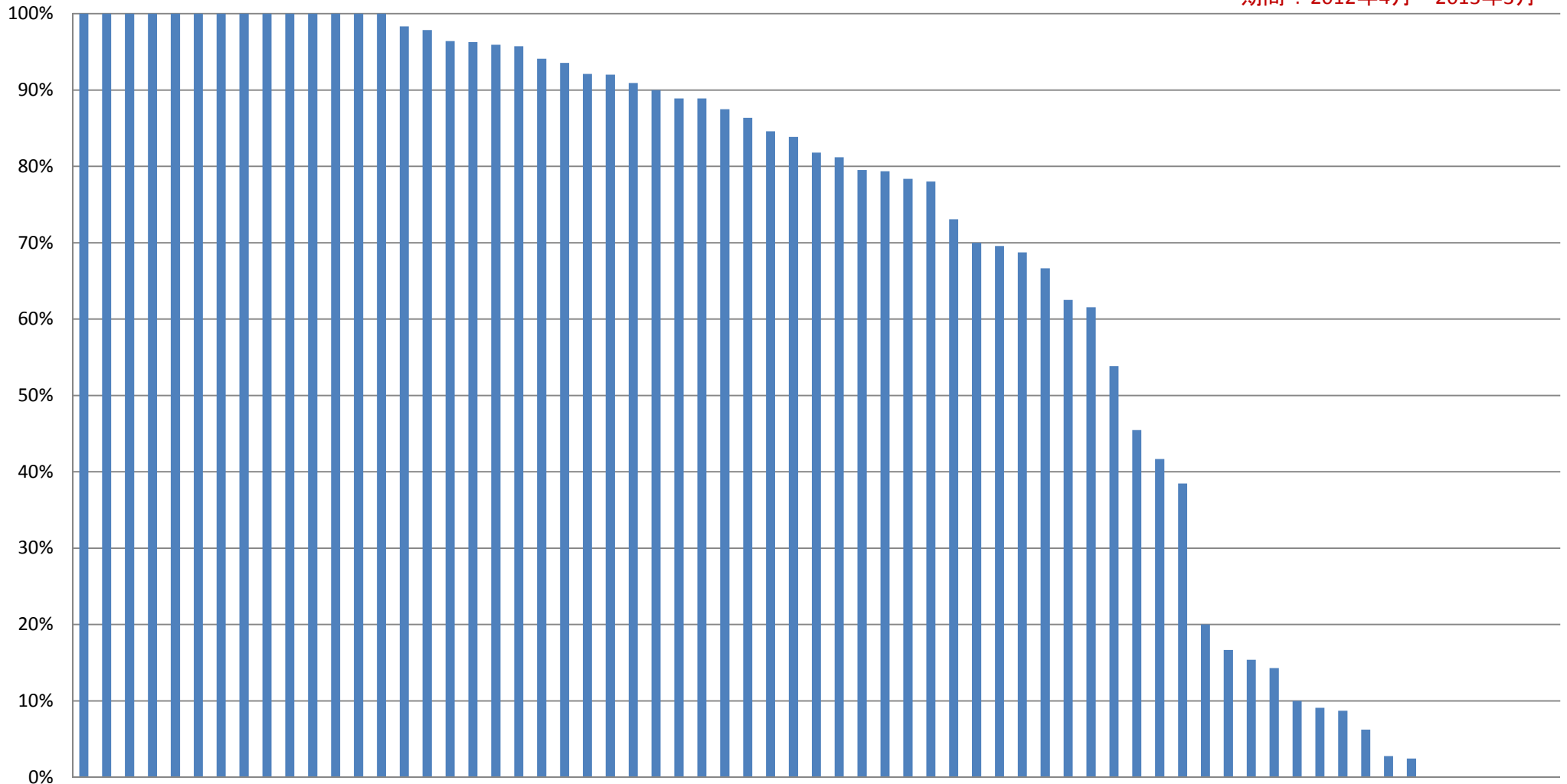


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－甲状腺手術

期間：2012年4月～2013年3月

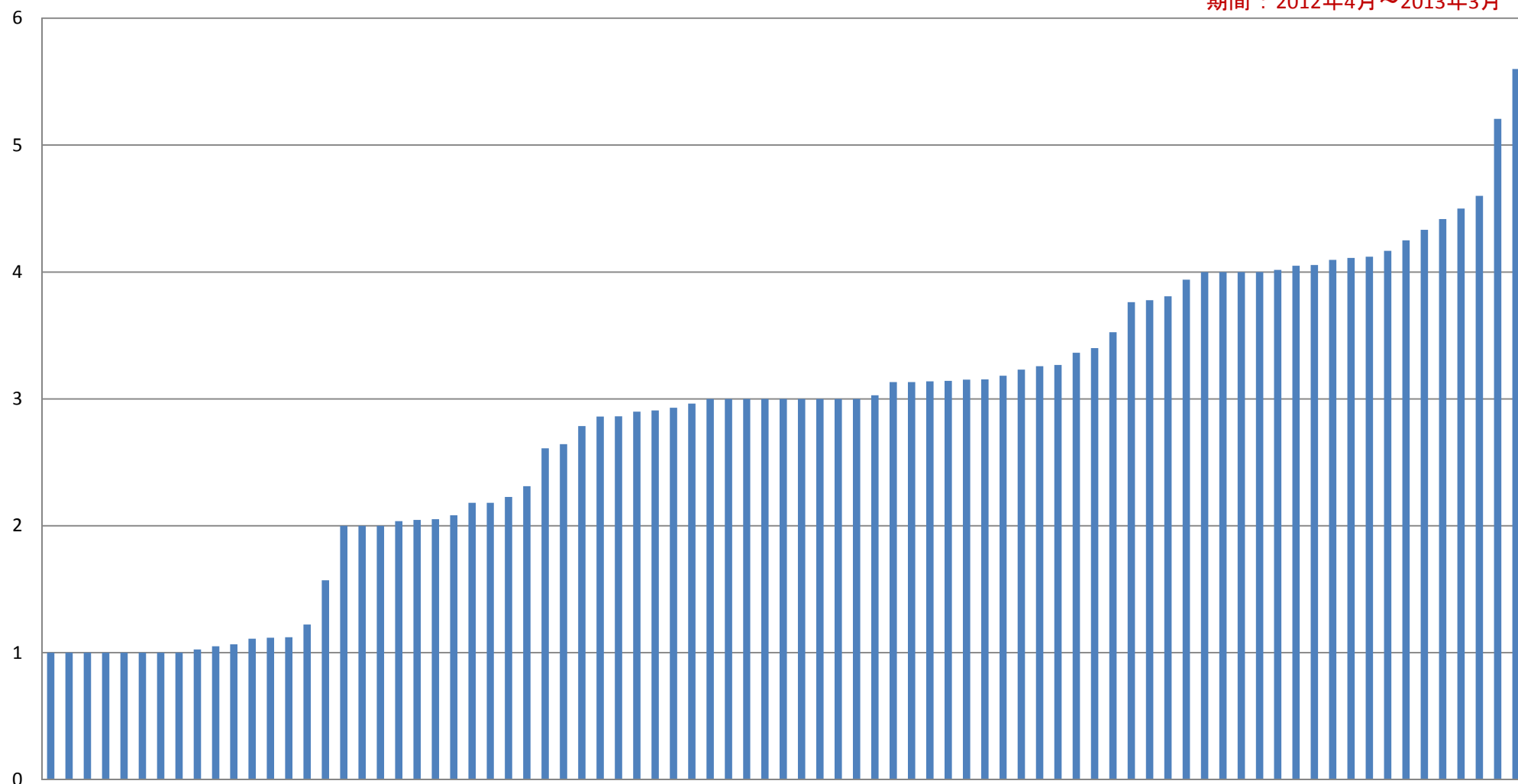


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－前立腺がん

期間：2012年4月～2013年3月

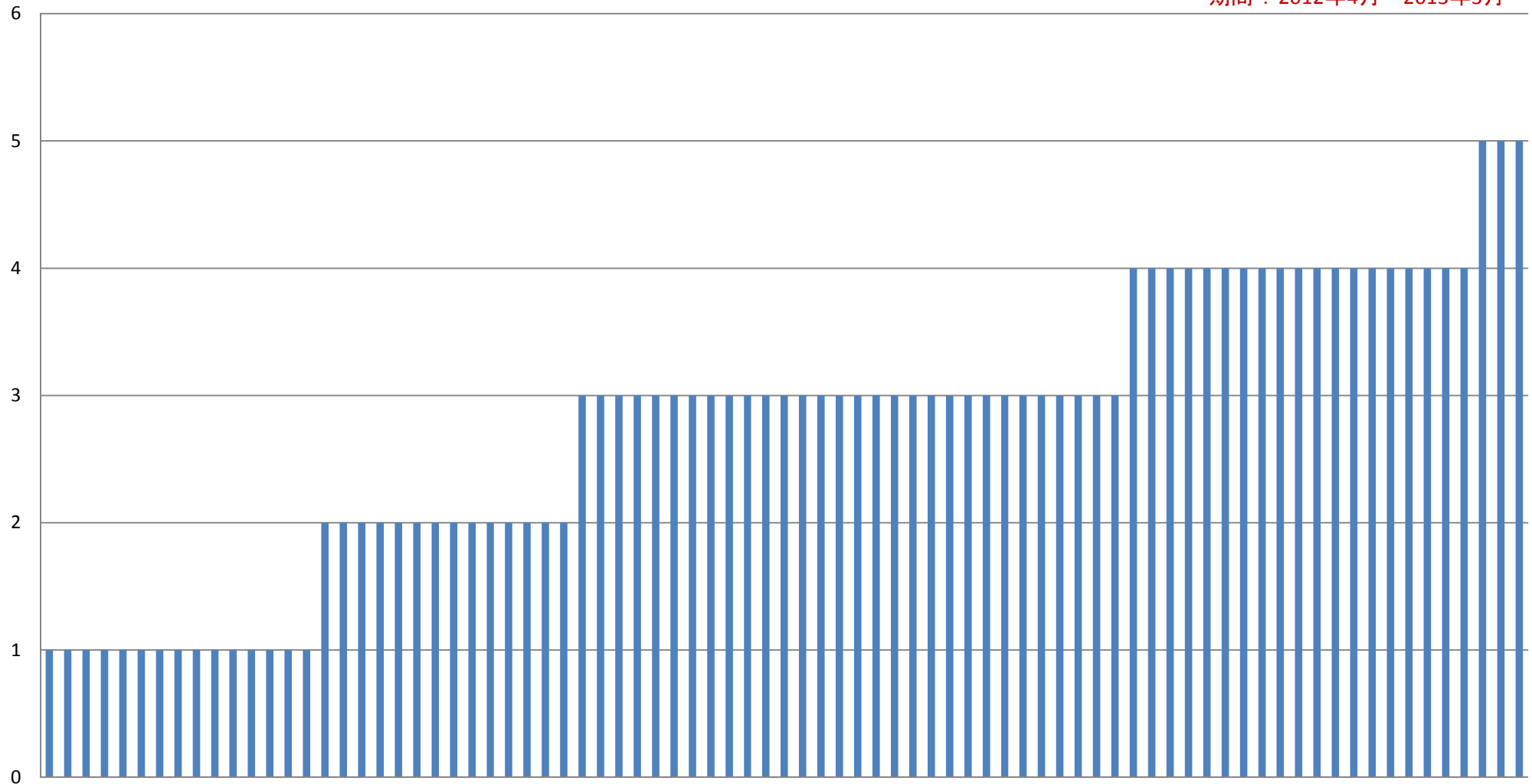


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
 期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－前立腺がん

期間：2012年4月～2013年3月

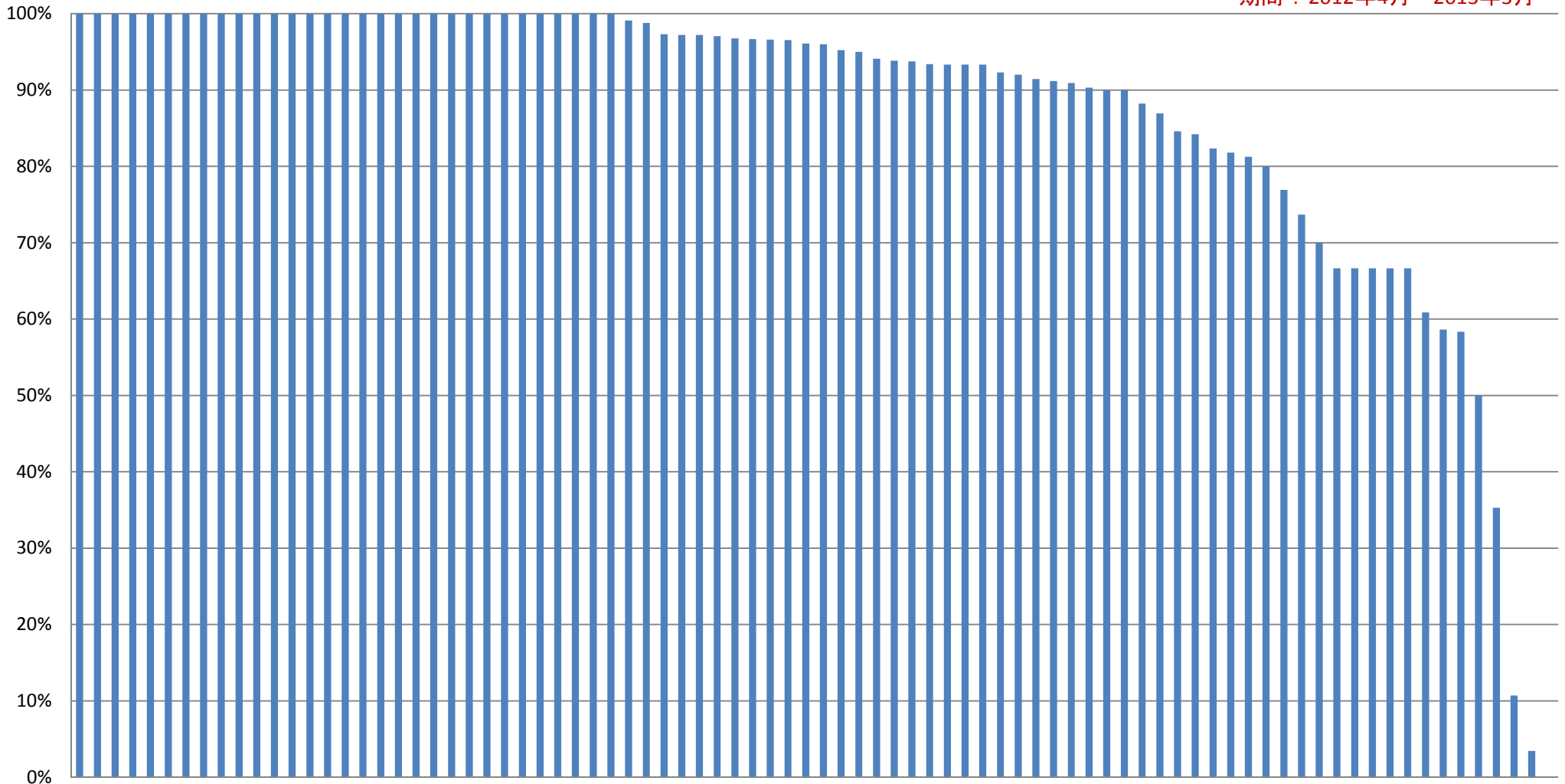


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率—前立腺がん

期間：2012年4月～2013年3月

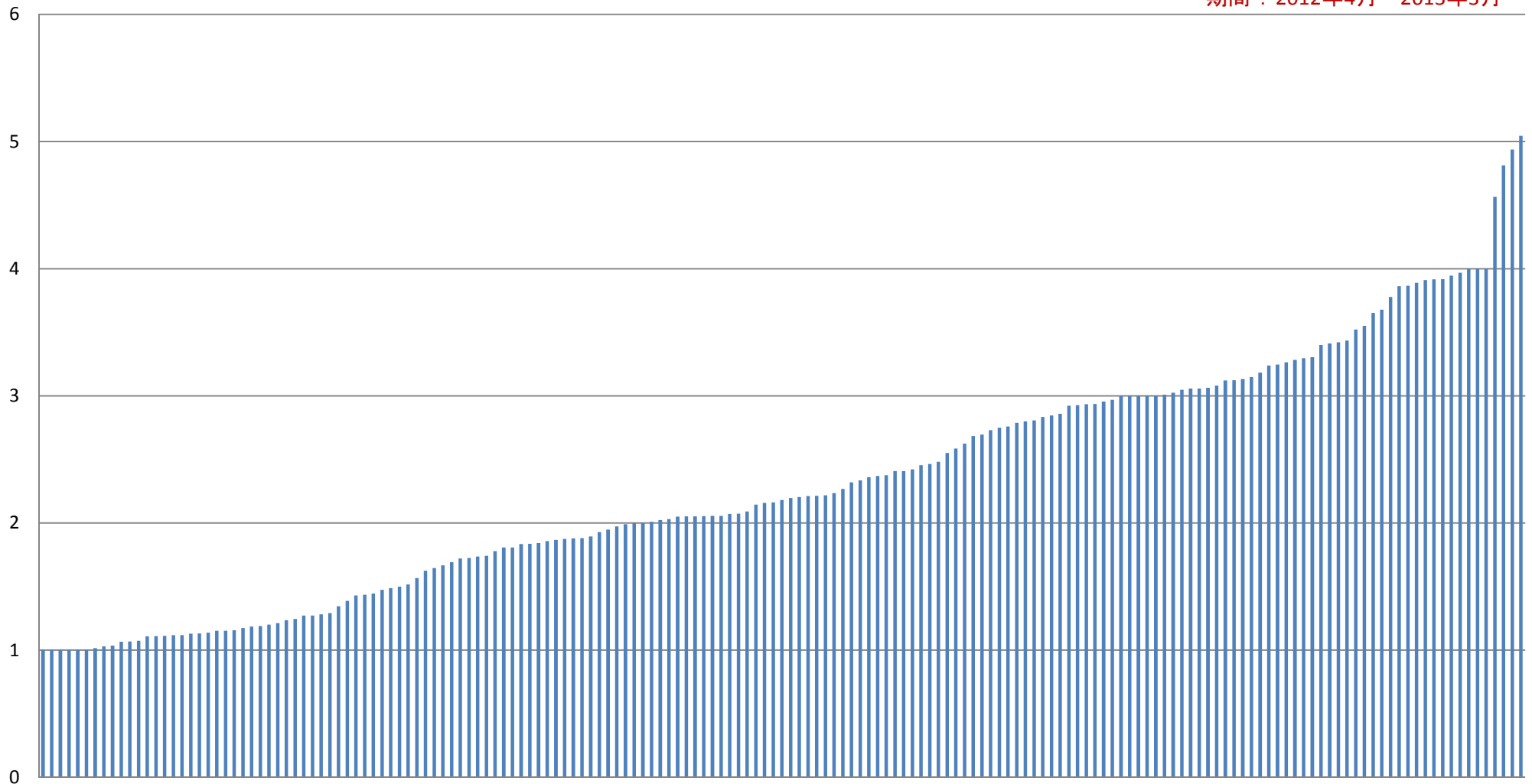


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－子宮筋腫

期間：2012年4月～2013年3月

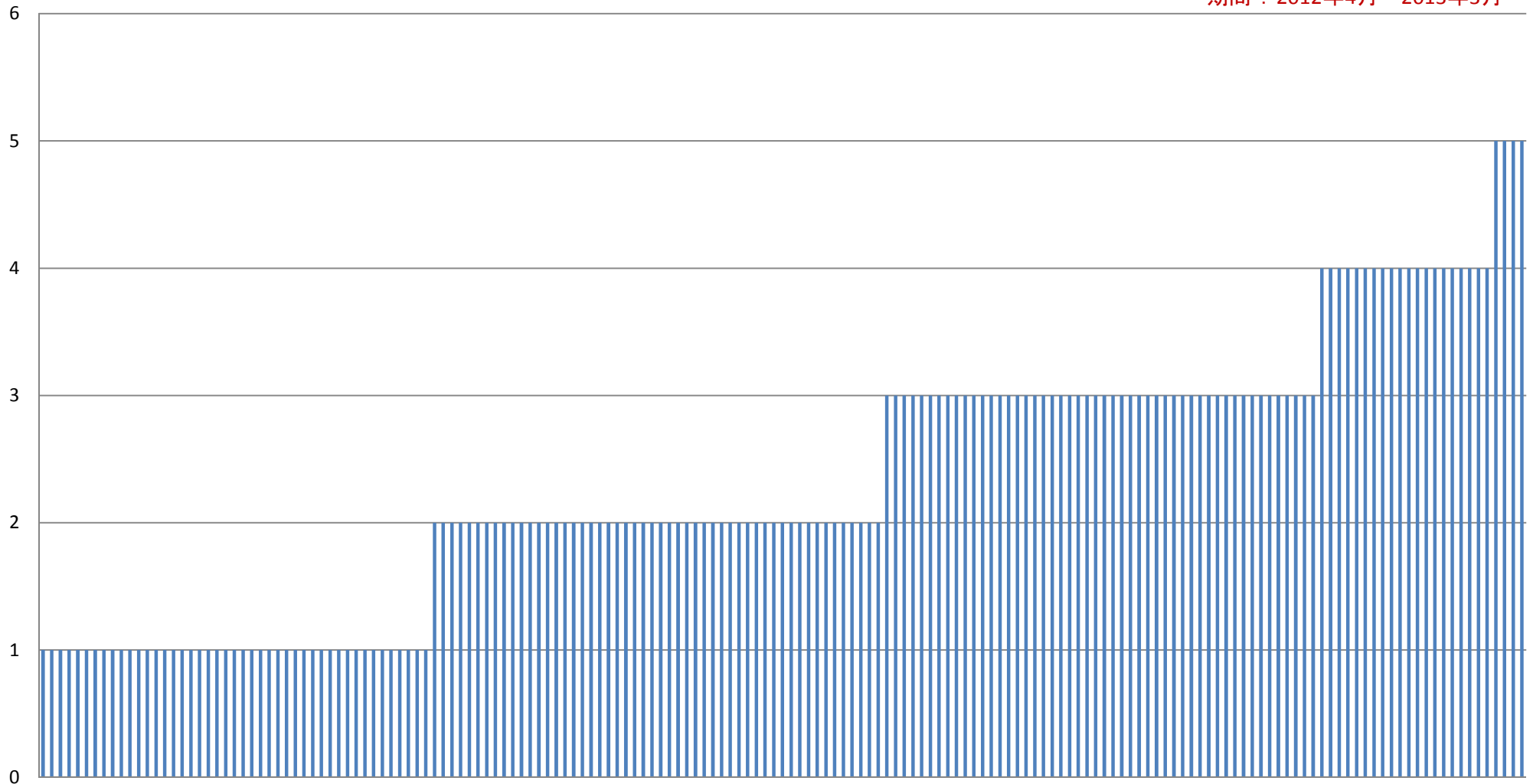


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－子宮筋腫

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－子宮筋腫

期間：2012年4月～2013年3月

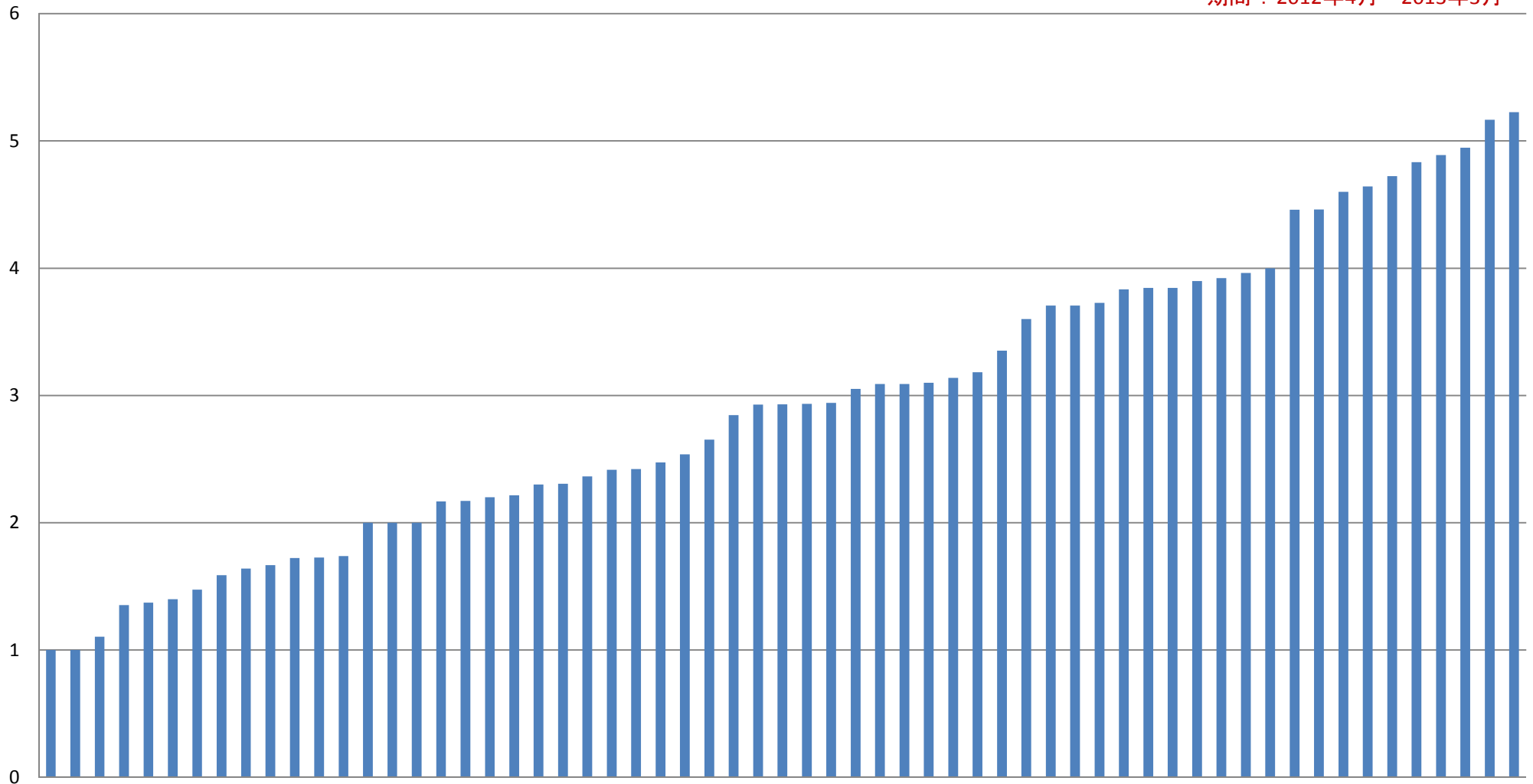


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－子宮がん

期間：2012年4月～2013年3月

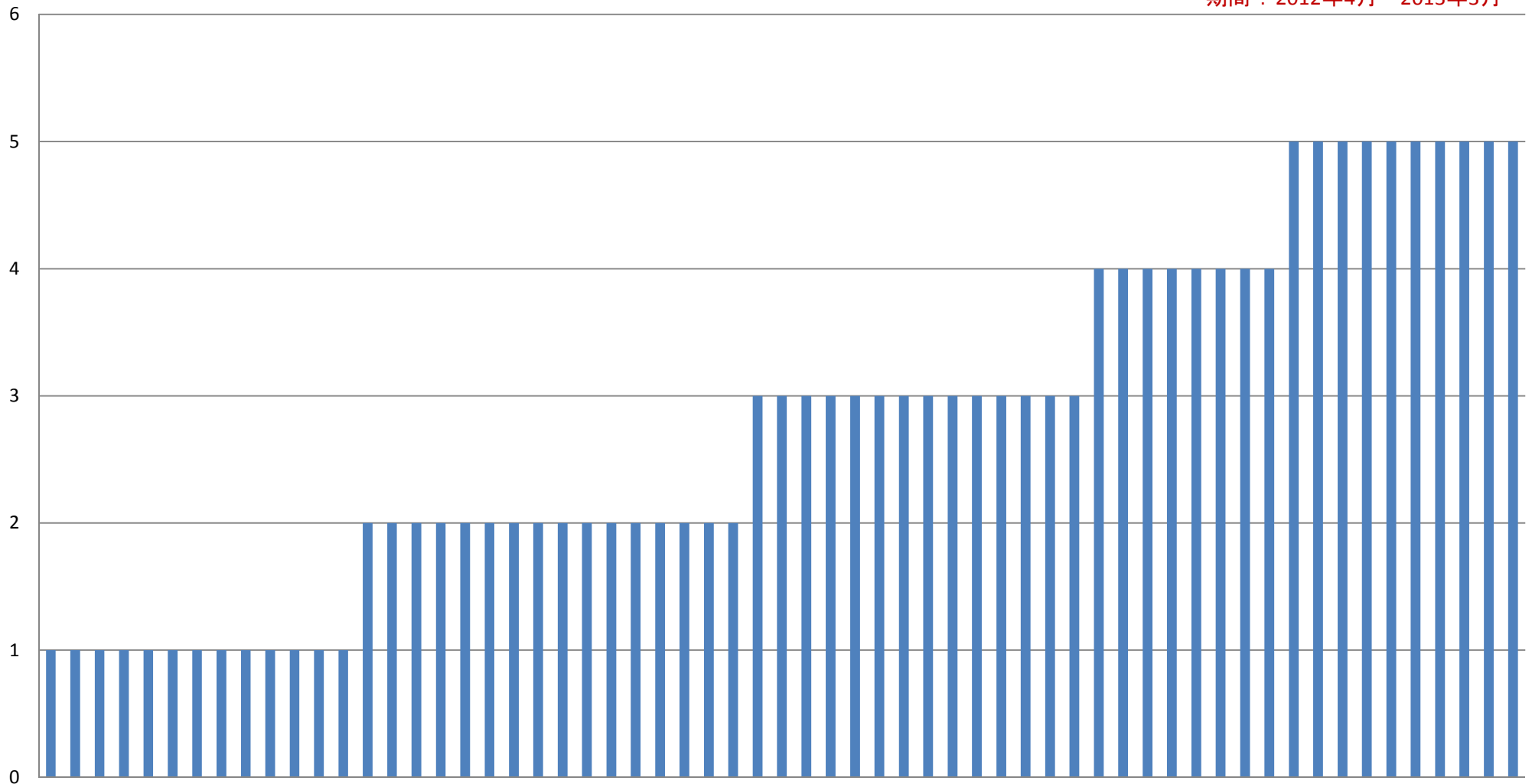


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－子宮がん

期間：2012年4月～2013年3月

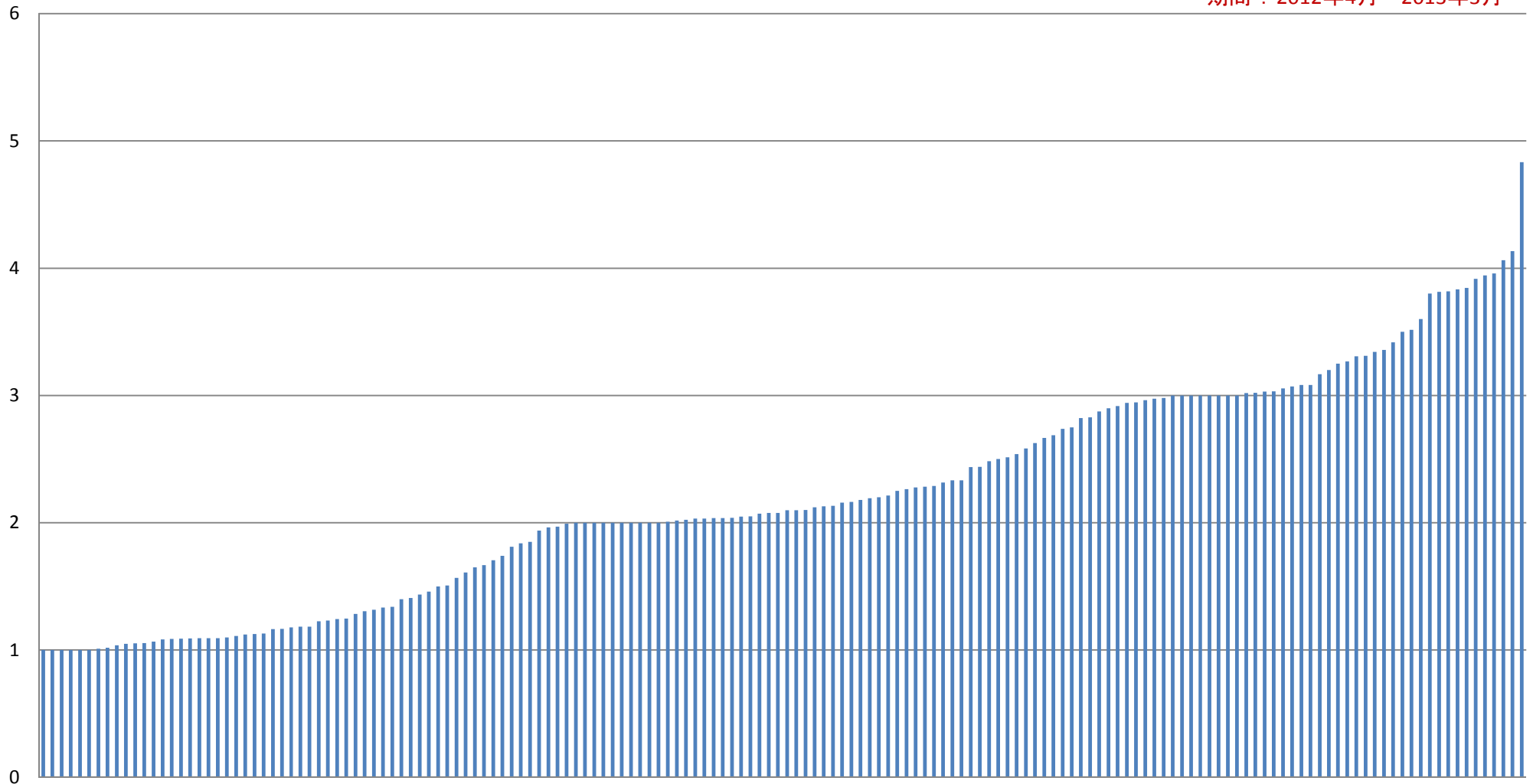


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
 期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－卵巣嚢腫

期間：2012年4月～2013年3月

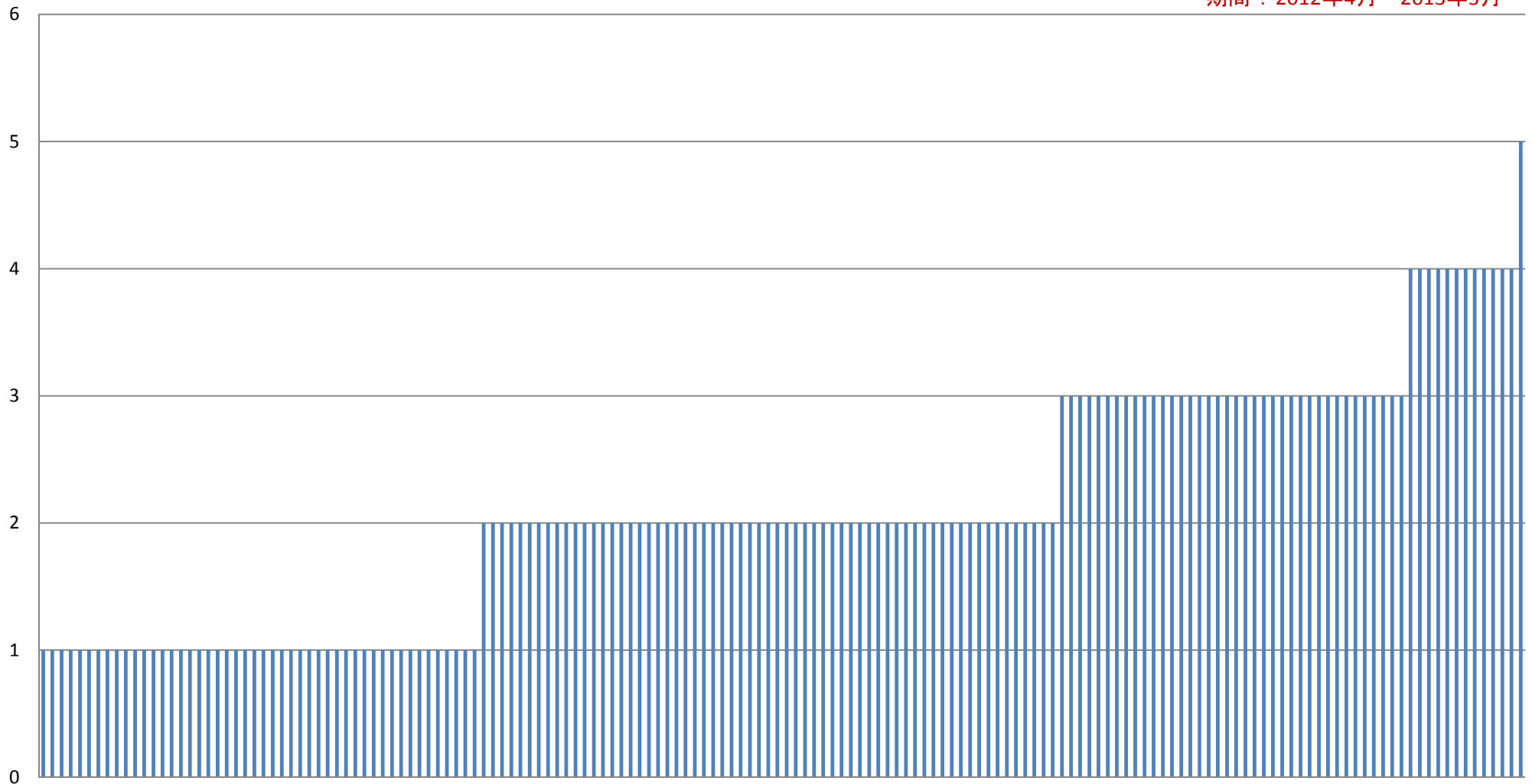


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－卵巣嚢腫

期間：2012年4月～2013年3月

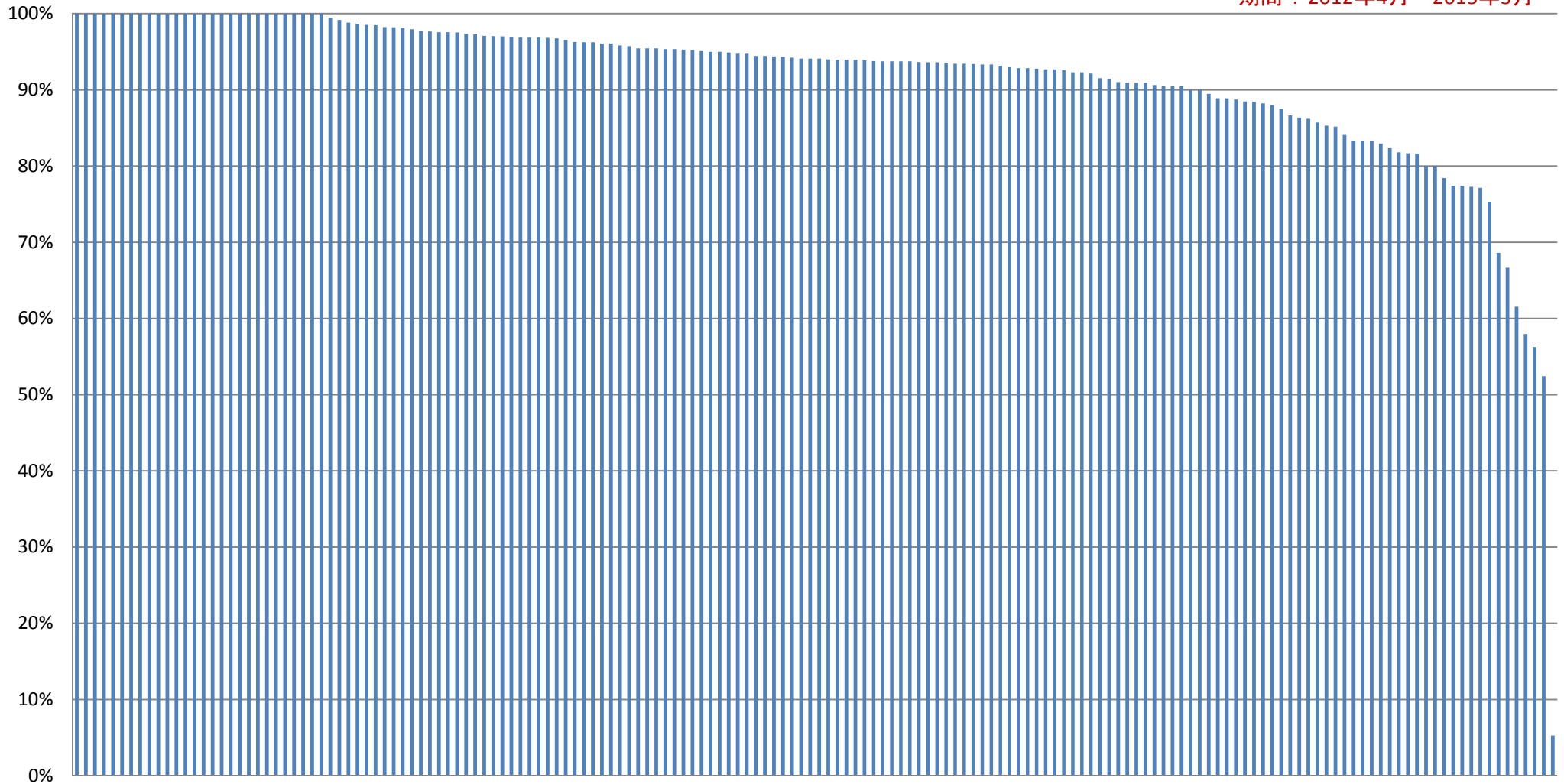


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－卵巣嚢腫

期間：2012年4月～2013年3月

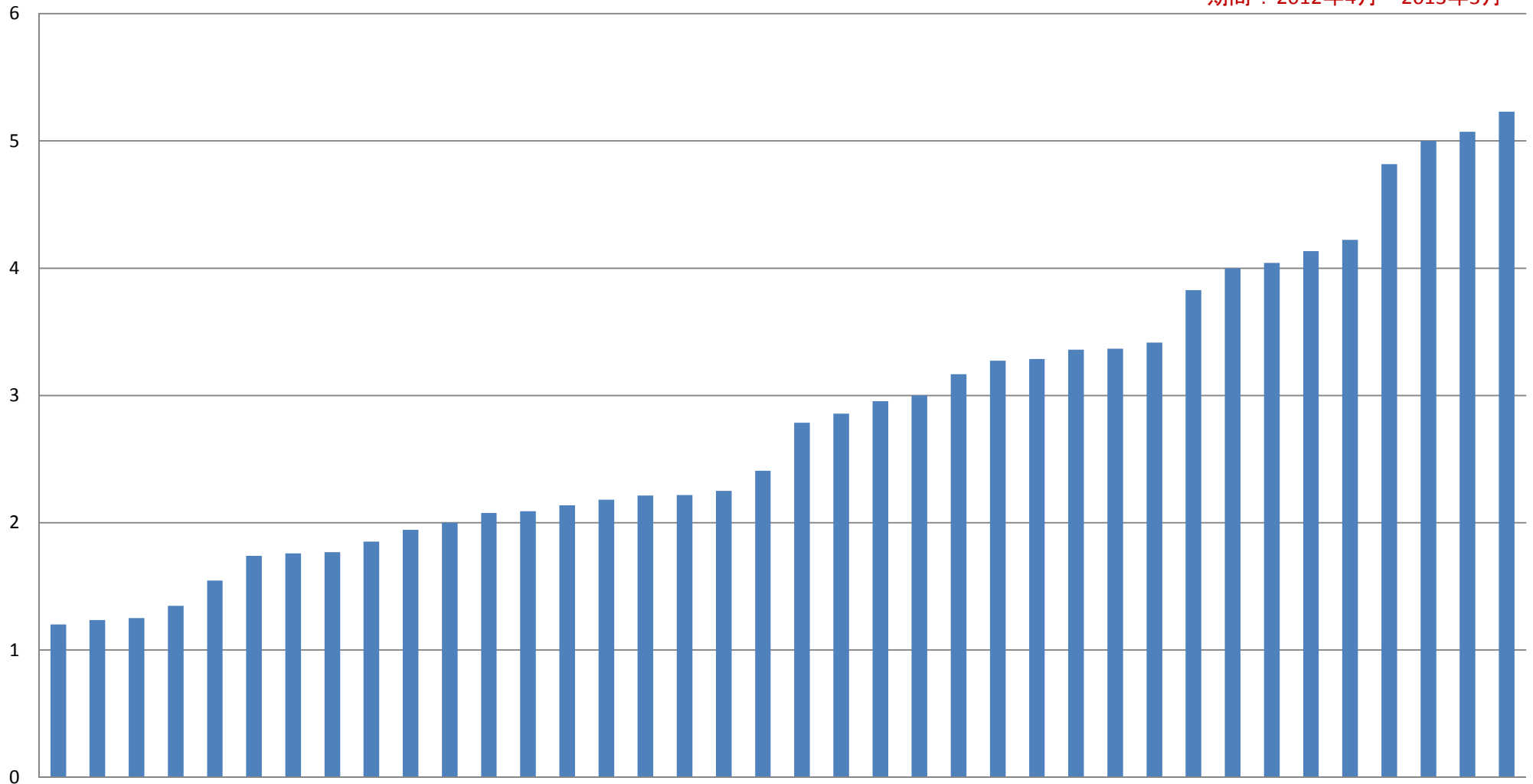


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－卵巣がん

期間：2012年4月～2013年3月

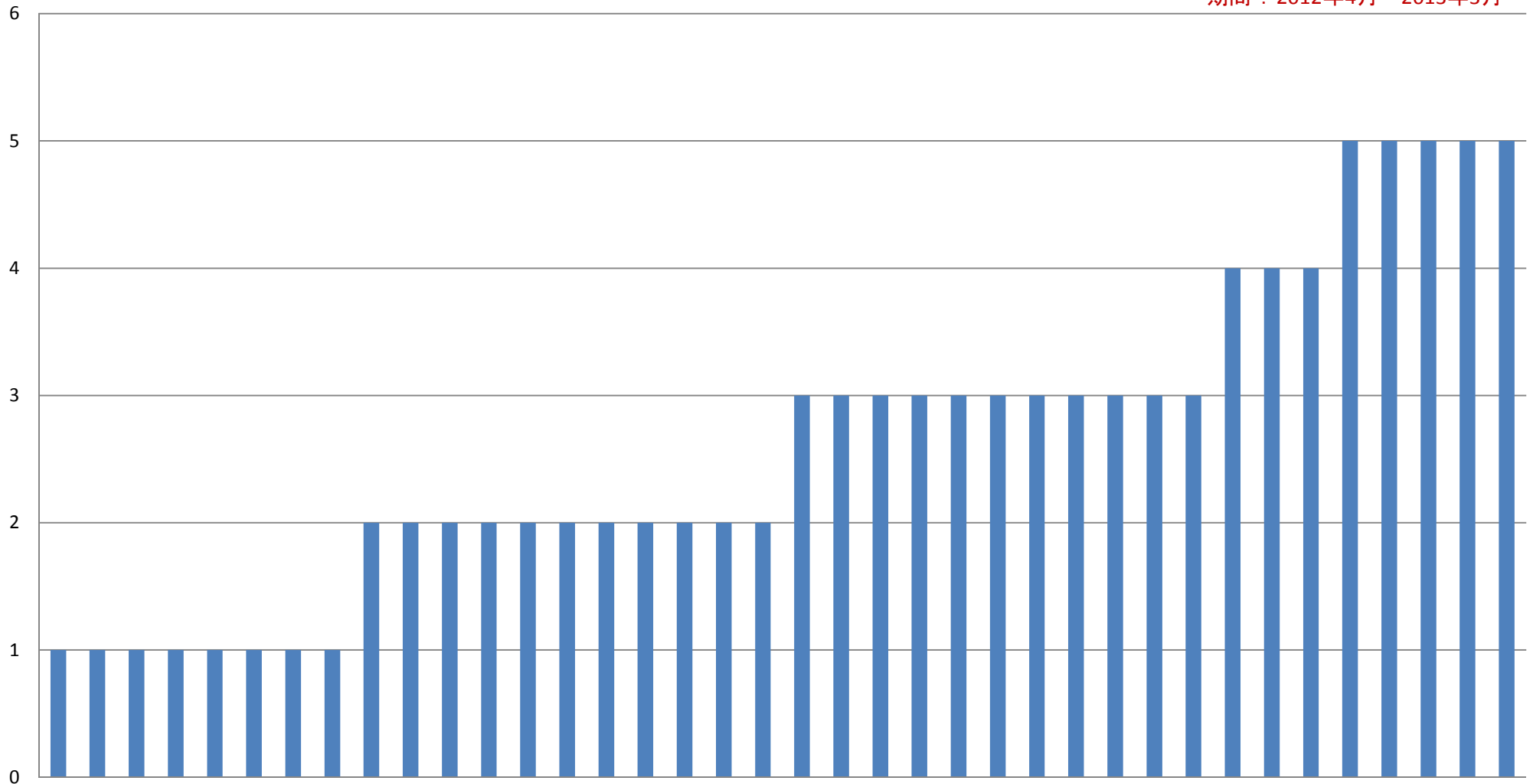


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－卵巣がん

期間：2012年4月～2013年3月

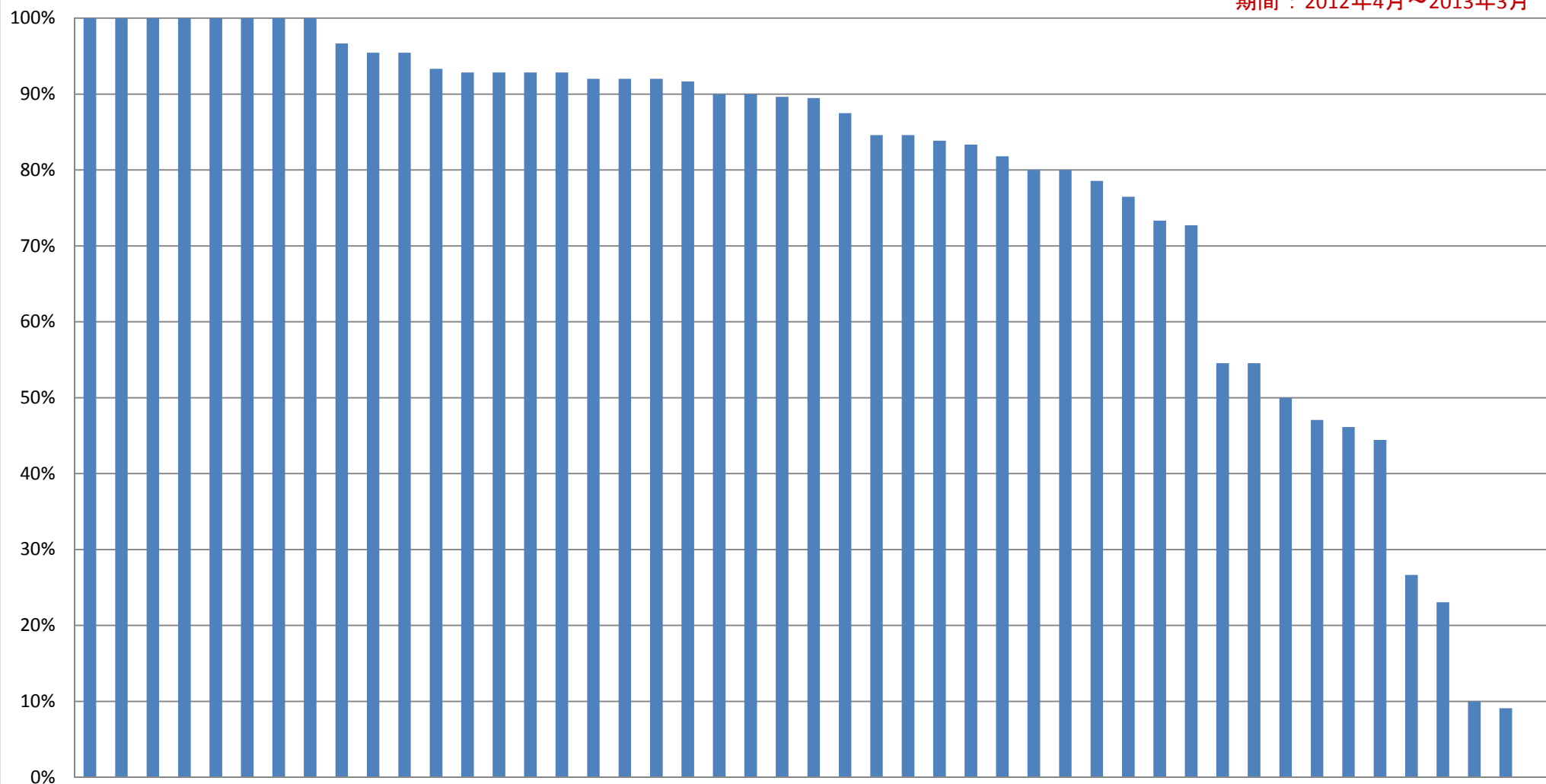


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－卵巣がん

期間：2012年4月～2013年3月

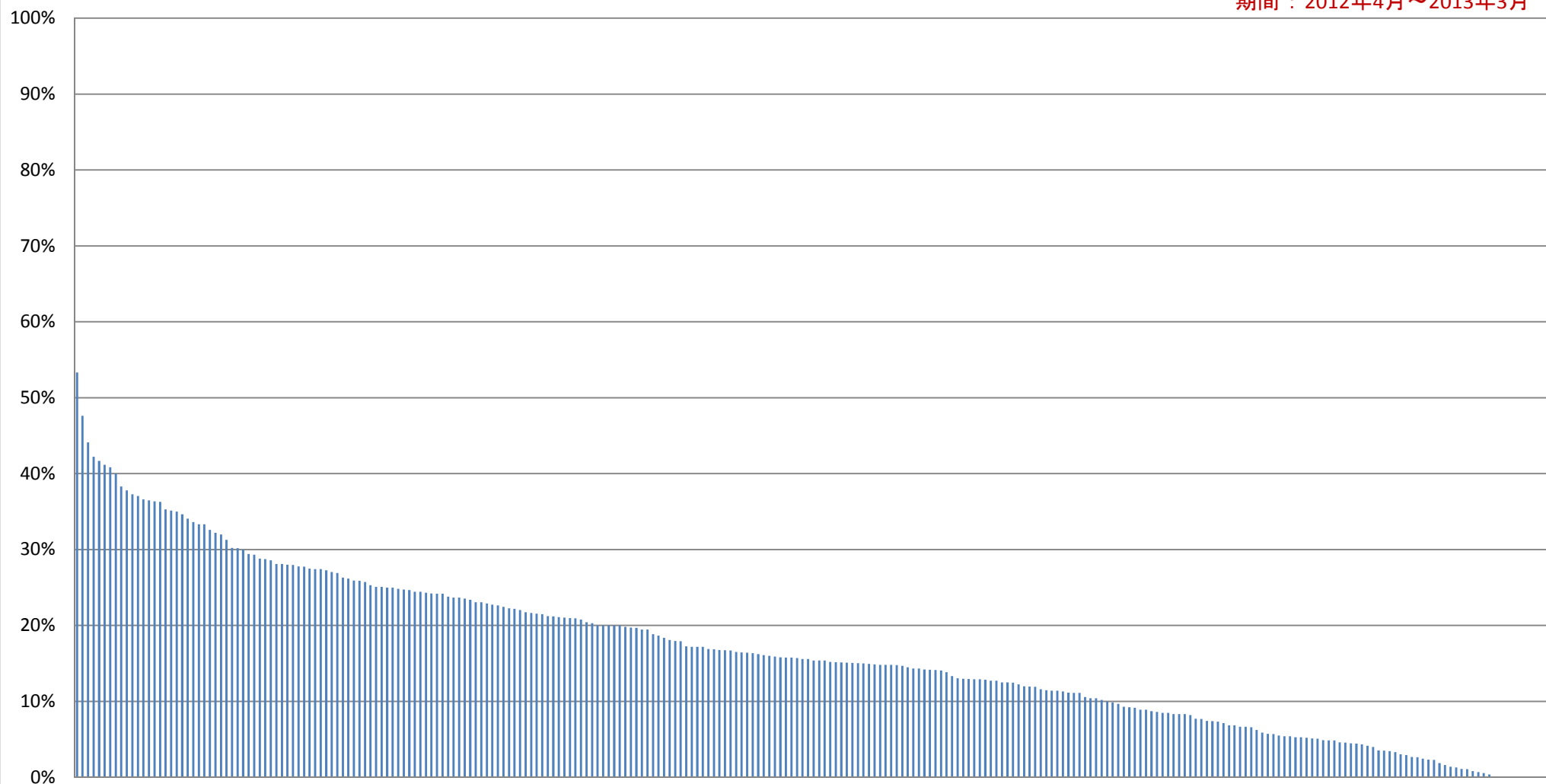


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

小児入院患者件数に対する、時間外または深夜入院の入院数および割合

期間：2012年4月～2013年3月

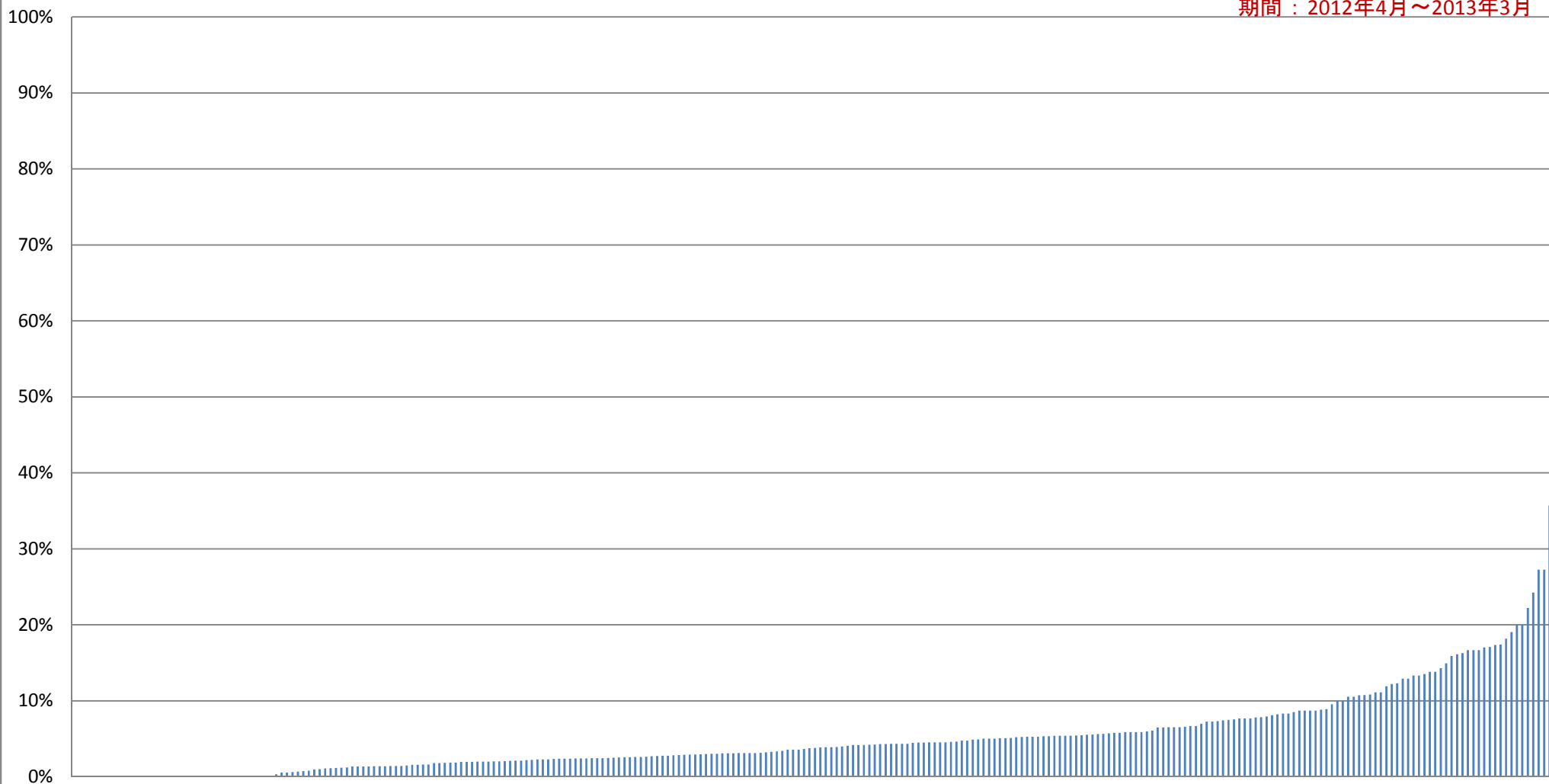


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

4大癌・悪性腫瘍手術症例における大量輸血の割合(胃がん・大腸がん・肺癌ん・肝がん)

期間 : 2012年4月~2013年3月

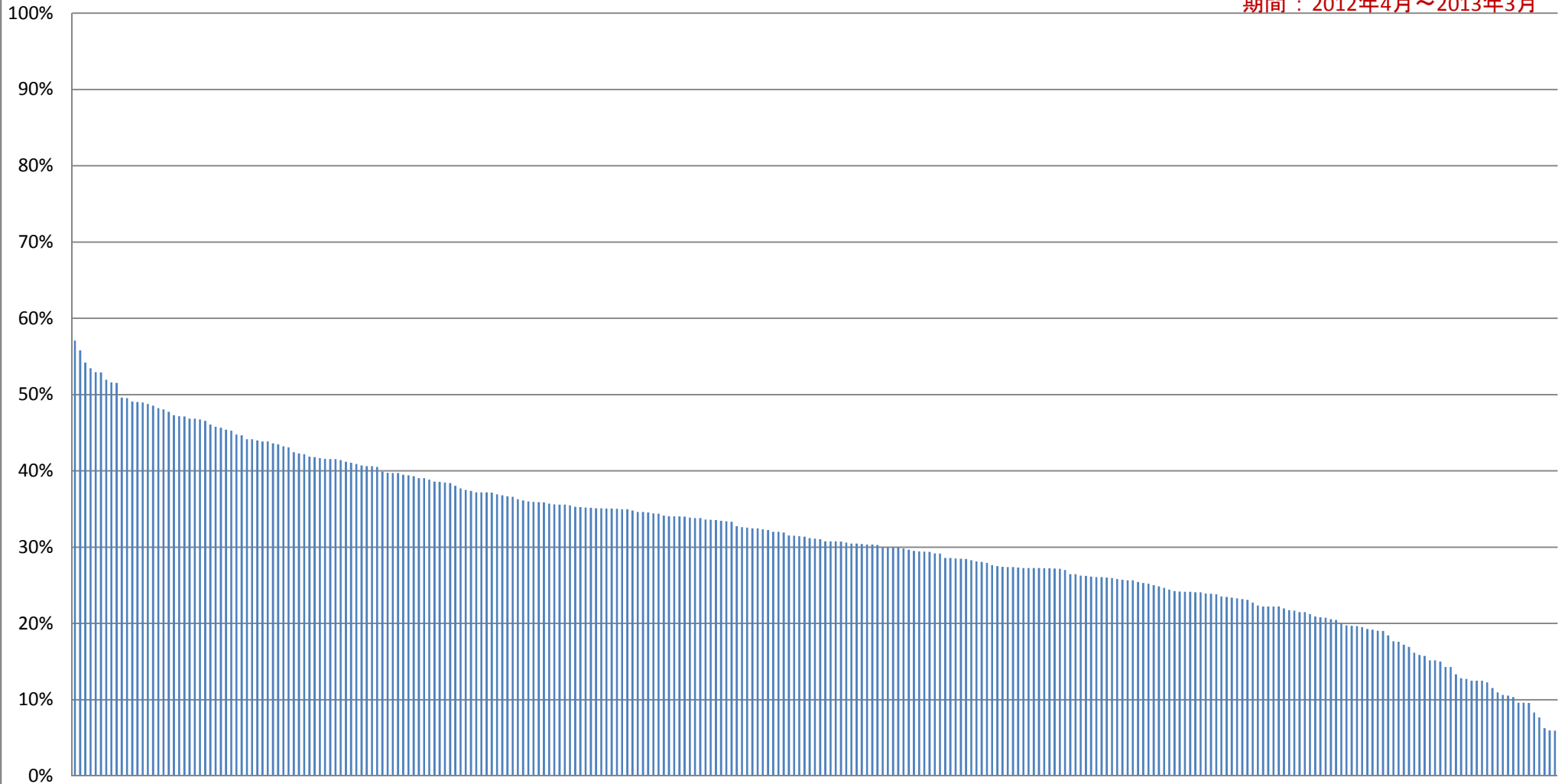


データ参照期間: 2012年4月~2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

5大癌初発に対する入院のうちStageIまでの割合

期間：2012年4月～2013年3月

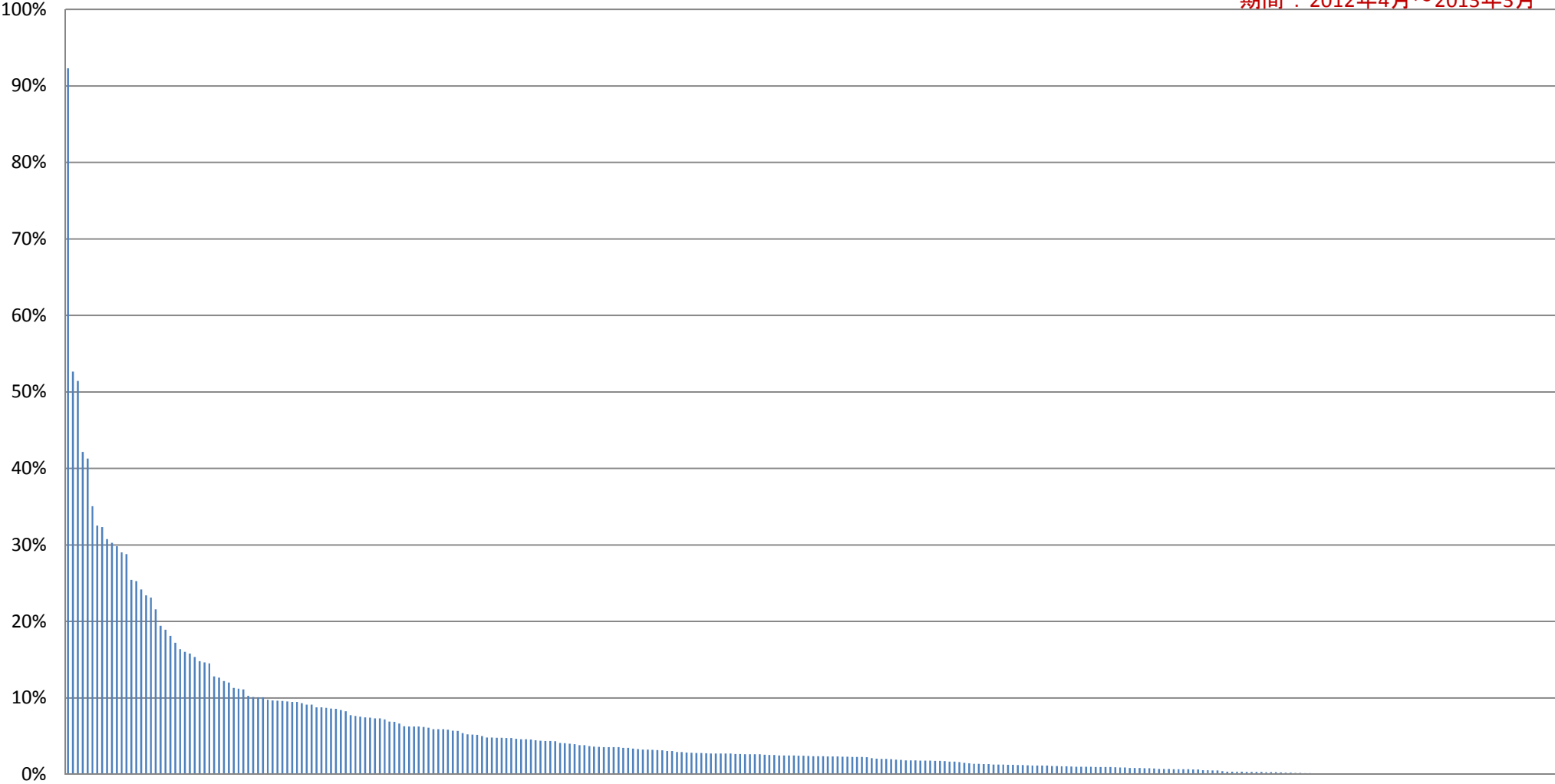


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

悪性腫瘍症例に対する退院支援の割合

期間：2012年4月～2013年3月

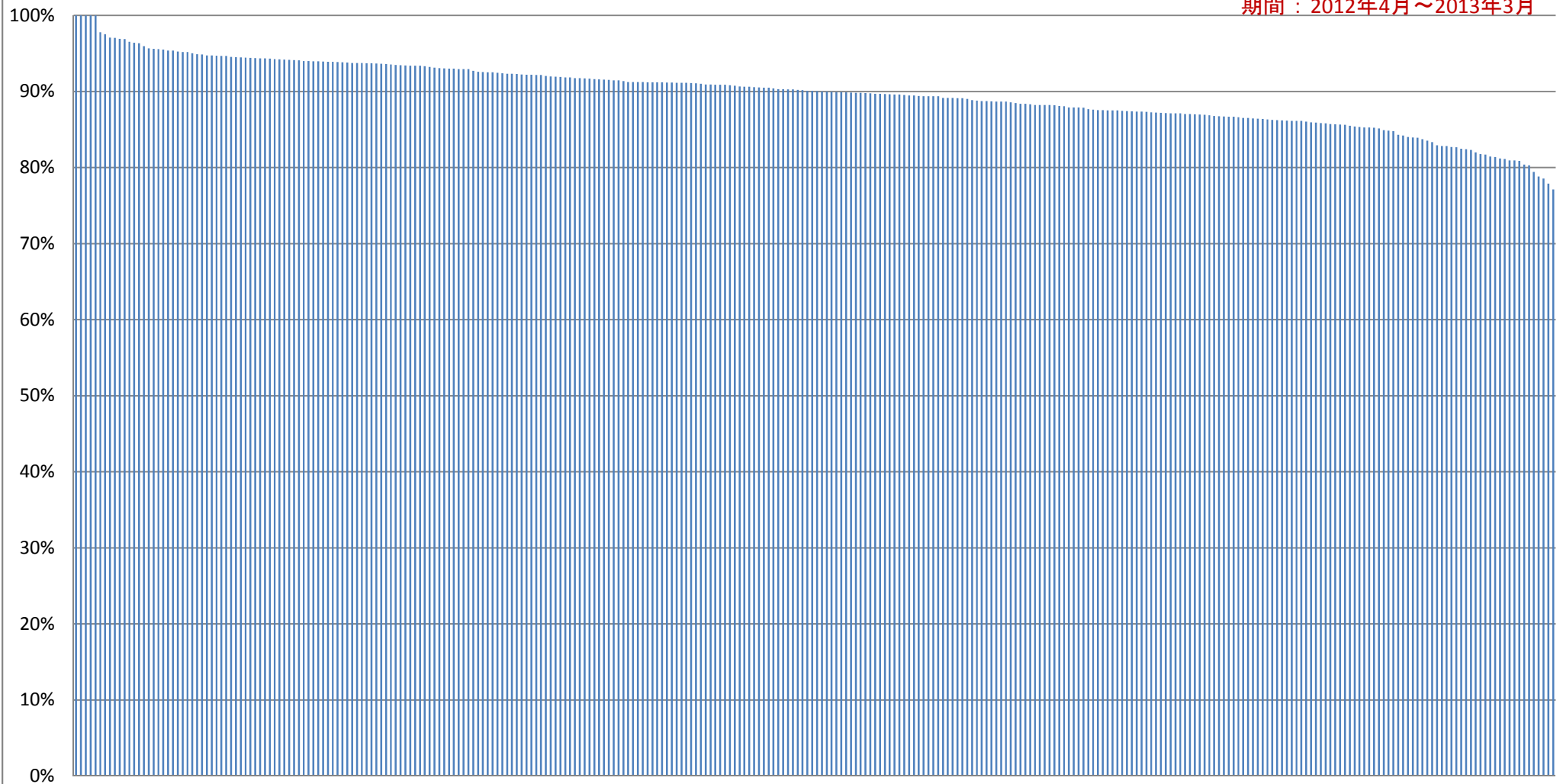


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

救急搬送により入院した症例の救命率(31日後生存/救急搬送入院)

期間：2012年4月～2013年3月

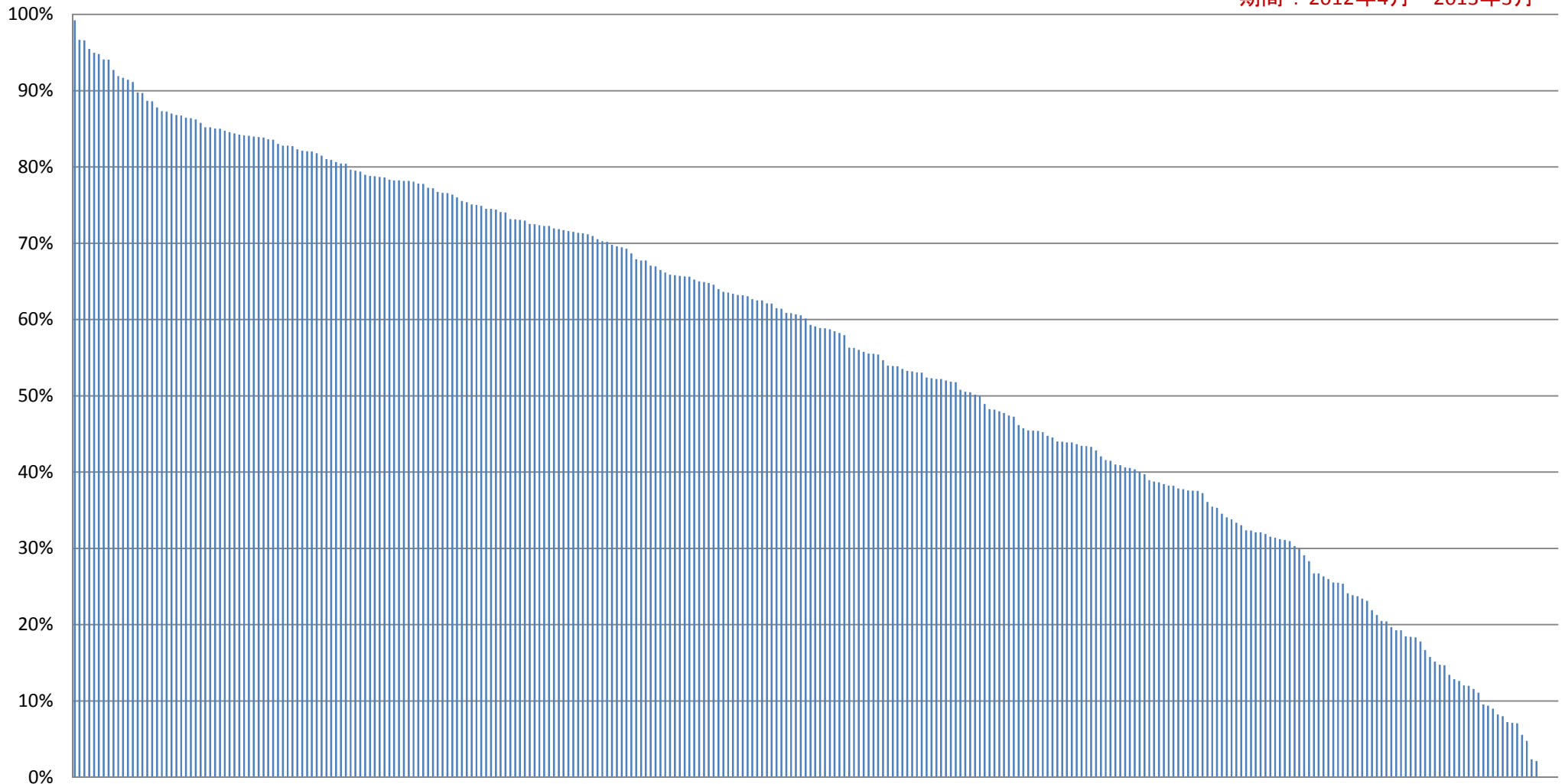


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

薬剤管理指導実施割合(実施患者数ベース)

期間：2012年4月～2013年3月

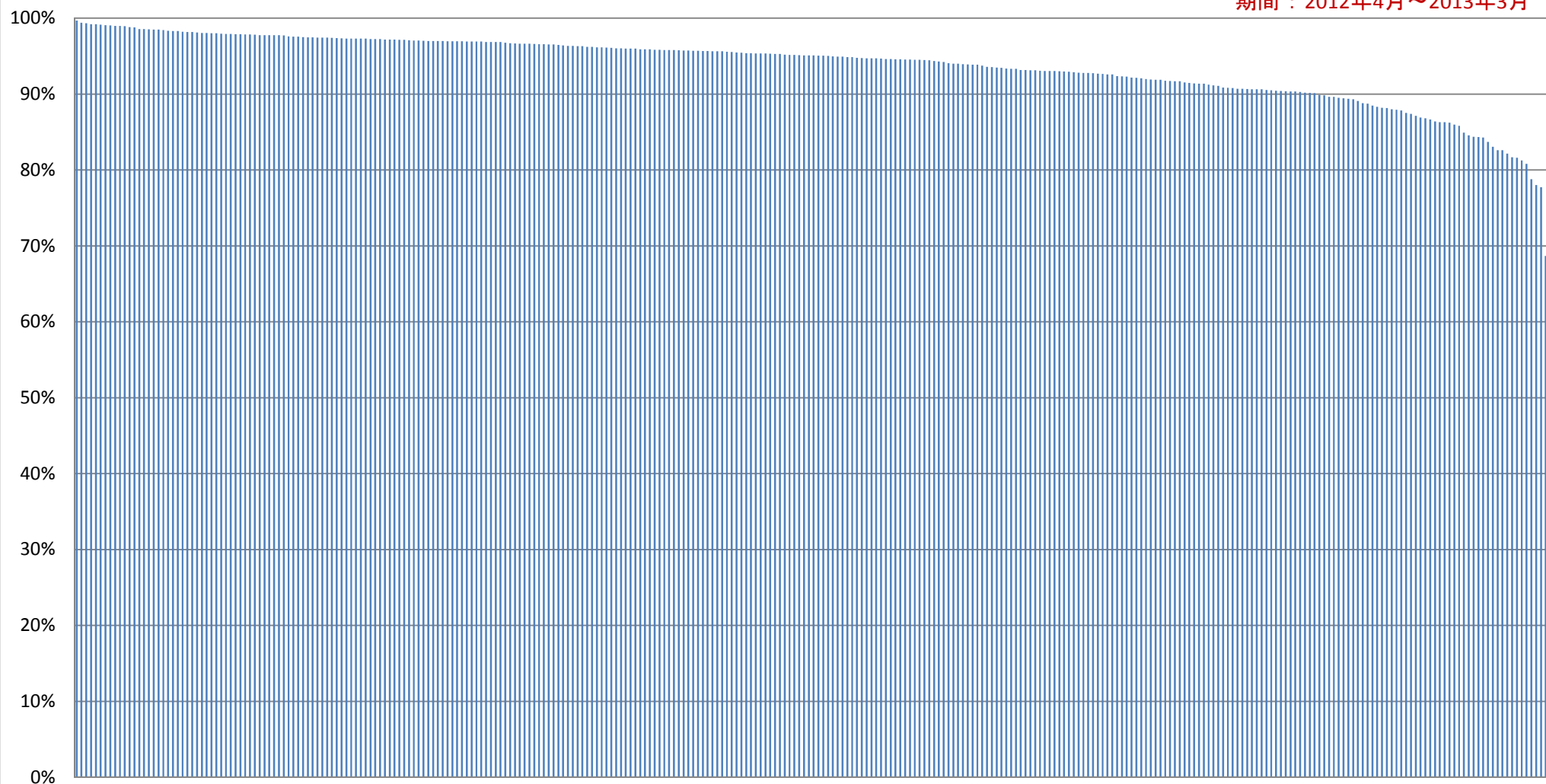


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

退院前30日間に、何らかの検査は行われている割合

期間：2012年4月～2013年3月

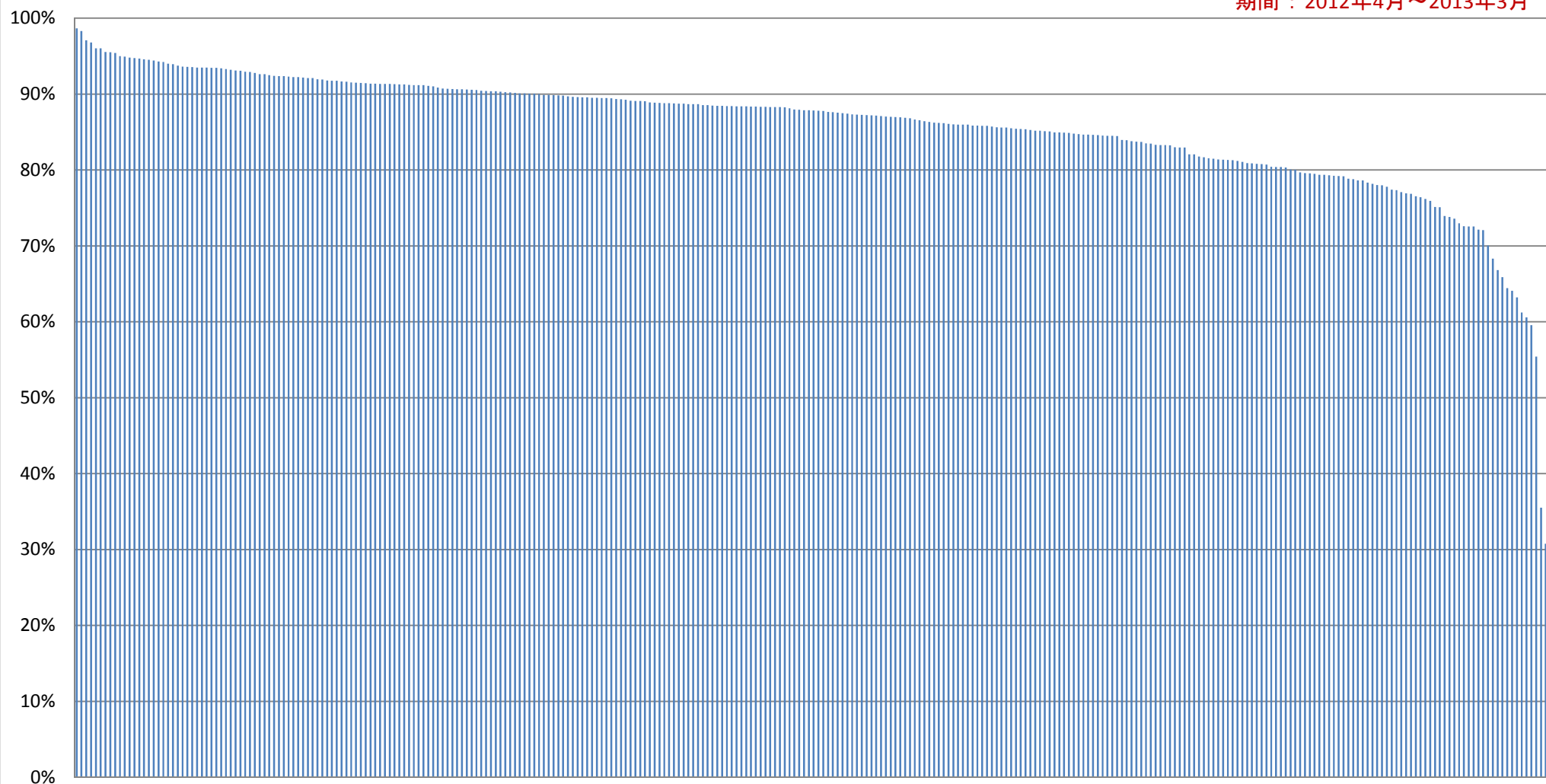


データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。

退院前1週間に、何らかの検査は行われている割合

期間：2012年4月～2013年3月



データ参照期間：2012年4月～2013年3月退院分。
期間症例数10例未満の病院を除外

※病院記号は表にてご確認ください。